一般社団法人 薬学教育評価機構

(調書)

薬学教育評価 基礎資料

(平成30年5月1日現在)

富山大学薬学部

「基礎資料」作成上の注意事項

- 1 記述の対象となる年度が提示されていない場合は、自己点検・評価対象年度の5月1日現在の数値を記述してください。 平成31年度に第三者評価を受ける大学の場合は、自己点検・評価対象年度の平成30年 5月1日となります。
- 2 記述に際し、各シートの[注]・脚注を確認し、作成してください。
- 3 各シートの表中の表記例は、消去して作成してください。また、各シートに付されている[注]・脚注は消去しないでください。
- 4 各表に記入する数値について小数点以下の端数が出る場合、特に指示のない限り小数 点以下第3位を四捨五入して小数点第2位まで表示してください。
- 5 説明を付す必要があると思われるものについては、備考欄に記述するか、欄外に大学 独自の注をつけて説明を記してください。
- 6 提出形態について
 - ・基本的にA4判で作成してください。
 - ・表紙および目次を作成し、全体に通しページ番号を付してください。
 - ・両面印刷して、加除が可能な体裁でファイル綴じにした印刷物を提出してください。
 - ・カラー表記のあるページは、カラーで印刷してください。
 - ・PDFファイルに変換したデータを、「自己点検・評価書」と同じCD-Rに保存し、提出してください。

薬学教育評価 基礎資料

(目次)

	資料概要	ページ
基礎資料 1	学年別授業科目	1
基礎資料2	修学状況 2-1 在籍状況 2-2 学生受入状況 2-3 学籍異動状況 2-4 学士課程修了(卒業)状況	11
基礎資料3	 薬学教育モデル・コアカリキュラム等のSBOs に該当する科目 3-1 薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目 3-2 実務実習モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目 3-3 平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目 	(3-1) 15~68 (3-2) 69~73 (3-3) 74~124
基礎資料 4	カリキュラム・マップ	125
基礎資料 5	語学教育の要素	132
基礎資料6	実務実習事前学習のスケジュール	135
基礎資料7	学生受入状況について(入学試験種類別)	137
基礎資料8	教員・職員の数	138
基礎資料 9	専任教員の構成	139
基礎資料10	教員の教育担当状況(担当する授業科目と担当時間)	140
基礎資料11	卒業研究の配属状況および研究室の広さ	149
基礎資料12	講義室等の数と面積	150
基礎資料13	学生閲覧室等の規模	152
基礎資料14	図書、資料の所蔵数および受け入れ状況	153
基礎資料15	専任教員の教育および研究活動の業績	154

			1 年 次					
	科目名	前期・後期	1クラスあたり の人数	開講クラス数	履修者数		授業方法	単位数
	(選)哲学のすすめ	前期・後期	148~188	3	20	٦		
	(選)人間と倫理	前期・後期	167~179	2	13	٦		
	(選) こころの科学	前期・後期	159~180	3	20	コ		
	(選) 現代と教育 (選) 日本の歴史と社会	前期・後期前期・後期	88~179 88~172	3	11			
	(選)東洋の歴史と社会	前期	171	1	9	ППП		
	(選)西洋の歴史と社会	前期・後期	159~193	3	14			
	(選)日本文学	前期・後期	149~179	3	12			
	(選)外国文学	後期	121	1	6			
	(選)言語と文化	前期・後期	83~209	4	17	п		
	(選)音楽	前期・後期	20~90	2	4	П		
	(選)美術	前期・後期	98~225	3	4	П		
	(選)言語表現	後期	66~271	2	4	П		
	(選)治療の文化史	前期・後期	82~175	3				
	(選)現代社会論	前期・後期	114~187	6	40	П		
	(選)日本国憲法	前期・後期	117~184	3	6	コ		
	(選) 国家と市民	前期・後期	119~176 64~161	3	8			
	(選)経済生活と法	前期・後期前期	149~172	3			+	
	(選)市民生活と法 (選)はじめての経済学	前期	149~172	2		ППП		
	(選)産業と経済を学ぶ	前期	137	1	3			
	(選)経営資源のとらえ方	前期・後期	82~188	3	13			
	(選)市場と企業の関係	前期・後期	139~181	2	11	П		
	(選)地域の経済と社会・文化	前期	168	1	9			
	(自)地球と環境	後期	195	1	1	П		
	(必)物理学実験-B	後期	112	1	61	ジ		
	(必)基礎化学-B	前期	134	1	63			
	(必) 化学実験-B	前期	113	1	62			
	(必) 生命科学 I - B	前期	126	1	63			
	(必) 生命科学Ⅱ-B	後期	123	1	63			
	(必)生物学実験-B (選必)解析学-A	後期	113 5	1	62	ジョ		
	(選必)解析学ーB	前期	233	1	62			
	(選必)物理学 I - A	前期	177	1	60			
	(選必)物理学I-B	前期	38	1	2			
	(選必)物理学Ⅱ-A	後期	153	1	56	⊐		
	(選必)物理学Ⅱ-B	後期	61	1	5	П		
	(選)線形代数学	後期	4	1	1	П		
	(選)現代物理学入門	後期	21	1	1	п		
	(選)自然現象のモデル化とその解析	後期	6	1	2	□	1	
	(選)生物無機化学入門	後期	23	1	8	П		
	(選)医療心理学	前期	184	1	15			
	(選)認知科学	後期	145	1	13			
	(選) 脳科学入門	後期	99	1	13			
	(選)生命科学入門 (選)身近な医学	前期 後期	199	1	20			
	(選) 医療と地域社会	後期	180	1	22			
	(選)環境	後期	130	1	1			
	(選)ジェンダー	前期・後期	183~198	2	4	п		
	(選)技術と社会	前期	90~133	3	5	П		
	(選)人権と福祉	前期・後期	165~235	2	7	П		
	(選)科学と社会	前期・後期	127~152	2	9	П		
	(選)アカデミック・デザイン	後期	229~231	2	6			<u> </u>
	(選)万葉学	前期	143	1	2	П		
	(選)感性をはぐくむ	前期	99	1	2	П		
	(選)学士力・人間力基礎	前期	82	1	6			-
	(選) 産業観光学 (選) 富山のものづくり概論	後期	134	1	3	ППП		
+	(選)富山のものづくり似論	前期	81~112	2	4			
	(選必)英語リテラシーI-C	前期	37~38	3	62			
	(選必)英語リテラシーⅡ-C	後期	34~37	3	57			
	(選必)英語コミュニケーションI-C	前期	36~39	3	62	エ		
	(選必)英語コミュニケーションⅡ-C	後期	35~38	3	57	エ		
	(選)ドイツ語基礎 I	前期	15~42	7	23	I		
	(選)ドイツ語基礎Ⅱ	後期	8~28	4	9	エ		
	(選) ドイツ語コミュニケーション I	前期	15~45	4	17			
	(選)ドイツ語コミュニケーションⅡ	後期	9~14	2	4	エ		
	(選) フランス語基礎 I	前期	193	1	7	エ		1

		(選)フランス語コミュニケーション I	前期	15~43	3	7	エ			1
		(選)フランス語コミュニケーションⅡ	後期	8 ~ 17	2	3	エ			1
1		(選)中国語基礎 I	前期	35~41	5	27	エ			1
		(選)中国語基礎Ⅱ	後期	8~41	5	13	エ			1
1		(選)中国語コミュニケーションI	前期	36	1	17	エ			1
1		(選)中国語コミュニケーションⅡ	後期	10	1	2	エ			1
		(選)朝鮮語基礎 I	前期	17~56	3	5	エ			1
		(選)朝鮮語基礎 Ⅱ	後期	18	1	3	エ			1
		(選)朝鮮語コミュニケーションI	前期	38~53	2	2	エ			1
		(選)朝鮮語コミュニケーションⅡ	後期	15	1	1	エ			1
		(自)発展多言語演習ラテン語 I	前期	20	1	1	エ			1
		(自)発展多言語演習ラテン語Ⅱ	後期	11	1	1	エ			1
		(必) 健康・スポーツ/実技	前期	28~45	3	62	エ			1
		(必)情報処理-B	前期	56~63	2	63	П			2
		(自)応用情報処理	後期	10	1	1	П			2
		(必) 薬学概論	前期	113	1	62	П	エ	S	1
澎		(必)医療学入門	前期	114	1	62	⊐	エ	S	1
薬学		(必) 基礎有機化学 I	前期	132	1	63	⊐	エ		2
専門		(必) 物理化学 I	後期	112	1	62	П			2
教育		(必)基礎有機化学Ⅱ	後期	116	1	62	П	エ		2
実習										
		(自) 海外薬学演習 I	前期・後期				エ			1
		(自)海外薬学演習Ⅱ	前期・後期				エ			2
								<u> </u>		
								(必須科目)		20
※ /								(選択科目)		107
単位数の 合計					(選択必修科目	1)	16			
					9					
	 							合計		152

講義=コ 演習=エ 実習=ジ

e-learning=E PBL/SGD=S

[注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について記入してください。

2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。

 「科目の識別」
ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。
- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。 下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

「授業方法」の表記:講義=コ、 PBL/SGD=S

						2 年 次							
				科目名	前期・後期	1クラスあたり の人数	開講クラス数	履修者数		授業方法		単位数	
≠ /-				(必)薬学英語 I	前期	10-40	7	53	٦	I	S	1	
教 養 教 育 •				(必) 薬学英語Ⅱ	後期	10-40	7	52	٦	エ	S	1	
語学教育													
				(必) 和漢医薬学入門	前期	102	1	53		ジ		1	
				(必) 行動科学	前期	103	1	53				2	
				(必) 分析化学	前期	100	1	52				2	
				(必)物理化学Ⅱ	前期	109	1	53				2	
				(必)有機化学 I	前期	109	1	53		ェ		2	
				(必)有機化学Ⅱ	前期	127	1	54	٦			2	
				(必) 生理学	前期	105	1	53				2	
				(必) 生化学 I	前期	106	1	53	コ			2	
薬				(必) 生物物理化学	後期	110	1	54	コ	S		2	
薬 学 専				(必) 生薬学	後期	104	1	53	コ			2	
門 教				(必) 生化学Ⅱ	後期	106	1	54	_			2	
育				(必) 生命情報科学 I	後期	107	1	53	٦			2	
				(必) 人体機能形態学	後期	101	1	52	٦	ジ		2	
				(必) 微生物学	後期	107	1	53	٦			2	
				(選) 物理有機化学	前期	103	1	53	コ			2	
				(選) 応用分析化学	後期	103	1	53	コ			2	
				(選)無機化学	後期	107	1	54	コ			2	
				(選) 機器分析	後期	111	1	54	コ			2	
				(選)有機化学Ⅲ	後期	108	1	52	٦			2	
						100		50	**			ļ .	
				(必)物理系実習(分析化学)	前期	102	1	53	ジ				
				(必) 物理系実習(物理化学 I)	前期	103	1	53	ジ				
				(必)物理系実習(物理化学Ⅱ)	前期	103		53	ジ				
				(必) 化学系実習(分子機能)	後期	103	1	53	ジ ジ			+ - '	
実習				(必) 化学系実習(有機化学)	後期	102	1	53	ン ジ	S		2	
				(必) 化学系実習(生薬学)	後期	105	ı	53	<u> </u>	S		<u>'</u>	
				(自) 海外薬学演習 I	前期・後期				ェ			1	
演習				(自)海外薬学演習Ⅱ	前期・後期				I			2	
澳百													
		<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>				(必須科目)		36	
単位数の								ļ		(選択科目)		10	
合計										(自由科目) 3			
								Ţ		合計		49	

(凡例) 講義=コ 演習=エ 実習=ジ

PBL/SGD = S

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。
 - 2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。

「科目の識別」

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。
- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。 下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

e-learning=E

「授業方法」の表記:講義=コ、 PBL/SGD=S

						3 年 次						
				科目名	前期・後期	1クラスあたり の人数	開講クラス数	履修者数		授業方法		単位数
数				(必) 専門英語 I	前期	5 ~ 6	19	54	٦	エ	S	
教 養 教				(必) 専門英語Ⅱ	後期	1~4	27	57	コ	ェ	S	
育 • 語				(必)統計学	前期	104	1	54	コ			
i 学 教 育												
	H			(必)衛生薬学 I	前期	101	1	51		1		
				(必) 免疫学	後期	74	1	56				
				(必) 衛生薬学Ⅱ	後期	59	1	51		S		
				(必) 生物薬剤学	前期	110	1	56		+ -		
		-		(必) 基礎薬理学 I	前期	105	1	52				
				(必) 基礎薬理学Ⅱ	後期	100		50		1		
				(必) 医療薬剤学	後期	104	'	55				
				(必) 物理薬剤学	後期	115	'	56				
	H		\dashv	(必) 薬物動態学	後期	75	1	55				
				(必) 案初勤忠子 (必) 病態薬物治療学 I	後期	60	'	47		S		
				(必) 衛生薬学Ⅲ	後期	61	'	51				
		-		(選)構造生物学	前期	99	'	56		1		
薬		-		(選) 薬品物理化学	前期	100	'	55		ェ		
薬 学 専			\dashv	(選) トランスポーター論		87	'	50		+ -		
門 教			\dashv	(選) 創薬化学	前期前期前期	106	'	54				
育						99	1	55				
				(選)合成化学	前期		'					
				(選) ケミカル・バイオロジー I	前期	86	'	51				
				(選) ケミカル・バイオロジーⅡ	前期	90	1	51				
		-		(選)生命情報科学Ⅱ	前期			55				
				(選)富山のくすり学	後期	53	'	4		 _		
			_	(選) 天然医薬資源学	後期	40		13		I		
				(選) 先端分子薬学	後期	81		34		S		
				(選) 病原微生物学	後期	58		8				
				(選)分子遺伝動物学	後期	20		10				
				(選) 東洋医学概論	後期	74	1	53				
	\square				26.449	104		5.1				
		\dashv	\dashv	(必) 生物系実習(微生物化学)	前期	104	1	54	ジ	 _		
		-	\dashv	(必) 生物系実習(生化学)	前期	104	1	54	ジ	S		
	H	-	\dashv	(必) 生物系実習(衛生化学)	前期	104	1	54	ジ	1		
_ ===		-	_	(必) 生物系実習(放射線基礎学)	前期	109	1	※ 57				
実習		-	_	(必) 医療系実習(薬理学)	前期	104	1	54	I	ジ		
				(必) 医療系実習(薬剤学)	前期	104	1	54	ジ	1		
				(必) 医療系実習(生物物理化学・製剤学)	後期	104	1	54	ジ	S		
			_	(必)総合薬学演習	後期	6	9	54	ı	S		
			\dashv	(自)海外薬学演習 I	前期・後期			0-1	ェ	+ -		
演習			\dashv	(自)海外薬学演習Ⅱ	前期・後期				ェ			
					197 187 197							
										(必須科目)		32
位数の										(選択科目)		28
合計										(自由科目)		3
		 								合計		63

※生物系実習(放射線基礎学)

、工物が失す、放射機率促了/ 施設的事情により平成30年度は2年次前期に実施済み。平成31年度以降は3年次前期科目として毎年度実施する。 (凡例) 講義=コ 演習=エ 実習=ジ e-learning=E PBL/SGD=S

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。
 - 2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。

「科目の識別」

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。
- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。 下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

「授業方法」の表記:講義=コ、 PBL/SGD=S

					4 年 次						
			科目名	前期・後期	1クラスあたり の人数	開講クラス数	履修者数		授業方法		単位数
教											
養 教											
育・											
語 学 教 育											
育											
			(必) 病態薬物治療学Ⅱ	前期	61	1	53				2
			(必) 病態薬物治療学Ⅲ	前期	63	1	53	コ			2
			(必) 保険薬局学	前期	53	1	53				2
			(必) 病院薬学	前期	53	1	53	_	エ	S	2
			(必) 薬事衛生法規	前期	58	1	57	٦			2
			(必) 疾病医療学	後期	106	1	53	٦			2
			(選) 知的財産概論	前期	17	1	9	コ			1
			(選) 薬学経済	前期	67	1	12	コ	S		2
			(選) 臨床倫理学	前期	7	1	6	コ	エ	S	1
			(選) 東西医薬学	前期	29	1	16	コ	ジ		2
			(必) 臨床前実習 I	後期	51		51	ジ	エ	S	2
			(必) 臨床前実習Ⅱ	後期	51		51	ジ	エ	S	2
実習											
			(自)海外薬学演習 I	前期・後期							1
			(自)海外薬学演習Ⅱ	前期・後期				I			2
演習			(必) 卒業研究	前期・後期	1~3	26	56	I	ジ	s	2
									(必須科目)		18
単位数の 合計								(選択科目)			6
百訂									(自由科目)		3
		 _							合計		27

講義=コ 演習=エ 実習=ジ

e-learning=E

PBL/SGD=S

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。
 - 2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

「科目の識別」

	ヒューマニズム教育・医療倫理教育
	教養教育科目
	語学教育科目
	医療安全教育科目
	生涯学習の意欲醸成科目
	コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。
- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。 下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

「授業方法」の表記:講義=コ、 PBL/SGD=S

					5 年 次						
			科目名	前期・後期	1クラスあたり の人数	開講クラス数	履修者数		授業方法		単位数
教養教育											
語学教育											
薬学専門教育											
実習			(必) 薬局実習 (必) 病院実習	前期・後期前期・後期	54 54		54 54				10
演習			(自)海外薬学演習 (必)卒業研究(5・6年次で8単位)	前期・後期前期・後期	1~3	26	55	エエ	ÿ	S	2 (4)
単位数の 合計									(必須科目) (選択科目) (自由科目) 合計		24 0 2 26

講義=コ 演習=エ 実習=ジ

e-learning=E PBL/SGD = S

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。
 - 2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

「科目の識別」

	ヒューマニズム教育・医療倫理教育
	教養教育科目
	語学教育科目
	医療安全教育科目
	生涯学習の意欲醸成科目
	コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。
- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。 下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

「授業方法」の表記:講義=コ、 PBL/SGD=S

					6 年 2	· 欠					
			科目名	前期・後期	1クラスあたり の人数	開講クラス数	履修者数		授業方法		単位数
教養教育・語学教育											
			(選) 臨床薬物動態学 (選) 医療統計学	前期前期	20	1	20		I	S	2 2
薬学専門教育											
実習											
			(自) 海外薬学演習	前期・後期			1	I			2
演習			(必) 卒業研究 (5・6年次で8単位)	前期・後期	1~3	25	55	I	ジ	S	(4)
単位数の 合計		•		·					(必須科目) (選択科目) (自由科目) 合計		4 4 2 10

講義=コ 演習=エ 実習=ジ

e-learning=E PBL/SGD=S

[注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。

2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

「科目の識別」

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(選)」と記してください。
- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を記入してください。 下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して作成してください。

「授業方法」の表記:講義=コ、 PBL/SGD=S

(基礎資料1-7) 学年別授業科目(旧カリ)

(H26まで 旧カリ)

(基礎資料1-1)から(基礎資料1-6)までの結果から下記の(1)および(2)を記入してください。

(1) 下表の「合計科目数」および「単位数」を記入してください。

科目の識別	合計科目数	合計単位数
ヒューマニズム教育・医療倫理教育	11	32
教養教育科目	73	128
語学教育科目	22	23
医療安全教育科目	12	33
生涯学習の意欲醸成科目	8	27
コミュニケーション能力および自己表現能力を 身につけるための科目	17	47

[※]薬学科生が履修可能な科目の集計

(2) 学年別授業科目の表から前期と後期の単位数を合算して記入してください。

* /		単位数	
学 年	必須科目	選択科目	合計
1 年 次	27	80	107
2 年 次	32	69	101
3 年 次	28	22	50
4 年 次	16	4	20
5 年 次	24	0	24
6 年 次	4	4	8
合計	131	179	310

(基礎資料1-7) 学年別授業科目 (新カリ)

(H27から 新カリ)

(基礎資料1-1)から(基礎資料1-6)までの結果から下記の(1)および(2)を記入してください。

(1) 下表の「合計科目数」および「単位数」を記入してください。

科目の識別	合計科目数	合計単位数
ヒューマニズム教育・医療倫理教育	12	36
教養教育科目	73	128
語学教育科目	23	23
医療安全教育科目	15	40
生涯学習の意欲醸成科目	8	29
コミュニケーション能力および自己表現能力を 身につけるための科目	18	50

[※]薬学科生が履修可能な科目の集計

(2) 学年別授業科目の表から前期と後期の単位数を合算して記入してください。

一		単位数	
学年	必須科目	選択科目	合計
1 年 次	27	80	107
2 年 次	32	67	99
3 年 次	30	28	58
4 年 次	20	6	26
5 年 次	24	0	24
6 年 次	5	4	9
合計	138	185	323

[※]薬学科生が履修可能な科目の集計

※上記は平成27年度及び平成28年度のカリキュラムによる。

平成29年度はカリキュラムの一部改正により上記とは異なる。変更内容は次のとおり。

- ・履修年次の変更・・・「分析化学」(必修2単位)を1年次から2年次に変更 「衛生薬学Ⅲ」(必修2単位)を4年次から3年次に変更
- ・科目の読み替え・・・教養教育科目「英語 V 」「英語 VI 」(各選択必修1単位) 及び「英語 VI 」(選択1単位)を専門教育科目「薬学英語 I 」「薬学英語 II 」(各必修1単位)に変更

(基礎資料1-7)学年別授業科目 (新カリ)

(H30から 新カリ)

(基礎資料1-1)から(基礎資料1-6)までの結果から下記の(1)および(2)を記入してください。

(1) 下表の「合計科目数」および「単位数」を記入してください。

科目の識別	合計科目数	合計単位数
ヒューマニズム教育・医療倫理教育	12	36
教養教育科目	84	141
語学教育科目	28	29
医療安全教育科目	15	40
生涯学習の意欲醸成科目	8	29
コミュニケーション能力および自己表現能力を 身につけるための科目	19	50

[※]H30年度に薬学科生が履修した科目の集計

(2) 学年別授業科目の表から前期と後期の単位数を合算して記入してください。

当		単位数	
学 年	必須科目	選択科目	合計
1 年 次	20	107	127
2 年 次	36	12	48
3 年 次	32	26	58
4 年 次	18	4	22
5 年 次	24	0	24
6 年 次	5	4	9
合計	135	153	288

(基礎資料2-1) 評価実施年度における学年別在籍状況

学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年
入学年度の入学定員 ¹⁾		22	22	22	22	22	52
入学時の学生数 2	А	09	22	99	26	09	59
在籍学生数 3)	В	64	54	22	09	56	52
	留年による者 C	2	2	7	9	4	4
週午長仕精合数 休学に	休学による者 D	2	0	0	1	0	1
編入学などによる在籍者数	数 E	0	0	0	1	0	1
ストレート在籍者数 5)	F	09	52	20	52	52	49
ストレート在籍率 ⁶⁾	F/A	1.00	0.91	0.91	0.93	0.87	0.83
過年度在籍率 7)	(C+D)/B	90'0	0.04	0.12	0.12	0.07	0.09

※編入学などによる在籍者数 E は, 転学科者数

1)各学年が入学した年度の入学者選抜で設定されていた入学定員を記載してください。

2)当該学年が入学した時点での実入学者数を記載してください。

4)過年度在籍者数を「留年による者」と「休学による者」に分けて記載してください。休学と留年が重複する学生は留年者に算入してください。

5)(在籍学生数)—{(過年度在籍者数)+(編入学などによる在籍者数)}を記載してください。 ストレート在籍者数 {B-(C+D+E)}

6)(ストレート在籍者数)/(入学時の学生数)の値を小数点以下第2位まで記載してください。

7) (過年度在籍者数)/(在籍学生数)の値を小数点以下第2位まで記載してください。

(基礎資料2-2) 直近6年間の学生受入状況

平均值 5)		57.83	1.05		-	I	I	ı
30年度	55	09	1.09	ı	1	1	ı	_
29年度	22	22	1.04	1	1	ı	ı	1
28年度	22	22	1.00	-	-	ı	I	-
27年度	22	26	1.02	ı	1	ı	ı	ı
26年度	22	09	1.09	ı	1	ı	ı	1
25年度	22	29	1.07	ı	1	ı	I	ı
	A	В	2) B/A		C+D+E	2年次 ∁	3年次□	4年次 E
入学年度	入学定員	実入学者数 ¹⁾	入学定員充足率 2)	編入学定員	編入学者数 3)]	艦人砂つが砂角 聖の内教 4)	X61 120 17

1)各年度の実入学者数として、当該年の5月1日に在籍していた新入生数を記載してください。

²⁾各年度の実入学者数をその年度の入学定員で除した数値(小数点以下第2位まで)を記載してください。

³⁾その年度に受け入れた編入学者(転学部、転学科などを含む)の合計数を記載してください。

⁴⁾編入学者数の編入学受け入れ学年別の内数を記入してください。

⁵⁾⁶年間の平均値を人数については整数で、充足率については小数点以下第2位まで記入してください。

(基礎資料2-3)評価実施年度の直近5年間における学年別の学籍異動状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	在籍者数 1)	66	59	55	58	64
	休学者数 2)	0	0	0	2	0
1年次	退学者数 2)	4	2	1	1	0
	留年者数 2)	3	0	1	2	2
	進級率 ³⁾	0.89	0.97	0.96	0.91	0.97
	在籍者数 1)	59	63	61	56	54
	休学者数 2)	0	0	0	0	0
2年次	退学者数 2)	1	0	3	1	0
	留年者数 2)	4	4	3	1	0
	進級率 ³⁾	0.92	0.94	0.90	0.96	1.00
	在籍者数 1)	53	57	63	59	57
	休学者数 2)	0	1	3	1	0
3年次	退学者数 2)	0	1	0	1	0
	留年者数 2)	3	3	1	2	2
	進級率 ³⁾	0.94	0.91	0.94	0.93	0.96
	在籍者数 1)	62	55(※1)	56(※1)	60	60(※1)
	休学者数 2)	3	3	1	1	3
4年次	退学者数 2)	1	0	0	0	0
	留年者数 2)	1	0	0	3	3
	進級率 ³⁾	0.92	0.95	0.98	0.93	0.90
	在籍者数 1)	54	57	52	55	56
	休学者数 2)	0	0	0	0	1
5年次	退学者数 2)	0	0	0	0	0
	留年者数 2)	0	0	0	0	1
	進級率 ³⁾	1.00	1.00	1.00	1.00	0.96

^{※1} 転学科1名を含む。

¹⁾在籍者数は、当該年度当初(4月1日)における1年次から5年次に在籍していた学生数を記載してください。

²⁾休学者数、退学者数、留年者数については、各年度の年度末に、それぞれの学年から次の学年に進級できなかった学生数を、その理由となった事象に分けて記載してください。

ただし、同一学生に複数の事象が発生した場合は、後の事象だけに算入してください。

なお、前期に休学して後期から復学した学生については、進級できなかった場合は休学として算入し、進級 した場合は算入しないでください。

(基礎資料2-4) 評価実施年度の直近5年間における学士課程修了(卒業)状況の実態

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
卒業判定時(年度末)の在籍学生数 ¹⁾	末)の在籍学生数 ¹⁾ Α	20	54	22	52	55
学士課程修了(卒業)者数	業)者数 B	20	54	22	52	55
卒業率 ²⁾	B/A	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	の 女9	45	48	52	45	50
卒業までに要した な学苗問盟の	7年	2	2	3	2	5
上子初 5 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	8年		3	2	2	
	9年以上		1		3	
入学時の学生数(実入学者	(実入学者数) ⁴⁾ D	22	22	57	57	59
ストレート卒業率	(5) C/D	0.82	0.87	0.91	0.79	0.85

1)9月卒業などの卒業延期生、休退学者を除いた数字を記載してください。

2)卒業率=(学士課程修了者数)/(6年次の在籍者数)の値(B/A)を小数点以下第2位まで記載してください。

3)「編入学者を除いた卒業者数」の内訳を卒業までに要した期間別に記載してください。

4)それぞれの年度の6年次学生(C)が入学した年度の実入学者数(編入学者を除く)を記載してください。

5)ストレート卒業率=(卒業までに要した在学期間が6年間の学生数)/(入学時の学生数)の値(C/D)を、小数点以下第2位まで 記載してください。

(基礎資料3一1) 薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目

1 薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目名を実施学年の欄に記入してください。2 同じ科目名が連続する場合はセルを結合して記入することもできます。 世

<u>の修科目:赤 選択科目:青 自由科目:黒 実習・演習は下線</u>						
(3000)、(1000)、(2000)			解	科目		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
A 全学年を通して:ヒューマニズムについて学ぶ						
(1) 生と死						
【生命の尊厳】						
1) 人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議する。(知識・態度)	医療学入門			臨床倫理学		
2) 誕生に関わる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生前診断など)の概略と問題点を説明できる。	医療学入門			臨床倫理学		
3)医療に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。	医療学入門			臨床倫理学 事前学習		
4) 死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)の概略と問題点を説明できる。	医療学入門			臨床倫理学		
5) 自らの体験を通して、生命の尊さと医療の関わりについて討議する。(態度)	医療学入門			臨床倫理学	病院実習	
【医療の目的】						
1)予防、治療、延命、QOLについて説明できる。	医療学入門			臨床倫理学	病院実習	
【先進医療と生命倫理】						
1)医療の進歩(遺伝子診断、遺伝子治療、移植・再生医療、難病治療など)に伴う生命観の変遷を 知 概説できる。	医療学入門			臨床倫理学		
(2) 医療の担い手としてのこころ構え						
【社会の期待】						
1)医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。(態度)	医療学入門			コミュニケーションと チーム医療	病院実習、薬局実習	
2) 医療の担い手として、社会のニーズに対応する方法を提案する。(知識・態度)	医療学入門			コミュニケーションと チーム医療	病院実習、薬局実習	
3)医療の担い手にふさわしい態度を示す。 (態度)	医療学入門			コミュニケーションと チーム医療	病院実習、薬局実習	
【医療行為に関わるこころ構え】						
1)ヘルシンキ宣言の内容を概説できる。			医療薬剤学	臨床倫理学 <mark>事前学習</mark>		
2)医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる。	医療学入門		医療薬剤学	臨床倫理学 事 <mark>前学習</mark>		
3) インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。	医療学入門		医療薬剤学	臨床倫理学 事 <mark>前学習</mark>		
4)患者の基本的権利と自己決定権を尊重する。(態度)	医療学入門		医療薬剤学	臨床倫理学 事 <mark>前学習</mark>		
5)医療事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。(態度)			医療薬剤学	事前学習		
【研究活動に求められるこころ構え】						
1)研究に必要な独創的考え方、能力を醸成する。				卒業研究	卒業研究	卒業研究
2)研究者に求められる自立した態度を身につける。(態度)				臨床倫理学 卒業研究	卒業研究	<u> </u>

1 年の公司を表現し、計算を対し、計算を対し、計算と 1 当然的の関係と関係に関わることが対し、計算 1 日本ののの公司を表現し、計算を対し、計算 2 日本のの公司を表現し、計算を対し、計算 2 日本の公司を表現し、計算を対し、計算 2 日本の公司を表現し、計算 2 日本の公司を表現し、計算 2 日本の公司を表現し、計算 2 日本の公司を表現し、計算 2 日本の公司を表現し、計算 2 日本の公司を表現を表現する。 1 日本の公司を表現を表現を表現する。 1 日本の公司を表現を目指し、それを指決するが力を認成する。 1 日本の公司を表現を目指し、それを指決するが力を認成する。 1 日本の公司を表現を目指して 2 日本の公司を表現を目指して 2 日本の公司を表現を目指して 2 日本の公司を表えられているとというの必りが対象を含ことを明示できる。 1 日本の公司を表としまって、コミュニケーションの必りが対象を含ことを明示できる。 1 日本の公司を表えられている。 2 日本の公司を表は、2 日本の公司を表えられている。 2 日本の公司を表えらまし、いかしてよりよい確認を表現する。 2 日本の公司を表えらまし、いかしてよりよい確認を表現する。 1 日本の文書を表えらまし、いかしてよりよい確認を表現する。 1 日本の文書を表えらまし、いかしてよりよい確認を表現する。 2 日本の公司を表えらまし、いかしてよりよい確認を表現する。 2 日本の公司を表えらまし、いかしてよりまい確認を表現する。 2 日本の公司を表えらまし、いかしてよりまい確認を表現する。 2 日本の公司を表えらまし、いかしてまりまい確認を表現する。 2 日本の公司を表えらまして記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていて記述できましていていていていていていていていていていていていていていていていていていてい				数当本			
(日本任金の関係と関係を対しているとの表すであります。 (2015) (2015)	・コアカリキュラム	1年			4	5年	6年
原基金の登出を発酵を対象に対すが1、(20年) 1 日本の	他の研究者の意見を理解し、討論する能力を身につける。			卒	镁研究	卒業研究	卒業研究
1. 原法の必要とは特別を会に関する。 (1) 原本の必要には、 (1) 原本の必要には、 (1) 原本の必要には、 (1) 原本の必要には、 (1) 原本の主要には、 (1) 原本の主	IJ						
(1) 高度機能型を発展を担い、それを検討する。(意思) 総合表示所書 (2) 高度機能型を発展を開催し、それを検討するが出たを確認する。(意思) 国施中入門 (3) 重要機能が必要を発展して、生態において自ら学習する大切を表認はする。(意思) 国施中入門 (3) 重要機能が必要を発展して、生態において自ら学習する大切を表認はする。(意思) 国施中入門 (3) 重要機能が必要を発展して、生態において自ら学習する大切を表認はする。(意思) 国施中入門 (3) 重要機能が必要を発展して、生態において自ら学習する大切を表認する。(意思) 国施中入門 (3) 有限機能が発展が変を対象する。(事態) 国施中入門 (3) 有限を記さらが表を経験できる。(事態) 国施中入門 (3) 対策的に対応が変を対象が変を対象できる。(事態) 国施中公門 (3) 対策を記さいを表現し、協力してよりより確認を要担すことができる。(技能) 国施中公門 (3) 対策を記を表達し、協力してよりより確認を表現する。(技能) (事務を記を表する) (4) 対立を記をを返し、協力してよりより確認はを担せてこかできる。(技能) (事務を表する語し、協力してよりより確認できる。(技能) (4) 対立を記を表現し、協力してよりより確認する。(技能) (事務を記する語) (5) 重要の心理状態を問題し、記述する。(地球・砂度) (地域・砂度) (5) 重要の心理状態を問題し、記述する。(地域・砂度) (地域・砂度) (5) 重要の心理状態を問題し、記述する。(地域・砂度) (地域・砂度) (4) 対域を記述する。(地域・砂度) (地域・砂度) (5) 重要の心理状態を問題し、記述する。(地域・砂度) (地域・砂度) (5) 重要の心理状態を問題し、記述する。(地域・砂度) (地域・砂度)	医薬品の創製と供給が社会に及ぼす影響に常に目を向ける。				芦経済		
1 日日子童)医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。			邮	<u>作学習</u>		
(3) 原数に関与る調節的と、自ら認定を見出し、それを解決する能力を解析する。 解金等人門 解金等人門 解金等人門 2) 原数の開から、自ら認定を見出し、それを解決する能力を解析する。 所名等人門 解表が開発 2) 原数の指数に対して、注述でわたって自ら等面する大切さを指数する。 原数学人門 解表が開発 (3) 最新版の基本を創まして、注述でわたって自ら等面する大切さを指数する。 原数学人門 自然等人門 (3) 最新的に対しが異なるによって、コミュニケーションのかり方が異なることを明示できる。 原数学人門 中間学習 コニケーションと コニューケーションのかり方が異なることを明示できる。 中間学習 コニケーションと コニューケーションと コニューケーションのかり方が異なることを明示できる。 中間学習 コニケーションと コニューケーションと コニューケーションと フェム医療し、適のに対応する。(技術) 中間学習 コニケーションと コニューケーションと コニューケーションと フェム医療 コニューケーションと コニューケーター コニューケーションと コニューケーションと コニューケーションと コニューケーター コニューケーター コニューケーター コニューケー コニュ	【自己学習·生涯学習】						
# 2 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (医療に関わる諸問題から、自ら課題を見出し、それを解決する能力を醸成す (知識・技能・態度)		総合薬学演習	四間	末倫理学 <mark>前学習</mark>	病院実習	
13)医療の担い手として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識する。(態度)	医療学入門		1 5 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7	末倫理学	病院実習、薬局実習	
1) 高語的なよび非常語的コミュニケーションの方法を認認できる。 医療学入門 医療学入門 上級数 2) 総思、情報の伝達に必要な要素を列挙できる。 医療学入門 医療学入門 日本位置 3) 相手の立場、文化、習慣などによって、コミューケーションのあり方が異なることを例示できる。 医療学入門 日本位置 1) 対人顕信に必要な要素を列挙できる。 日本の立場が書きる。 本前学習 1) 対人顕信に必要な定する国際できる。 1) 対人顕信に必要な定する国際できる。 本前学習 2) 相手の心理状態とその変化に配慮し、造のに対なする。(知識・態度) 日本の心理状態とその変化に配慮し、造のに対なする。(知識・態度) 本前学習 3) 対立委見を専産し、協力してよりよい解決議を見出すことができる。(技能) 1) 所気が結構に反ぼす心理的影響について説明できる。 本前学習 2) 出手の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度) 日本主意の 第二をデーション 第二を変する音 本面を変す流音 2) 赤色心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度) 1 本面学型 2) 赤色心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度) 1 本面学型 2) 赤色心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度) 1 本面学型 2) ボーム医療・ション コミューラ・コンコニーラ・コンコニーク・コンコニーラ・コンコニーラ・コンコニーラ・コンコニーラ・コンコニーラ・コンコニーラーラ・コンコニーラ・コンコニーラ・コンコニーラーフェーラ・コンコニーラ・コンコニーラーラーファニーラーフェーラ・コンコニーラーフェーラ・コンコニーラーファーフェーラーフェーラーファニーラーフェーラーファーフェーラーファーフェーラーフェーラーフェーラーファーフェーラーファーフェーラーフェーラ	信頼関係の確立を目指し						
1) 高級的および非高級的コミュニケーションの方法を挑放できる。 医療学入門 医療学入門 2) 表現、情報の伝達に必要な要素を別挙できる。 医療学入門 医療学入門 3) 相手の広場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。 医療学入門 手工を除ってまりまし、指力に対応する。 1) 対人服所に影響を及ぼす心理的要因を顕統できる。 上面保事業 2) 相手の心理状態とその変化に確定し、適力に対応する。(知識・態度) 上面保事 3) 対立意見を等重し、指力してよりよい解決法を見出すことができる。(技能) 上面保事 1) 病気が患者に配慮する。 上面は状態を指数に配慮する。 2) 患者の応導に及ぼす心理的影響について説明できる。 上面に表現・ション ままに表現を使用 2) 患者の応導は影響に関係を指数に関係を表現を振起し、配慮する。(知識・態度) 上面に表現・ション ままに表現・ション ままに表現を表現に関係を表現を提出し、配慮する。(知識・態度)	===						
2) 意思、情報の伝達に必要な要素を列挙できる。 医療学人門 医療学人門 日本に至かっまっました。 3) 相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。 医療学人門 日本に登録 日本に登録 1) 対人関係に影響を及ぼす心理的変因を振説できる。 1) 対人関係に影響を及ぼす心理的変因を振説できる。 本に登録 2) 相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する。(地館・憩度) 本の必要を表現を表現と、協力してよりよい構決法を見出すことができる。(体館) 本の必要を表現を表現を記録 本の必要を表現を表現を表現を表現を表現し、配慮する。(地館・総度) 3) 対立意見を確重し、協力してよりよい構決法を見出すことができる。(体館) (食者の気持ちに配慮する) 本の必要や実施器 事前学器 1) 病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。 1) 病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。 本前学器 2) 患者の心理状態を把握し、配慮する。(知識・総度) 本面が変異 1 当にイン・コンコンコンコンロ・フェンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコ	言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。	医療学入門		<u>事</u> 二十	ノ=ゲー		
(相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。 医機学入門 事業が受置 (相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。 1) 対人関係に影響を及ぼす心理的要固を概説できる。 主流に至かっまります。 2) 相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する。(知識・態度) 事前学習 事前学習 3) 対立意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(技能) 事前学習 事前学習 1) 病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。 1) 病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。 事前学習 2) 患者の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度) 第40章学演習 事前学習 2) 患者の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度) 第40年度)意思、情報の伝達に必要な要素を列挙できる。	医療学入門		<u>華</u> 口	ノョン		
(相手の気持ちに配慮する) 1) 対人関係に影響を及ぼす心理的要因を概認できる。 事前学習 コミュニケーション コラュニケーション 独立意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(技能) 事前学習 コミュニケーション チーム医療 まず立との心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度) 2) 相手の心理状態をその変化に配慮し、適切に対応する。(技能) 事前学習 コミュニケーション チーム医療 まず立 アーション フェニケーション フェーケーション フェーケーケーション フェーケーケーション フェーケーケー フェーケーケーション フェーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケ	相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。	医療学入門		<u>事</u> 口 :- - 千	ン=ゲー		
With Table 1 (2005) 本語 (2005) A D L C と り よ い 解決法を見出すことができる。 (技能) 本語 (技能) A D L C と り よ い 解決法を見出すことができる。 (技能) 本語 (技能) A D L C と り よ い 解決法を見出すことができる。 (技能) 本語 (2005) T L D E 級 本語 (2005) A D L C と り よ い 解決法を見出すことができる。 (技能) 本語 (2005) T L D E 級 オーム E 級 T L D E 級							
その変化に配慮し、適切に対応する。(知識・態度) 車舶学習 コミュニケーション デーム医療 事前学習 コミュニケーション まん 医療 コミュニケーション がっ理的影響について説明できる。 車前学習 コミュニケーション デーム医療 事前学習 コミュニケーション デーム医療 コミュニケーション コミュニケーション コミュニケーション コミュニケーション コミュニケーション コミュニケーション コミュニケーション コミュニケーション デーム医療 ヨ前学習 コミュニケーション デーム医療 コミュニケーション コード ロード ロード ロード ロード ロード ロード ロード ロード ロード ロ	対人関係に影響を及ぼす心理的要因を概説できる			<u>事</u> 日 11: 14-	√ ≡ ゲ−		
協力してよりよい解決法を見出すことができる。(技能) 集台薬学演習 事前学習 5】 キーム医療 5】 キーム医療 すい理的影響について説明できる。 事前学習 で程し、配慮する。(知識・態度) 事前学習 ごまっこケーション アーション アーション で施して記載する。(知識・態度) 事前学習 で加速する。(知識・態度) サーム医療 中央の関係 サーム医療 中央の関係 サーム医療 中の関係 サーム医療 中の関係 サーム医療 中の関係 サーム医療	相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する。		総合薬学演習	<u>事</u> 口: 子-	ノ=ツー		
あ】 事前学習 コミュニケーション チーム医療 チーム医療 ま 前学習 コミュニケーション チーム医療 チーム医療 コミュニケーション オーム医療 オーム医療 コミュニケーション オーム医療 チーム医療 キーム医療 オーム医療 チーム医療 キーム医療 キーム医療 カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	対立意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。		総合薬学演習	<u>事</u> コ:ロ:チ-	ν ν μ		
病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。事前学習 コミュニケーション チーム医療 まもの心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度)事前学習 コミュニケーション チーム医療 チーム・ロージョン チーム・ローグ ロージャーム・ローム・ローグ ロージャーム・ローグ ロージョン チーム・ローグ ロージャーム・ロージョン チーム・ローグ ローグ・ローグ ローグ ローグ・ローグ ローグ・ローグ ローグ ローグ ロージャーム・ローグ ロージャーム・ローグ ローグ ローグ ローグ ローグ ローグ ローグ ローグ ローグ ローグ	【患者の気持ちに配慮する】						
事前学習 コミュニケーション チーム医療	病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる			<u>事</u> 二十	ノ=ツー		
a line and)患者の心理状態を把握し、配慮する。(知識・			<u>事</u> 口子 一子	ノ ョン		
<u>ま即す員</u> 3)患者の家族の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度) チーム医療)患者の家族の心理状態を把握し、配慮する。(知識			<u>事</u> 口十	・ ・ ・ ・		
4)患者やその家族の持つ価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できるよう努力する。 〔態度〕 子一ム医療	患者やその家族の持つ価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できるよう努力す (態度)			<u>事</u> 口子 一子	ノョン		
5)不自由体験などの体験学習を通して、患者の気持ちについて討議する。(知識・態度))不自由体験などの体験学習を通して、患者の気持ちについて討議する。(知識・			董	<u> </u>		

1 2 3 1			新	科 目		
楽字教育モナル・コアカリチュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[≠−47−5]						
1)チームワークの重要性を例示して説明できる。	医療学入門		総合薬学演習	<u>事前学習</u> コミュニケーションと チーム医療		
2)チームに参加し、協調的態度で役割を果たす。(態度)	医療学入門		総合薬学演習	<u>事前学習</u> コミュニケーションと チーム医療		
3)自己の能力の限界を認識し、必要に応じて他者に援助を求める。(態度)			総合薬学演習	コミュニケーションと チーム医療	病院実習	
【地域社会の人々との信頼関係】						
1)薬の専門家と地域社会の関わりを列挙できる。	医療学入門			事前学習		
2)薬の専門家に対する地域社会のニーズを収集し、討議する。(態度)				事前学習		
B イントロダクション						
(1) 薬学への招待						
【薬学の歴史】			-			
1)薬学の歴史的な流れと医療において薬学が果たしてきた役割を概説できる。	薬学概論			事前学習		
2)薬剤師の誕生と変遷の歴史を概説できる。	灤 字			事前学習		
【薬剤師の活動分野】						
- 1)薬剤師の活動分野(医療機関、製薬企業、衛生行政など)について概説できる。			医療薬剤学	薬学経済		
2)薬剤師と共に働く医療チームの職種を挙げ、その仕事を概説できる。			医療薬剤学	薬学経済		
3) 医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。			医療薬剤学			臨床薬物動態学
4) 医薬品の創製における薬剤師の役割について概説できる。			医療薬剤学	薬学経済		
5)疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割について概説できる。			医療薬剤学			
【薬について】		_	-	_		
1)「薬とは何か」を概説できる。	薬学概論		富山のくすり学 <mark>総合薬学演習</mark>	事前学習		
2)薬の発見の歴史を具体例を挙げて概説できる。	薬学概論		富山のくすり学 <mark>総合薬学演習</mark>	事前学習		
3) 化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れを概説できる。	薬学概論		総合薬学演習			
4)種々の剤形とその使い方について概説できる。			富山のくすり学			
5) 一般用医薬品と医療用医薬品の違いを概説できる。			富山のくすり学			
【現代社会と薬学との接点】						
1) 先端医療を支える医薬品開発の現状について概説できる。				薬学経済		
2) 麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響を概説できる。			衛生科学工			
3)薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。	医療学入門		富山のくすり学			
【日本薬局方】						
1) 日本薬局方の意義と内容について概説できる。		生薬学	富山のくすり学 <mark>物理薬剤学</mark>			
【総合演習】						

1 1 1 1 1			数	科 目		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1) 医療と薬剤師の関わりについて考えを述べる。(態度)				事前学習、臨床倫理学		
2) 身近な医薬品を日本薬局方などを用いて調べる。(技能)				事前学習		
(2)早期体験学習						
1)病院における薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。	薬学概論					
2) 開局薬剤師の業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。(知識・態度)	薬学概論					
3) 製薬企業および保健衛生、健康に関わる行政機関の業務を見聞し、社会において果たしている役割について討議する。(知識・態度)	薬学概論					
4)保健、福祉の重要性を具体的な体験に基づいて発表する。(知識・態度)	医療学入門					
C 薬学専門教育						
[物理系薬学を学ぶ]						
(1) 物質の物理的性質						
(1)物質の構造						
【化学結合】					-	
1)化学結合の成り立ちについて説明できる。	物理有機化学 基礎化学 基礎有機化学 II					
2)軌道の混成について説明できる。	物理有機化学 基礎化学 基礎有機化学 II					
3)分子軌道の基本概念を説明できる。	物理有機化学 基礎化学 基礎有機化学 II					
4)共役や共鳴の概念を説明できる。	物理有機化学 基礎化学 基礎有機化学 II	有機化学 I				
【分子間相互作用】						
1)静電相互作用について例を挙げて説明できる。	物理化学]		薬品物理化学 ケミカルバイオロジーI			
2) ファンデルワールスカについて例を挙げて説明できる。	物理化学]		薬品物理化学 ケミカルバイオロジーI			
3) 双極子間相互作用について例を挙げて説明できる。	物理化学]	化学系実習(分子機能)	ケミカルバイオロジー1			
4)分散力について例を挙げて説明できる。	物理化学]		ケミカルバイオロジー1			
5) 水素結合について例を挙げて説明できる。	物理化学]	化学系実習(分子機能)	ケミカルバイオロジー1			
6) 電荷移動について例を挙げて説明できる。			ケミカルバイオロジー1			

- H - H - H			数当本			
米子牧両七ナル・コアガリナユフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
フ)疎水性相互作用について例を挙げて説明できる。	物理化学I	化学系実習(分子機能)	薬品物理化学 ケミカルバイオロジー] 構造生物学			
【原子·分子】						
1)電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。	物理有機化学 物理化学 I	機器分析 化学系実習(分子機能)	構造生物学			
2)分子の振動、回転、電子遷移について説明できる。	物理有機化学	機器分析				
3) スピンとその磁気共鳴について説明できる。	物理化学1	機器分析	構造生物学			
4)分子の分極と双極子モーメントについて説明できる。	物理化学]	機器分析 化学系実習(分子機能)				
5)代表的な分光スペクトルを測定し、構造との関連を説明できる。(知識・技能)		機器分析 化学系実習(分子機能)				
6)偏光および旋光性について説明できる。		<u>化学系実習(分子機能)</u> 応用分析化学				
7)散乱および干渉について説明できる。	物理有機化学 物理化学]					
8)結晶構造と回折現象について説明できる。		物理系実習(物理化学1)	構造生物学			
【放射線と放射能】						
1) 原子の構造と放射壊変について説明できる。	物理化学1					
2) 電離放射線の種類を列挙し、それらの物質との相互作用について説明できる。	物理化学]					
3)代表的な放射性核種の物理的性質について説明できる。	物理化学]					
4)核反応および放射平衡について説明できる。	物理化学]					
5) 放射線の測定原理について説明できる。	物理化学]					
(2)物質の状態 I 【総論】						
1)ファンデルワールスの状態方程式について説明できる。	基礎化学	物理化学11				
2) 気体の分子運動とエネルギーの関係について説明できる。	物理化学1	物理化学11				
3) エネルギーの量子化とボルツマン分布について説明できる。	物理化学1					
【エネルギー】						
1)系、外界、境界について説明できる。	基礎化学 物理有機化学	物理化学 []				
2)状態関数の種類と特徴について説明できる。	基礎化学	物理化学[]				
3)仕事および熱の概念を説明できる。	基礎化学	物理化学[]				
4) 定容熱容量および定圧熱容量について説明できる。	基礎化学	物理化学!!				
5)熱力学第一法則について式を用いて説明できる。	基礎化学	物理化学]]				
6)代表的な過程(変化)における熱と仕事を計算できる。(知識、技能)	基礎化学	物理化学11				

; ;			数 当 科			
楽字教育七ナル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
7)エンタルピーについて説明できる。	基礎化学 物理有機化学	物理化学11				
8)代表的な物理変化、化学変化に伴う標準エンタルピー変化を説明し、計算できる。(知識、技能)	<mark>基礎化学</mark> 物理有機化学	物理化学11				
9)標準生成エンタルピーについて説明できる。	基礎化学 物理有機化学	物理化学11				
[自発的な変化]						
1)エントロピーについて説明できる。	基礎化学 物理有機化学	物理化学11				
2)熱力学第二法則について説明できる。	基礎化学 物理有機化学	物理化学11				
3)代表的な物理変化、化学変化に伴うエントロピー変化を計算できる。(知識、技能)	基礎化学 物理有機化学	物理化学11				
4)熱力学第三法則について説明できる。	基礎化学	物理化学[]				
5)自由エネルギーについて説明できる。	基礎化学 物理有機化学	物理化学[] 生物物理化学				
6)熱力学関数の計算結果から、自発的な変化の方向と程度を予測できる。(知識、技能)	基礎化学	物理化学[]				
7) 自由エネルギーの圧力と温度による変化を、式を用いて説明できる。	基礎化学	物理化学[]				
> > 8)自由エネルギーと平衡定数の温度依存性(van't Hoffの式)について説明できる。 ————————————————————————————————————	基礎化学 物理有機化学	物理化学[]				
9) 共役反応について例を挙げて説明できる。		有機化学 I				
(3) 物質の状態 II						
【物理平衡】						
1)相変化に伴う熱の移動(Glausius-Glapeyronの式など)について説明できる。		物理化学11				
ついて説明できる。		物理化学]]				
3)代表的な状態図(一成分系、二成分系、三成分系相図)について説明できる。		物理化学]]				
4)物質の溶解平衡について説明できる。		物理化学]]				
5)溶液の東一的性質(浸透圧、沸点上昇、凝固点降下など)について説明できる。		物理化学11 生物物理化学				
6) 界面における平衡について説明できる。			薬品物理化学			
7)吸着平衡について説明できる。		薬品や ケミナ	薬品物理化学 ケミカルバイオロジーI			
8)代表的な物理平衡を観測し、平衡定数を求めることができる。(技能)	物理有機化学					
[溶液の化学]						
1) 化学ポテンシャルについて説明できる。	基礎化学	物理化学!!				
2)活量と活量係数について説明できる。			薬品物理化学			
3) 平衡と化学ポテンシャルの関係を説明できる。	基礎化学	物理化学!!				
			薬品物理化学			
5) イオンの輸率と移動度について説明できる。		薬品物	薬品物理化学			

(3080) / 二十二十八一, 二十八十二, 二十八十二, 二十八十二, 二十二十八二, 二十二十二, 二十二十二, 二十二,			該 当 科	Ш		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
6) イオン強度について説明できる。		3薬	薬品物理化学			
7) 電解質の活量係数の濃度依存性 (Debye-Hückel の式) について説明できる。			薬品物理化学			
【電気化学】						
1) 代表的な化学電池の種類とその構成について説明できる。	基礎化学	3 董	薬品物理化学			
2)標準電極電位について説明できる。	基礎化学	生物物理化学 薬品	薬品物理化学 医療系実習(生物物理化学)			
3)起電力と標準自由エネルギー変化の関係を説明できる。	基礎化学	生物物理化学	薬品物理化学 医療系実習(生物物理化学)			
4)Nernstの式が誘導できる。	基礎化学	生物物理化学	薬品物理化学 医療系実習(生物物理化学)			
5)濃淡電池について説明できる。	基礎化学	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	薬品物理化学			
6)膜電位と能動輸送について説明できる。		生物物理化学	トランスポーター論			
(4)物質の変化 【反応速度】						
1)反応次数と速度定数について説明できる。	基礎化学	物理化学11 化学系実習(分子機能)				
2)微分型速度式を積分型速度式に変換できる。(知識・技能)	基礎化学	物理化学11 物理系実習(物理化学11)				
3)代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。	基礎化学	物理化学11				
- 4)代表的な(擬)一次反応の反応速度を測定し、速度定数を求めることができる。(技能)	基礎化学	物理系実習(物理化学II) 化学系実習(分子機能)				
5) 代表的な複合反応(可逆反応、平行反応、連続反応など)の特徴について説明できる。		物理化学11				
6)反応速度と温度との関係(Arrheniusの式)を説明できる。	基礎化学 物理有機化学	物理化学1.1				
7) 衝突理論について概説できる。		物理化学]]				
8) 遷移状態理論について概説できる。		物理化学11 有機化学 1 有機化学 1				
9)代表的な触媒反応(酸・塩基触媒反応など)について説明できる。	基礎有機化学工	物理化学11 有機化学1 有機化学1	ミカル・バイオロジーエ			
10) 酵素反応、およびその拮抗阻害と非拮抗阻害の機構について説明できる。		生物物理化学 基礎生化学 I	生物系実習(生化学)			
【物質の移動】						
1)拡散および溶解速度について説明できる。		生物物理化学				
2)沈降現象について説明できる。		柳	物理薬剤学			
3)流動現象および粘度について説明できる。		K	医療系実習(生物物理化学)			
C2 化学物質の分析						
(1) 化学平衡 【酸と塩基】						

薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年			5年	6年
1)酸・塩基平衡を説明できる。		生物物理化学 分析化学				
2)溶液の水素イオン濃度(pH)を測定できる。(技能)		分析化学				
3)溶液のpHを計算できる。(知識・技能)		生物物理化学 分析化学				
4)緩衝作用について具体例を挙げて説明できる。		生物物理化学 分析化学				
5)代表的な緩衝液の特徴とその調製法を説明できる。		生物物理化学 分析化学				
6)化学物質のpHによる分子形、イオン形の変化を説明できる。		生物物理化学 分析化学				
【各種の化学平衡】						
1) 錯体・キレート生成平衡について説明できる。		分析化学				
2) 沈殿平衡 (溶解度と溶解度積) について説明できる。		分析化学				
3)酸化還元電位について説明できる。		<u>化学系実習(分子機能)</u> 分析化学				
4)酸化還元平衡について説明できる。		分析化学				
5)分配平衡について説明できる。		分析化学				
6) イオン交換について説明できる。		分析化学				
2 (2) 化学物質の検出と定量						
【定性試験】						
1)代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。		分析化学				
2) 日本薬局方収載の代表的な医薬品の確認試験を列挙し、その内容を説明できる。		分析化学				
3) 日本薬局方収載の代表的な医薬品の純度試験を列挙し、その内容を説明できる。		分析化学				
[定量の基礎]						
1)実験値を用いた計算および統計処理ができる。(技能)		分析化学 化学系実習(分子機能) 物理系実習(分析化学)				
2) 医薬品分析法のバリデーションについて説明できる。		分析化学				
3)日本薬局方収載の重量分析法の原理および操作法を説明できる。		分析化学				
4) 日本薬局方収載の容量分析法について列挙できる。		分析化学				
5)日本薬局方収載の生物学的定量法の特徴を説明できる。		分析化学				
【容量分析】						
1)中和滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		分析化学				
2)非水滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		分析化学				
3)キレート滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		分析化学				
4)沈殿滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		分析化学				
000		分析化学				
6)電気滴定(電位差滴定、電気伝導度滴定など)の原理、操作法および応用例を説明できる。		分析化学				
7)日本薬局方収載の代表的な医薬品の容量分析を実施できる。(技能)		物理系実習(分析化学)				

1			数 服 本			
条子教育モナル・コノカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【金属元素の分析】						
1) 原子吸光光度法の原理、操作法および応用例を説明できる。		応用分析化学				
2)発光分析法の原理、操作法および応用例を説明できる。		応用分析化学 化学系実習(分子機能)				
[クロマトグラフィー]						
1)クロマトグラフィーの種類を列挙し、それぞれの特徴と分離機構を説明できる。		応用分析化学 物理系実習(物理化学]) 化学系実習(分子機能)				
2)クロマトグラフィーで用いられる代表的な検出法と装置を説明できる。		応用分析化学 物理系実習(物理化学I) 化学系実習(分子機能)				
3)薄層クロマトグラフィー、液体クロマトグラフィーなどのクロマトグラフィーを用いて代表的な化学物質を分離分析できる。(知識・技能)		化学系実習(分子機能) 応用分析化学 物理系実習(分析化学)				
(3)分析技術の臨床応用						
【分析の準備】		-	-		<u>-</u>	
1)代表的な生体試料について、目的に即した前処理と適切な取扱いができる。(技能)			医療系実習(薬剤学) 医療系実習(薬理学)			
赵 🛛 2)臨床分析における精度管理および標準物質の意義を説明できる。		分析化学				
【分析技術】						
1) 臨床分析の分野で用いられる代表的な分析法を列挙できる。		応用分析化学				
2)免疫反応を用いた分析法の原理、実施法および応用例を説明できる。		応用分析化学	免疫学 生物系実習(衛生化学)			
3) 酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)		応用分析化学	医療系実習(生物物理化学)			
4)電気泳動法の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)		応用分析化学 物理系実習(物理化学I)	生物系実習(衛生化学)			
5)代表的なセンサーを列挙し、原理および応用例を説明できる。		応用分析化学				
代表的なドライケミストリーについて概説できる。		応用分析化学				
7)代表的な画像診断技術(X線検査、CIスキャン、MRI、超音波、核医学検査など)について概説 できる。	物理化学]	応用分析化学	構造生物学			
8) 画像診断薬(造影剤、放射性医薬品など)について概説できる。	物理化学]	応用分析化学				
9)薬学領域で繁用されるその他の分析技術(バイオイメージング、マイクロチップなど)について概説できる。		応用分析化学				
【薬毒物の分析】						
1)毒物中毒における生体試料の取扱いについて説明できる。			衛生科学工			
2)代表的な中毒原因物質(乱用薬物を含む)のスクリーニング法を列挙し、説明できる。			衛生科学工			
3)代表的な中毒原因物質を分析できる。(技能)					病院実習	

楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C3 生体分子の姿・かたちをとらえる						
1) 生体分子を解析する手法						
【分光分析法】					-	
1)紫外可視吸光度測定法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる。		物理系実習(物理化学I) 化学系実習(分子機能) 機器分析 応用分析化学	医療系実習(生物物理化学)			
2)蛍光光度法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる。		物理系実習(物理化学1) 化学系実習(分子機能) 機器分析 応用分析化学				
3) 赤外・ラマン分光スペクトルの原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。		機器分析。				
4)電子スピン共鳴 (ESR) スペクトル測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。	物理化学]					
5) 旋光度測定法(旋光分散)、円偏光二色性測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について 説明できる。		応用分析化学	構造生物学			
6)代表的な生体分子(核酸、タンパク質)の紫外および蛍光スペクトルを測定し、構造上の特徴と関連付けて説明できる。(知識・技能)		物理系実習(物理化学I)				
【核磁気共鳴スペクトル】						
1) 核磁気共鳴スペクトル測定法の原理を説明できる。	物理化学I	機器分析 化学系実習(有機化学) 応用分析化学	構造生物学			
2)生体分子の解析への核磁気共鳴スペクトル測定法の応用例について説明できる。		機器分析	構造生物学			
【質量分析】						
1)質量分析法の原理を説明できる。		機器分析 <u>化学系実習(有機化学)</u> 応用分析化学				
2)生体分子の解析への質量分析の応用例について説明できる。		機器分析 応用分析化学				
【X線結晶解析】						
1) X線結晶解析の原理を概説できる。		<u>物理系実習(物理化学I)</u> 応用分析化学	構造生物学			
2)生体分子の解析へのX線結晶解析の応用例について説明できる。		生物物理化学 <u>物理系実習(物理化学I)</u> 応用分析化学	構造生物学			
【相互作用の解析法】						
1) 生体分子間相互作用の解析法を概説できる。		応用分析化学				
(2) 生体分子の立体構造と相互作用						
【工体構造】						

3) /=-+ +4-			該当科	皿		
1+0001	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)生体分子(タンパク質、核酸、脂質など)の立体構造を概説できる。	生命科学 I	生物物理化学	ケミカルバイオロジー] 構造生物学			
	生命科学 I		構造生物学			
3) タンパク質の立体構造を規定する因子(疎水性相互作用、静電相互作用、水素結合など)について、具体例を用いて説明できる。	生命科学 I		構造生物学			
4)タンパク質の折りたたみ過程について概説できる。	生命科学 I	生物物理化学 基礎生化学 1	構造生物学			
5)核酸の立体構造を規定する相互作用について、具体例を挙げて説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 1	ケミカルバイオロジー1			
6)生体膜の立体構造を規定する相互作用について、具体例を挙げて説明できる。	生命科学 I		ケミカルバイオロジー1			
【相互作用】						
1)鍵と鍵穴モデルおよび誘導適合モデルについて、具体例を挙げて説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 1	構造生物学			
2) 転写・翻訳、シグナル伝達における代表的な生体分子間相互作用について、具体例を挙げて説明 できる。	生命科学 I	基礎生化学 1				
3)脂質の水中における分子集合構造(膜、ミセル、膜タンパク質など)について説明できる。	生命科学 I	生物物理化学	ケミカルバイオロジー1			
 4)生体高分子と医薬品の相互作用における立体構造的要因の重要性を、具体例を挙げて説明できる。 			ケミカルバイオロジー] トランスポーター論 構造生物学			
C4 化学物質の性質と反応						
(1) 化学物質の基本的性質 【基本事項】						
1) 基本的な化合物を命名し、ルイス構造式で書くことができる。	基礎有機化学] 基礎有機化学 II	有機化学 I 有機化学 II				
2)薬学領域で用いられる代表的化合物を慣用名で記述できる。	基礎有機化学工	生物物理化学 有機化学 I 有機化学 I	医療系実習(生物物理化学) トランスポーター論			
3) 有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。	基礎有機化学] 基礎有機化学 II	有機化学 I 有機化学 II				
4) 有機反応における結合の開裂と生成の様式について説明できる。	基礎有機化学工	有機化学 I 有機化学 II				
5)基本的な有機反応(置換、付加、脱離、転位)の特徴を概説できる。	基礎有機化学工	有機化学 I 有機化学 II				
6) ルイス酸・塩基を定義することができる。	基礎有機化学]	有機化学 I 有機化学 II				
7)炭素原子を含む反応中間体(カルボカチオン、カルバニオン、ラジカル、カルベン)の構造と性質 を説明できる。	基礎有機化学] 基礎有機化学 II	有機化学 I 有機化学 II				
8)反応の進行を、エネルギー図を用いて説明できる。	物理有機化学 基礎有機化学]	有機化学 I 有機化学 II				

				科目		
楽字教育モナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
9)有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。	基礎有機化学1 基礎有機化学 II	有機化学 I 有機化学 I				
【有機化合物の立体構造】						
1)構造異性体と立体異性体について説明できる。	基礎有機化学I 基礎有機化学I	応用分析化学				
2) キラリティーと光学活性を概説できる。	基礎有機化学]	応用分析化学				
3) エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。	基礎有機化学]	応用分析化学				
4) ラセミ体とメソ化合物について説明できる。	基礎有機化学]	応用分析化学				
5)絶対配置の表示法を説明できる。	基礎有機化学1	応用分析化学				
6)Fischer投影式とNewman投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる。	基礎有機化学]		ケミカルバイオロジー1			
7) エタンおよびブタンの立体配座と安定性について説明できる。	基礎有機化学1					
【無機化合物】					-	
1)代表的な典型元素を列挙し、その特徴を説明できる。		無機化学				
2)代表的な遷移元素を列挙し、その特徴を説明できる。		無機化学				
3) 窒素酸化物の名称、構造、性質を列挙できる。		無機化学				
4) イオウ、リン、ハロゲンの酸化物、オキソ化合物の名称、構造、性質を列挙できる。		無機化学				
5)代表的な無機医薬品を列挙できる。		無機化学				
[
1)代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。		分析化学無機化学				
2)配位結合を説明できる。		<u>分析化学</u> 無機化学				
3)代表的なドナー原子、配位基、キレート試薬を列挙できる。		分析化学無機化学				
4)錯体の安定度定数について説明できる。		分析化学 無機化学				
5)錯体の安定性に与える配位子の構造的要素(キレート効果)について説明できる。		分析化学 無機化学				
6) 錯体の反応性について説明できる。		無機化学				
7)医薬品として用いられる代表的な錯体を列挙できる。		分析化学 無機化学				
(2) 有機化合物の骨格 【アルカン】						
1)基本的な炭化水素およびアルキル基をIUPACの規則に従って命名することができる。	基礎有機化学]					
2) アルカンの基本的な物性について説明できる。	基礎有機化学1					
3)アルカンの構造異性体を図示し、その数を示すことができる。	基礎有機化学[
4)シクロアルカンの環の歪みを決定する要因について説明できる。	基礎有機化学[
ンクロヘキサンのいす形配座と舟形配座を図示できる。	基礎有機化学1					
6)シクロヘキサンのいす形配座における水素の結合方向(アキシアル、エクアトリアル)を図示できる。	基礎有機化学]					

薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	- -	っ年	П		7.	の任
	+			+	+	
7)置換シクロヘキサンの安定な立体配座を決定する要因について説明できる。	基礎有機化学]					
【アルケン・アルキンの反応性】						
1)アルケンへの代表的なシン型付加反応を列挙し、反応機構を説明できる。	基礎有機化学工					
2)アルケンへの臭素の付加反応の機構を図示し、反応の立体特異性(アンチ付加)を説明できる。	基礎有機化学工					
3)アルケンへのハロゲン化水素の付加反応の位置選択性 (Markovnikov 則) について説明できる。	基礎有機化学工					
4)カルボカチオンの級数と安定性について説明できる。	基礎有機化学工	有機化学 I				
5) 共役ジェンへのハロゲンの付加反応の特徴について説明できる。	基礎有機化学工					
6)アルケンの酸化的開裂反応を列挙し、構造解析への応用について説明できる。	基礎有機化学工					
7)アルキンの代表的な反応を列挙し、説明できる。	基礎有機化学工					
【芳香族化合物の反応性】						
1) 代表的な芳香族化合物を列挙し、その物性と反応性を説明できる。	基礎有機化学工	有機化学 I				
2)芳香族性(Hückel則)の概念を説明できる。	物理有機化学 基礎有機化学 II	有機化学 I				
3)芳香族化合物の求電子置換反応の機構を説明できる。		有機化学 I 化学系実習(分子機能)				
4)芳香族化合物の求電子置換反応の反応性および配向性に及ぼす置換基の効果を説明できる。		有機化学 I 化学系実習(分子機能)				
5) 芳香族化合物の代表的な求核置換反応について説明できる。		有機化学 I				
(S) 基準						
【概説】						
1)代表的な官能基を列挙し、個々の官能基を有する化合物をIUPACの規則に従って命名できる。	基礎有機化学工	有機化学 I 有機化学 II				
2)複数の官能基を有する化合物をIUPACの規則に従って命名できる。	基礎有機化学工	有機化学 I 有機化学 I				
3)生体内高分子と薬物の相互作用における各官能基の役割を説明できる。		有機化学 I 有機化学 I				
4)代表的な官能基の定性試験を実施できる。(技能)		<u>化学系実習(有機化学)</u> 物理系実習(分析化学)				
5)官能基の性質を利用した分離精製を実施できる。(技能)		化学系実習(有機化学) 化学系実習(分子機能) 物理系実習(分析化学)				
6)日常生活で用いられる化学物質を官能基別に列挙できる。		有機化学 I 有機化学 I				
[有機ハロゲン化合物]						
1) 有機ハロゲン化合物の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	基礎有機化学工	有機化学 I				
		有機化学 I				
3) ハロゲン化アルキルの脱ハロゲン化水素の機構を図示し、反応の位置選択性(Saytzeff則)を 説明できる。	基礎有機化学工	有機化学I				
【アルコール・フェノール・チオール】						
1) アルコール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。		有機化学 I				

			科 目		
米子牧月モナル・コノガリオユノム(3DOS)	1年 2年	3年	4年	5年	6年
2) フェノール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	有機化学 I				
3) フェノール類、チオール類の抗酸化作用について説明できる。	有機化学 I				
[エーテル]					
1) エーテル類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	有機化学 I				
2)オキシラン類の開環反応における立体特異性と位置選択性を説明できる。	有機化学 I				
【アルデヒド・ケトン・カルボン酸】					
1)アルデヒド類およびケトン類の性質と、代表的な求核付加反応を列挙し、説明できる。	有機化学工				
2) カルボン酸の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	有機化学工				
3)カルボン酸誘導体(酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド、ニトリル)の代表的な性質と 反応を列挙し、説明できる。	有機化学工				
[<i>マ</i> ミン]					
1) アミン類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	有機化学 I				
2)代表的な生体内アミンを列挙し、構造式を書くことができる。	有機化学 I				
【官能基の酸性度・塩基性度】					
1)アルコール、チオール、フェノール、カルボン酸などの酸性度を比較して説明できる。 基礎有機化学 I	化学工 有機化学 I				
2)アルコール、フェノール、カルボン酸、およびその誘導体の酸性度に影響を及ぼす因子を列挙し、 基礎有機化学 I 説明できる。	化学工 有機化学 I				
3) 含窒素化合物の塩基性度を説明できる。 基礎有機化学 I	化学工 有機化学 I				
(4) 化学物質の構造決定					
1)化学物質の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。	機器分析 <u>化学系実習(有機化学)</u> 応用分析化学				
Ľ¹H NMR.]					
1)NMRスペクトルの概要と測定法を説明できる。	<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析 応用分析化学				
2)化学シフトに及ぼす構造的要因を説明できる。	<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析 応用分析化学				
3) 有機化合物中の代表的水素原子について、おおよその化学シフト値を示すことができる。	<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析 応用分析化学				
4)重水添加による重水素置換の方法と原理を説明できる。	機器分析				
5) ¹ H NMRの積分値の意味を説明できる。	<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析 応用分析化学				
6)「H NMRシグナルが近接プロトンにより分裂(カップリング)する理由と、分裂様式を説明できる。	<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析 応用分析化学				

11 + = + + + + + + + + + + + + + + + + +			数 温 本			
条子教育七ナル・コアカリナユフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
7)「H NMRのスピン結合定数から得られる情報を列挙し、その内容を説明できる。	<u>化学系実習</u> 機器分析	系実習(有機化学) う析				
8)代表的化合物の部分構造を ¹ H NMR から決定できる。(技能)	化学系実習 機器分析	条実習(有機化学) 3析				
[13C NMR]	_					
1) ¹³ C NMRの測定により得られる情報の概略を説明できる。	<u>化学系実習</u> 機器分析	系実習(有機化学) 分析				
2) 代表的な構造中の炭素について、おおよその化学シフト値を示すことができる。	化学系 機器分	化学系実習(有機化学) 機器分析				
[IRスペクトル]						
1)IRスペクトルの概要と測定法を説明できる。	化学系 機器分 応用分	<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析 応用分析化学				
2)IRスペクトル上の基本的な官能基の特性吸収を列挙し、帰属することができる。(知識・技能)	化学系 機器分 応用分	<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析 応用分析化学				
[紫外可視吸収スペクトル]						
1)化学物質の構造決定における紫外可視吸収スペクトルの役割を説明できる。	<u>物理》</u> 除禁分	物理系実習(物理化学1) 化学系実習(分子機能) 機器分析 応用分析化学				
[マススペクトル]						
1)マススペクトルの概要と測定法を説明できる。	化学系機器分類 化基础 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	<mark>化学系実習(有機化学)</mark> 機器分析 応用分析化学				
2)イオン化の方法を列挙し、それらの特徴を説明できる。	<u>化学系</u> 機器分 応用分	<mark>化学系実習(有機化学)</mark> 機器分析 応用分析化学				
3)ピークの種類(基準ピーク、分子イオンピーク、同位体ピーク、フラグメントピーク)を説明ができる。	化学系 機器分 応用分	<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析 応用分析化学				
4)塩素原子や臭素原子を含む化合物のマススペクトルの特徴を説明できる。	化学系 機器分 応用分	化学系実習(有機化学) 機器分析 応用分析化学				
5)代表的なフラグメンテーションについて概説できる。	化学系 機器分 応用分	<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析 応用分析化学				
6)高分解能マススペクトルにおける分子式の決定法を説明できる。	機器分析	3.桥				

			,			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)			級			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
7)基本的な化合物のマススペクトルを解析できる。(技能)		<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析				
【比旋光度】						
1) 比旋光度測定法の概略を説明できる。		応用分析化学				
2) 実測値を用いて比旋光度を計算できる。(技能)		応用分析化学				
3)比旋光度と絶対配置の関係を説明できる。		応用分析化学				
4) 旋光分散と円二色性について、原理の概略と用途を説明できる。		応用分析化学				
【総合演習】						
1)代表的な機器分析法を用いて、基本的な化合物の構造決定ができる。(技能)		化学系実習(有機化学) 機器分析				
C5 ターゲット分子の合成						
(1) 官能基の導入・変換						
1)アルケンの代表的な合成法について説明できる。	基礎有機化学工		合成化学			
2)アルキンの代表的な合成法について説明できる。	基礎有機化学工		合成化学			
3) 有機ハロゲン化合物の代表的な合成法について説明できる。	基礎有機化学工	有機化学 I	合成化学			
4)アルコールの代表的な合成法について説明できる。	基礎有機化学工	有機化学 I	合成化学			
5) フェノールの代表的な合成法について説明できる。		有機化学 I	合成化学			
の 6)エーテルの代表的な合成法について説明できる。	基礎有機化学工	有機化学 I	合成化学			
フ)アルデヒドおよびケトンの代表的な合成法について説明できる。	基礎有機化学工	有機化学工	合成化学			
8)カルボン酸の代表的な合成法について説明できる。		有機化学工	合成化学			
9)カルボン酸誘導体(エステル、アミド、ニトリル、酸ハロゲン化物、酸無水物)の代表的な合成法について説明できる。		有機化学 II 化学系実習(分子機能)	合成化学			
10) アミンの代表的な合成法について説明できる。		有機化学 I	合成化学			
11) 代表的な官能基選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。		有機化学 I	合成化学			
12)代表的な官能基を他の官能基に変換できる。(技能)	基礎有機化学工	化学系実習(有機化学) 化学系実習(分子機能)				
(2) 複雑な化合物の合成		_				
【炭素骨格の構築法】						
1)Diels-Alder反応の特徴を具体例を用いて説明できる。		有機化学工	合成化学			
2)転位反応を用いた代表的な炭素骨格の構築法を列挙できる。	基礎有機化学工	有機化学 I 有機化学 II				
3)代表的な炭素酸のpKaと反応性の関係を説明できる。		有機化学 I				
4)代表的な炭素-炭素結合生成反応(アルドール反応、マロン酸エステル合成、アセト酢酸エステル 合成、Michael付加、Mannich反応、Grignard反応、Wittig反応など)について概説できる。		有機化学工				
【位置および立体選択性】						
1)代表的な位置選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。	基礎有機化学工	有機化学 I	合成化学			
的な立体選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。	基礎有機化学工	有機化学 I	合成化学			
【保護基】						

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			数当本			
条子教育セナル・コアカリオユフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)官能基毎に代表的な保護基を列挙し、その応用例を説明できる。		有機化学 II 化学系実習(分子機能)	合成化学			
【光学活性化合物】						
1) 光学活性化合物を得るための代表的な手法(光学分割、不斉合成など)を説明できる。			合成化学			
【総合演習】						
1)課題として与えられた化合物の合成法を立案できる。(知識・技能)	基礎有機化学工	化学系実習(分子機能)	合成化学			
2)課題として与えられた医薬品を合成できる。(技能)		<u>化学系実習(有機化学)</u> 化学系実習(分子機能)				
3)反応廃液を適切に処理する。(技能・態度)		有機化学 I 化学系実習(有機化学) 化学系実習(分子機能)				
06 生体分子・医薬品を化学で理解する						
(1) 生体分子のコアとパーツ						
【生体分子の化学構造】						
2 1) タンパク質の高次構造を規定する結合(アミド基間の水素結合、ジスルフィド結合など)および 甘互作用について説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 1	トランスポーター論 構造生物学 ケミカル・バイオロジーII 創薬化学			
2)糖類および多糖類の基本構造を概説できる。	生命科学 I	基礎生化学 11	トランスポーター論 ケミカル・バイオロジーII 創薬化学			
3)糖とタンパク質の代表的な結合様式を示すことができる。		基礎生化学 11	ケミカルバイオロジー I ケミカル・バイオロジー I 創薬化学			
4)核酸の立体構造を規定する化学結合、相互作用について説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 1	ケミカルバイオロジー I ケミカル・バイオロジー I 創薬化学			
5)生体膜を構成する脂質の化学構造の特徴を説明できる。	生命科学 I	生物物理化学	ケミカルバイオロジー I ケミカル・バイオロジー I 創薬化学			
【生体内で機能する複素環】						
1)生体内に存在する代表的な複素環化合物を列挙し、構造式を書くことができる。	基礎有機化学工					
2)核酸塩基の構造を書き、水素結合を形成する位置を示すことができる。		基礎生化学 1	ケミカルバイオロジー I 創薬化学			
3)複素環を含む代表的な補酵素(フラビン、NAD、チアミン、ピリドキサール、葉酸など)の機能を化学反応性と関連させて説明できる。		基礎生化学 11	ケミカル・バイオロジーエ			
【生体内で機能する錯体・無機化合物】						

/ II = + = + & =				科 目		
米十枚甲トナル・コノムリナコンム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)生体内に存在する代表的な金属イオンおよび錯体の機能について説明できる。		無機化学				
2)活性酸素の構造、電子配置と性質を説明できる。	<u>生物学実験</u> 物理有機化学					
3)一酸化窒素の電子配置と性質を説明できる。	物理有機化学					
【化学から観る生体ダイナミクス】						
1)代表的な酵素の基質結合部位が有する構造上の特徴を具体例を挙げて説明できる。		基礎生化学 1	ケミカル・バイオロジーロ			
2)代表的な酵素(キモトリプシン、リボヌクレアーゼなど)の作用機構を分子レベルで説明できる。		基礎生化学 1	ケミカル・バイオロジーI 創薬化学			
3)タンパク質リン酸化におけるATPの役割を化学的に説明できる。		基礎生化学	トランスポーター響ケミカル・バイオロジーロ			
(2) 医薬品のコアとパーツ						
【医薬品のコンポーネント】						
1)代表的な医薬品のコア構造(ファーマコフォア)を指摘し、分類できる。			創薬化学			
2)医薬品に含まれる代表的な官能基を、その性質によって分類し、医薬品の効果と結びつけて説明できる。			ケミカルバイオロジー! 創薬化学			
【医薬品に含まれる複素環】						
> 1)医薬品として複素環化合物が繁用される根拠を説明できる。		有機化学 I	合成化学			
2) 医薬品に含まれる代表的な複素環化合物を指摘し、分類することができる。		有機化学 I				
3)代表的な芳香族複素環化合物の性質を芳香族性と関連づけて説明できる。		有機化学 I				
4)代表的芳香族複素環の求電子試薬に対する反応性および配向性について説明できる。		有機化学 I				
5)代表的芳香族複素環の求核試薬に対する反応性および配向性について説明できる。		有機化学I				
【医薬品と生体高分子】						
1)生体高分子と非共有結合的に相互作用しうる官能基を列挙できる。			ケミカルバイオロジー I ケミカル・バイオロジー I 創薬化学			
2)生体高分子と共有結合で相互作用しうる官能基を列挙できる。			ケミカルバイオロジー I ケミカル・バイオロジーロ			
3)分子模型、コンピューターソフトなどを用いて化学物質の立体構造をシミュレートできる。 (知識・技能)		物理系実習(物理化学I)				
【生体分子を模倣した医薬品】						
1) カテコールアミンアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			創薬化学			
4 €il			創薬化学			
3)ステロイドアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			創薬化学			
4)核酸アナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			ケミカルバイオロジー I 創薬化学			
5) ペプチドアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			創薬化学			

			新	マーマ		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年			5年	6年
【生体内分子と反応する医薬品】						
1)アルキル化剤とDNA塩基の反応を説明できる。			ケミカル・バイオロジーエ 創薬化学			
2) インターカレーターの作用機序を図示し、説明できる。			ケミカル・バイオロジーエ 創薬化学			
3) β-ラクタムを持つ医薬品の作用機序を化学的に説明できる。			ケミカル・バイオロジーII 創薬化学			
C7 自然が生み出す薬物 (4) まによっまは体体						
(1) 楽になる乳作靴物【生薬とは何か】						
1)代表的な生薬を列挙し、その特徴を説明できる。		和漢 <u>医薬学入門</u> 生薬学				
2)生薬の歴史について概説できる。		和 <u>漢医薬学入門</u> 生薬学		東西医薬学		
3) 生薬の生産と流通について概説できる。		和漢 <u>医薬学入門</u> 生薬学				
(薬用植物)						
1) 代表的な薬用植物の形態を観察する。(技能)		和漢医薬学入門				
2)代表的な薬用植物の学名、薬用部位、薬効などを列挙できる。		<u>和漢医薬学入門</u> 生薬学	天然医薬資源学			
3)代表的な生薬の産地と基原植物の関係について、具体例を挙げて説明できる。		生薬学				
4)代表的な薬用植物を形態が似ている植物と区別できる。(技能)		和漢医薬学入門				
5)代表的な薬用植物に含有される薬効成分を説明できる。		生薬学	天然医薬資源学			
【植物以外の医薬資源】						
1)動物、鉱物由来の医薬品について具体例を挙げて説明できる。		生薬学	天然医薬資源学			
は成分の構造と生合成】 … エ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		; ;				
1) 代表的な生業成分を化字構造から分類し、それらの生台成経路を概説できる。 2) 代表的なテルペノイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることがで		一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	大然医樂質源字工業を選出			
きる。 ルキムシンコギルのサイナへよびのローサメンチョロ 204 F F F F F F F F F F F F F F F F F F F		H 米 十 月 月	人然 区 来 貝 原 十十年 下 兼 ※ 前 3			
3) 代表的な強心配糖体の構造を生合成経路に基ついて説明し、その基原植物を挙げることができる。 4) 代表的なアルカロイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることがで		开	大然医楽資源字十號下井淡江井			
		生楽字	大然医楽資源字			
植物		生薬学	天然医薬資源学			
6)代表的なフェニルプロパノイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げる ことができる。		生薬学	天然医薬資源学			
7)代表的なポリケチドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。		生薬学	天然医薬資源学			
【農薬、香粧品としての利用】						

11 1- 1- 1- 1-			数二			
楽子教育モアル・コノルリオユクム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1) 天然物質の農薬、香粧品などの原料としての有用性について、具体例を挙げて説明できる。			天然医薬資源学			
【生薬の同定と品質評価】						
1)日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。	<u>化学3</u> 生薬学	<u>化学系実習(生薬学)</u> 生薬学				
2)代表的な生薬を鑑別できる。(技能)	经本事	化学系実習(生薬学)				
3)代表的な生薬の確認試験を実施できる。(技能)	化学	化学系実習(生薬学)				
4)代表的な生薬の純度試験を実施できる。(技能)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	化学系実習(生薬学)				
5)生薬の同定と品質評価法について概説できる。	化学系生操作	化学系実習(生薬学) 生薬学				
(2)薬の宝庫としての天然物						
【シーズの探索】	-			-	-	
1)医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例を挙げて説明できる。	和漢區	和漢医薬学入門	天然医薬資源学			
2)シーズの探索に貢献してきた伝統医学、民族植物学を例示して概説できる。	和漢區	和漢医薬学入門	天然医薬資源学			
3) 医薬原料としての天然物質の資源確保に関して問題点を列挙できる。			天然医薬資源学			
[天然物質の取扱い]						
1) 天然物質の代表的な抽出法、分離精製法を列挙し、実施できる。(技能)	化学系	化学系実習(生薬学)	天然医薬資源学			
ひ ト 2)代表的な天然有機化合物の構造決定法について具体例を挙げて概説できる。	化学3	化学系実習(生薬学)				
【微生物が生み出す医薬品】						
1) 抗生物質とは何かを説明し、化学構造に基づいて分類できる。			天然医薬資源学			
	-			-	-	
1)微生物による抗生物質(ペニシリン、ストレプトマイシンなど)生産の過程を概説できる。			天然医薬資源学			
	<u>-</u>			-	-	
TRA 1			天然医薬資源学			
(3)現代医療の中の生薬・漢方薬						
	-	**		***		
漢方医学の特徴について 熱説でやる。	H W W W	·		果四医樂子 十 上 下 井 市 下 井 市		
2) 漢方楽と氏首楽、代替医療との相違について説明できる。 カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	₩ ₩		果因医樂子 电压压操动		
※ン米しロチャン後午57~4~5~6~6~6~6~6~6~6~6~6~6~6~6~6~6~6~6~6~6		· ·				
メカルカと・配」との関係につびて、 代表的な漢方処方の適応症と配合生薬を説明	ト 計	F \$P		米吕尼来十 東西医薬学		
6) 漢方処方に配合されている代表的な生薬を例示し、その有効成分を説明できる。	上菜	学		東西医薬学		
7)漢方エキス製剤の特徴を煎液と比較して列挙できる。	<u></u> 生薬学	关				
【漢方処方の応用】						
1)代表的な疾患に用いられる生薬及び漢方処方の応用、使用上の注意について概説できる。	生薬学	柒		東西医薬学		
2)漢方薬の代表的な副作用や注意事項を説明できる。	生薬学	类		東西医薬学		
[生物系薬学を学ぶ]						

			数 派 本			
条字教育セナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C8 生命体の成り立ち						
(1) ヒトの成り立ち						
[-	-	
1)ヒトの身体を構成する臓器の名称、形態および体内での位置を説明できる。	生物学実験	生物物理化学	医療系実習 <u>(生物物理化学)</u> トランスポーター論			
2)ヒトの身体を構成する各臓器の役割分担について概説できる。	生物学実験	生物物理化学	医療系実習(生物物理化学) トランスポーター論			
【神経系】						
1)中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。	生物学実験	人体機能形態学				
2)体性神経系の構成と機能の概要を説明できる。	生物学実験					
3)自律神経系の構成と機能の概要を説明できる。	生物学実験					
【骨格系·筋肉系】						
1)主な骨と関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。		人体機能形態学				
2)主な骨格筋の名称を挙げ、位置を示すことができる。		人体機能形態学				
【皮膚】						
1) 皮膚について機能と構造を関連づけて説明できる。		人体機能形態学	生物薬剤学			
35						
1) 心臓について機能と構造を関連づけて説明できる。	生物学実験	人体機能形態学				
2) 血管系について機能と構造を関連づけて説明できる。		人体機能形態学	生物薬剤学			
3) リンパ系について機能と構造を関連づけて説明できる。		人体機能形態学				
【呼吸器系】						
1)肺、気管支について機能と構造を関連づけて説明できる。	生物学実験	人体機能形態学	生物薬剤学			
【消化器系】						
1)胃、小腸、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。	生物学実験	生物物理化学 人体機能形態学	生物薬剤学 <u>医療系実習(生物物理化学)</u> トランスポーター論			
2)肝臓、膵臓、胆嚢について機能と構造を関連づけて説明できる。	生物学実験		生物薬剤学 トランスポーター論			
[
1) 腎臓、膀胱などの泌尿器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	生物学実験	人体機能形態学	<u>生物薬剤学</u> トランスポーター論			
【生殖器系】						
1)精巣、卵巣、子宮などの生殖器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	生物学実験	人体機能形態学				
[内分泌系]						
1) 脳下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	生物学実験	人体機能形態学				

			数			
条字教育セナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【感覚器系】						
1) 眼、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。		人体機能形態学				
【血液·造血器系】						
1) 骨髄、脾臓、胸腺などの血液・造血器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。		人体機能形態学				
(2) 生命体の基本単位としての細胞						
【眷問と笽谷】		-	-	-	-	
1)細胞集合による組織構築について説明できる。	生命科学工	生物物理化学	<u>医療系実習(生物物理化学)</u> トランスポーター論			
2)臓器、組織を構成する代表的な細胞の種類を列挙し、形態的および機能的特徴を説明できる。		生物物理化学	<u>医療系実習(生物物理化学)</u> トランスポーター論			
3)代表的な細胞および組織を顕微鏡を用いて観察できる。(技能)	生物学実験		医療系実習(生物物理化学)			
【細胞膜】						
1)細胞膜の構造と性質について説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 基礎生化学 II 生命情報科学 I	トランスポーター論			
2)細胞膜を構成する代表的な生体分子を列挙し、その機能を説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 基礎生化学 II 生命情報科学 I	<u>医療系実習(生物物理化学)</u> トランスポーター論			
3) 細胞膜を介した物質移動について説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 基礎生化学 II 生命情報科学 I	トランスポーター鄙			
【細胞内小器官】						
1)細胞内小器官(核、ミトコンドリア、小胞体、リソソーム、ゴルジ体、ペルオキシソームなど)の構造と機能を説明できる。	生命科学 I	生命情報科学 I 基礎生化学 11				
【細胞の分裂と死】						
1) 体細胞分裂の機構について説明できる。	生命科学工					
2) 生殖細胞の分裂機構について説明できる。	生命科学工					
3)アポトーシスとネクローシスについて説明できる。		生命情報科学 I	トランスポーター論			
4)正常細胞とがん細胞の違いを対比して説明できる。		生命情報科学 I	トランスポーター論			
【細胞間コミュニケーション】						
1)細胞間の接着構造、主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。	生命科学 I	生命情報科学 I	生命情報科学工			
2) 主な細胞外マトリックス分子の種類、分布、性質を説明できる。	生命科学 I					
(3)生体の機能調節						
【神経・筋の調節機構】		_	-	-	-	
1)神経系の興奮と伝導の調節機構を説明できる。	生命科学 I	生物物理化学、人体機能形 態学	トレンスポーター論			
2)シナプス伝達の調節機構を説明できる。	生命科学 I	人体機能形態学				
3)神経系、感覚器を介するホメオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、概説できる。	生命科学工	人体機能形態学				

			二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	本 目		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4)筋収縮の調節機構を説明できる。	生命科学 I	人体機能形態学				
【ホルモンによる調節機構】						
1) 主要なホルモンの分泌機構および作用機構を説明できる。	生命科学工	生命情報科学 I				
2)血糖の調節機構を説明できる。	生命科学工	生命情報科学 I	トランスポーター論			
【循環・呼吸系の調節機構】						
1) 血圧の調節機構を説明できる。		生理学				
2) 肺および組織におけるガス交換を説明できる。			衛生科学工			
3) 血液凝固・線溶系の機構を説明できる。		生理学				
【体液の調節機構】						
1) 体液の調節機構を説明できる。		生理学	トランスポーター論			
2) 尿の生成機構、尿量の調節機構を説明できる。		生理学	生物薬剤学			
[消化・吸収の調節機構]						
1)消化、吸収における神経の役割について説明できる。			薬理学Ⅱ			
2)消化、吸収におけるホルモンの役割について説明できる。		生命情報科学 I	トランスポーター論			
【体温の調節機構】						
1) 体温の調節機構を説明できる。	生命科学工		トランスポーター論			
(4) 小さな生き物たち						
の 1) 生態系の中での微生物の役割について説明できる。		基礎微生物·免疫学				
2) 原核生物と真核生物の違いを説明できる。	生命科学 I	基礎微生物·免疫学				
[細菌]						
1)細菌の構造と増殖機構を説明できる。	生命科学 I	基礎微生物·免疫学				
2) 細菌の系統的分類について説明でき、主な細菌を列挙できる。	生命科学 I	基礎微生物·免疫学				
の違いを説明できる。	生命科学 I	基礎微生物·免疫学				
4)マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア、スピロヘータ、放線菌についてその特性を説明できる。		基礎微生物·免疫学				
5) 腸内細菌の役割について説明できる。		基礎微生物·免疫学				
6)細菌の遺伝子伝達(接合、形質導入、形質転換)について説明できる。		基礎微生物·免疫学	生物系実習(衛生化学)			
【細菌毒素】						
1) 代表的な細菌毒素の作用を説明できる。		基礎微生物·免疫学				
[ウイルス]						
1)代表的なウイルスの構造と増殖過程を説明できる。	生命科学 I	基礎微生物·免疫学				
2) ウイルスの分類法について概説できる。		基礎微生物·免疫学				
3)代表的な動物ウイルスの培養法、定量法について説明できる。		基礎微生物·免疫学				
【真菌・原虫・その他の微生物】						
1) 主な真菌の性状について説明できる。		基礎微生物·免疫学				
2) 主な原虫、寄生虫の生活史について説明できる。		基礎微生物·免疫学				
[消毒と滅菌]						
1)滅菌、消毒、防腐および殺菌、静菌の概念を説明できる。		基礎微生物·免疫学				

/ 川 - 十 二 十 은 L				本 回		
条子教育モナル・コノガリオユフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2)主な消毒薬を適切に使用する。(技能・態度) (OSCEの対象)			生物系実習(微生物化学)			
3)主な滅菌法を実施できる。(技能) (OSCEの対象)			生物系実習(微生物化学)			
【検出方法】						
1) グラム染色を実施できる。(技能)			生物系実習(微生物化学)			
2)無菌操作を実施できる。(技能)			生物系実習(微生物化学) 生物系実習(衛生化学)			
3)代表的な細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる。(技能)			生物系実習(微生物化学)			
4) 細菌の同定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に ついて説明できる。			生物系実習(微生物化学)			
5)代表的な細菌を同定できる。(技能)			生物系実習(微生物化学)			
(9) 生命をミクロに理解する						
(1) 細胞を構成する分子 【脂質】						
1)脂質を分類し、構造の特徴と役割を説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 基礎生化学 11 生命情報科学 1	ケミカルバイオロジー1			
公 8 2)脂肪酸の種類と役割を説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 [] 生命情報科学 [ケミカルバイオロジー1			
3)脂肪酸の生合成経路を説明できる。		基礎生化学 [] 生命情報科学 [
4)コレステロールの生合成経路と代謝を説明できる。		基礎生化学 [] 生命情報科学 [
【精質】						
1)グルコースの構造、性質、役割を説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 11	ケミカルバイオロジーI トランスポーター論			
2)グルコース以外の代表的な単糖、および二糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 1.1	ケミカルバイオロジーI トランスポーター論			
3)代表的な多糖の構造と役割を説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 11	ケミカルバイオロジー1			
4)糖質の定性および定量試験法を実施できる。(技能)		基礎生化学 11	ケミカルバイオロジー1			
[アミノ酸]						
1)アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 衛生科学 I 基礎生化学 I	構造生物学			
2) アミノ酸分子中の炭素および窒素の代謝について説明できる。		基礎生化学 11				

; ;			数当	科 目		
楽字教育モナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
3)アミノ酸の定性および定量試験法を実施できる。(技能)		基礎生化学 11、 <u>物理系実</u> 習(物理化学1)				
[ビタミン]						
1)水溶性ビタミンを列挙し、各々の構造、基本的性質、補酵素や補欠分子として関与する生体内反応 について説明できる。		衛生科学]				
2)脂溶性ビタミンを列挙し、各々の構造、基本的性質と生理機能を説明できる。		生命情報科学 [衛生科学]				
3) ビタミンの欠乏と過剰による症状を説明できる。		衛生科学]				
(2) 生命情報を担う遺伝子						
【ヌクレオチドと核酸】						
1)核酸塩基の代謝(生合成と分解)を説明できる。		基礎生化学 11	生命情報科学工			
2)DNAの構造について説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 1	ケミカルバイオロジーI 生命情報科学 II			
3)RNAの構造について説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 1	ケミカルバイオロジーI 生命情報科学 II			
【遺伝情報を担う分子】						
1)遺伝子発現に関するセントラルドグマについて概説できる。	生命科学 I	基礎生化学 I	生命情報科学工			
2)DNA鎖とRNA鎖の類似点と相違点を説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 I	生命情報科学工			
3)ゲノムと遺伝子の関係を説明できる。	生命科学 I 生命科学 II	基礎生化学 1	生命情報科学工			
4)染色体の構造を説明できる。	生命科学 I 生命科学 I	基礎生化学 1	生命情報科学工			
5)遺伝子の構造に関する基本的用語(プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど)を 説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 1	生命情報科学工			
6) RNAの種類と働きについて説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 I	生命情報科学工			
【転写と翻訳のメカニズム】				-		
1)DNAからRNAへの転写について説明できる。	生命科学 I	基礎生化学] 生命情報科学]	<u>生物系実習(生化学)</u> 生命情報科学 II			
2)転写の調節について、例を挙げて説明できる。		基礎生化学	<u>生物系実習(生化学)</u> 生命情報科学 II			
3) RNAのプロセシングについて説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 I	生命情報科学工			
4)RNAからタンパク質への翻訳の過程について説明できる。	生命科学I	基礎生化学 1	生命情報科学工			
5) リボソームの構造と機能について説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 I	生命情報科学工			
【遺伝子の複製・変異・修復】						
1)DNAの複製の過程について説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 I	生命情報科学工			
2) 遺伝子の変異(突然変異)について説明できる。		基礎生化学 I	生命情報科学工			
3) DNAの修復の過程について説明できる。		基礎生化学 I	生命情報科学工			
【遺伝子多型】						

			数当	科 目		
薬字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)一塩基変異(SNPs)が機能におよぼす影響について概説できる。		基礎生化学 1	ケミカルバイオロジー] <mark>生物薬剤学</mark> 生命情報科学 II			
(3) 生命活動を担うタンパク質 【タンパク質の構造と機能】						
1)タンパク質の主要な機能を列挙できる。	生命科学 I	生物物理化学 基礎生化学 I	トランスポーター論 構造生物学			
2)タンパク質の一次、二次、三次、四次構造を説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 基礎生化学 1	トランスポーター論 構造生物学			
3) タンパク質の機能発現に必要な翻訳後修飾について説明できる。		基礎生化学 1	トランスポーター論			
【酵素】						
1)酵素反応の特性を一般的な化学反応と対比させて説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 基礎生化学 I	トランスポーター論			
2) 酵素を反応様式により分類し、代表的なものについて性質と役割を説明できる。		基礎生化学 1				
3)酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる。		基礎生化学 1				
4)酵素反応速度論について説明できる。		生物物理化学 基礎生化学 I	トランスポーター論			
5)代表的な酵素活性調節機構を説明できる。		基礎生化学 1	トランスポーター論			
6)代表的な酵素の活性を測定できる。(技能)	生物学実験		生物系実習(生化学)			
【酵素以外の機能タンパク質】						
1)細胞内外の物質や情報の授受に必要なタンパク質(受容体、チャネルなど)の構造と機能を概説できる。	生命科学 I 生命科学 II	生物物理化学 生命情報科学 I	トランスポーター論 構造生物学			
2)物質の輸送を担うタンパク質の構造と機能を概説できる。	生命科学 I	生物物理化学	生物薬剤学トランスポーター論			
3) 血漿リポタンパク質の種類と機能を概説できる。		基礎生化学 11				
4)細胞内で情報を伝達する主要なタンパク質を列挙し、その機能を概説できる。	生命科学工	生物物理化学	トランスポーター論			
金 電 電 電	生命科学 I	生物物理化学				
【タンパク質の収扱い】						
1) タンパク質の定性、定量試験法を実施できる。(技能)			医療系実習(生物物理化学)生物系実習(生化学)			
2) タンパク質の分離、精製と分子量の測定法を説明し、実施できる。(知識・技能)			生物系実習(生化学)			
3) タンパク質のアミノ酸配列決定法を説明できる。		基礎生化学 1				
(4) 生体エネルギー						
[素の利用]						
1) 食物中の栄養成分の消化・吸収、体内運搬について概説できる。	生命科学 I					
【ATPの産生】						

薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
1)ATPが高エネルギー化合物であることを、化学構造をもとに説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 基礎生化学 11	トランスポーター論			
2)解糖系について説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 11	トランスポーター部			
3) クエン酸回路について説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 11	トランスポーター論			
4) 電子伝達系(酸化的リン酸化) について説明できる。		基礎生化学 11	トランスポーター論			
5)脂肪酸のβ酸化反応について説明できる。		基礎生化学 11				
6)アセチルCoAのエネルギー代謝における役割を説明できる。	生命科学 I	基礎生化学 11				
7)エネルギー産生におけるミトコンドリアの役割を説明できる。	生命科学I	基礎生化学 11	トランスポーター論			
8)ATP産生阻害物質を列挙し、その阻害機構を説明できる。		基礎生化学 11				
9)ペントースリン酸回路の生理的役割を説明できる。		基礎生化学 11				
10) アルコール発酵、乳酸発酵の生理的役割を説明できる。		基礎生化学 11				
【飢餓状態と飽食状態】						
1) グリコーゲンの役割について説明できる。		基礎生化学 11	トランスポーター論			
2) 糖新生について説明できる。		基礎生化学 11				
3) 飢餓状態のエネルギー代謝(ケトン体の利用など)について説明できる。		基礎生化学 11				
4)余剰のエネルギーを蓄えるしくみを説明できる。		基礎生化学 11				
5) 食餌性の血糖変動について説明できる。			トランスポーター論			
6)インスリンとグルカゴンの役割を説明できる。	生命科学工		トランスポーター論			
→ 7)糖から脂肪酸への合成経路を説明できる。		基礎生化学 11				
8)ケト原性アミノ酸と糖原性アミノ酸について説明できる。		基礎生化学 11				
(5) 生理活性分子とシグナル分子						
[ホルモン]						
1)代表的なペプチド性ホルモンを挙げ、その産生臓器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。	生命科学工					
2)代表的なアミノ酸誘導体ホルモンを挙げ、その構造、産生臓器、生理作用および分泌調節機構を 説明できる。	生命科学工					
3)代表的なステロイドホルモンを挙げ、その構造、産生臓器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。	生命科学Ⅱ	生命情報科学 I				
4)代表的なホルモン異常による疾患を挙げ、その病態を説明できる。	生命科学工					
[オータコイドなど]			-	-	-	
1)エイコサノイドとはどのようなものか説明できる。			医療系実習(生物物理化学)			
2)代表的なエイコサノイドを挙げ、その生合成経路を説明できる。			薬理学II、医療系実習(生物物理化学)			
3)代表的なエイコサノイドを挙げ、その生理的意義(生理活性)を説明できる。			薬理学II、 <u>医療系実習(生物物</u> 理化学)			
4) 主な生理活性アミン(セロトニン、ヒスタミンなど)の生合成と役割について説明できる。		基礎生化学!!	薬理学Ⅱ			
5) 主な生理活性ペプチド(アンギオテンシン、ブラジキニンなど)の役割について説明できる。			薬理学!!			
6) 一酸化窒素の生合成経路と生体内での役割を説明できる。	生命科学工					
【神経伝達物質】						

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			数 当 本			
米十秋月モナル・コノム・オコング(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)モノアミン系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。			薬理学1			
2)アミノ酸系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。			薬理学]			
3)ペプチド系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。			薬理学!			
4)アセチルコリンの生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。			薬理学1			
【サイトカイン・増殖因子・ケモカイン】						
1)代表的なサイトカインを挙げ、それらの役割を概説できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
2)代表的な増殖因子を挙げ、それらの役割を概説できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
3) 代表的なケモカインを挙げ、それらの役割を概説できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
【細胞内情報伝達】						
1)細胞内情報伝達に関与するセカンドメッセンジャーおよびカルシウムイオンなどを、具体例を挙げ て説明できる。	生命科学工	基礎生化学	トランスポーター論			
2)細胞膜受容体から6タンパク系を介して細胞内へ情報を伝達する主な経路について概説できる。	生命科学工	基礎生化学 [生命情報科学]	トランスポーター論			
3)細胞膜受容体タンパク質などのリン酸化を介して情報を伝達する主な経路について概説できる。	生命科学工	基礎生化学				
4)代表的な細胞内(核内)受容体の具体例を挙げて説明できる。		基礎生化学 [生命情報科学]	生物薬剤学			
(6) 遺伝子を操作する						
【遺伝子操作の基本】			_		-	
1)組換えDNA技術の概要を説明できる。		基礎生化学 I	<u>生物系実習(衛生化学)</u> 生命情報科学 II			
2)細胞からDNAを抽出できる。(技能)			生物系実習(衛生化学)			
3)DNAを制限酵素により切断し、電気泳動法により分離できる。(技能)			生物系実習(衛生化学)			
4)組換えDNA実験指針を理解し守る。(態度)			生物系実習(衛生化学)			
5)遺伝子取扱いに関する安全性と倫理について配慮する。(態度)			生物系実習(衛生化学)			
[遺伝子のクローニング技術]						
1)遺伝子クローニング法の概要を説明できる。		基礎生化学 I	生命情報科学工			
2)cDNAとゲノミックDNAの違いについて説明できる。		基礎生化学 I	生命情報科学工			
3) 遺伝子ライブラリーについて説明できる。		基礎生化学 I	生命情報科学工			
4) PCR法による遺伝子増幅の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)		基礎生化学 I				
5) RNAの逆転写と逆転写酵素について説明できる。		基礎生化学 1	生命情報科学工			
6)DNA塩基配列の決定法を説明できる。		基礎生化学 1	生命情報科学工			
7) コンピューターを用いて特徴的な塩基配列を検索できる。(技能)			生物系実習(生化学) 医療系実習(薬剤学)			
[遺伝子機能の解析技術]						

			秋川			
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)細胞(組織)における特定のDNAおよびRNAを検出する方法を説明できる。		基礎生化学 1	<u>生物系実習(衛生化学)</u> 生命情報科学 II			
2)外来遺伝子を細胞中で発現させる方法を概説できる。		基礎生化学 1	生物系実習(衛生化学) 生命情報科学 II			
3)特定の遺伝子を導入した動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。			生命情報科学工			
4)遺伝子工学の医療分野での応用について例を挙げて説明できる。			生命情報科学工			
610 生体防御						
(1) 身体をまもる						
【生体防御反応】						
1) 自然免疫と獲得免疫の特徴とその違いを説明できる。	生命科学工	基礎微生物·免疫学	免疫学			
2) 異物の侵入に対する物理的、生理的、化学的バリアーについて説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
3) 補体について、その活性化経路と機能を説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
4) 免疫反応の特徴(自己と非自己、特異性、記憶)を説明できる。	生命科学工	基礎微生物·免疫学	免疫学			
5)クローン選択説を説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
6)体液性免疫と細胞性免疫を比較して説明できる。	生命科学工	基礎微生物·免疫学	免疫学			
【免疫を担当する組織・細胞】						
1) 免疫に関与する組織と細胞を列挙できる。	生命科学工	基礎微生物·免疫学	免疫学			
2)免疫担当細胞の種類と役割を説明できる。	生命科学工	基礎微生物·免疫学	免疫学			
ひ 3)食細胞が自然免疫で果たす役割を説明できる。	生命科学工	基礎微生物·免疫学	免疫学			
4)免疫反応における主な細胞間ネットワークについて説明できる。	生命科学工	基礎微生物·免疫学	免疫学			
【分子レベルで見た免疫のしくみ】						
1) 抗体分子の種類、構造、役割を説明できる。	生命科学工	基礎微生物·免疫学	免疫学			
2)MHC抗原の構造と機能および抗原提示経路での役割について説明できる。	生命科学工	基礎微生物·免疫学	免疫学			
3) T細胞による抗原の認識について説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
4)抗体分子およびT細胞抗原受容体の多様性を生み出す機構(遺伝子再構成)を概説できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
5) 免疫系に関わる主なサイトカイン、ケモカインを挙げ、その作用を説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
(2) 免疫系の破綻・免疫系の応用						
【免疫系が関係する疾患】						
1)アレルギーについて分類し、担当細胞および反応機構を説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
2)炎症の一般的症状、担当細胞および反応機構について説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
3)代表的な自己免疫疾患の特徴と成因について説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
4)代表的な免疫不全症候群を挙げ、その特徴と成因を説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
【免疫応答のコントロール】						
1)臓器移植と免疫反応の関わり(拒絶反応、免疫抑制剤など)について説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
2) 細菌、ウイルス、寄生虫などの感染症と免疫応答との関わりについて説明できる.		基礎微生物·免疫学	免疫学			
3)腫瘍排除に関与する免疫反応について説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
4)代表的な免疫賦活療法について概説できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学			
[予防接種]						

			深		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	ī	5年	6年
1)予防接種の原理とワクチンについて説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学		
2) 主なワクチン(生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイド、混合ワクチン) について基本的特徴を 説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学		
3)予防接種について,その種類と実施状況を説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学		
【免疫反応の利用】					
1)モノクローナル抗体とポリクローナル抗体の作製方法を説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学		
2)抗原抗体反応を利用した代表的な検査方法の原理を説明できる。		基礎微生物·免疫学	免疫学		
3) 沈降、凝集反応を利用して抗原を検出できる。(技能)		和漢医薬学入門			
4) ELISA法、ウエスタンブロット法などを用いて抗原を検出、判定できる。(技能)			生物系実習(放射線基礎学)生物系実習(衛生化学)		
(3) 感染症にかかる					
【代表的な感染症】					
1)主なDNAウイルス(Δサイトメガロウイルス、ΔEBウイルス、ヒトヘルペスウイルス、Δアデノウイルス、ΔパルボウイルスB19、B型肝炎ウイルス)が引き起こす代表的な疾患について概説できる。		基礎微生物·免疫学			
2) 主なRNAウイルス (△ポリオウイルス、△コクサッキーウイルス、△エコーウイルス、△ライノウイルス、A型肝炎ウイルス、G型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス、△麻疹ウイルス、△ムンプスウイルス)が引き起こす代表的な疾患について概説できる。		基礎微生物·免疫学			
A 3) レトロウイルス (HIV、HTLV) が引き起こす疾患について概説できる。		基礎微生物·免疫学			
(4		基礎微生物·免疫学			
5) グラム陰性球菌(淋菌、△髄膜炎菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について 概説できる。		基礎微生物·免疫学			
6) グラム陽性桿菌(破傷風菌、ヘガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ヘジフテリア菌、ヘ炭疽菌)の細菌 学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。		基礎微生物·免疫学			
7) グラム陰性桿菌(大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、△チフス菌、△ペスト菌、コレラ菌、△百日 咳菌、腸炎ビブリオ菌、緑膿菌、△ブルセラ菌、レジオネラ菌、△インフルエンザ菌)の細菌学的 特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。		基礎微生物·免疫学			
8) グラム陰性スピリルム属病原菌(ヘリコバクター・ピロリ菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。		基礎微生物·免疫学			
9) 抗酸菌(結核菌、非定型抗酸菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説 できる。		基礎微生物·免疫学			
10) スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。		基礎微生物·免疫学			
11) 真菌(アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、△ムーコル)の微生物学的特徴とそれが 引き起こす代表的な疾患について概説できる。		基礎微生物·免疫学			
12) 代表的な原虫、寄生虫の代表的な疾患について概説できる。		基礎微生物·免疫学			
13) プリオン感染症の病原体の特徴と発症機序について概説できる。		基礎微生物·免疫学			
【感染症の予防】					
1)院内感染について、発生要因、感染経路、原因微生物、およびその防止対策を概説できる。		基礎微生物·免疫学			
[健康と環境]					
C11 健康					
(1) 栄養と健康					

			松			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS) ——	1年	2年	ī	T 4	5年	6年
[栄養素]		-			_	
1) 栄養素 (三大栄養素、ビタミン、ミネラル)を列挙し、それぞれの役割について説明できる。	(4	衛生科学』				
2)各栄養素の消化、吸収、代謝のプロセスを概説できる。	(4	衛生科学』				
3) 脂質の体内運搬における血漿リポタンパク質の栄養学的意義を説明できる。	<u></u>	衛生科学I				
4) 食品中のタンパク質の栄養的な価値(栄養価)を説明できる。	(4	衛生科学!				
5) エネルギー代謝に関わる基礎代謝量、呼吸商、エネルギー所要量の意味を説明できる。	<u> </u>	衛生科学]				
6) 栄養素の栄養所要量の意義について説明できる。	<u></u>	衛生科学』				
7) 日本における栄養摂取の現状と問題点について説明できる。	6	衛生科学]				
8)栄養素の過不足による主な疾病を列挙し、説明できる。	(4	衛生科学I				
[食品の品質と管理]						
1) 食品が腐敗する機構について説明できる。	備	(衛生科学)				
2)油脂が変敗する機構を説明し、油脂の変質試験を実施できる。(知識・技能)	6	衛生科学1				
3) 食品の褐変を引き起こす主な反応とその機構を説明できる。	<u> </u>	衛生科学]				
4)食品の変質を防ぐ方法(保存法)を説明できる。	(4	衛生科学I				
5) 食品成分由来の発がん物質を列挙し、その生成機構を説明できる。	衛	衛生科学I				
6)代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる。	(4	[本科学]				
7) 食品添加物の法的規制と問題点について説明できる。	衛	衛生科学』				
8) 主な食品添加物の試験法を実施できる。(技能)	(4	衛生科学!				
D 9)代表的な保健機能食品を列挙し、その特徴を説明できる。	(衛生科学]				
. 10) 遺伝子組換え食品の現状を説明し、その問題点について討議する。(知識・態度)	(衛生科学1				
[食中毒]						
1) 食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。	(事	衛生科学]				
2)代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品および予防方法について説明できる。	琳 锤 _	基礎微生物·免疫学 衛生科学I				
3) 食中毒の原因となる自然毒を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。	(南	衛生科学]				
	衛	衛生科学I				
5)化学物質(重金属、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を 説明できる。	- 中	衛生科学]				
(2) 社会・集団と健康						
【保健統計】						
1)集団の健康と疾病の現状を把握する上での人口統計の意義を概説できる。	(衛生科学I				
2) 人口静態と人口動態について説明できる。	衛	衛生科学!				
3) 国勢調査の目的と意義を説明できる。	衛	衛生科学I				
4) 死亡に関する様々な指標の定義と意義について説明できる。	(衛生科学I				
5) 人口の将来予測に必要な指標を列挙し、その意義について説明できる。	(衛生科学』				
【健康と疾病をめぐる日本の現状】						
1) 死因別死亡率の変遷について説明できる。	(衛生科学]				
<u>ځ</u>	衛	衛生科学]				
3) 高齢化と少子化によりもたらされる問題点を列挙し、討議する。(知識・態度)	争	衛生科学]				

			跳	中		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	中1	2年			5年	6年
[疫学]						
1)疾病の予防における疫学の役割を説明できる。	備	衛生科学]				
2) 疫学の三要因 (病因、環境要因、宿主要因) について説明できる。	人	衛生科学]				
3)疫学の種類(記述疫学、分析疫学など)とその方法について説明できる。	人	衛生科学]				
4) 患者・対照研究の方法の概要を説明し、オッズ比を計算できる。(知識・技能)	人	衛生科学]				
5)要因・対照研究(コホート研究)の方法の概要を説明し、相対危険度、寄与危険度を計算できる。 (知識・技能)	40 <u>m</u>	衛生科学1				
6)医薬品の作用・副作用の調査における疫学的手法の有用性を概説できる。	#F	衛生科学!				
7)疫学データを解釈する上での注意点を列挙できる。	the.	衛生科学!				
(3) 疾病の予防						
【健康とは】						
1)健康と疾病の概念の変遷と、その理由を説明できる。	6	衛生科学1				
2) 世界保健機構(WHO)の役割について概説できる。	the.	衛生科学!				
【疾病の予防とは】						
1)疾病の予防について、一次、二次、三次予防という言葉を用いて説明できる。	4	衛生科学1				
2)疾病の予防における予防接種の意義について説明できる。	4	衛生科学1				
3) 新生児マススクリーニングの意義について説明し、代表的な検査項目を列挙できる。	4	衛生科学]				
4)疾病の予防における薬剤師の役割について討議する。(態度)	₩.	衛生科学]		事前学習		
を表示の現状とその予防】						
1) 現代における感染症(日和見感染、院内感染、国際感染症など)の特徴について説明できる。	4	衛生科学[
2) 新興感染症および再興感染症について代表的な例を挙げて説明できる。	4	衛生科学1				
3) 一、二、三類感染症および代表的な四類感染症を列挙し、分類の根拠を説明できる。	#	衛生科学[
4) 母子感染する疾患を列挙し、その予防対策について説明できる。	4	衛生科学1				
5) 性行為感染症を列挙し、その予防対策と治療について説明できる。	争	衛生科学]				
6)予防接種法と結核予防法の定める定期予防接種の種類を挙げ、接種時期などを説明できる。	<u> </u>	基礎微生物学·免疫学 衛生科学1		事前学習		
【生活習慣病とその予防】						
1)生活習慣病の種類とその動向について説明できる。	(建	衛生科学]				
2)生活習慣病のリスク要因を列挙できる。	(衛生科学1				
3) 食生活と喫煙などの生活習慣と疾病の関わりについて説明できる。	(衛生科学1				
【職業病とその予防】						
1) 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。	(衛生科学]				
612 環境						
(1) 化学物質の生体への影響						
【化学物質の代謝・代謝的活性化】						
1)代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセスについて説明できる。		衛	衛生科学工	薬物代謝学		
2) 第一相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。		鱼	衛生科学工	薬物代謝学		
3) 第二相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。		面	衛生科学工	薬物代謝学		
【化学物質による発がん】						

; ;			二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二			
楽字教育モナル・コアカリキュフム(SBOS) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)発がん性物質などの代謝的活性化の機構を列挙し、その反応機構を説明できる。			衛生科学工			
2)変異原性試験(Ames試験など)の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)			衛生科学工			
3) 発がんのイニシエーションとプロモーションについて概説できる。		生命情報科学 [衛生科学工			
4)代表的ながん遺伝子とがん抑制遺伝子を挙げ、それらの異常とがん化との関連を説明できる。		生命情報科学]	衛生科学工			
【化学物質の毒性】		-				
1) 化学物質の毒性を評価するための主な試験法を列挙し、概説できる。			衛生科学工			
2) 肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す主な化学物質を列挙できる。			衛生科学工			
3) 重金属、農薬、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。			衛生科学工			
4) 重金属や活性酸素による障害を防ぐための生体防御因子について具体例を挙げて説明できる。			衛生科学工			
5) 毒性試験の結果を評価するのに必要な量-反応関係、閾値、無毒性量(NOAEL)などについて概説できる。			衛生科学工			
6) 化学物質の安全摂取量(1日許容摂取量など) について説明できる。			衛生科学工			
7) 有害化学物質による人体影響を防ぐための法的規制(化審法など)を説明できる。			衛生科学工			
8)環境ホルモン(内分泌撹乱化学物質)が人の健康に及ぼす影響を説明し、その予防策を提案する。 (態度)			衛生科学工			
【化学物質による中毒と処置】						
1)代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。			衛生科学工			
2) 化学物質の中毒量、作用器官、中毒症状、救急処置法、解毒法を検索することができる。(技能)			衛生科学工			
【電離放射線の生体への影響】						
1)人に影響を与える電離放射線の種類を列挙できる。	物理化学]		放射線学			
2)電離放射線被曝における線量と生体損傷の関係を体外被曝と体内被曝に分けて説明できる。			放射線学			
3) 電離放射線および放射性核種の標的臓器・組織を挙げ、その感受性の差異を説明できる。			放射線学			
4) 電離放射線の生体影響に変化を及ぼす因子(酸素効果など)について説明できる。			放射線学			
5) 電離放射線を防御する方法について概説できる。			放射線学			
6) 電離放射線の医療への応用について概説できる。	物理化学]		放射線学			
【非電離放射線の生体への影響】						
1)非電離放射線の種類を列挙できる。			放射線学			
2) 紫外線の種類を列挙し、その特徴と生体に及ぼす影響について説明できる。			放射線学			
3) 赤外線の種類を列挙し、その特徴と生体に及ぼす影響について説明できる。			放射線学			
(2)生活環境と健康						
【地球環境と生態系】						
1) 地球環境の成り立ちについて概説できる。			衛生科学工			
2)生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明できる。			衛生科学工			
3) 人の健康と環境の関係を人が生態系の一員であることをふまえて討議する。(態度)			衛生科学工			
4) 地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について説明できる。			衛生科学工			
5) 食物連鎖を介した化学物質の生物濃縮について具体例を挙げて説明できる。			衛生科学工			
6) 化学物質の環境内動態と人の健康への影響について例を挙げて説明できる。			衛生科学工			
7) 環境中に存在する主な放射性核種(天然、人工)を挙げ、人の健康への影響について説明できる。			放射線学			
【水環境】						

		新 「 「 「 「 「 」 、 」 、 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	屋 屋		
	1年	2年 3年	4年	5年	6年
1)原水の種類を挙げ、特徴を説明できる。		衛生科学工			
2) 水の浄化法について説明できる。		衛生科学工			
3) 水の塩素処理の原理と問題点について説明できる。		衛生科学工			
4)水道水の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。(知識・技能)		生物系実習(衛生化学)			
5) 下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。		衛生科学工			
6) 水質汚濁の主な指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる。		衛生科学工			
7)DO, BOD, CODを測定できる。 (技能)		生物系実習(衛生化学)			
8) 富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。		衛生科学工			
[大気環境]					
1) 空気の成分を説明できる。		衛生科学工			
2) 主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源について説明できる。		衛生科学工			
3)主な大気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)		衛生科学工			
4)大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)を概説できる。		衛生科学工			
[室内環境]					
1)室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)		衛生科学工		薬局実習	
2)室内環境と健康との関係について説明できる。		衛生科学工			
及 3)室内環境の保全のために配慮すべき事項について説明できる。		衛生科学工			
4)シックハウス症候群について概説できる。		衛生科学工			
【廃棄物】					
1) 廃棄物の種類を列挙できる。		衛生科学工			
2)廃棄物処理の問題点を列挙し、その対策を説明できる。		衛生科学工			
3) 医療廃棄物を安全に廃棄、処理する。(技能・態度)		衛生科学工			
4) マニフェスト制度について説明できる。		衛生科学工			
5)PRTR法について概説できる。		衛生科学工			
[環境保全と法的規制]					
1) 典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。		衛生科学工			
2)環境基本法の理念を説明できる。		衛生科学工			
3) 大気汚染を防止するための法規制について説明できる。		衛生科学工			
4) 水質汚濁を防止するための法規制について説明できる。		衛生科学工			
[薬と疾病]					
613 薬の効くプロセス					
【薬の作用】					
1)薬物の用量と作用の関係を説明できる。		薬理学]		田	臨床薬物動態学
2) アゴニストとアンタゴニストについて説明できる。		薬理学1 医療系実習(生物物理化学) トランスポーター論			

0/ ~ 川 - 十二十月 -			数 当 1	科目		
米子牧育ホイル・コノガリナコフ女(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
3)薬物の作用するしくみについて、受容体、酵素およびチャネルを例に挙げて説明できる。		生物物理化学	薬理学! 医療系実習(生物物理化学) トランスポーター論			
4)代表的な薬物受容体を列挙し、刺激あるいは阻害された場合の生理反応を説明できる。			薬理学 [医療系実習(生物物理化学)			
5)薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系を列挙し、活性化された場合の生理反応を 説明できる。		生物物理化学	薬理学[
6)薬効に個人差が生じる要因を列挙できる。			薬理学] 薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
7)代表的な薬物相互作用の機序について説明できる。			楽理学I 楽物動態学 生物薬剤学 富山のくすり学			臨床薬物動態学
8)薬物依存性について具体例を挙げて説明できる。			薬理学]			
【楽の建印】 1)薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて説明できる。			薬理学 [薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
+ C 文 薬物の代表的な投与方法(剤形、投与経路)を列挙し、その意義を説明できる。			薬理学1 薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
3)経口投与された製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)を説明できる。			楽理学 [薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
4)薬物の生体内分布における循環系の重要性を説明できる。			薬理学 [薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
5)生体内の薬物の主要な排泄経路を、例を挙げて説明できる。			薬理学] 薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
【薬の副作用】						
1)薬物の主作用と副作用(有害作用)、毒性との関連について説明できる。			<u>薬理学</u>] 富山のくすり学			臨床薬物動態学
2) 副作用と有害事象の違いについて説明できる。			薬理学]			臨床薬物動態学
【動物実験】						
1)動物実験における倫理について配慮する。(態度)	生物学実験		医療系実習(薬理学)			
2)代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる。(技能)	生物学実験		医療系実習(薬理学)			
3)実験動物での代表的な薬物投与法を実施できる。(技能)	生物学実験		医療系実習(薬理学)			
(2)薬の効き方!						
【中枢神経系に作用する薬】						

			数当本目		
条字教育モナル・コアカリキュフム(SBOS) 	1年	2年 3年	4年	5年	6年
1) 代表的な全身麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		薬理学!!			
2)代表的な催眠薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		薬理学!!			
3)代表的な鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		薬理学[]			
4)代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬を挙げ、 その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。					
5)代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病など)の治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用 について説明できる。		薬理学!!			
6)中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。		医療系実習(薬理学)			
【自律神経系に作用する薬】					
1) 交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。					
2) 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、 主な副作用について説明できる。		[本亜薬			
3)神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		薬理学1			
4) 自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能)) △技能であるからCBTには 馴染まない		医療系実習(薬理学)			
【知覚神経系・運動神経系に作用する薬】					
1)知覚神経に作用する代表的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		薬理学[
2)運動神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		[本語薬			
フ 3)知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能))		医療系実習(薬理学)			
【循環器系に作用する薬】					
1)代表的な抗不整脈薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		薬理学!			
2)代表的な心不全治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		薬理学1			
3)代表的な虚血性心疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		薬理学1			
4)代表的な高血圧治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		薬理学]			
【呼吸器系に作用する薬】					
1)代表的な呼吸興奮薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		薬理学]]			
2)代表的な鎮咳・去痰薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。					
3)代表的な気管支喘息治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			-		
【化学構造】	_		_	-	
1)上記の薬物のうち代表的なものについて基本構造を示すことができる。		薬理学1、薬理学11			
(3)薬の効き方!!					
	-		_	-	
1) ホルモンの分泌異常に用いられる代表的治療薬の薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。		薬理学!!			
2)代表的な糖質コルチコイド代用薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について説明できる。		薬理学!!			
3) 代表的な性ホルモン代用薬および拮抗薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について 説明できる。		薬理学!!			
[消化器系に作用する薬]					
1)代表的な胃・十二指腸潰瘍治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	#	楽理学11 トランスポーター論			
	-		_		

(*) ロン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			数当科			
米子牧声トナル・ユノムリナュンム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2)その他の消化性疾患に対する代表的治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			薬理学!			
3)代表的な催吐薬と制吐薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。			薬理学!]			
4)代表的な肝臓疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			薬理学[]			
5) 代表的な膵臓疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			薬理学!!			
【腎に作用する薬】						
1) 利尿薬を作用機序別に分類し、臨床応用および主な副作用について説明できる。			薬理学!			
【血液・造血器系に作用する薬】						
1)代表的な止血薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			薬理学Ⅱ			
2)代表的な抗血栓薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。						
3)代表的な造血薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			薬理学!]			
【代謝系に作用する薬】						
1)代表的な糖尿病治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			薬理学11 トランスポーター論			
2)代表的な高脂血症治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			薬理学Ⅱ			
3)代表的な高尿酸血症・痛風治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			薬理学II トランスポーター論			
4)カルシウム代謝調節・骨代謝に関連する代表的な治療薬をあげ、薬理作用、機序、主な副作用に ついて説明できる。			薬理学!]			
【炎症						
7 1)代表的な炎症治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。			薬理学!!			
2)慢性関節リウマチの代表的な治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。			薬理学!!			
3)アレルギーの代表的な治療薬を挙げ、作用機序、臨床応用、および主な副作用について説明で きる。			11点亜薬			
【化学構造】						
1)上記の薬物のうち代表的なものについて基本構造を示すことができる。			薬理学!!			
(4)薬物の臓器への到達と消失						
[吸収]	-		-	-		
1)薬物の主な吸収部位を列挙できる。			生物薬剤学 トランスポーター論			臨床薬物動態学
2)消化管の構造、機能と薬物吸収の関係を説明できる。	生物	生物物理化学	<mark>生物薬剤学</mark> トランスポーター論			臨床薬物動態学
3)受動拡散(単純拡散)、促進拡散の特徴を説明できる。	上 生物	生物物理化学	薬物動態学 生物薬剤学 トランスポーター論			臨床薬物動態学
4)能動輸送の特徴を説明できる。	—————————————————————————————————————	生物物理化学	薬物動態学 生物薬剤学 トランスポーター論			臨床薬物動態学
5) 非経口投与後の薬物吸収について部位別に説明できる。			生物薬剤学			臨床薬物動態学
6)薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。			<u>生物薬剤学</u> トランスポーター論			臨床薬物動態学
[分布]						

(*) 00) 7 11 - 平二千个了,三针片的赤毛树			数 当	科 目		
47145551	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)薬物が生体内に取り込まれた後、組織間で濃度差が生じる要因を説明できる。			生物薬剤学			臨床薬物動態学
2)薬物の脳への移行について、その機構と血液-脳関門の意義を説明できる。			生物薬剤学 トランスポーター論			臨床薬物動態学
3)薬物の胎児への移行について、その機構と血液 - 胎盤関門の意義を説明できる。			生物薬剤学 トランスポーター論			臨床薬物動態学
4)薬物の体液中での存在状態(血漿タンパク結合など)を組織への移行と関連づけて説明できる。			薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
5)薬物分布の変動要因(血流量、タンパク結合性、分布容積など)について説明できる。			薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
6)分布容積が著しく大きい代表的な薬物を列挙できる。			薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
7)代表的な薬物のタンパク結合能を測定できる。(技能)			生物薬剤学 医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学
【代謝】						
1)薬物分子の体内での化学的変化とそれが起こる部位を列挙して説明できる。			生物薬剤学			臨床薬物動態学
2)薬物代謝が薬効に及ぼす影響について説明できる。			薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
2 3) 薬物代謝様式とそれに関わる代表的な酵素を列挙できる。			薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
4)シトクロムP-450の構造、性質、反応様式について説明できる。			生物薬剤学			臨床薬物動態学
5)薬物の酸化反応について具体的な例を挙げて説明できる。			薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
6)薬物の還元・加水分解、抱合について具体的な例を挙げて説明できる。			薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
7)薬物代謝酵素の変動要因(誘導、阻害、加齢、SNPsなど)について説明できる。			薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
8)初回通過効果について説明できる。			薬物動態学 生物薬剤学 富山のくすり学			臨床薬物動態学
9)肝および固有クリアランスについて説明できる。			薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
[排泄]						
1)腎における排泄機構について説明できる。			薬物動態学 生物薬剤学 トランスポーター論			臨床薬物動態学
2) 腎クリアランスについて説明できる。			薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学
3) 糸球体ろ過速度について説明できる。			薬物動態学 生物薬剤学			臨床薬物動態学

1			該当科目			
条子教育セナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年 3年		4年	5年	6年
4)胆汁中排泄について説明できる。		生物薬剤学				臨床薬物動態学
5)腸肝循環を説明し、代表的な腸肝循環の薬物を列挙できる。		薬物動態学生物薬剤学				臨床薬物動態学
6) 唾液・乳汁中への排泄について説明できる。		生物薬剤学				臨床薬物動態学
7)尿中排泄率の高い代表的な薬物を列挙できる。		薬物動態学生物薬剤学				臨床薬物動態学
【相互作用】						
1)薬物動態に起因する相互作用の代表的な例を挙げ、回避のための方法を説明できる。		薬物動態学生物薬剤学				臨床薬物動態学
2)薬効に起因する相互作用の代表的な例を挙げ、回避のための方法を説明できる。		薬物動態学生物薬剤学				臨床薬物動態学
(5) 薬物動態の解析 【薬動学】						
1)薬物動態に関わる代表的なパラメーターを列挙し、概説できる。		薬物動態学生物薬剤学				臨床薬物動態学
2)薬物の生物学的利用能の意味とその計算法を説明できる。		薬物動態学生物薬剤学				臨床薬物動態学
ン 3)線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。(知識・技能)		薬物動態学 生物薬剤学 医療系実習(薬剤学)	<u> </u>			臨床薬物動態学
4)線形2-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。(知識・技能)		生物薬剤学 医療系実習(薬剤学)	5)			
5)線形コンパートメントモデルと非線形コンパートメントモデルの違いを説明できる。		薬物動態学生物薬剤学				臨床薬物動態学
6)生物学的半減期を説明し、計算できる。(知識・技能)		薬物動態学				臨床薬物動態学
7)全身クリアランスについて説明し、計算できる。(知識・技能)		薬物動態学 生物薬剤学 医療系実習(薬剤学)	5)			臨床薬物動態学
8)非線形性の薬物動態について具体例を挙げて説明できる。		薬物動態学生物薬剤学				臨床薬物動態学
9)モデルによらない薬物動態の解析法を列挙し説明できる。		生物薬剤学				臨床薬物動態学
10)薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能)		薬物動態学 生物薬剤学 医療系実習(薬剤学)	<u>2</u>)			臨床薬物動態学
11)点滴静注の血中濃度計算ができる。(技能)		薬物動態学 生物薬剤学 医療系実習(薬剤学)	<u> </u>			臨床薬物動態学

3) / = + = + 4 г			数当本			
96) 4644677.	1年	2年	3年	4年	5年 6年	lul.
12)連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)			薬物動態学 生物薬剤学 医療系実習(薬剤学)		—————————————————————————————————————	<u>**</u>
【TDM (Therapeutic Drug Monitoring)】						
1)治療的薬物モニタリング(TDM)の意義を説明できる。			薬物動態学 医療系実習(薬剤学)		—————————————————————————————————————	<u> </u>
2)TDMが必要とされる代表的な薬物を列挙できる。			薬物動態学 医療系実習(薬剤学)		路床薬物動態学	扑
3)薬物血中濃度の代表的な測定法を実施できる。(技能)			薬物動態学 医療系実習(薬剤学)		路床薬物動態学	*
4) 至適血中濃度を維持するための投与計画について、薬動学的パラメーターを用いて説明できる。			薬物動態学 医療系実習(薬剤学)		臨床薬物動態学	扑
5)代表的な薬物についてモデルデータから投与計画をシミュレートできる。(技能)			薬物動態学 医療系実習(薬剤学)		臨床薬物動態学	*
C14 薬物治療 (1) 体の変化を知る [症候]						
1)以下の症候について、生じる原因とそれらを伴う代表的疾患を説明できる。発熱、頭痛、発疹、黄疸、チアノーゼ、脱水、浮腫、悪心・嘔吐、嚥下障害、腹痛・下痢、便秘、腹部膨満、貧血、出血傾向、胸痛、心悸亢進・動悸、高血圧、低血圧、ショック、呼吸困難、咳、口渇、月経異常、痛み、意識障害、運動障害、知覚障害、記憶障害、しび、れ、けいれん、血尿、頻尿、排尿障害、視力障害、肺力障害、めまい				薬物治療学]		
【症候と臨床検査値】						
1)代表的な肝臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。				薬物治療学工		
2)代表的な腎臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。				薬物治療学工		
3)代表的な呼吸機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。				薬物治療学工		
4)代表的な心臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。				薬物治療学工		
5)代表的な血液および血液凝固検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。				薬物治療学工		
6)代表的な内分泌・代謝疾患に関する検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を 挙げることができる。				薬物治療学工		
フ)感染時および炎症時に認められる代表的な臨床検査値の変動を述べることができる。				薬物治療学工		
8)悪性腫瘍に関する代表的な臨床検査を列挙し、推測される腫瘍部位を挙げることができる。				薬物治療学工		
9) 尿および糞便を用いた代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を 挙げることができる。				薬物治療学Ⅱ		
10) 動脈血ガス分析の検査項目を列挙し、その検査値の臨床的意義を説明できる。				薬物治療学工		
11) 代表的なバイタルサインを列挙できる。				薬物治療学工		
(2)疾患と薬物治療(心臓疾患等)						
9治療の位置づけ】				_	-	
1)代表的な疾患における薬物治療と非薬物治療(外科手術、食事療法など)の位置づけを説明できる。				薬物治療学]		

1			松	科 目		
条子教育セナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2)適切な治療薬の選択について、薬効薬理、薬物動態に基づいて判断できる。(知識・技能)				薬物治療学] 薬物治療学 I 事前学習		
【心臓・血管系の疾患】						
1) 心臓および血管系における代表的な疾患を挙げることができる。				薬物治療学皿		
2) 不整脈の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学皿		
3) 心不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学皿		
4) 高血圧の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学皿		
5)虚血性心疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学皿		
6) 以下の疾患について概説できる。閉塞性動脈硬化症、心原性ショック				薬物治療学皿		
【血液・造血器の疾患】						
1)血液・造血器における代表的な疾患を挙げることができる。				薬物治療学工		
2) 貧血の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学工		
3) 白血病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学工		
4)播種性血管内凝固症候群(DIC)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について 説明できる。				薬物治療学工		
5)以下の疾患について概説できる。血友病、悪性リンパ腫、紫斑病、白血球減少症、血栓・塞栓				薬物治療学工		
【消化器系疾患】						
1)消化器系の部位別(食道、胃・十二指腸、小腸・大腸、胆道、肝臓、膵臓)に代表的な疾患を挙げ カ ることができる。				薬物治療学]		
7 2)消化性潰瘍の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		生物物理化学		薬物治療学! トランスポーター論		
3) 腸炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学]		
4) 肝炎・肝硬変の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学]		
5) 膵炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学1		
6) 以下の疾患について概説できる。食道癌、胃癌、肝癌、大腸癌、胃炎、薬剤性肝障害、胆石症、 虫垂炎、クローン病				薬物治療学]		
【総合演習】						
1) 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。 (技能)				薬物治療学] 薬物治療学 I 事前学習		
(3)疾患と薬物治療(腎臓疾患等)						
【腎臓・尿路の疾患】						
1) 腎臓および尿路における代表的な疾患を挙げることができる。				薬物治療学]		
2) 腎不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学]		
3) ネフローゼ症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学1		
4) 以下の疾患について概説できる。糸球体腎炎、糖尿病性腎症、尿路感染症、薬剤性腎症、尿路結石				薬物治療学]		
【生殖器疾患】						
1) 男性および女性生殖器に関する代表的な疾患を挙げることができる。				薬物治療学1,111		
治療薬、およびその使				薬物治療学1,111		
3)以下の疾患について概説できる。前立腺癌、異常妊娠、異常分娩、不妊、子宮癌、子宮内膜症				薬物治療学1,111		

		益	1		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年 3年		5年	6年
【呼吸器・胸部の疾患】					
1) 肺と気道に関する代表的な疾患を挙げることができる。			薬物治療学11		
2) 閉塞性気道疾患(気管支喘息、肺気腫)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意に ついて説明できる。			薬物治療学11		
3) 以下の疾患について概説できる。上気道炎(かぜ症候群)、インフルエンザ、慢性閉塞性肺疾患、 肺炎、肺結核、肺癌、乳癌			薬物治療学]]		
【内分泌系疾患】					
1) ホルモンの産生臓器別に代表的な疾患を挙げることができる。			薬物治療学11		
2) 甲状腺機能異常症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学11		
3) クッシング症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学11		
4) 尿崩症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学11		
5) 以下の疾患について概説できる。上皮小体機能異常症、、アルドステロン症、アジソン病			薬物治療学11		
【代謝性疾患】					
1)糖尿病とその合併症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学1		
2) 高脂血症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学1		
3) 高尿酸血症・痛風の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学1		
【神経・筋の疾患】					
1)神経・筋に関する代表的な疾患を挙げることができる。			薬物治療学1,111		
2) 脳血管疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学1,111		
3) てんかんの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学1		
4)パーキンソン病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学1		
5)アルツハイマー病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学1		
6)以下の疾患について概説できる。重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性 脳虚血発作、脳血管性痴呆			薬物治療学]		
【総合演習】					
1) 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。			薬物治療学] 事前学習		
(4)疾患と薬物治療(精神疾患等)					
【精神疾患】					
1) 代表的な精神疾患を挙げることができる。			薬物治療学1		
2) 統合失調症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学1		
3) うつ病、躁うつ病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学1		
4) 以下の疾患を概説できる。神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症			薬物治療学1		
【耳鼻咽喉の疾患】					
1) 耳鼻咽喉に関する代表的な疾患を挙げることができる。			薬物治療学1		
2) めまいの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学]		
3) 以下の疾患を概説できる。メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎			薬物治療学1		
	-		_	-	
1) 皮膚に関する代表的な疾患を挙げることができる。			薬物治療学工		
2)アトピー性皮膚炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学工		

			二、			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年			5年	9
3) 皮膚真菌症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学工		
4)以下の疾患を概説できる。蕁麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症				薬物治療学工		
【眼疾患】						
1) 眼に関する代表的な疾患を挙げることができる。				薬物治療学工		
2) 緑内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学工		
3) 白内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学工		
4)以下の疾患を概説できる。結膜炎、網膜症				薬物治療学工		
[骨・関節の疾患]						
1) 骨、関節に関する代表的な疾患を挙げることができる。				薬物治療学1		
2) 骨粗鬆症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学]		
3)慢性関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学 I 薬物治療学 I 薬物治療学 II		
4)以下の疾患を概説できる。変形性関節症、骨軟化症				薬物治療学 I 薬物治療学 II		
【アレルギー・免疫疾患】						
1)代表的なアレルギー・免疫に関する疾患を挙げることができる。		免疫学	40	薬物治療学工		
2) アナフィラキシーショックの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		免疫学	421	薬物治療学工		
3) 自己免疫疾患(全身性エリテマトーデスなど)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の 注意について説明できる。		免疫学	या	薬物治療学工		
4)後天性免疫不全症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学工		
【移植医療】						
1)移植に関連した病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学皿		
[緩和ケアと長期療養]						
1) 癌性疼痛に対して使用される薬物を列挙し、使用上の注意について説明できる。				薬物治療学 I 薬物治療学 I 薬物治療学 II		
2) 長期療養に付随する合併症を列挙し、その薬物治療について説明できる。				薬物治療学 I 薬物治療学 I 薬物治療学 II		
【総合演習】						
1)指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。 (技能)				薬物治療学] 薬物治療学 II 事前学習		
(5) 病原微生物・悪性新生物と戦う 「耐効・悪性新生物と戦う」						
	-	-				
1)主な感染症を列挙し、その病態と原因を説明できる。		-		薬物治療学工		
【抗菌薬】	_	_				
抗菌薬を作用点に基ついて分類でき						
2)代表的な抗菌薬の基本構造を示すことができる。				薬物治療学工		

薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
3)代表的なβ-ラクタム系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。				薬物治療学工		
4) テトラサイクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。				薬物治療学工		
5)マクロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。				薬物治療学工		
6)アミノ配糖体系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。				薬物治療学工		
フ)ピリドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。				薬物治療学工		
8)サルファ薬(ST合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。				薬物治療学工		
9)代表的な抗結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。				薬物治療学工		
10) 細菌感染症に関係する代表的な生物学的製剤を挙げ、その作用機序を説明できる。				薬物治療学工		
11) 代表的な抗菌薬の使用上の注意について説明できる。				薬物治療学工		
12)特徴的な組織移行性を示す抗菌薬を列挙できる。				薬物治療学工		
【抗原虫·寄生虫薬】						
1)代表的な抗原虫・寄生虫薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。				薬物治療学工		
1)代表的な抗真菌薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。				薬物治療学工		
【抗ウイルス薬】						
1)代表的な抗ウイルス薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。				薬物治療学工		
2) 抗ウイルス薬の併用療法において考慮すべき点を挙げ、説明できる。				薬物治療学工		
【抗菌薬の耐性と副作用】						
ンカ 1)主要な化学療法薬の耐性獲得機構を説明できる。		基礎微生物·免疫学		薬物治療学工		
2) 主要な化学療法薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。				薬物治療学工		
【悪性腫瘍の病態と治療】						
1) 悪性腫瘍の病態生理、症状、治療について概説できる。				薬物治療学皿		
2) 悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけについて概説できる。				薬物治療学皿		
3) 化学療法薬が有効な悪性腫瘍を、治療例を挙げて説明できる。				薬物治療学皿		
【抗悪性腫瘍薬】						
1)代表的な抗悪性腫瘍薬を列挙できる。				薬物治療学皿		
2)代表的なアルキル化薬を列挙し、作用機序を説明できる。				薬物治療学皿		
3)代表的な代謝拮抗薬を列挙し、作用機序を説明できる。				薬物治療学皿		
4)代表的な抗腫瘍抗生物質を列挙し、作用機序を説明できる。				薬物治療学皿		
5) 抗腫瘍薬として用いられる代表的な植物アルカロイドを列挙し、作用機序を説明できる。				薬物治療学皿		
6) 抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬を列挙し、作用機序を説明できる。				薬物治療学皿		
7)代表的な白金錯体を挙げ、作用機序を説明できる。				薬物治療学皿		
8)代表的な抗悪性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。				薬物治療学皿		
【抗悪性腫瘍薬の耐性と副作用】						
1)主要な抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構を説明できる。				薬物治療学皿		
2)主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。				薬物治療学皿		
3)副作用軽減のための対処法を説明できる。				薬物治療学皿		
015 薬物治療に役立つ情報						
(1) 医薬品情報						

			>			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	14年	2年	o 双	本 I	n ft	α H
【		+	+	+	 	H
	_					_
1) 医薬品として必須の情報を列挙できる。				薬物治療学工		
2) 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。						臨床薬物動態学
3) 医薬品の開発過程で得られる情報の種類を列挙できる。						臨床薬物動態学
4) 医薬品の市販後に得られる情報の種類を列挙できる。						臨床薬物動態学
5) 医薬品情報に関係する代表的な法律と制度について概説できる。						臨床薬物動態学
【情報源】						
1)医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料について説明できる。				薬物治療学工		臨床薬物動態学
2) 医薬品情報源として代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。				薬物治療学工		臨床薬物動態学
3)厚生労働省、製薬企業などの発行する資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。				薬物治療学工	薬局実習	臨床薬物動態学
4)医薬品添付文書(医療用、一般用)の法的位置づけと用途を説明できる。				薬物治療学工	薬局実習	臨床薬物動態学
5)医薬品添付文書(医療用、一般用)に記載される項目を列挙し、その必要性を説明できる。				薬物治療学工	薬局実習	臨床薬物動態学
6)医薬品インタビューフォームの位置づけと用途を説明できる。				薬物治療学工	薬局実習	臨床薬物動態学
7)医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分けができる。(技能)				薬物治療学工	薬局実習	臨床薬物動態学
【収集・評価・加工・提供・管理】						
1)目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源 クカ を選択し、必要な情報を検索、収集できる。(技能)				コミュニケーションと チーム医療		臨床薬物動態学
2)医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目を列挙できる。				コミュニケーションと チーム医療		臨床薬物動態学
3)医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる。(技能)					病院実習	臨床薬物動態学
4)医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する。(知識・態度)				知的財産論		臨床薬物動態学
5)主な医薬品情報の提供手段を列挙し、それらの特徴を説明できる。				コミュニケーションと チーム医療		臨床薬物動態学
[データペース]						
1) 代表的な医薬品情報データベースを列挙し、それらの特徴を説明できる。		総合薬学演習	演習	薬物治療学工		臨床薬物動態学
2) 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる。(知識・技能)		総合薬学演習	演習	薬物治療学工		臨床薬物動態学
3) インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を収集できる。(技能)		総合薬学演習	演習	薬物治療学工		臨床薬物動態学
[EBM (Evidence-Based Medicine)]						
1) EBMの基本概念と有用性について説明できる。		統計学				臨床薬物動態学
2)EBM実践のプロセスを概説できる。		統計学				臨床薬物動態学
3) 臨床研究法(ランダム化比較試験、コホート研究、症例対照研究など)の長所と短所を概説できる。		統計学				臨床薬物動態学
4) メタアナリシスの概念を理解し、結果を評価できる。(知識・技能)		統計学				臨床薬物動態学
5) 真のエンドポイントと代用のエンドポイントの違いを説明できる。		統計学				臨床薬物動態学
6) 臨床適用上の効果指標(オッズ比、必要治療数、相対危険度など)について説明できる。		統計学				臨床薬物動態学
【総合演習】						

(*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*)						
98) ALTTURY .	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1) 医薬品の採用、選択に当たって検討すべき項目を列挙できる。			総合薬学演習			
2) 医薬品に関する論文を評価、要約し、臨床上の問題を解決するために必要な情報を提示できる。 (知識・技能)			総合薬学演習			
(2) 患者情報 【情報と情報源】						
1)薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。				事前学習 薬物治療学]		
2) 患者情報源の種類を列挙し、それぞれの違いを説明できる。				事前学習 薬物治療学]		
【収集・評価・管理】						
1)問題志向型システム(POS)を説明できる。				コミュニケーションと チーム医療		
2)薬歴、診療録、看護記録などから患者基本情報を収集できる。(技能)				コミュニケーションと チーム医療	薬局実習	
3)患者、介護者との適切なインタビューから患者基本情報を収集できる。(技能)					薬局実習	
4)得られた患者情報から医薬品の効果および副作用などを評価し、対処法を提案する。 (知識・技能)					薬局実習	
5)SOAPなどの形式で患者記録を作成できる。(技能)				コミュニケーションと チーム医療	薬局実習	
 6)チーム医療において患者情報を共有することの重要性を感じとる。(態度) 0				コミュニケーションと チーム医療	薬局実習	
7) 患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる。(知識・態度)				コミュニケーションと チーム医療	薬局実習	
(3) テーラーメイド薬物治療を目指して 【遺伝的素因】						
1)薬物の作用発現に及ぼす代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。			生物薬剤学薬物動態学			臨床薬物動態学
2)薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。			生物薬剤学薬物動態学			臨床薬物動態学
3) 遺伝的素因を考慮した薬物治療について、例を挙げて説明できる。			薬物動態学			臨床薬物動態学
帝的要因】			千香描述:			
1)新生児、乳児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。			工物条削子 薬物動態学	事前学習		臨床薬物動態学
2)幼児、小児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。			生物薬剤学薬物動態学	事前学習		臨床薬物動態学
3) 高齢者に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学	事前学習		臨床薬物動態学
【生理的要因】						
1)生殖、妊娠時における薬物治療で注意すべき点を説明できる。			薬物動態学	事前学習		臨床薬物動態学
2) 授乳婦に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。			薬物動態学	事前学習		臨床薬物動態学
3)栄養状態の異なる患者(肥満など)に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。			薬物動態学			臨床薬物動態学

,			盆	本		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS) 	1年	2年			5年	6年
[合併症]						
1)腎臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。			薬物動態学	事前学習		臨床薬物動態学
2)肝臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。			薬物動態学	事前学習		臨床薬物動態学
3)心臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。			薬物動態学	事前学習		臨床薬物動態学
【投与計画】						
1) 患者固有の薬動学的パラメーターを用いて投与設計ができる。(知識・技能)			薬物動態学			
2) ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用について概説できる。			生物薬剤学薬物動態学			
3)薬動力学的パラメーターを用いて投与設計ができる。(知識・技能)			薬物動態学			
4)薬物作用の日内変動を考慮した用法について概説できる。			薬物動態学	事前学習		
[医薬品をつくる]						
(16) 製剤化のサイエンス						
(1)製剤材料の性質						
【物質の溶解】						
1)溶液の濃度と性質について説明できる。			物理薬剤学			
2)物質の溶解とその速度について説明できる。			物理薬剤学			
3)溶解した物質の膜透過速度について説明できる。			物理薬剤学			
4)物質の溶解に対して酸・塩基反応が果たす役割を説明できる。			物理薬剤学			
【分散系】						
1) 界面の性質について説明できる。		物理系実習(物理化学11)	薬品物理化学 - <mark>物理薬剤学</mark>			
2)代表的な界面活性剤の種類と性質について説明できる。		物理系実習(物理化学11)	薬品物理化学 - <mark>物理薬剤学</mark>			
3) 乳剤の型と性質について説明できる。			薬品物理化学 物理薬剤学			
4)代表的な分散系を列挙し、その性質について説明できる。			薬品物理化学 物理薬剤学			
5)分散粒子の沈降現象について説明できる。			薬品物理化学 物理薬剤学			
【製剤材料の物性】						
1) 流動と変形(レオロジー)の概念を理解し、代表的なモデルについて説明できる。			物理薬剤学			
2) 高分子の構造と高分子溶液の性質について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化学)			
3) 製剤分野で汎用される高分子の物性について説明できる。			物理薬剤学			
4) 粉体の性質について説明できる。			物理薬剤学			
5)製剤材料としての分子集合体について説明できる。			物理薬剤学			
6)薬物と製剤材料の安定性に影響する要因、安定化方法を列挙し、説明できる。			物理薬剤学			
7)粉末×線回折測定法の原理と利用法について概略を説明できる。			物理薬剤学			

0 / 一川 - 十二十件			松	科 目		
条子牧戸七ナル・コアガリキュフム(3BOS) 	中—	2年	3年	4年	5年	6年
8)製剤材料の物性を測定できる。(技能)			物理薬剤学			
(2) 剤形をつくる						
【代表的な製剤】						
1)代表的な剤形の種類と特徴を説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化学) 富山のくすり学	事前学習		
2)代表的な固形製剤の種類と性質について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習 <u>(生物物理化学)</u> 富山のくすり学	事前学習		
3)代表的な半固形製剤の種類と性質について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化学)	事前学習		
4)代表的な液状製剤の種類と性質について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化学) 富山のくすり学	事前学習		
5)代表的な無菌製剤の種類と性質について説明できる。			物理薬剤学	事前学習		
6) エアゾール剤とその類似製剤について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化学) 富山のくすり学	事前学習		
7)代表的な製剤添加物の種類と性質について説明できる。 8)			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化学)			
8)代表的な製剤の有効性と安全性評価法について説明できる。			物理薬剤学	事前学習		
【製剤化】						
1)製剤化の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習 <u>(生物物理化学)</u> 富山のくすり学			
2)単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製できる。(技能)			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化学)			
3) 汎用される容器、包装の種類や特徴について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化学)			
【製剤試験法】						
1)日本薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。	分析化学	物理系実習(分析化学)	物理薬剤学 医療系実習(生物物理化学)			
2)日本薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)		物理系実習(分析化学)	物理薬剤学 医療系実習(生物物理化学)			
(3) DDS (Drug Delivery System: 薬物送達システム) 「DDS (Drug Delivery System: 薬物送達システム)						
1)従来の医薬品製剤の有効性、安全性、信頼性における主な問題点を列挙できる。			物理薬剤学			
2)DDSの概念と有用性について説明できる。			物理薬剤学			

			紅	本 目		
乗竿教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年		4年	5年	6年
【放出制御型製剤】						
1)放出制御型製剤(徐放性製剤を含む)の利点について説明できる。			物理薬剤学			
2)代表的な放出制御型製剤を列挙できる。			物理薬剤学			
3)代表的な徐放性製剤における徐放化の手段について説明できる。			物理薬剤学			
4)徐放性製剤に用いられる製剤材料の種類と性質について説明できる。			物理薬剤学			
5)経皮投与製剤の特徴と利点について説明できる			物理薬剤学 富山のくすり学			
6)腸溶製剤の特徴と利点について説明できる。			物理薬剤学 富山のくすり学			
[ターゲティング]				-		
1) ターゲティングの概要と意義について説明できる。			物理薬剤学			
2)代表的なドラッグキャリアーを列挙し、そのメカニズムを説明できる。			物理薬剤学			
[プロドラッグ]						
1)代表的なプロドラッグを列挙し、そのメカニズムと有用性について説明できる。			物理薬剤学			
【その他のDDS】						
1)代表的な生体膜透過促進法について説明できる。			物理薬剤学			
C17 医薬品の開発と生産 C17 医薬品の開発と生産						
(1) 医薬品開発と生産のながれ						
【医薬品開発のコンセプト】						
1) 医薬品開発を計画する際に考慮すべき因子を列挙できる。				薬学経済		臨床薬物動態学
2)疾病統計により示される日本の疾病の特徴について説明できる。				薬学経済		
【医薬品市場と開発すべき医薬品】						
1)医療用医薬品で日本市場および世界市場での売上高上位の医薬品を列挙できる。			富山のくすり学	薬学経済		
2) 新規医薬品の価格を決定する要因について概説できる。				薬学経済		
3) ジェネリック医薬品の役割について概説できる。				薬学経済		
4) 希少疾病に対する医薬品(オーファンドラッグ) 開発の重要性について説明できる。				薬学経済		
【非臨床試験】			_	-	-	
1)非臨床試験の目的と実施概要を説明できる。			医療系実習(薬剤学)	薬学経済		臨床薬物動態学
【医薬品の承認】						
1)臨床試験の目的と実施概要を説明できる。			<u>医療系実習(薬剤学)</u> 富山のくすり学	薬学経済		臨床薬物動態学
2) 医薬品の販売承認申請から、承認までのプロセスを説明できる。				薬学経済		臨床薬物動態学
3) 市販後調査の制度とその意義について説明できる。			富山のくすり学	薬学経済	1	臨床薬物動態学
4) 医薬品開発における国際的ハーモナイゼーション (ICH) について概説できる。				薬学経済		
【医薬品の製造と品質管理】						
1) 医薬品の工業的規模での製造工程の特色を開発レベルのそれと対比させて概説できる。			富山のくすり学	薬学経済		
2) 医薬品の品質管理の意義と、薬剤師の役割について説明できる。				薬学経済		臨床薬物動態学
3) 医薬品製造において環境保全に配慮すべき点を列挙し、その対処法を概説できる。				薬学経済		
【規範】						

(のロの) ソニ・エー・コーパーの条金様			該	科目		
47146871	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1) GLP (Good Laboratory Practice)、GMP (Good Manufacturing Practice)、GCP (Good Clinical Practice)、GPMSP (Good Post-Marketing Surveillance Practice) の概略と意義について説明できる。			物理薬剤学	薬学経済		
[特許]						
1)医薬品の創製における知的財産権について概説できる。				薬学経済 知的財産論		
[薬害]						
1)代表的な薬害の例(サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジンなど)について、その 原因と社会的背景を説明し、これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度)	医療学入門					
(2)リード化合物の創製と最適化						
【医薬品創製の歴史】						
1)古典的な医薬品開発から理論的な創薬への歴史について説明できる。			富山のくすり学 創薬化学	莱宁格 洛		
【標的生体分子との相互作用】						
1) 医薬品開発の標的となる代表的な生体分子を列挙できる。			創薬化学			
2) 医薬品と標的生体分子の相互作用を、具体例を挙げて立体化学的観点から説明できる。			創薬化学			臨床薬物動態学
3)立体異性体と生物活性の関係について具体例を挙げて説明できる。			創薬化学			臨床薬物動態学
4) 医薬品の構造とアゴニスト活性、アンタゴニスト活性との関係について具体例を挙げて説明できる。			創薬化学			臨床薬物動態学
[75						
9 1) スクリーニングの対象となる化合物の起源について説明できる。			天然医薬資源学			
2)代表的なスクリーニング法を列挙し、概説できる。			天然医薬資源学 トランスポーター論			
【リード化合物の最適化】						
1) 定量的構造活性相関のパラメーターを列挙し、その薬理活性に及ぼす効果について概説できる。			<u>総合薬学演習</u> 創薬化学			
2)生物学的等価性(バイオアイソスター)の意義について概説できる。			<u>総合薬学演習</u> 創薬化学			
3)薬物動態を考慮したドラッグデザインについて概説できる。			物理薬剤学 創薬化学			
(3) パイオ医薬品とゲノム情報						
【組換え体医薬品】			-			
1)組換え体医薬品の特色と有用性を説明できる。				薬学経済		
2) 代表的な組換え体医薬品を列挙できる。				薬学経済		
3)組換え体医薬品の安全性について概説できる。				薬学経済		
【遺伝子治療】				-		
1)遺伝子治療の原理、方法と手順、現状、および倫理的問題点を概説できる。(知識・態度)				薬物治療学 臨床倫理学		
【細胞を利用した治療】						
1)再生医療の原理、方法と手順、現状、および倫理的問題点を概説できる。(知識・態度)				薬物治療学田臨床倫理学		
【ゲノム情報の創薬への利用】						

$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$) () () () () () () () () () (本 田		
19.14 (4 2 2 2 4 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	. 17 27 4 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	1年				6年
	ヒトゲノムの構造と多様性を説明できる		生命情報科学工			
	バイオインフォマティ		構造生物学			
4. サイル 金銭の対策できた。	遺伝子多型(欠損、増幅)の解析に用いられる方法(ゲノミックサザンブロット法など)概説できる。		生命情報科学工			
1. は着から高い 他、	ゲノム情報の創薬への利用について、創薬ターゲットの探索の代表例(イマチニブなど) ゲノム創薬の流れについて説明できる。		生命情報科学工			
1. 中央技術技術・展開を表と、原産機等とにいる関係を表し、 (4.) 対象 (1.) 対象性関係というでは関係を表し、の間が発生して、経過できる。 (4.) 対象 (1.) 対象性関係というでは関係できる。 (5.) 特別に関してヘルシンを言うが能するところを指数できる。 (5.) 特別に関してヘルシンを言うが能するところを指数できる。 (5.) 特別に関してイルシンを言うが能するところを指数できる。 (5.) 特別に対してイルシンを言うが能するところを指数できる。 (5.) 特別に対してイルタンを言うが能するところを指数できる。 (5.) 特別に対してイルタンを可能を対象できる。 (5.) 特別を対象に対しては、あるとの情報を対象できる。 (5.) 特別を対象に対しては、なるとの情報を対象できる。 (5.) 特別を対象に対してきる。 (5.) 特別を対象と対してきる。 (5.) 特別を対象を対象できる。 (5.) 特別を対象を対象できる。 (5.) 特別を対象を対象できる。 (5.) 特別を対象と対象を対象できる。 (5.) 特別を対象を対象できる。 (5.) 特別を対象を対象を対象できる。 (5.) 特別を対象を対象できる。 (5.) 特別を対象を対象できる。 (5.) 特別を対象を対象できる。 (5.) まな主義が可能を表現できる。 (5.) まな主義が可能を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	[疾患関連遺伝子]					
2. 時間を確認を発展します。 (1. 前間におするを発展しての原列を挙げ、構造できる。 (1. 前間におするを発展しての原列を挙げるところを指揮できる。 (1. 前間に関してヘルント本質が検験するところを指揮できる。 (1. 前間に関してヘルント本質が検験するところを指揮できる。 (1. 前間に関して小ルント本質が検験するところを指揮できる。 (1. 前間に関して小ルント本型の配置を発展してきる。 (1. 前間に関して小ルント本型の配置を発展してきる。 (1. 前間に関して小ルント本型の配置を発展してきる。 (1. 前間に関して小りの定数値できる。 (1. 前間に対する発展を受みを確認を発展してきる。 (1. 前間に対する影響を受みを使みを使みできる。 (1. 前間に対する事業の配置を発展してきる。 (1. 前に対する事業の配置を発展してきる。 (1. 前に対する事業の配置を発展してきる。 (1. 前に対する事業の配置を発展してきる。 (1. 前に対する事業の配置を発展してきる。 (1. 前に対する事業の定置を表現してきる。 (1. 前に対する事業の定置を表現してきる。 (1. 前に対する事業の定置を表現してきる。 (1. 前に対する事業の定置を表現してきる。 (1. 前に対する事業の定置を表現してきる。) (1. 前に対する事業の定置を表現してきる。) (1. 前に対する事業の定置を表現してきる。) (1. 前に対する事業の定置を表現してきる。) (1. 前に対する事業の定置を表現してきる。) (1. 前に対する事業の定置を表現してきる。) (1. 前に対する事業の定置を表現してきる。)<	代表的な疾患(癌、糖尿病など)関連遺伝子について説明できる		生命情報科学工			
(4) 金銭 (4) を (4) 金銭 (4) を (4) 金銭 (4) を (4				薬物治療学皿		
対象に関してヘレンンケ宣音が変更するところを診断できる。 1) 対象に関してヘレンンケ宣音が変更するところを診断できる。 2) 対象に関してヘレンンケ宣音が変更するところを診断できる。 3) 対象に関したいたシンケ宣音を発するところを診断できる。 3) 対象に関し、対するが関すを対象できる。 4) かままるに関わると解しを発きを解するとのの制度を制すできる。 5) 対象に対しる対象を発するとの制度を発すできる。 5) 対象に対しる対象を発するとの制度を発すできる。 5) 対象に対しる対象を発するとの制度を発すできる。 5) 対象に対しる対象を必要を対すできる。 5) 対象に対し、対象を同じのを制度を発するとの制度を発すできる。 5) 対象に対し、対象を同じのを制度を発するとの制度を発すできる。 5) 対象に対し、対象を同じのを制度を発するとの制度を発すできる。 5) 対象に対し、対象を同じのを制度を発するとのできる。 6) 対象に対し、対象を同じのを制度を発するとのできる。 7) 対象に対し、対象を同じのを制度が対する。 (対象・対象を対してきる。 (対象・対象・) 対象に対し、対象を同じのを対してきる。 (対象・対象を対してきるチェークの存在を影響し、対象・対象を対してきるチェークの存在を影響し、対象・対象を対してきる・ (対象・対象を対してきる。 (対象・対象・) は、対象・) は、対象を引動すてきるチェークの存在を影響し、対象・対象を対してきるチェークの存在を影響し、対象・対象を対してきるチェークの存在を影響し、対象・対象を対してきるチェークの存在を影響し、対象・対象を対してきるチェークの存在を影響し、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	(4)治験					
1) が発に関してヘルシンチ音音が原因するところを設明できる。 2) 高菜品製における活動の皮脂を設明できる。 3) 油炭 (消 1. 1. 18 AZ DIN 10 の日常を設明できる。 4) 油炭 (消 1. 1. 18 AZ DIN 10 の日常を設明できる。 4) 油炭 (消 1. 1. 18 AZ DIN 10 の日常を設明できる。 4) 油炭 (消 1. 1. 18 AZ DIN 10 の日常を設明できる。 5) 治炭 (消 1. 1. 18 AZ DIN 10 の日常を設明できる。 5) 治炭 (消 1. 1. 18 AZ DIN 10 の日常を設明できる。 5) 治炭 (消 1. 1. 18 AZ DIN 10 の日常を設明できる。 5) 治炭 (1. 1. 18 AZ DIN 10 の日常を設明できる。 5) 治炭 (1. 1. 18 AZ DIN 10 の日常を設明できる。 5) 治炭 (1. 1. 18 AZ DIN 10 の日常を設明できる。 5) 治炭 (1. 1. 18 AZ DIN 10 の日間できる。 5) 治炭 (1. 1. 18 AZ DIN 10 の日間できる。 5) 治炭 (1. 1. 18 AZ DIN 10 の日間できる。 4) オンフォームド コンセントと治療権に関する中部を設可できる。 5) 治炭 (1. 1. 18 AZ DIN 10 の日	[治験の意義と業務]					
1) 治療に関した必然の役長を設明できる。 第20 (東京品別限における法数の役員を説明できる。 第20 (本)	治験に関してヘルシンキ宣言が意図するところを説明できる			・ ・ ・	病院実習	
3) 没後(第1、11、および正相) の内容を認明できる。 第山のくすり学 4) 公正な治療の推進を程度するための固定を認明できる。 (5) 条額における修設者の人様の保護と変生の体限、および指出の重要性について計算する。 (5) 条額における修設者の人様の保護と変生の体限、および指出の重要性について計算する。 (6) 条額を指しる修成を保険の使用之責任を施別できる。 (7) 条数を指したの保険し責任を施別できる。 (7) 条数を指したの保険し責任を施別できる。 (7) 本を対してインタームディコンセントと活験情報に関するや経費を扱いできる。 (2) 本地において計算する。 (3) 本地において計算する。 (4) インフォームディコンセントと活験情報に関するや経費を表の重要性について計算する。 (4) 本ンステムステムステムステムステムステムステムステムステムステムステムステムステムス)医薬品創製における治験の役割を説明でき					臨床薬物動態学
4) 公正な治療の構造を確保するにかの制度を放射できる。 (3.25 年)	治験(第Ⅰ、Ⅱ、および皿相)の内容を説明できる		岩りも>の口罩		病院実習	
海線における能験者の人権の保護と安全性の経来、および福祉の主要性について計議する。						臨床薬物動態学
6) 治験素類に携わる素類値の役割と定任を概認できる。 1 ションと (2) 治験における素剤値の役割 (治験素管理等など)を説明できる。 1 ションと 2) 治験にあける素剤値の役割 (治験素管理等など)を説明できる。 2 ションと 2) 治験に応い、接換者に認明すべき項目を到準できる。 (御度) 4) インフォームド・コンセントと治験情報に関する守総表務の重要性について討議する。(御度) (協度) (6) パイオクライスティクス (内イオクライスティクス) (協定) (5) 方を下上りつ機能を記明できる。(加度・技術と認用できる。(加度・技術) (協定) (5) オイオクライスティクス (内容 (加速) 技術を定しアパラメトリック機定の使い分けを説明できる。(加速・技能) (協計・費) (5) オイテオトリック機定と及いイラメトリック機能で変してきる。(加速・技能) (協計・事務できる。(加速・技能) (5) カイナ (大海が析、Dunott操作、Tukov検定など)の概要を説明できる。(知識・技能) (協計・事務できる。(知識・技能) (5) 重なを悪性的な要素は明年を表するの機能を説明できる。(知識・技能) (協計・事務) (5) 重なを悪性的な要素と説明できる。(知識・技能) (協計・事務) (5) 重なを悪性的な要素と説明できる。(知識・技能) (協計・技能) (5) 重なを悪性的な要素と説明できる。(知識・技能) (協計・技能) (5) 重なを悪性的な要素と説明できる。(知識・技能) (協計・技能) (5) 重なを悪性が成果を説明できる。(知識・技能) (協計・技能) (5) 重なを悪性が成果を説明できる。(知識・技能) (協計・対策) (5) 重ななが所) (協計・機能・対象の情能を説明できる。(知識・対象の情能を認定するの情能を認定する。(知識・対象の方との情能を必要なの意味を必要ないまする。(知識・対象の意味を必要ないまするの情能を必要ないまするの情能を認定する。(知識・対象の意味を必要などを必要ないまする。(知識・対象の意味を必要などを必要などを必要ないまする。(知識・対象の意味を必要などを必要などを定定する。(知識・対象の意味を必要などを定定する。(知識・対象の意味を必要などを認定する。 (知識・対象の意味を必要などを必要などを必要などを必要などを認定する。(知識・対象の意味を必要などを必要などを認定する。 (知識・対象の意味を必要などを関係を定しまする。) (知識・対象の意味を必要などを必要などを必要などを認定する。 (知識・対象の意味を必要などを認定する。) (知識・対象の意味を必要などを必要などを必要などを必要などを必要などを必要などを必要などを必要など	5)治験における被験者の人権の保護と安全性の確保、および福祉の重要性につ (態度)			臨床倫理学	病院実習	
における業所等の役割 (治験業管理者など) を認明できる。 治験における業制等の役割 (治験業管理者など) を認明できる。 治験における素制師の役割 (治験業管理者など) を認明できる。 治験に際し、総験者に説明すべき項目を別挙できる。 インフォームド・コンセントと治験情報に関する守秘義務の重要性について討議する。(態度) インフォームド・コンセントと治験情報に関する守秘義務の重要性について討議する。(態度) イイスタティスティクス 株計学 株計学 株計学 株計学 最小工業化しかが様を説明できる。(知識・技能) 最小工業化できる。(知識・技能) 最小工業化できる「一名の特性を説明し、実施できる。(知識・技能) 最小工業化にきるデータの特性を説明し、実施できる。(知識・技能) 最小工業化にきるデータの特性を説明し、実施できる。(知識・技能) 最小工業化にきるデータの特性を説明にきる。(知識・技能) 株計学 主な多重数特徴を説明できる。(知識・技能) 株計学 本な多重な特徴を説明できる。(知識・技能) 株計学 本のあ聞 本のあ用 株式に砂点を説明できる。(知識・技能) 株計学 本のあ用 株式は砂点が加、Dumett検定、Juk (検定など) の概要を説明できる。 株式は砂点が加、Dumett検定、Juk (検定など) の概要を説明できる。 本のあ用 本のあ用 本のあ用 本のあ用 本のあ用 本の	6)治験業務に携わる各組織の役割と責任を概説できる			ミュニケーション 一ム医療	病院実習	
治験における薬剤師の役割 (治験薬管理者など) を説明できる。 治験コーディネーターの業務と責任を説明できる。 治験コーディネーターの業務と責任を説明できる。 インフォームド・コンセントと治験情報に関する守秘義務の重要性について討論する。(能度) インフォームド・コンセントと治験情報に関する守秘義務の重要性について討論する。(能度) インフォームド・コンセントと治験情報に関する守秘義務の重要性について討論する。(能度) バイオスタティスティフス がイオスタティスティフス がイオスタティスティフス がイオスタティスティフス が成立の機能を説明できる。(知識・技能)	[治験における薬剤師の役割]					
#数に際し、被験者に説明する事項目を引挙できる。	治験における薬剤師の役割(治験薬管理者など)を説明できる				病院実習	
### 「	治験コーディネーターの業務と責任を説明できる				病院実習	
インフォームド・コンセントと治験情報に関する守級義務の重要性について討議する。(態度) (態度) (本イスタティスティクス (イイスタティスティクス (単位 アンバラメトリック検定の使い分けを説明できる。 (知識・技能) (知識・生態を変更解析の概要を説明できる。(知識・技能) (知識・技能) (知識・生な多重比較検定法(分散分析、Dumott検定、Tukoy検定など)の概要を説明できる。 (知識・技能) (知識・対能) (知	治験に際し、被験者に説明すべき項目を列挙できる				病院実習	
統計の基礎】 帰無仮説の概念を説明できる。 パラメトリック検定の使い分けを説明できる。 まな二群間の平均値の差の検定法(t-検定、Mann-Whitney U検定)について、適用できるデータ の特性を説明し、実施できる。(知識・技能) メ2検定の適用できるデータの特性を説明し、実施できる。(知識・技能) 最小二乗法による直線回帰を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。(知識・技能) 主な多重比較検定法(分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)の概要を説明できる。 まな多変量解析の概要を説明できる。 -への応用】 -への応用】 -への応用】 -への応用】 -への応用】 -への応用】 -への応用】	インフォームド・コンセントと治験情報に関する守秘義務の重要性について討議する。			臨床倫理学	病院実習	
 概念を説明できる。 「ック検定とノンパラメトリック検定の使い分けを説明できる。 「の平均値の差の検定法(t-検定、Mann-Whitney U検定)について、適用できるデータ (知し、実施できる。(知識・技能) 適用できるデータの特性を説明し、実施できる。(知識・技能) だによる直線回帰を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。(知識・技能) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	バイオスタテ					
0概念を説明できる。1ック検定とノンパラメトリック検定の使い分けを説明できる。1の平均値の差の検定法(t-検定、Mann-Whitney U検定)について、適用できるデータ19 (1) 実施できる。(知識・技能)29 (1) 実施できる。(知識・技能)20 (2) を発生を対してきる。(知識・技能)30 (2) を検定法(分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)の概要を説明できる。20 (2) を検定法(分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)の概要を説明できる。20 (2) を検定法(分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)の概要を説明できる。20 (2) を検定法(分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)の概要を説明できる。21 (2) を検定法(分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)の概要を説明できる。22 (4) を対けが研究、コホート研究、ランダム化比較試験)の特色を	【生物統計の基礎】	-	-	_	_	
ック検定とノンパラメトリック検定の使い分けを説明できる。 100平均値の差の検定法(t-検定、Mann-Whitney U検定)について、適用できるデータ 100平均値の差の検定法(t-検定、Mann-Whitney U検定)について、適用できるデータ 100平均値の差の検性を記明し、実施できる。(知識・技能) 110年をるデータの特性を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。(知識・技能) 120年による直線回帰を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。(知識・技能) 120年を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。(知識・技能) 120年を説明できる。 120年を説明できる。	帰無仮説の概念を説明で		統計学			
1の平均値の差の検定法(t-検定、Mann-Whitney U検定)について、適用できるデータ ltill に実施できる。(知識・技能) 適用できるデータの特性を説明し、実施できる。(知識・技能) まによる直線回帰を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。(知識・技能) 主談検定法(分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)の概要を説明できる。 「解析の概要を説明できる。 「解析の概要を説明できる。 「解析の概要を説明できる。	パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の使い分けを説明できる。		統計学			
適用できるデータの特性を説明し、実施できる。(知識・技能) による直線回帰を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。(知識・技能) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	主な二群間の平均値の差の検定法(t-検定、Mann-Whitney U検定)について、適用できるデーの特性を説明し、実施できる。(知識・技能)		統計学			
による直線回帰を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。(知識・技能)	$\chi 2$ 検定の適用できるデータの特性を説明し、実施できる。		統計学			
z較検定法(分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)の概要を説明できる。 i解析の概要を説明できる。 C代表的な研究デザイン(症例対照研究、コホート研究、ランダム化比較試験)の特色を	最小二乗法による直線回帰を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。(知識		統計学			
<u></u> 上解析の概要を説明できる。 会話的な研究デザイン(症例対照研究、コホート研究、ランダム化比較試験)の特色を	主な多重比較検定法(分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)の概要を説		統計学			
代表的な研究デザイン(症例対照研究、コホート研究、ラ	主な多変量解析の概要を説明でき		統計学			
臨床試験の代表的な研究デザイン(症例対照研究、コホート研究、ラ _{対明なま 2}						
B.T.サ.T. C ○ ○。	臨床試験の代表的な研究デザイン(症例対照研究、コホート研究、ラ 説明できる。					臨床薬物動態学

		財 課 報 田 財 計 報 田		
楽字教育セナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年 2年	3年	4年 5年	6年
2) バイアスの種類をあげ、特徴を説明できる。				臨床薬物動態学
3) バイアスを回避するための計画上の技法(盲検化、ランダム化)について説明できる。				臨床薬物動態学
4)リスク因子の評価として、オッズ比、相対危険度および信頼区間について説明し、計算できる。 (知識・技能)				臨床薬物動態学
5)基本的な生存時間解析法(Kaplan-Meier曲線など)の特徴を説明できる。				臨床薬物動態学
C18 薬学と社会 2018 薬学と社会 2019 薬学を持たる 2019 薬				
(1)薬剤師を取り巻く法律と制度				
【医療の担い手としての使命】				_
1)薬剤師の医療の担い手としての倫理的責任を自覚する。(態度)	医療学入門	臨床倫理学 事前学習	理学	
2)医療過誤、リスクマネージメントにおける薬剤師の責任と義務を果たす。(態度)		<u>審売 </u>	显	
【法律と制度】				
1)薬剤師に関連する法令の構成を説明できる。		薬事衛生法規 事前学習	生法規習	
2)薬事法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。		薬事衛生法規 事前学習	生法規習	
3)薬剤師法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。		薬事衛生法規 事前学習	生法規習	
5) 薬剤師に関わる医療法の内容を説明できる。		薬事衛生法規 事前学習	生法規習	
5)医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法などの関連法規と薬剤師の関わりを説明できる。		薬事衛生法規 事前学習	生法規習	
6) 医薬品による副作用が生じた場合の被害救済について、その制度と内容を概説できる。		薬事衛生法規	生法規	
7)製造物責任法を概説できる。 			生法規	
【管理聚】	_	_		
1) 麻薬及び向精神薬取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。		薬事衛生法規 事前学習	生法規習	
2) 覚せい剤取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。		薬事衛生法規 事前学習	生法規習	
3) 大麻取締法およびあへん法を概説できる。		薬事衛生法規 事前学習	生法規習	
4)毒物及び劇物取締法を概説できる。		薬事衛生法規 事前学習	生法規置	
【放射性医薬品】				
1)放射性医薬品の管理、取扱いに関する基準(放射性医薬品基準など)および制度について概説できる。		薬事衛生法規 事前学習	生法規習	
2)代表的な放射性医薬品を列挙し、その品質管理に関する試験法を概説できる。		薬事衛生法規 事前学習	生法規置	

•						
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年			5年	6年
(2) 社会保障制度と薬剤経済						
【社会保障制度】						
1) 日本における社会保障制度のしくみを説明できる。				薬事衛生法規		
2) 社会保障制度の中での医療保険制度の役割を概説できる。				薬事衛生法規		
3) 介護保険制度のしくみを説明できる。				薬事衛生法規		
4)高齢者医療保健制度のしくみを説明できる。				薬事衛生法規		
[医療保険]					_	
1)医療保険の成り立ちと現状を説明できる。				薬事衛生法規 事前学習		
2)医療保険のしくみを説明できる。				薬事衛生法規 事前学習		
3) 医療保険の種類を列挙できる。				薬事衛生法規 事前学習		
4)国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。				薬事衛生法規 事前学習		
【薬剤経済】						
1)国民医療費の動向を概説できる。			富山のくすり学	事前学習		
2)保険医療と薬価制度の関係を概説できる。				事前学習		
9 3)診療報酬と薬価基準について説明できる。 				事前学習		
4)医療費の内訳を概説できる。				事前学習		
5)薬物治療の経済評価手法を概説できる。				事前学習		
6)代表的な症例をもとに、薬物治療を経済的な観点から解析できる。(知識・技能)				薬物治療学] 薬物治療学 I 事前学習		
(3) コミュニティーファーマシー 【地域薬局の役割】						
1)地域薬局の役割を列挙できる。				事前学習	薬局実習	
2)在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割を説明できる。				事前学習	薬局実習	
3)学校薬剤師の役割を説明できる。				事前学習	薬局実習	
【医薬分業】						
1)医薬分業のしくみと意義を説明できる。				事前学習	薬局実習	
2) 医薬分業の現状を概説し、将来像を展望する。(知識・態度)				事前学習	薬局実習	
3)かかりつけ薬局の意義を説明できる。				事前学習	薬局実習	
【薬局の業務運営】						
1)保険薬剤師療養担当規則および保険医療養担当規則を概説できる。				事前学習		

(3) ロン) ブル・ヤニナダー・ニバル伸条を探			無 類	科目		
米十枚目 トング・コング・イエング (3DOS)	1年	字2	3年	4年	5年	6年
2)薬局の形態および業務運営ガイドラインを概説できる。				事前学習		
3)医薬品の流通のしくみを概説できる。				事前学習	薬局実習	
4)調剤報酬および調剤報酬明細書(レセプト)について説明できる。				事前学習	薬局実習	
【016薬・セルフメディケーション】						
1)地域住民のセルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を討議する。(態度)				事前学習	薬局実習	
2)主な一般用医薬品(01C薬)を列挙し、使用目的を説明できる。			富山のくすり学		薬局実習	
3) 漢方薬、生活改善薬、サプリメント、保健機能食品について概説できる。				事前学習	薬局実習	

(基礎資料3一2) 実務実習モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目

- 実務実習モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目名または実習項目名を実施学年の欄に記入してください。 妞
- 2 同じ科目名・項目名が連続する場合はセルを結合して記入することもできます。
- 「(7)の事前学習のまとめ」において大学でSBOsの設定がある場合は、記入してください。必要ならば、行を適宜追加してください。

ო

	<u>必修科目:赤 選択科目:青 自由科目:黒 実習・演習は下線</u>			
	- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		該当科目	
	2 5	3年	4年	5年
Ω	実務実習教育			
(1)	実務実習事前学習			
(1)	事前学習を始めるにあたって			
※	《薬剤節業務に注目する》			
-: 69	医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。		事前学習	
2.	医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割、保険調剤について概説できる。		事前学習	
% % %	薬剤師が行う業務が患者本位のファーマシューティカルケアの概念にそったものであることについて討議す (態度)		事前学習	
₹ ⊁	一ム医療に注目する》			
4	医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。		コミュニケーション とチーム医療	
5.	チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。		コミュニケーション とチーム医療	
. 9	自分の能力や責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について討議する。(態度)		事前学習	
※	《医薬分業に注目する》			
7.	医薬分業の仕組みと意義を概説できる。		事前学習	
(2)	(2) 処方せんと調剤			
《処	《処方せんの基礎》			
<u> </u>	処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。		事前学習	
2.	処方オーダリングシステムを概説できる。		事前学習	

	、〇〇〇、风湿非电风电路电/ ~11 -十二十月		数 当 本 日	
	・コノン・オーング(天然天自事削于自)。ロ	3年	4年	5年
3.	処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。		事前学習	
4	調剤を法的根拠に基づいて説明できる。		事前学習	
5.	代表的な処方せん例の鑑査における注意点を説明できる。(知識・技能)		事前学習	
6.	不適切な処方せんの処置について説明できる。		事前学習	
<u>×</u>	《医薬品の用法・用量》			
7.	代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる。		事前学習	
89	患者に適した剤形を選択できる。(知識・技能)		事前学習	
9.	患者の特性(新生児、小児、高齢者、妊婦など)に適した用法・用量について説明できる。		事前学習	
10.	. 患者の特性に適した用量を計算できる。(技能)		事前学習	
=	. 病態(腎、肝疾患など)に適した用量設定について説明できる。		事前学習	
《那	《服薬指導の基礎》			
12.	. 服薬指導の意義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる。		事前学習	
2	《調剤室業務入門》			
13.	. 代表的な処方せん例の鑑査をシミュレートできる。(技能)		事前学習	
14.	. 処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。(技能)		事前学習	
15.	. 処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。(技能)		事前学習	
16.	. 調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。(技能)		事前学習	
17.	. 処方せんの鑑査の意義とその必要性について討議する。 (態度)		事前学習	
(3))疑義照会			
《吳	《疑義照会の意義と根拠》			
1.	疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる。		事前学習	
2.	代表的な配合変化の組合せとその理由を説明できる。		事前学習	
3.	特定の配合によって生じる医薬品の性状、外観の変化を観察する。(技能)		事前学習	
4.	不適切な処方せん例について、その理由を説明できる。		事前学習	
《劉	《疑義照会入門》			
5.	処方せんの問題点を解決するための薬剤師と医師の連携の重要性を討議する。(態度)		事前学習	
9.	代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。		事前学習	

	(周沙非世界中落中) 一川・十二十八丁		数当本 目	
	・ユノン・オーン・カン・エー・コーン・コーン・コーン・コーン・コーン・コーン・コーン・コーン・コーン・コー	3年	4年	5年
7.	代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。		事前学習	
∞.	代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。		事前学習	
9.	疑義照会の流れを説明できる。		事前学習	
10.	疑義照会をシミュレートする。(技能・態度)		事前学習	
(4)	医薬品の管理と供給			
《医薬	《医薬品の安定性に注目する》			
-	医薬品管理の意義と必要性について説明できる。		事前学習	
2.	代表的な剤形の安定性、保存性について説明できる。		事前学習	
《特別	《特別な配慮を要する医薬品》			
3.	毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。		事前学習	
4.	麻薬、向精神薬などの管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。		事前学習	
5.	血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。		事前学習	
9	輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。		事前学習	
7.	代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。		事前学習	
8.	生物製剤の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。		事前学習	
9.	麻薬の取扱いをシミュレートできる。(技能)		事前学習	
10.	代表的な放射性医薬品の種類と用途を説明できる。		事前学習	
11.	放射性医薬品の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。		事前学習	
《製剤	《製剤化の基礎》			
12.	院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。		事前学習	
13.	薬局製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。		事前学習	
14.	代表的な院内製剤を調製できる。(技能)		事前学習	
15.	無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能)		事前学習	
16.	抗悪性腫瘍剤などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的手技を実施できる。(技能)		事前学習	
《注射》	《注射剤と輸液》			
17.	注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる。		事前学習	
18.	代表的な配合変化を検出できる。(技能)		事前学習	

	() 10 / 周莎洋年周日祭日/ - 川 - 十二十个		数 当 科 目	
		3年	4年	5年
19.	代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる。		事前学習	
20.	体内電解質の過不足を判断して補正できる。(技能)		事前学習	
《消毒薬》	() () () () () () () () () () () () () (
21.	代表的な消毒薬の用途、使用濃度を説明できる。		事前学習	
22.	消毒薬調製時の注意点を説明できる。		事前学習	
(2)	リスクマネージメント			
《安全				
1.	薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。			
2.	誤りを生じやすい投薬例を列挙できる。		事前学習	
3.	院内感染の回避方法について説明できる。		事前学習	
《副作	《副作用に注目する》			
4.	代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。		事前学習	
インツン	クマネージメント入門》			
5.	誤りを生じやすい調剤例を列挙できる。		事前学習	
.9	リスクを回避するための具体策を提案する。(態度)		事前学習	
7.	事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)		事前学習	
(9)	服薬指導と患者情報			
《服薬	《服薬指導に必要な技能と態度》			
1.	患者の基本的権利、自己決定権、インフォームド・コンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。		事前学習	
2.	代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。		事前学習	
3.	代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。		事前学習	
4.	インフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)		事前学習	
5.	適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)		事前学習	
9	医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)		事前学習	
7.	患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。		事前学習	

			該当科目	
		3年	4年	5年
《患者	《患者情報の重要性に注目する》			
œ ·	服薬指導に必要な患者情報を列挙できる。		事前学習	
9.	患者背景、情報(コンプライアンス、経過、診療録、薬歴など)を把握できる。(技能)		事前学習	
10.	医師、看護師などとの情報の共有化の重要性を説明できる。		事前学習	
《服薬	《服薬指導入門》			
11.	代表的な医薬品について、適切な服薬指導ができる。(知識・技能)		事前学習	
12.	共感的態度で患者インタビューを行う。(技能・態度)		事前学習	
13.	患者背景に配慮した服薬指導ができる。(技能)		事前学習	
14.	代表的な症例についての服薬指導の内容を適切に記録できる。(技能)		事前学習	
(2)	事前学習のまとめ			

(基礎資料3一3) 平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目

[注] 1 平成25年度改訂版·薬学教育モデル·コアカリキュラムのSBOsに該当する科目名を実施学年の欄に記入してください。

2 同じ科目名が連続する場合はセルを結合して記入することもできます。

自由科目:黒

選択科目:青

平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1		至			1
	#-	2年	33 世 8	4年	22	6年
△ 基本事項						
(1)薬剤師の使命						
[①医療人として]						
1) 常に患者・生活者の視点に立ち、医療の担い手としてふさわしい態度で行動する。(態度)	医療学入門			病院薬学	病院実習、薬局実習	
2) 患者・生活者の健康の回復と維持に積極的に貢献することへの責任感を持つ。(態度)	医療学入門			保険薬局学	病院実習、薬局実習	
3)チーム医療や地域保健・医療・福祉を担う一員としての責任を自覚し行動する。(態度)	医療学入門			保険薬局学	病院実習、薬局実習	
4) 患者・患者家族・生活者が求める医療人について、自らの考えを述べる。(知識・態度)	医療学入門			保険薬局学	病院実習、薬局実習	
5)生と死を通して、生きる意味や役割について、自らの考えを述べる。(知識・態度)				保険薬局学	病院実習	
6) 一人の人間として、自分が生きている意味や役割を問い直し、自らの考えを述べる。(知識・態度)	why.			保険薬局学	病院実習	
7)様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性について、自らの言葉で説明する。 (知識・ 態度)	医療学入門			保険薬局学	病院実習	
【②薬剤師が果たすべき役割】						
 1) 患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。(態度) 2			医療薬剤学	病院薬学 保険薬局学 臨床前実習1	病院実習、薬局実習	
2) 薬剤師の活動分野(医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政等)と社会における役割について 説明できる。			医療薬剤学	病院薬学 保険薬局学 臨床前実習1	薬局実習	
3) 医薬品の適正使用における薬剤師の役割とファーマシューティカルケアについて説明できる。			医療薬剤学	病院薬学 保険薬局学 臨床前実習1	薬局実習	臨床薬物動態学
4)医薬品の効果が確率論的であることを説明できる。			医療薬剤学	保険薬局学 臨床前実習1		
5) 医薬品の創製(研究開発、生産等)における薬剤師の役割について説明できる。			医療薬剤学	臨床前実習1		
6)健康管理、疾病予防、セルフメディケーション及び公衆衛生における薬剤師の役割について説明できる。			医療薬剤学	保険薬局学 臨床前実習1	薬局実習	
7)薬物乱用防止、自殺防止における薬剤師の役割について説明できる。				保険薬局学 臨床前実習1	薬局実習	
8)現代社会が抱える課題(少子・超高齢社会等)に対して、薬剤師が果たすべき役割を提案する。 (知識・態度)				保険薬局学 臨床前実習1	薬局実習	
[③患者安全と薬害の防止]						
1)医薬品のリスクを認識し、患者を守る責任と義務を自覚する。(態度)					病院実習、薬局実習	
2) WHOによる患者安全の考え方について概説できる。				病院薬学		
3)医療に関するリスクマネジメントにおける薬剤師の責任と義務を説明できる。			医療薬剤学		薬局実習	臨床薬物動態学
4) 医薬品が関わる代表的な医療過誤やインシデントの事例を列挙し、その原因と防止策を説明できる。	医療学入門		医療薬剤学	病院薬学	薬局実習	
5) 重篤な副作用の例について、患者や家族の苦痛を理解し、これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
6)代表的な薬害の例(サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジン等)について、その原因と社会的背景及びその後の対応を説明できる。	医療学入門		富山のくすり学	病院薬学	薬局実習	臨床薬物動態学

(松	当科目		
中成79年度攻引版・条子教育セイル・コノカリオュフム(3BOS) ┃	1年	2年	3年	4年	5年	6年
7)代表的な薬害について、患者や家族の苦痛を理解し、これらを回避するための手段を討議する。 (知識・態度)	医療学入門				病院実習、薬局実習	
【④薬学の歴史と未来】						
1)薬学の歴史的な流れと医療において薬学が果たしてきた役割について説明できる。			富山のくすり学	保険薬局学		
2)薬物療法の歴史と、人類に与えてきた影響について説明できる。			富山のくすり学	保険薬局学		
3)薬剤師の誕生から現在までの役割の変遷の歴史(医薬分業を含む)について説明できる。			医療薬剤学	保険薬局学		
4) 将来の薬剤師と薬学が果たす役割について討議する。(知識・態度)				保険薬局学	病院実習	
(2)薬剤師に求められる倫理観						
【①生命倫理】						
1) 生命の尊厳について、自らの言葉で説明できる。(知識・態度)				臨床倫理学	病院実習	
2) 生命倫理の諸原則(自律尊重、無危害、善行、正義等)について説明できる。	医療学入門			臨床倫理学		
3)生と死に関わる倫理的問題について討議し、自らの考えを述べる。(知識・態度)				臨床倫理学	病院実習	
4) 科学技術の進歩、社会情勢の変化に伴う生命観の変遷について概説できる。				臨床倫理学 病院薬学		
【②医療倫理】						
1)医療倫理に関する規範(ジュネーブ宣言等)について概説できる。	医療学入門			臨床倫理学 病院薬学 薬事衛生法規		
2)薬剤師が遵守すべき倫理規範(薬剤師綱領、薬剤師倫理規定等)について説明できる。	医療学入門		医療薬剤学	臨床倫理学 薬事衛生法規	病院実習、薬局実習	
1 3) 医療の進歩に伴う倫理的問題について説明できる。				臨床倫理学 病院薬学 薬事衛生法規	薬局実習	
【③患者の権利】						
1)患者の価値観、人間性に配慮することの重要性を認識する。(態度)	医療学入門			臨床倫理学 薬事衛生法規	病院実習、薬局実習	
2) 患者の基本的権利の内容(リスボン宣言等)について説明できる。				臨床倫理学 病院薬学 薬事衛生法規		
3)患者の自己決定権とインフォームドコンセントの意義について説明できる。	医療学入門		医療薬剤学	臨床倫理学 病院薬学 薬事衛生法規		
4) 知り得た情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。 (知識・ 技能・態度)			医療薬剤学	臨床倫理学 臨床前実習工 薬事衛生法規	病院実習	
[④研究倫理]						
1)臨床研究における倫理規範(ヘルシンキ宣言等)について説明できる。			医療薬剤学	臨床倫理学 病院薬学 薬事衛生法規		
2)「ヒトを対象とする研究において遵守すべき倫理指針」について概説できる。			医療薬剤学	臨床倫理学 病院薬学 薬事衛生法規		
3)正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。(態度)				臨床倫理学 薬事衛生法規 卒業研究	卒業研究	卒業研究
(3) 信頼関係の構築 【①コミュニケーション】						
1) 意思、情報の伝達に必要な要素について説明できる。	医療学入門			病院薬学		

				当科田		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	医療学入門			病院薬学		
3) 相手の立場、文化、習慣等によって、コミュニケーションの在り方が異なることを例を挙げて 説明できる。				病院薬学		
4)対人関係に影響を及ぼす心理的要因について概説できる。	医療学入門			病院薬学		
5)相手の心理状態とその変化に配慮し、対応する。(態度)	医療学入門			病院薬学 臨床前実習工	病院実習	
6) 自分の心理状態を意識して、他者と接することができる。(態度)	医療学入門			臨床前実習工	病院実習	
7)適切な聴き方、質問を通じて相手の考えや感情を理解するように努める。(技能・態度)	医療学入門			臨床前実習工	病院実習	
8)適切な手段により自分の考えや感情を相手に伝えることができる。(技能・態度)	医療学入門		総合薬学演習	臨床前実習 I 卒業研究	病院実習 卒業研究	卒業研究
9)他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(知識・技能・態度)			総合薬学演習	臨床前実習工 卒業研究	病院実習 卒業研究	卒業研究
【②患者・生活者と薬剤師】						
1) 患者や家族、周囲の人々の心身に及ぼす病気やケアの影響について説明できる。				病院薬学		
2)患者・家族・生活者の心身の状態や多様な価値観に配慮して行動する。(態度)	医療学入門			臨床倫理学 病院薬学 臨床前実習 II	病院実習	
(4)多職種連携協働とチーム医療						
1)保健、医療、福祉、介護における多職種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる。 9	医療学入門		医療薬剤学	保険薬局学 臨床前実習 <u>I</u>	薬局実習	
2)多職種連携協働に関わる薬剤師、各職種及び行政の役割について説明できる。	医療学入門		医療薬剤学	保険薬局学 臨床前実習1	薬局実習	
3)チーム医療に関わる薬剤師、各職種、患者・家族の役割について説明できる。	医療学入門		医療薬剤学	病院薬学 保険薬局学 臨床前実習1	薬局実習	
5者に協力・	医療学入門			保険薬局学	病院実習、薬局実習	
5) チームワークと情報共有の重要性を理解し、チームの一員としての役割を積極的に果たすよう に努める。(知識・態度)	医療学入門		医療薬剤学	保険薬局学	病院実習、薬局実習	臨床薬物動態学
(5) 自己研鑽と次世代を担う人材の育成 【①学習の在り方】						
1)医療・福祉・医薬品に関わる問題、社会的動向、科学の進歩に常に目を向け、自ら課題を見出し、 解決に向けて努力する。(態度)			総合薬学演習		薬局実習	
2) 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 (須能)	(技		総合薬学演習			臨床薬物動態学
3) 必要な情報を的確に収集し、信憑性について判断できる。(知識・技能)			総合薬学演習			臨床薬物動態学
得られた情報を論理的に統合・整理し、自らの考え			総合薬学演習			臨床薬物動態学
5) インターネット上の情報が持つ意味・特徴を知り、情報倫理、情報セキュリティに配慮して活用 できる。(知識・態度)			総合薬学演習			臨床薬物動態学
【②薬学教育の概要】						
1) 「薬剤師として求められる基本的な資質」について、具体例を挙げて説明できる。				臨床前実習1	薬局実習	
2)薬学が総合科学であることを認識し、薬剤師の役割と学習内容を関連づける。(知識・態度)				臨床前実習1	薬局実習	
			-	-	_	_
生涯にわたって自ら学習する重要性を認識し、その意義について説明				保険薬局学	薬局実習	
2)生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる。(技能)				保険薬局学	薬局実習	
【④次世代を担う人材の育成】						

			無	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年		:	5年	6年
1)薬剤師の使命に後輩等の育成が含まれることを認識し、ロールモデルとなるように努める。(態度)				保険薬局学	薬局実習	
2)後輩等への適切な指導を実践する。(技能・態度)				臨床前実習!		
B 薬学と社会						
人と社会に関わる薬剤師					_	
				臨床前実習1		
2) 人・社会が医薬品に対して抱く考え方や思いの多様性について討議する。(態度)				臨床前実習1		
3) 人・社会の視点から薬剤師を取り巻く様々な仕組みと規制について討議する。(態度)				臨床前実習1		
4)薬剤師が倫理規範や法令を守ることの重要性について討議する。(態度)				臨床倫理学	病院実習	
5)倫理規範や法令に則した行動を取る。(態度)				臨床倫理学	病院実習	
(2)薬剤師と医薬品等に係る法規範						
【①薬剤師の社会的位置づけと責任に係る法規範】						
1)薬剤師に関わる法令とその構成について説明できる。			医療薬剤学			
2)薬剤師免許に関する薬剤師法の規定について説明できる。			医療薬剤学			
3)薬剤師の任務や業務に関する薬剤師法の規定とその意義について説明できる。			医療薬剤学			
4)薬剤師以外の医療職種の任務に関する法令の規定について概説できる。			医療薬剤学			
5)医療の理念と医療の担い手の責務に関する医療法の規定とその意義について説明できる。			医療薬剤学			
6) 医療提供体制に関する医療法の規定とその意義について説明できる。			医療薬剤学			
7)個人情報の取扱いについて概説できる。			医療薬剤学			
✓ 8)薬剤師の刑事責任、民事責任(製造物責任を含む)について概説できる。			医療薬剤学			
【②医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保に係る法規範】						
1) 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の目的及び医薬品等 (医薬品(薬局医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品)、医薬部外品、化粧品、医療機器、再生 医療等 製品)の定義について説明できる。			医療薬剤学	保険薬局学		
2) 医薬品の開発から承認までのプロセスと法規範について概説できる。			富山のくすり学 医療薬剤学			臨床薬物動態学
3)治験の意義と仕組みについて概説できる。			富山のくすり学 医療薬剤学			臨床薬物動態学
4)医薬品等の製造販売及び製造に係る法規範について説明できる。				薬事衛生法規		臨床薬物動態学
5)製造販売後調査制度及び製造販売後安全対策について説明できる。			富山のくすり学	薬事衛生法規		臨床薬物動態学
				保険薬局学		
7) 医薬品等の取扱いに関する「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する 法律」の規定について説明できる。				保険薬局学		
8) 日本薬局方の意義と構成について説明できる。		生薬学 分析化学	富山のくすり学 物理薬剤学			
9)生物由来製品の取扱いと血液供給体制に係る法規範について説明できる。				保険薬局学		臨床薬物動態学
10)健康被害救済制度について説明できる。				薬事衛生法規		
11) レギュラトリーサイエンスの必要性と意義について説明できる。				薬事衛生法規		
【③特別な管理を要する薬物等に係る法規範】						
1) 麻薬、向精神薬、覚醒剤原料等の取扱いに係る規定について説明できる。				保険薬局学		
2) 覚醒剤、大麻、あへん、指定薬物等の乱用防止規制について概説できる。				保険薬局学		
				保険薬局学		
A 保障制						
【①医療、福祉、介護の制度】						

() () () () () () () () () () () () () (1		
十次53千度攻乱隊・米子教育でナル・ゴイン・イング(3BOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1) 日本の社会保障制度の枠組みと特徴について説明できる。			医療薬剤学	薬事衛生法規		
2) 医療保険制度について説明できる。			医療薬剤学	薬事衛生法規		
3)療養担当規則について説明できる。			医療薬剤学	薬事衛生法規		
4)公費負担医療制度について概説できる。			医療薬剤学	薬事衛生法規		
5) 介護保険制度について概説できる。			医療薬剤学	薬事衛生法規		
6)薬価基準制度について概説できる。			医療薬剤学	薬事衛生法規		
7)調剤報酬、診療報酬及び介護報酬の仕組みについて概説できる。			医療薬剤学	薬事衛生法規		
【②医薬品と医療の経済性】						
1) 医薬品の市場の特徴と流通の仕組みについて概説できる。				病院薬学		
2) 国民医療費の動向について概説できる。			富山のくすり学	病院薬学		
3)後発医薬品とその役割について説明できる。			富山のくすり学	病院薬学		
4)薬物療法の経済評価手法について概説できる。				病院薬学		
(4) 地域における薬局と薬剤師						
【①地域における薬局の役割】						
1)地域における薬局の機能と業務について説明できる。			医療薬剤学	薬事衛生法規	薬局実習	
2)医薬分業の意義と動向を説明できる。			医療薬剤学	薬事衛生法規	薬局実習	
3)かかりつけ薬局・薬剤師による薬学的管理の意義について説明できる。			医療薬剤学	薬事衛生法規	薬局実習	
4)セルフメディケーションにおける薬局の役割について説明できる。					薬局実習	
5)災害時の薬局の役割について説明できる。				保険薬局学 臨床前実習1	薬局実習	
6)医療費の適正化に薬局が果たす役割について説明できる。				保険薬局学 臨床前実習1	薬局実習	
【②地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師】						
1) 地域包括ケアの理念について説明できる。				薬事衛生法規	薬局実習	
2)在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割について説明できる。				薬事衛生法規	薬局実習	
3) 学校薬剤師の役割について説明できる。				薬事衛生法規	薬局実習	
4)地域の保健、医療、福祉において利用可能な社会資源について概説できる。				薬事衛生法規	薬局実習	
5)地域から求められる医療提供施設、福祉施設及び行政との連携について討議する。(知識・態度)	医療学入門			薬事衛生法規	薬局実習	
C 薬学基礎						
C1 物質の物理的性質						
(1)物質の構造						
[①化学結合]						
1)化学結合の様式について説明できる。	基礎有機化学] 基礎化学 基礎有機化学]]	物理有機化学 無機化学				
2)分子軌道の基本概念および軌道の混成について説明できる。	基礎有機化学1 基礎化学 基礎有機化学11	物理有機化学				
3) 共役や共鳴の概念を説明できる。	基礎有機化学11	物理有機化学				
【②分子間相互作用】						
1) ファンデルワールスカについて説明できる。	物理化学]		薬品物理化学 ケミカル・バイオロジー I			基礎薬科学(物理系)
2) 静電相互作用について例を挙げて説明できる。	物理化学]		薬品物理化学 ケミカル・バイオロジー I			基礎薬科学(物理系)
3) 双極子間相互作用について例を挙げて説明できる。	物理化学!	化学系実習(分子機能)	ケミカル・バイオロジー I			基礎薬科学(物理系)

(5)00) 7——十二十八十二二十二十八十二十二十八十二十二十八十二十二十二十二十二十二十二十			数 当 和	科 目		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4)分散力について例を挙げて説明できる。	物理化学]		ケミカル・バイオロジーI			基礎薬科学(物理系)
5) 水素結合について例を挙げて説明できる。	物理化学1	化学系実習(分子機能)	ケミカル・バイオロジーI			基礎薬科学(物理系)
6) 電荷移動相互作用について例を挙げて説明できる。	物理化学]		ケミカル・バイオロジーI			基礎薬科学(物理系)
7)疎水性相互作用について例を挙げて説明できる。	物理化学]	化学系実習(分子機能)	薬品物理化学 ケミカル・バイオロジー I 構造生物学			基礎薬科学(物理系)
[③原子・分子の挙動]						
1)電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。	物理化学I	機器分析 応用分析化学 物理有機化学 化学系実習(分子機能)	構造生物学			基礎薬科学(物理系)
2)分子の振動、回転、電子遷移について説明できる。	物理化学]	機器分析 応用分析化学 物理有機化学				基礎薬科学(物理系)
3) 電子や核のスピンとその磁気共鳴について説明できる。	物理化学I	機器分析 応用分析化学 化学系実習(分子機能)	構造生物学			基礎薬科学(物理系)
4)光の屈折、偏光、および旋光性について説明できる。		応用分析化学 化学系実習(分子機能)				基礎薬科学(物理系)
5)光の散乱および干渉について説明できる。	物理化学[応用分析化学				基礎薬科学(物理系)
6)結晶構造と回折現象について概説できる。	物理化学]	応用分析化学	構造生物学			基礎薬科学(物理系)
2 【④放射線と放射能】						
1) 原子の構造と放射壊変について説明できる。	物理化学]					基礎薬科学(物理系)
2) 電離放射線の種類を列挙し、それらの性質および物質との相互作用について説明できる。	物理化学]					基礎薬科学(物理系)
3) 代表的な放射性核種の物理的性質について説明できる。	物理化学]					基礎薬科学(物理系)
4) 核反応および放射平衡について説明できる。	物理化学]					基礎薬科学(物理系)
5)放射線測定の原理と利用について概説できる。	物理化学]					基礎薬科学(物理系)
(2) 物質のエネルギーと平衡 [①会体の機関的状態を回答を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を						
1)ファンデルワールスの状態方程式について説明できる。	物理化学1	物理化学11				
2) 気体の分子運動とエネルギーの関係について説明できる。	物理化学1	物理化学11				
	物理化学1		構造生物学			
[@エネルギー]						
1)熱力学における系、外界、境界について説明できる。	基礎化学	<mark>物理化学II</mark> 物理有機化学				
2)熱力学第一法則を説明できる。	基礎化学	物理化学11				
3)状態関数と経路関数の違いを説明できる。	基礎化学	物理化学11				
4)定圧過程、定容過程、等温過程、断熱過程を説明できる。	基礎化学	物理化学]]				
5)定容熱容量および定圧熱容量について説明できる。	基礎化学	物理化学!! 物理系実習(物理化学 <u>!!)</u>				
6)エンタルピーについて説明できる。	基礎化学	物理化学11 <u>物理系実習(物理化学</u> <u>11)</u> 物理有機化学				

10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			無経	科 目		
十次20年及安司版・米十教目トナル・コイン・イユング(3DOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
7) 化学変化に伴うエンタルピー変化について説明できる。	基礎化学	物理化学11 物理有機化学				
[③自発的な変化]						
1)エントロピーについて説明できる。	基礎化学	物理化学11 物理有機化学				
2)熱力学第二法則について説明できる。	基礎化学	物理化学11 物理有機化学				
3) 熱力学第三法則について説明できる。	基礎化学	物理化学[]				
4)ギブズエネルギーについて説明できる。	基礎化学	物理化学II 物理有機化学				
5)熱力学関数を使い、自発的な変化の方向と程度を予測できる。	基礎化学	物理化学[]				
【④化学平衡の原理】						
1)ギブズエネルギーと化学ポテンシャルの関係を説明できる。	基礎化学	物理化学!! 物理有機化学				基礎薬科学(物理系)
2)ギブズエネルギーと平衡定数の関係を説明できる。	基礎化学	物理化学!! 物理系実習《物理化学 !!) 物理有機化学	構造生物学			基礎薬科学(物理系)
3)平衡定数に及ぼす圧力および温度の影響について説明できる。	基礎化学	物理化学11 物理系実習(物理化学 11)				基礎薬科学(物理系)
4) 共役反応の原理について説明できる。		有機化学 I 有機化学 I				基礎薬科学(物理系)
[⑤相平衡]						
1) 相変化に伴う熱の移動について説明できる。		物理化学11	薬品物理化学			基礎薬科学(物理系)
2) 相平衡と相律について説明できる。		物理化学11	薬品物理化学			基礎薬科学(物理系)
3)状態図について説明できる。		物理化学11	薬品物理化学			基礎薬科学(物理系)
[⑥溶液の性質]						
1)希薄溶液の東一的性質について説明できる。		物理化学!! 生物物理化学 富山のくすり学				基礎薬科学(物理系)
2)活量と活量係数について説明できる。		物理化学11 分析化学	薬品物理化学			基礎薬科学(物理系)
3)電解質溶液の電気伝導率およびモル伝導率の濃度による変化を説明できる。			薬品物理化学			基礎薬科学(物理系)
4)イオン強度について説明できる。		生物物理化学 分析化学	薬品物理化学			基礎薬科学(物理系)
[⑦電気化学]						
1)起電カとギブズエネルギーの関係について説明できる。	基礎化学	生物物理化学	薬品物理化学 <u>医療</u> 系実習(生物物理化 学)			
2) 電極電位(酸化還元電位)について説明できる。	基礎化学	生物物理化学	薬品物理化学 <u>医療系実習(生物物理化</u> 学)			
(3) 物質の変化 【①反応速度】						
1)反応次数と速度定数について説明できる。	基礎化学	物理化学!! 化学系実習(分子機能)				

1 () () () () () () () () () (松	科 目		
半成25年度改訂版・楽字教育セナル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2)微分型速度式を積分型速度式に変換できる。(知識・技能)	基礎化学	物理化学11 <u>物理系実習(物理化学</u> <u>11)</u>				
3)代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。	基礎化学	物理化学11				
4)代表的な(擬)一次反応の反応速度を測定し、速度定数を求めることができる。(技能)	基礎化学	物理系実習(物理化学 11) 化学系実習(分子機能)				
5) 代表的な複合反応(可逆反応、平行反応、連続反応など)の特徴について説明できる。		物理化学II				
6)反応速度と温度との関係を説明できる。	基礎化学	物理化学11 物理有機化学				
7)代表的な触媒反応(酸・塩基触媒反応、酵素反応など)について説明できる。		生化学1 有機化学1	ケミカル・バイオロジーII 創薬化学			
62 化学物質の分析						
(1)分析の基礎 【①分析の基本】						
1)分析に用いる器具を正しく使用できる。(知識・技能)		物理系実習(物理化学 11) 物理系実習(物理化学1) 化学系実習(分子機能) 分析化学 物理系実習(分析化学)	医療系実習(生物物理化学)_			
2)測定値を適切に取り扱うことができる。(知識・技能)		物理系実習(物理化学 11) 物理系実習(物理化学I) 化学系実習(分子機能) 分析化学 物理系実習(分析化学)	医療系実習(生物物理化学)			
3)分析法のバリデーションについて説明できる。		分析化学 物理系実習(分析化学)	医療系実習(生物物理化学)			
(2)溶液中の化学平衡 【①酸・塩基平衡】						
1)酸・塩基平衡の概念について説明できる。		生物物理化学 分析化学 物理系実習(分析化学)				
2)pH および解離定数について説明できる。(知識・技能)		生物物理化学 分析化学 物理系実習(分析化学)				
3) 溶液の pH を測定できる。(技能)		物理系実習(分析化学)				
4)緩衝作用や緩衝液について説明できる。		生物物理化学 分析化学				
【②各種の化学平衡】						
1)錯体・キレート生成平衡について説明できる。		分析化学				
沈殿平衡について説明できる。		分析化学				
3)酸化還元平衡について説明できる。		分析化学				

() () () () () () () () () () () () () (默	科目		
半成25年度故訂版・楽字教育モナル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4)分配平衡について説明できる。		分析化学 物理系実習(物理化学 II)				
(3) 化学物質の定性分析・定量分析 [①定性分析]						
1)代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。		分析化学				
2) 日本薬局方収載の代表的な医薬品の確認試験を列挙し、その内容を説明できる。		分析化学				
1)中和滴定(非水滴定を含む)の原理、操作法および応用例を説明できる。		分析化学 <u>物理系実習(物理化学</u> II)				
2)キレート滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		分析化学 物理系実習(分析化学)				
3)沈殿滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		分析化学 物理系実習(分析化学)				
4)酸化還元滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		分析化学 物理系実習(分析化学)				
5)日本薬局方収載の代表的な医薬品の容量分析を実施できる。(知識・技能)		分析化学 物理系実習(分析化学)				
6)日本薬局方収載の代表的な純度試験を列挙し、その内容を説明できる。		分析化学				
フ)日本薬局方収載の重量分析法の原理および操作法を説明できる。		分析化学				
(4)機器を用いる分析法						
[①分光分析法]		-				-
1)紫外可視吸光度測定法の原理および応用例を説明できる。		機器分析 応用分析化学 物理系実習(物理化学 11) 物理系実習(物理化学1) 化学系実習(物理化学1)				基礎薬科学(物理系)
		物理系実習(分析化学)				
2)蛍光光度法の原理および応用例を説明できる。		機器分析 応用分析化学 化学系実習(分子機能)				基礎薬科学(物理系)
3)赤外吸収(IR)スペクトル測定法の原理および応用例を説明できる。		機器分析 応用分析化学 化学系実習(有機化学)				基礎薬科学(物理系)
4)原子吸光光度法、誘導結合プラズマ(ICP)発光分光分析法および ICP 質量分析法の原理および 応用例を説明できる。		応用分析化学				基礎薬科学(物理系)
5)旋光度測定法(旋光分散)の原理および応用例を説明できる。	基礎有機化学]	応用分析化学				
6)分光分析法を用いて、日本薬局方収載の代表的な医薬品の分析を実施できる。(技能)		物理系実習(分析化学)				
【②核磁気共鳴 (NMR) スペクトル測定法】		-				
1)核磁気共鳴(NMR)スペクトル測定法の原理および応用例を説明できる。	物理化学]	機器分析 応用分析化学	構造生物学			
[③質量分析法]						
1)質量分析法の原理および応用例を説明できる。		機器分析 応用分析化学 化学系実習(有機化学)				
[④×線分析法]						

() () () () () () () () () () () () () (解	科目		
牛成z5年度収訂版・条字教育モナル・コノガリオユフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1) X線結晶解析の原理および応用例を概説できる。	物理化学]	応用分析化学				
2)粉末×線回折測定法の原理と利用法について概説できる。	物理化学]					
[⑤熱分析]						
1)熱重量測定法の原理を説明できる。		分析化学				
2) 示差熱分析法および示差走査熱量測定法について説明できる。		分析化学				
(5)分離分析法						
[①クロマトグラフィー]			-			
1)クロマトグラフィーの分離機構を説明できる。		物理系実習(物理化学1) 化学系実習(分子機能) 応用分析化学 物理系実習(分析化学)				
2)薄層クロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。		<u>化学系実習(分子機能)</u> 応用分析化学				基礎薬科学(物理系)
3)液体クロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。		物理系実習(物理化学1) 応用分析化学 物理系実習(分析化学)				基礎薬科学(物理系)
4)ガスクロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。		応用分析化学				基礎薬科学(物理系)
5)クロマトグラフィーを用いて試料を定性・定量できる。(知識・技能)		応用分析化学 物理系実習(分析化学) 化学系実習(分子機能)				
【②電気泳動法】						
1)電気泳動法の原理および応用例を説明できる。		応用分析化学 物理系実習(物理化学I)	生物系実習(衛生化学)			
(6) 臨床現場で用いる分析技術 【①分析の準備】						
1)分析目的に即した試料の前処理法を説明できる。		分析化学 応用分析化学				
2)臨床分析における精度管理および標準物質の意義を説明できる。		分析化学				
【②分析技術】			-			
1) 臨床分析で用いられる代表的な分析法を列挙できる。						
2)免疫化学的測定法の原理を説明できる。		応用分析化学	免疫学			基礎薬科学(物理系)
3) 酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明できる。		応用分析化学	<u>医療系実習(生物物理化学)</u> 学) 免疫学			基礎薬科学(物理系)
4)代表的なドライケミストリーについて概説できる。		応用分析化学				基礎薬科学(物理系)
5)代表的な画像診断技術(X線検査、MRI、超音波、内視鏡検査、核医学検査など)について概説できる。	物理化学1	応用分析化学、無機化学	構造生物学			基礎薬科学(物理系)
C3 化学物質の性質と反応 (1) 化学物質の基本的性質						
[①基本事項]						
1)代表的な化合物を IUPAC 規則に基づいて命名することができる。	基礎有機化学1 基礎有機化学11	有機化学 I 有機化学 I				

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
半成25年度改訂版・楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2)薬学領域で用いられる代表的な化合物を慣用名で記述できる。	基礎有機化学11	有機化学 I 生物物理化学 有機化学 I	<u>医療系実習(生物物理化学)</u> 学) トランスポーター論			
3)基本的な化合物を、ルイス構造式で書くことができる。	基礎有機化学1 基礎有機化学11	有機化学 I 有機化学 I				
4)有機化合物の性質と共鳴の関係について説明できる。	基礎有機化学11	有機化学 I 物理有機化学 有機化学工				
5)ルイス酸・塩基、ブレンステッド酸・塩基を定義することができる。	基礎有機化学]	有機化学 I 有機化学 I				
6)基本的な有機反応(置換、付加、脱離)の特徴を理解し、分類できる。	基礎有機化学11	有機化学 I 有機化学 I				
7)炭素原子を含む反応中間体(カルボカチオン、カルボアニオン、ラジカル)の構造と性質を 説明できる。	基礎有機化学1 基礎有機化学11	有機化学 I 物理有機化学 有機化学 I 有機化学 II				
8)反応の過程を、エネルギー図を用いて説明できる。	基礎有機化学11	有機化学 I 物理有機化学 有機化学 I 有機化学 II	Ⅱージロオトバ・ルカミヤ			
9)基本的な有機反応機構を、電子の動きを示す矢印を用いて表すことができる。(技能)	基礎有機化学11(演習)	有機化学 I 有機化学 II 有機化学 II 化学系実習(有機化学)				
【②有機化合物の立体構造】						
1)構造異性体と立体異性体の違いについて説明できる。	基礎有機化学1 基礎有機化学11					
2) キラリティーと光学活性の関係を概説できる。	基礎有機化学]					
3) エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。	基礎有機化学]					
4) ラセミ体とメソ体について説明できる。	基礎有機化学]					
5)絶対配置の表示法を説明し、キラル化合物の構造を書くことができる。(知識、技能)	基礎有機化学1(演習)					
6)炭素—炭素二重結合の立体異性 (cis, trans ならびに E,Z 異性) について説明できる。	基礎有機化学]]	有機化学 I	ユージロオトバ・バイま ロジーエ			
7) フィッシャー投影式とニューマン投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる。(技能)	基礎有機化学1(演習)	有機化学 I	ケミカル・バイオロジー1			
8) エタン、ブタンの立体配座とその安定性について説明できる。	基礎有機化学]					
(2) 有機化合物の基本骨格の構造と反応						
[①アルカン]			-			
1)アルカンの基本的な性質について説明できる。	基礎有機化学]					
2) アルカンの構造異性体を図示することができる。(技能)	基礎有機化学1(演習)					
3)シクロアルカンの環のひずみを決定する要因について説明できる。	基礎有機化学]					
4)シクロヘキサンのいす形配座における水素の結合方向(アキシアル、エクアトリアル)を図示できる。(技能)	基礎有機化学1(演習)	有機化学I				
5) 置換シクロヘキサンの安定な立体配座を決定する要因について説明できる。	基礎有機化学]	有機化学I				
[②アルケン・アルキン]						
アルケンへの代表的な付加反応を列挙し、その特徴を説明できる。	基礎有機化学11	有機化学皿				
2)アルケンの代表的な酸化、還元反応を列挙し、その特徴を説明できる。	基礎有機化学11	有機化学皿				

1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二			
平成20年度攻訂版・条字教育セケル・コケカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
3)アルキンの代表的な反応を列挙し、その特徴を説明できる。	基礎有機化学11	有機化学皿				
[③芳香族化合物]						
1)代表的な芳香族炭化水素化合物の性質と反応性を説明できる。	基礎有機化学11					
2)芳香族性の概念を説明できる。	基礎有機化学]]	物理有機化学				
3) 芳香族炭化水素化合物の求電子置換反応の反応性、配向性、置換基の効果について説明できる。		有機化学 II 化学系実習(分子機能)				
4)代表的な芳香族複素環化合物の性質を芳香族性と関連づけて説明できる。	基礎有機化学11	有機化学工				
5)代表的な芳香族複素環の求電子置換反応の反応性、配向性、置換基の効果について説明できる。		有機化学工				
(3) 官能基の性質と反応						
1)代表的な官能基を列挙し、性質を説明できる。		有機化学工				
2)官能基の性質を利用した分離精製を実施できる。(技能)		<u>化学系実習(有機化学)</u> 化学系実習(分子機能)				
【②有機ハロゲン化合物】						
1) 有機ハロゲン化合物の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。		有機化学 I				
2) 求核置換反応の特徴について説明できる。		有機化学I				
3) 脱離反応の特徴について説明できる。		有機化学 I				
[③アルコール・フェノール・エーテル]						
Σ 1)アルコール、フェノール類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。		有機化学工有機化学工				
2) エーテル類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。		有機化学 I				
【④アルデヒド・ケトン・カルボン酸・カルボン酸誘導体】						
1)アルデヒド類およびケトン類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。		有機化学工有機化学工				
2)カルボン酸の基本的性質と反応を列挙し、説明できる。		有機化学工有機化学工				
3)カルボン酸誘導体(酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド)の基本的性質と反応を 列挙し、説明できる。		有機化学 I 有機化学皿 化学系実習(分子機能)				
[⑤アミン]						
1)アミン類の基本的性質と反応を列挙し、説明できる。		有機化学 I				
【⑥電子効果】			-			
1)官能基が及ぼす電子効果について概説できる。	基礎有機化学11	有機化学 I 有機化学 II				
【⑦酸性度·塩基性度】						
1)アルコール、フェノール、カルボン酸、炭素酸などの酸性度を比較して説明できる。		有機化学 I				
2)含窒素化合物の塩基性度を比較して説明できる。		有機化学 I				
(4) 化学物質の構造決定						
【①核磁気共鳴(NMR)】						
1) ¹ H および ¹³ C NMR スペクトルより得られる情報を概説できる。		<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析				
2) 有機化合物中の代表的プロトンについて、おおよその化学シフト値を示すことができる。		<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析				

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			談	科 目		
半成25年茂改訂版・楽字教育モナル・コアカリチュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
3) ¹ H NMR の積分値の意味を説明できる。		<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析				
4) ¹ H NMR シグナルが近接プロトンにより分裂(カップリング)する基本的な分裂様式を説明できる。		化学系実習(有機化学) 機器分析				
5)代表的な化合物の部分構造を「H NMR から決定できる。(技能)		化学系実習(有機化学) 機器分析				
【②赤外吸収(IR)】						
1)IR スペクトルより得られる情報を概説できる。		化学系実習(有機化学) 機器分析				
2)IR スペクトル上の基本的な官能基の特性吸収を列挙し、帰属することができる。(知識・技能)		化学系実習(有機化学) 機器分析				
[③賞量分析]						
1)マススペクトルより得られる情報を概説できる。		<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析				
2)測定化合物に適したイオン化法を選択できる。(技能)		化学系実習(有機化学) 機器分析				
3) ピークの種類(基準ピーク、分子イオンピーク、同位体ピーク、フラグメントピーク)を説明できる。		化学系実習(有機化学) 機器分析				
4)代表的な化合物のマススペクトルを解析できる。(技能)		化学系実習(有機化学) 機器分析				
[4)総合演習]						
7 1)代表的な機器分析法を用いて、代表的な化合物の構造決定ができる。(技能)		<u>化学系実習(有機化学)</u> 機器分析				
(5) 無機化合物・錯体の構造と性質						
[①無機化合物·錯体]						
1)代表的な典型元素と遷移元素を列挙できる。		無機化学				基礎薬科学(化学系)
		無機化学				
10名称		無機化学				
4)代表的な錯体の名称、構造、基本的な性質を説明できる。		無機化学				基礎薬科学(化学系)
5) 医薬品として用いられる代表的な無機化合物、および錯体を列挙できる。		無機化学				基礎薬科学(化学系)
64 生体分子・医薬品の化学による理解						
(1) 医薬品の標的となる生体分子の構造と化学的な性質						
【①医薬品の標的となる生体高分子の化学構造】						
1)代表的な生体高分子を構成する小分子(アミノ酸、糖、脂質、ヌクレオチドなど)の構造に 基づく化学的性質を説明できる。	生命科学 I	生物物理化学生化学1	創薬化学 ケミカル・バイオロジー I 構造生物学 ケミカル・バイオロジーロ			
2)医薬品の標的となる生体高分子(タンパク質、核酸など)の立体構造とそれを規定する化学 結合、相互作用について説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 生化学 I	創薬化学 ケミカル・バイオロジー I 構造生物学 ケミカル・バイオロジーロ			
【②生体内で機能する小分子】						
1)細胞膜受容体および細胞内(核内)受容体の代表的な内因性リガンドの構造と性質について概説できる。		生命情報科学 I	生物薬剤学 衛生薬学11			
2)代表的な補酵素が酵素反応で果たす役割について、有機反応機構の観点から説明できる。		生化学1	ケミカル・バイオロジーエ			

以形形在中光江上,一个十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二			財	目		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
3)活性酸素、一酸化窒素の構造に基づく生体内反応を化学的に説明できる。		生化学II	衛生薬学!]			
4)生体内に存在する代表的な金属イオンおよび錯体の機能を化学的に説明できる。		無機化学	衛生薬学!!			
		生物物理化学	トランスポーター論 ケミカル・バイオロジーII			
2) リン化合物(リン酸誘導体など)および硫黄化合物(チオール、ジスルフィド、チオエステルなど)の生体内での機能を化学的性質に基づき説明できる。		生物物理化学	トランスポーター論 ケミカル・バイオロジーロ			
【②酵素阻害剤と作用様式】						
1) 不可逆的酵素阻害薬の作用を酵素の反応機構に基づいて説明できる。		生物物理化学 生化学1	創薬化学 ケミカル・バイオロジーII			
2)基質アナログが競合阻害薬となることを酵素の反応機構に基づいて説明できる。		生物物理化学 生化学1	創薬化学 ケミカル・バイオロジーII			
3) 遷移状態アナログが競合阻害薬となることを酵素の反応機構に基づいて説明できる。		生化学1	創薬化学 ケミカル・バイオロジーII			
[③受容体のアゴニストおよびアンタゴニスト]						
1)代表的な受容体のアゴニスト(作用薬、作動薬、刺激薬)とアンタゴニスト(拮抗薬、遮断薬)との相違点について、内因性リガンドの構造と比較して説明できる。		生物物理化学	創薬化学			基礎薬科学(化学系)
■ 2) 低分子内因性リガンド誘導体が医薬品として用いられている理由を説明できる。			創薬化学			基礎薬科学(化学系)
【④生体内で起こる有機反応】						
1) 代表的な生体分子(脂肪酸、コレステロールなど)の代謝反応を有機化学の観点から説明できる。		生物物理化学				基礎薬科学(化学系)
2)異物代謝の反応(発がん性物質の代謝的活性化など)を有機化学の観点から説明できる。						基礎薬科学(化学系)
(3) 医薬品の化学構造と性質、作用						
1)医薬品と生体分子との相互作用を化学的な観点(結合親和性と自由エネルギー変化、電子効果、 立体効果など)から説明できる。		物理系実習(物理化学I)	創薬化学 構造生物学			
【②医薬品の化学構造に基づく性質】			_	-		
1)医薬品の構造からその物理化学的性質(酸性、塩基性、疎水性、親水性など)を説明できる。			ケミカル・バイオロジー I トランスポーター論 ケミカル・バイオロジー I 総合薬学演習			
2)プロドラッグなどの薬物動態を考慮した医薬品の化学構造について説明できる。		生物物理化学	ケミカル・バイオロジー I トランスポーター論 ケミカル・バイオロジー I 総合薬学演習			
[③医薬品のコンポーネント]						
1)代表的な医薬品のファーマコフォアについて概説できる。			創薬化学 <u>総合薬学演習</u>			
2) バイオアイソスター(生物学的等価体)について、代表的な例を挙げて概説できる。			創薬化学 総合薬学 <u>演習</u>			
3)医薬品に含まれる代表的な複素環を構造に基づいて分類し、医薬品コンポーネントとしての性質を説明できる。	基礎有機化学[]		総合薬学演習			
【④酵素に作用する医薬品の構造と性質】						

平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	2年			5年	6年
1) ヌクレオシドおよび核酸塩基アナログを有する代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		創薬化学 ケミカル・バイオロジー I			基礎薬科学(化学系)
2)フェニル酢酸、フェニルプロピオン酸構造などをもつ代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく 性質について説明できる。		創薬化学			基礎薬科学(化学系)
3) スルホンアミド構造をもつ代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		創薬化学			基礎薬科学(化学系)
4) キノロン骨格をもつ代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		創薬化学			基礎薬科学(化学系)
5) eta – ラクタム構造をもつ代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		創薬化学 ケミカル・バイオロジーII			基礎薬科学(化学系)
6)ペプチドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		創薬化学			基礎薬科学(化学系)
[⑤受容体に作用する医薬品の構造と性質]					
1)カテコールアミン骨格を有する代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		創薬化学			基礎薬科学(化学系)
2)アセチルコリンアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		創薬化学			基礎薬科学(化学系)
3) ステロイドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		創薬化学			基礎薬科学(化学系)
4) ベンゾジアゼピン骨格およびバルビタール骨格を有する代表的医薬品を列挙し、化学構造に 基づく性質について説明できる。		創薬化学			基礎薬科学(化学系)
5) オピオイドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		創薬化学			基礎薬科学(化学系)
【⑥DNA に作用する医薬品の構造と性質】					
1) DNAと結合する医薬品(アルキル化剤、シスプラチン類)を列挙し、それらの化学構造と反応機構を説明できる。		創薬化学			基礎薬科学(化学系)
② DNAにインターカレートする医薬品を列挙し、それらの構造上の特徴を説明できる。		創薬化学			基礎薬科学(化学系)
		創薬化学			基礎薬科学(化学系)
【①イオンチャネルに作用する医薬品の構造と性質】					
1) イオンチャネルに作用する医薬品の代表的な基本構造(ジヒドロピリジンなど)の特徴を説明できる。		創薬化学 トランスポーター論			基礎薬科学(化学系)
C5 自然が生み出す薬物					
(1) 楽用植物】					
1)代表的な薬用植物の学名、薬用部位、薬効などを挙げることができる。	和漢医薬学入門 生薬学	天然医薬資源学			
2)代表的な薬用植物を外部形態から説明し、区別できる。(知識、技能)	和漢医薬学入門 生薬学				
3)植物の主な内部形態について説明できる。	生薬学				
4) 法律によって取り扱いが規制されている植物 (ケシ、アサ) の特徴を説明できる。	生薬学	Amil .	東西医薬学		
1)日本薬局方収載の代表的な生薬(植物、動物、藻類、菌類由来)を列挙し、その基原、薬用部位を説明できる。	生薬 学	Tux	東西医薬学		
	-	-			
1)日本薬局方収載の代表的な生薬(植物、動物、藻類、菌類、鉱物由来)の薬効、成分、用途などを 説明できる。	仕薬 学		東西医薬学		
2)副作用や使用上の注意が必要な代表的な生薬を列挙し、説明できる。	<u>和漢医薬学入門</u> 生薬学		東西医薬学		
【④生薬の同定と品質評価】					
1)生薬の同定と品質評価法について概説できる。	化学系実習(生薬学) 生薬学				

			二			
平成25年度改訂版・楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2)日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。		<u>化学系実習(生薬学)</u> 生薬学				
3)代表的な生薬を鑑別できる。(技能)		化学系実習(生薬学)				
4)代表的な生薬の確認試験を説明できる。		化学系実習(生薬学) 生薬学				
5)代表的な生薬の純度試験を説明できる。		化学系実習(生薬学) 生薬学				
(2)薬の宝庫としての天然物「の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
▲		生薬学	天然医薬資源学			
2) 脂質や糖質に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。		生薬学	天然医薬資源学			
用を説		生薬学	天然医薬資源学			
4) テルペノイド、ステロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を 説明できる。		生薬学	天然医薬資源学			
5)アルカロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。		生薬学	天然医薬資源学			
【②微生物由来の生物活性物質の構造と作用】						
1) 微生物由来の生物活性物質を化学構造に基づいて分類できる。		生薬学	天然医薬資源学			
2) 微生物由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。		 生 一 一 一	天然医薬資源学			
[③天然生物活性物質の取扱い]						
1)天然生物活性物質の代表的な抽出法、分離精製法を概説し、実施できる。(知識、技能)		化学系実習(生薬学)	天然医薬資源学			
【④天然生物活性物質の利用】			-			
1) 医薬品として使われている代表的な天然生物活性物質を列挙し、その用途を説明できる。		和漢医薬学入門	天然医薬資源学			
2) 天然生物活性物質を基に化学修飾等により開発された代表的な医薬品を列挙し、その用途、リード 化合物を説明できる。		和漢医薬学入門	天然医薬資源学			
3)農薬や香粧品などとして使われている代表的な天然生物活性物質を列挙し、その用途を説明できる。	de	生薬学	天然医薬資源学			
06 生命現象の基礎						
(1)細胞の構造と機能						
【①箱胞膜】						
1) 細胞膜を構成する代表的な生体成分を列挙し、その機能を分子レベルで説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 生命情報科学 I 生化学 II	医療系実習(生物物理化学)			
2)エンドサイトーシスとエキンサイトーシスについて説明できる。	生命科学 I	生物物理化学生命情報科学 1	生物薬剤学トランスポーター論			
【②細胞小器官】						
1)細胞小器官(核、ミトコンドリア、小胞体、リンソーム、ゴルジ体、ペルオキシソームなど)やリボソームの構造と機能を説明できる。	生命科学 I	生命情報科学 1生化学 11				
[③細胞骨格]						
1)細胞骨格の構造と機能を説明できる。	生命科学I	生物物理化学 生命情報科学 I 生化学I				
(2) 生命現象を担う分子 [①胎管]						

			該 当 和	科目		
半成25年度改訂版・楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)代表的な脂質の種類、構造、性質、役割を説明できる。	生命科学 I	生物物理化学生化学 11	ケミカル・バイオロジー I ケミカル・バイオロジーロ			
1)代表的な単糖、二糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。	生命科学 I	生化学 11	ケミカル・バイオロジー I トランスポーター論			
2)代表的な多糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。	生命科学 I	生化学 11	ケミカル・バイオロジーI			
[③アミノ酸]						
1)アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 物理系実習(物理化学I) 生化学 I	トランスポーター論 構造生物学、ケミカル・バ イオロジー I <mark>衛生薬学1</mark>			
[④タンパク質]						
1)タンパク質の構造(一次、二次、三次、四次構造)と性質を説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 生命情報科学 I 物理系実習(物理化学I) 生化学I	トランスポーター論 構造生物学 ケミカル・バイオロジーロ			
【⑤ヌクレオチドと核酸】						
1)ヌクレオチドと核酸(DNA、RNA)の種類、構造、性質を説明できる。 生	生命科学 I	生化学I	ケミカル・バイオロジー I ケミカル・バイオロジー I			
[⑥ビタミン]						
1)代表的なビタミンの種類、構造、性質、役割を説明できる。	生命科学 I	生化学1	ケミカル・バイオロジーI 衛生薬学II			
[①微量元素]						
1)代表的な必須微量元素の種類、役割を説明できる。	生命科学 I	無機化学	衛生薬学1			
[⑧生体分子の定性、定量]						
1)脂質、糖質、アミノ酸、タンパク質、もしくは核酸の定性または定量試験を実施できる。(技能) 生	生命科学 I	物理系実習(物理化学I)	医療系実習(生物物理化 学) 生物系実習(生化学)			
(3) 生命活動を担うタンパク質 [①タンパク質の構造と機能]						
多彩な機能をもつタンパク質(酵素、受容体、シグナル分子、膜輸送体、運搬・輸送タンパク質、 貯蔵タンパク質、構造タンパク質、接着タンパク質、防御タンパク質、調節タンパク質)を列挙し 概説できる。	生命科学 I	生物物理化学 生命情報科学 I 生化学 I	トランスポーター論構造生物学			
【②タンパク質の成熟と分解】						
1)タンパク質の翻訳後の成熟過程(細胞小器官間の輸送や翻訳後修飾)について説明できる。 生	生命科学 I	生命情報科学 1 生化学1				
2)タンパク質の細胞内での分解について説明できる。	生命科学 I	生命情報科学 1 生化学11				
[3酵素]						
1)酵素反応の特性と反応速度論を説明できる。 <u>生</u>	生命科学 I 生物学実験	生物物理化学 生化学1	トランスポーター論 ケミカル・バイオロジーII			
2)酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる。	生物学実験	生化学】無機化学	ケミカル・バイオロジーエ			
3)代表的な酵素活性調節機構を説明できる。	生物学実験	生化学1	トランスポーター論			

			淵			
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年		4年	5年	6年
4)酵素反応速度を測定し、解析できる。(技能)			医療系実習(生物物理化 学) 生物系実習(生化学)			
【④酵素以外のタンパク質】						
1)膜輸送体の種類、構造、機能を説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 生命情報科学 I	生物薬剤学 トランスポーター論			
2)血漿リポタンパク質の種類、構造、機能を説明できる。		生命情報科学] 生化学]]				
(4) 生命情報を担う遺伝子						
			ケミカル・バイオロジーロ			
1)遺伝情報の保存と発現の流れを説明できる。	生命科学 I	生命情報科学 I 生化学 I	衛生薬学1 生命情報科学II 生物系実習(生化学)			
2)DNA、遺伝子、染色体、ゲノムとは何かを説明できる。	生命科学 I	生命情報科学 I 生化学 I	生命情報科学工			
[②遺伝情報を担う分子]						
1)染色体の構造(ヌクレオソーム、クロマチン、セントロメア、テロメアなど)を説明できる。	生命科学 I	生命情報科学 I 生化学 I	生命情報科学工			
2)遺伝子の構造(プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど)を説明できる。	生命科学 I	生命情報科学 I 生化学 I	生命情報科学工			
	生命科学 I	生命情報科学 I 生化学 I	生命情報科学工			
[③遺伝子の複製]						
1) DNA の複製の過程について説明できる。	生命科学 I	生化学I	生命情報科学工			
【④転写・翻訳の過程と調節】			_	_		
1)DNA から RNA への転写の過程について説明できる。	生命科学 I	生命情報科学 I 生化学 I	生命情報科学工			
2) エピジェネティックな転写制御について説明できる。		生命情報科学 I 生化学 I	生命情報科学工			
3)転写因子による転写制御について説明できる。		生命情報科学 I 生化学 I	生命情報科学 I 生物系実習(生化学)			
4)RNA のプロセシング(キャップ構造、スプライシング、snRNP、ポリA鎖など)について説明できる。	生命科学 I	生化学1	生命情報科学工			
5)RNA からタンパク質への翻訳の過程について説明できる。	生命科学 I	生化学]	生命情報科学工			
[⑤遺伝子の変異・修復]				-		
		生化学1	生命情報科学工			
【⑥稚換え DNA】						
(遺伝子クローニング、cDNA クローニング、PCR、組換えタンパク質発現法など)		生化学1	生物系実習 <u>(衛生化学)</u> 生命情報科学 II			
2)遺伝子改変生物(遺伝子導入·欠損動物、クローン動物、遺伝子組換え植物)について概説できる。		生化学I	生命情報科学工			
(5)生体エネルギーと生命活動を支える代謝系						

1			談			
半灰ス5年度改訂版・楽字教育モテル・コアカリチュラム(SBOS) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)エネルギー代謝の概要を説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 生化学 II	トランスポーター舗 ケミカル・バイオロジーロ			
【②ATP の産生と糖質代謝】						
1)解糖系及び乳酸の生成について説明できる。	生命科学 I	生化学11	トランスポーター論 ケミカル・バイオロジーロ			
2) クエン酸回路(TCA サイクル)について説明できる。	生命科学 I	生命情報科学 I 生化学 II	トランスポーター論 ケミカル・バイオロジーII			
3)電子伝達系(酸化的リン酸化)と ATP 合成酵素について説明できる。	生命科学 I	生物物理化学 生命情報科学 I 生化学 II	トランスポーター論 ケミカル・バイオロジーロ			
4)グリコーゲンの代謝について説明できる。		生化学11	トランスポーター論			
5)糖新生について説明できる。		生化学11	ケミカル・バイオロジーエ			
1)脂肪酸の生合成と eta 酸化について説明できる。		生命情報科学 I 生化学II	ケミカル・バイオロジーエ			
2) コレステロールの生合成と代謝について説明できる。		生命情報科学 I 生化学 II				
[④飢餓状態と飽食状態]						
1) 飢餓状態のエネルギー代謝(ケトン体の利用など)について説明できる。		生化学11				
2)余剰のエネルギーを蓄えるしくみを説明できる。		生化学II				
[⑤その他の代謝系]						
1)アミノ酸分子中の炭素および窒素の代謝(尿素回路など)について説明できる。		生化学II				
+		生化学11				
- スリン酸回路に.		生化学11				
(6)						
1)細胞間コミュニケーションにおける情報伝達様式を説明できる。	生命科学工	生命情報科学 I	生命情報科学!!			
【②細胞内情報伝達】						
1)細胞膜チャネル内蔵型受容体を介する細胞内情報伝達について説明できる。	生命科学工	生命情報科学 I 生化学I	トランスポーター論			
2)細胞膜受容体から G タンパク系を介する細胞内情報伝達について説明できる。	生命科学工	生命情報科学 I 生化学I	トランスポーター論			
3)細胞膜受容体タンパク質などのリン酸化を介する細胞内情報伝達について説明できる。	生命科学工	生命情報科学 I 生化学 I	トランスポーター論 免疫学			
4)細胞内情報伝達におけるセカンドメッセンジャーについて説明できる。	生命科学工	生物物理化学 生命情報科学 I 生化学I	トランスポーター論			
5)細胞内(核内)受容体を介する細胞内情報伝達について説明できる。	生命科学工	生命情報科学 I 生化学 I				
【③歯胞間コミュニケーション】						

			談評	中		
平成Z5年度攻訂版・楽字教育セナル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)細胞間の接着構造、主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。	生命科学工	生命情報科学 I	生物薬剤学 免疫学 生命情報科学]]			
2)主な細胞外マトリックス分子の種類と特徴を説明できる。	生命科学工	生命情報科学 1				
(7)細胞の分裂と死						
[①細胞分裂]						
1) 細胞周期とその制御機構について説明できる。	生命科学工					
2) 体細胞と生殖細胞の細胞分裂について説明できる。	生命科学工					
1)細胞死(アポトーシスとネクローシス)について説明できる。	生命科学工	生命情報科学 1	トランスポーター論 免疫学			
【③がん細胞】						
1)正常細胞とがん細胞の違いについて説明できる。	生命科学工	生命情報科学 [トランスポーター論 生命情報科学11			
2)がん遺伝子とがん抑制遺伝子について概説できる。	生命科学工	生命情報科学]	生命情報科学11			
67 人体の成り立ちと生体機能の調節						
(1) 人体の成り立ち [①達任]						
	生命科学工	生命情報科学 1, 生化学1	生命情報科学工			
2)遺伝子多型について概説できる。		生化学1	生命情報科学工			
3)代表的な遺伝疾患を概説できる。		生化学1	トランスポーター論 生命情報科学 II			
[②発生]						
1) 個体発生について概説できる。	生物学実験					
2)細胞の分化における幹細胞、前駆細胞の役割について概説できる。	生物学実験		生命情報科学!!			
[③器官系概論]						
1)人体を構成する器官、器官系の名称、形態、体内での位置および機能を説明できる。	生物学実験	生物物理化学 人体機能形態学	トランスポーター論			
2)組織、器官を構成する代表的な細胞の種類(上皮、内皮、間葉系など)を列挙し、形態的および 機能的特徴を説明できる。	生物学実験	生物物理化学	トランスポーター論			
3)実験動物・人体模型・シミュレーターなどを用いて各種臓器の名称と位置を確認できる。(技能)	生物学実験					
4)代表的な器官の組織や細胞を顕微鏡で観察できる。(技能)	生物学実験		医療系実習(生物物理化 学)			
[④神経系]						
1) 中枢神経系について概説できる。	生物学実験	人体機能形態学				
2)末梢(体性・自律)神経系について概説できる。	生物学実験					
[⑤骨格系·筋肉系]		_				
骨、筋肉について概説できる。		人体機能形態学				
2)代表的な骨格筋および関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。		人体機能形態学				

			は			
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年	:	4年	5年	6年
[⑥皮膚]						
1) 皮膚について概説できる。		人体機能形態学	生物薬剤学			
1)心臓について概説できる。	生物学実験	人体機能形態学				
2) 血管系について概説できる。	生物学実験	人体機能形態学	生物薬剤学			
3) リンパ管系について概説できる。		人体機能形態学	免疫学			
[⑧呼吸器系]						
1) 肺、気管支について概説できる。	生物学実験	人体機能形態学	生物薬剤学			
[⑤消化器系]		. ,				
1) 胃、小腸、大腸などの消化管について概説できる。	生物学実験	生物物理化学人体機能形態学	生物薬剤学 医療系実習(生物物理化 学) トランスポーター論			
2) 肝臓、膵臓、胆囊について概説できる。	生物学実験		生物薬剤学 トランスポーター論			
[⑩泌尿器系]						
1) 泌尿器系について概説できる。	生物学実験	人体機能形態学	トランスポーター論			
[⑪生殖器系]						
5 1)生殖器系について概説できる。	生物学実験	人体機能形態学				
1) 内分泌系について概説できる。	生命科学工	人体機能形態学				
[①感覚器系]						
1) 感覚器系について概説できる。		人体機能形態学				
【⑭血液·造血器系】						
1) 血液・造血器系について概説できる。		人体機能形態学	免疫学			
(2) 生体機能の調節						
【①神経による調節機構】			_			
1)神経細胞の興奮と伝導、シナプス伝達の調節機構について説明できる。	生命科学工	生物物理化学、人体機能 形態学	トランスポーター識			
2)代表的な神経伝達物質を挙げ、生理活性および作用機構について概説できる。	生命科学工	人体機能形態学				
3)神経系、感覚器を介するホメオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、概説できる。	生命科学工	人体機能形態学				
4)神経による筋収縮の調節機構について説明できる。	生命科学工	人体機能形態学				
【②ホルモン・内分泌系による調節機構】			-	_	-	
1)代表的なホルモンを挙げ、その産生器官、生理活性および作用機構について概説できる。	生命科学工	生命情報科学 I 生理学				
【③オータコイドによる調節機構】						
1)代表的なオータコイドを挙げ、生理活性および作用機構について概説できる。			基礎薬理学] 医療系実習(生物物理化 学)			
【④サイトカイン・増殖因子による調節機構】						
1)代表的なサイトカイン、増殖因子を挙げ、生理活性および作用機構について概説できる。			免疫学			
【⑤血圧の調節機構】						

			無經			
平成25年度改訂版・薬宇教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年		4年	5年	6年
1) 血圧の調節機構について概説できる。		生理学				
【⑥血糖の調節機構】						
1) 血糖の調節機構について概説できる。	生命科学工	生理学	トランスポーター論			
【②体液の調節】						
1) 体液の調節機構について概説できる。		生理学	トランスポーター論			
2) 尿の生成機構、尿量の調節機構について概説できる。		生理学	生物薬剤学			
【⑧体温の調節】						
1)体温の調節機構について概説できる。		生理学	トランスポーター論			
[③血液凝固·線溶系]						
1) 血液凝固・線溶系の機構について概説できる。		生理学				
【⑩性周期の調節】						
1) 性周期の調節機構について概説できる。		生理学				
C8 生体防御と微生物 (1987年)						
(1) 身体をまもる						
1) 異物の侵入に対する物理的、生理的、化学的バリアー、および補体の役割について説明できる。	生命科学工	微生物学	免疫学			
2)免疫反応の特徴(自己と非自己の識別、特異性、多様性、クローン性、記憶、寛容)を説明できる。	生命科学工		免疫学			
3) 自然免疫と獲得免疫、および両者の関係を説明できる。	生命科学工		免疫学			
ソ 4)体液性免疫と細胞性免疫について説明できる。	生命科学工		免疫学			
【②免疫を担当する組織・細胞】						
1) 免疫に関与する組織を列挙し、その役割を説明できる。	生命科学工		免疫学			
2) 免疫担当細胞の種類と役割を説明できる。	生命科学工		免疫学			
3) 免疫反応における主な細胞間ネットワークについて説明できる。	生命科学工		免疫学			
【③分子レベルで見た免疫のしくみ】						
1)自然免疫および獲得免疫における異物の認識を比較して説明できる。	生命科学工		免疫学			
2)MHC 抗原の構造と機能および抗原提示での役割について説明できる。	生命科学工		免疫学			
3) T 細胞と B 細胞による抗原認識の多様性(遺伝子再構成)と活性化について説明できる。	生命科学工		免疫学			
4) 抗体分子の基本構造、種類、役割を説明できる。	生命科学工		免疫学			
5) 免疫系に関わる主なサイトカインを挙げ、その作用を概説できる。	生命科学工		免疫学			
【① 免疫応答の制御と破綻】			-			
1)炎症の一般的症状、担当細胞および反応機構について説明できる。			免疫学			
2)アレルギーを分類し、担当細胞および反応機構について説明できる。			免疫学			
3) 自己免疫疾患と免疫不全症候群について概説できる。			免疫学			
4)臓器移植と免疫反応の関わり(拒絶反応、免疫抑制剤など)について説明できる。			免疫学			
5) 感染症と免疫応答との関わりについて説明できる。			免疫学			
6)腫瘍排除に関与する免疫反応について説明できる。			免疫学			
[② 免疫反応の利用]						
1) ワクチンの原理と種類(生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイド、混合ワクチンなど)について説明できる。		微生物学	免疫学			
2)モノクローナル抗体とポリクローナル抗体について説明できる。			免疫学			
3) 血清療法と抗体医薬について概説できる。			免疫学			

1007 - 11 十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十			紅	科目		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4) 抗原抗体反応を利用した検査方法 (ELISA 法、ウエスタンブロット法など)を実施できる。(技能)			生物系実習(衛生化学)			
(3) 微生物の基本						
	-			_		
1)原核生物、真核生物およびウイルスの特徴を説明できる。 生命科学	科学 I 微生物学	47				
1)細菌の分類や性質(系統学的分類、グラム陽性菌と陰性菌、好気性菌と嫌気性菌など)を説明でき る。	生命科学 I 微生物学		生物系実習(微生物化学)			
2) 細菌の構造と増殖機構について説明できる。	微生物学		生物系実習(微生物化学)			
3)細菌の異化作用(呼吸と発酵)および同化作用について説明できる。	微生物学	5				
4)細菌の遺伝子伝達(接合、形質導入、形質転換)について説明できる。	微生物学	47	生物系実習(衛生化学)			
5)薬剤耐性菌および薬剤耐性化機構について概説できる。	微生物学	41				
6)代表的な細菌毒素について説明できる。	微生物学	41				
[③ ウイルス]						
1) ウイルスの構造、分類、および増殖機構について説明できる。	微生物学	5				
[④ 真菌・原虫・蠕虫]						
1) 真菌の性状を概説できる。	微生物学	5				
2) 原虫および蠕虫の性状を概説できる。	微生物学	5				
[⑤ 消毒と滅菌]						
 	微生物学		生物系実習(微生物化学)			
2) 主な滅菌法および消毒法について説明できる。	微生物学		生物系実習(微生物化学)			
[⑥ 検出方法]						
1) グラム染色を実施できる。(技能)			生物系実習(微生物化学)			
2)無菌操作を実施できる。(技能)			生物系実習(微生物化学)			
3)代表的な細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる。(技能)			生物系実習(微生物化学)			
(4) 病原体としての微生物						
【①感染の成立と共生】						
1) 感染の成立(感染源、感染経路、侵入門戸など)と共生(腸内細菌など)について説明できる。	微生物学	5				
2) 日和見感染と院内感染について説明できる。	微生物学	41				
[②代表的な病原体]						
1) DNA ウイルス (ヒトヘルペスウイルス、アデノウイルス、パピローマウイルス、B 型肝炎ウイルス など) について概説できる。	微生物学	5				
2)RNA ウイルス(ノロウイルス、ロタウイルス、ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、エコーウイルス、ライノウイルス、A型肝炎ウイルス、C 型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、風疹ウイルス、日本脳炎ウイルス、狂犬病ウイルス、ムンプスウイルス、HIV、HICV など)について概説できる。	(歌生物学	41				
3) グラム陽性球菌(ブドウ球菌、レンサ球菌など)およびグラム陽性桿菌(破傷風菌、ガス壊疽菌、 ボツリヌス菌、ジフテリア菌、炭疽菌、セレウス菌、ディフィシル菌など)について概説できる。	(教生物学) (教生物学)	41				
4)グラム陰性球菌(淋菌、髄膜炎菌など)およびグラム陰性桿菌(大腸菌、赤痢菌、サルモネラ属菌、チフス菌、エルシニア属菌、クレブシエラ属菌、コレラ菌、百日咳菌、腸炎ビブリオ、緑膿菌、レジオネラ、インフルエンザ菌など)について概説できる。		15. 1				
5) グラム陰性らせん菌(ヘリコバクター・ピロリ、カンピロバクター・ジェジュニ/コリなど)およびスピロヘータについて概説できる。	微生物学	41				
6) 抗酸菌(結核菌、らい菌など) について概説できる。	微生物学	ᄯ				

		松	奉回		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	2年	3年	4年	5年	6年
フ)マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアについて概説できる。	微生物学				
8) 真菌(アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル、白癬菌など)について概説できる。	数 年物学				
9) 原虫(マラリア原虫、トキソプラズマ、膣トリコモナス、クリプトスポリジウム、赤痢アメーバ など)、蠕虫(回虫、鞭虫、アニサキス、エキノコックスなど)について概説できる。	数 年物学				
D1 健康					
(1) 社会・集団と健康					
1)健康と疾病の概念の変遷と、その理由を説明できる。		衛生薬学11			
[②保健統計]					
1)集団の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握する上での人口統計の意義を概説できる。		衛生薬学11			
2)人口統計および傷病統計に関する指標について説明できる。		衛生薬学11			
3) 人口動態(死因別死亡率など)の変遷について説明できる。		衛生薬学11			
[③疫学]					
1)疾病の予防における疫学の役割を説明できる。		衛生薬学11			
2)疫学の三要因(病因、環境要因、宿主要因)について説明できる。		衛生薬学11			
		衛生薬学[]			
4) リスク要因の評価として、オッズ比、相対危険度、寄与危険度および信頼区間について説明し、 計算できる。(知識・技能)		衛生薬学11(演習)			
(2) 疾病の予防					
[①叛					
1)疾病の予防について、一次、二次、三次予防という言葉を用いて説明できる。		衛生薬学Ⅱ			
2)健康増進政策(健康日本21など)について概説できる。		衛生薬学11			
【②感染症とその予防】					
1)現代における感染症(日和見感染、院内感染、新興感染症、再興感染症など)の特徴について 説明できる。	微生物学	衛生薬学11			
2) 感染症法における、感染症とその分類について説明できる。	微生物学	衛生薬学11			
3)代表的な性感染症を列挙し、その予防対策について説明できる。	微生物学	衛生薬学11			
4)予防接種の意義と方法について説明できる。	微生物学	衛生薬学[]			
[③生活習慣病とその予防]					
1)生活習慣病の種類とその動向について説明できる。		衛生薬学!!			
2)生活習慣病の代表的なリスク要因を列挙し、その予防法について説明できる。		衛生薬学11			
3)食生活や喫煙などの生活習慣と疾病の関わりについて討議する。(態度)		衛生薬学11	臨床前実習!!		
[④母子保健]					
1) 新生児マススクリーニングの意義について説明し、代表的な検査項目を列挙できる。		衛生薬学11			
2) 母子感染する代表的な疾患を列挙し、その予防対策について説明できる。		衛生薬学11			
[⑤労働衛生]					
1)代表的な労働災害、職業性疾病について説明できる。		衛生薬学II			
2)労働衛生管理について説明できる。		衛生薬学Ⅱ			
(3) 栄養と健康					
		4 年 報 1 1			
- プロ人未食糸で刈手し、てんてんの反割について説明できる。		1 十米十二			

(C)			松	本		
平成20年度収引版・楽字教育七ナル・コアカリキュラム(SBOS) ────────────────────────────────────	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2)各栄養素の消化、吸収、代謝のプロセスを概説できる。			衛生薬学 I			
3)食品中の三大栄養素の栄養的な価値を説明できる。			衛生薬学 I			
4) 五大栄養素以外の食品成分(食物繊維、抗酸化物質など)の機能について説明できる。			衛生薬学 I			
5)エネルギー代謝に関わる基礎代謝量、呼吸商、推定エネルギー必要量の意味を説明できる。			衛生薬学 I			
6) 日本人の食事摂取基準について説明できる。			衛生薬学 I			
7)栄養素の過不足による主な疾病を列挙し、説明できる。			衛生薬学 I			
8)疾病治療における栄養の重要性を説明できる。			衛生薬学 I			
【②食品機能と食品衛生】						
1) 炭水化物・タンパク質が変質する機構について説明できる。			衛生薬学!]			
2)油脂が変敗する機構を説明し、油脂の変質試験を実施できる。(知識・技能)			衛生薬学11(演習)			
3) 食品の変質を防ぐ方法(保存法)を説明できる。			衛生薬学!!			
4) 食品成分由来の発がん性物質を列挙し、その生成機構を説明できる。			衛生薬学!]			
5)代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる。			衛生薬学]]			
6)特別用途食品と保健機能食品について説明できる。			衛生薬学11			
7)食品衛生に関する法的規制について説明できる。			衛生薬学11			
[③食中毒と食品汚染]						
1)代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品および予防方法について説明できる。		微生物学	衛生薬学!!			
C 2) 食中毒の原因となる代表的な自然毒を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。			衛生薬学!!			
•			衛生薬学!!			
D2 環境						
(1) 化学物質・放射線の生体への影響						
【①化学物質の毒性】						
1) 代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセスについて説明できる。			衛生薬学皿			
0			衛生薬学皿			
3) 重金属、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質や農薬の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。			衛生薬学皿			
4) 重金属や活性酸素による障害を防ぐための生体防御因子について具体例を挙げて説明できる。			衛生薬学皿			
5)薬物の乱用による健康への影響について説明し、討議する。(知識・態度)			衛生薬学皿(演習)			
6)代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。			衛生薬学皿			
フ)代表的な中毒原因物質(乱用薬物を含む)の試験法を列挙し、概説できる。			衛生薬学皿			
【②化学物質の安全性評価と適正使用】						
1)個々の化学物質の使用目的に鑑み、適正使用とリスクコミュニケーションについて討議する。 (態度)			衛生薬学皿			
- 、概説できる。			衛生薬学皿			
3) 毒性試験の結果を評価するのに必要な量-反応関係、閾値、無毒性量(NOAEL)などについて概説できる。			衛生薬学皿			
4)化学物質の安全摂取量(1日許容摂取量など)について説明できる。			衛生薬学皿			
5) 有害化学物質による人体影響を防ぐための法的規制(化審法、化管法など)を説明できる。			衛生薬学皿			
[③化学物質による発がん]						
1)発がん性物質などの代謝的活性化の機構を列挙し、その反応機構を説明できる。			衛生薬学 I			
2)遺伝毒性試験(Ames試験など)の原理を説明できる。			衛生薬学I			

(9000) 7中二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十二十二十二十二十二十二十二			財産	科目		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
3)発がんに至る過程(イニシエーション、プロモーションなど)について概説できる。			衛生薬学 I			
【④放射線の生体への影響】						
1) 電離放射線を列挙し、生体への影響を説明できる。			衛生薬学 I			
2)代表的な放射性核種(天然、人工)と生体との相互作用を説明できる。			衛生薬学 I			
法について概説できる。			衛生薬学 I			
4)非電離放射線(紫外線、赤外線など)を列挙し、生体への影響を説明できる。			衛生薬学 I			
[①地球環境と生態系]						
1) 地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について説明できる。			衛生薬学皿			
2) 生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明できる。			衛生薬学皿			
3) 化学物質の環境内動態(生物濃縮など)について例を挙げて説明できる。			衛生薬学皿			
4)地球環境の保全に関する国際的な取り組みについて説明できる。			衛生薬学皿			
5)人が生態系の一員であることをふまえて環境問題を討議する。(態度)			衛生薬学皿(演習)			
【②環境保全と法的規制】						
1) 典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。			衛生薬学皿			
2) 環境基本法の理念を説明できる。			衛生薬学皿			
3) 環境汚染(大気汚染、水質汚濁、土壌汚染など)を防止するための法規制について説明できる。			衛生薬学皿			
[③水環境]						
(2) 原水の種類を挙げ、特徴を説明できる。			衛生薬学皿			
2) 水の浄化法、塩素処理について説明できる。			<u>生物系実習(衛生化学)</u> 衛生薬学皿			
3)水道水の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。(知識・技能)			<u>生物系実習(衛生化学)</u> 衛生薬学皿			
4)下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。			<u>生物系実習(衛生化学)</u> 衛生薬学皿			
5)水質汚濁の主な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)			<u>生物系実習(衛生化学)</u> 衛生薬学皿			
6) 富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。			衛生薬学皿			
1) 主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源、健康影響について説明できる。			衛生薬学皿			
2)主な大気汚染物質を測定できる。(技能)			生物系実習(放射線基礎 学)			
3) 大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)を概説できる。			衛生薬学皿			
[⑤室内環境]						
1)室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)			衛生薬学皿 生物系実習(放射線基礎 学)			
2)室内環境と健康との関係について説明できる。			衛生薬学皿			
[⑥廃棄物]	-			-		
廃棄物の種類と処理方法を列挙			衛生薬学皿			
密			衛生薬学皿			
3)マニフェスト制度について説明できる。			衛生薬学皿			

1			計			
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
E 医療薬学						
E1 薬の作用と体の変化						
(1)薬の作用						
【①薬の作用】						
1)薬の用量と作用の関係を説明できる。			基礎薬理学[
2)アゴニスト(作用薬、作動薬、刺激薬)とアンタゴニスト(拮抗薬、遮断薬)について説明できる。	₩		基礎薬理学1 医療系実習(生物物理化 学) トランスポーター論			
3)薬物が作用するしくみについて、受容体、酵素、イオンチャネルおよびトランスポーターを例に 挙げて説明できる。		生物物理化学	基礎薬理学1 医療系実習(生物物理化 学) トランスポーター論			
4)代表的な受容体を列挙し、刺激あるいは遮断された場合の生理反応を説明できる。			基礎薬理学! 医療系実習(生物物理化 学)			
5)薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系を列挙し、活性化あるいは抑制された場合 の生理反応を説明できる。(C6(6)【②細胞内情報伝達】1.~ 5. 参照)			基礎薬理学 [トランスポーター論			
6)薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて説明できる。 (E4(1)【②吸収】、【③分布】、【④代謝】、【⑤排泄】参照)			基礎薬理学] 生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
7) 薬物の選択(禁忌を含む)、用法、用量の変更が必要となる要因(年齢、疾病、妊娠等)について 具体例を挙げて説明できる。			基礎薬理学] 生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
8)薬理作用に由来する代表的な薬物相互作用を列挙し、その機序を説明できる。 (E4(1) 【②吸収】5. 【④代謝】5. 【⑤排泄】5. 参照)			基礎薬理学] 生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
9)薬物依存性、耐性について具体例を挙げて説明できる。			基礎薬理学1 トランスポーター論			
[②動物実験]						
1) 動物実験における倫理について配慮できる。(態度)	生物学実験		医療系実習(薬理学)			
2)実験動物を適正に取り扱うことができる。(技能)	生物学実験		医療系実習(薬理学)			
3)実験動物での代表的な投与方法が実施できる。(技能)	生物学実験		医療系実習(薬理学)			
[③日本薬局方]						
1)日本薬局方収載の生物学的定量法の特徴を説明できる。			Tall	薬事衛生法規		
(2) 身体の病的変化を知る 「の 一 作 の に か に か に か に か に か に か に か に か に か に						

					中		
での他で、物語で、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他ので	・楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBO	1年	2年	年	4年	5年	6年
3. 自然を注入して変化を発生の経済自己が増生、自分に発作所及だができる。 3. 自然を注入して変化を発生の経済自己が増生、自分に発作所及だができる。 3. 自然を注入して変化を発生の経済自己が増生、自分に発作所及だができる。 3. 自然をは、自分に対し、自分に対すが表であるを活用を発明できる。 3. 自然をは、自分に対すが表であるを活用を発明できる。 3. 自然をは、自分に対すが表であるを活用を発明できる。 3. 自然をは、自分に対すが表であると、自分に対すが表である。 3. 自然をは、自分に対すが表できる。 4. たまのに対しては、自分に対すが表であると、自分に対すがます。 4. たまのになって、対すしてメントの体を活用を発明できる。 4. たまのになって、対すしてメントの体を活用を発明できる。 4. たまのにはに対すると表に対すると、自分に対すがます。 4. たまのになって、対すしてスシーの体を活用を発明できる。 4. たまのにはに対すると、自分に対すを表に、自分に対すると、自然を表には、自然を表に、自分に対すると、自然を表のを発生を表し、自然を表のを発生を表し、自然を表していて、対すしてものに対すると、対すし、自然を表のを発生を表し、自然を表していて、対すしてものに対すると、対すし、そのなを表には、表ものは、対すを表し、自然を表していて、対すしてものに対すると、対すし、そのなを表していて、対すしてものに対すると、対すし、自然を表のを表に、表しては、対すを、対すし、自然を表していて、対すしてものに対すると、対すし、自然を表していて、対すしてものに対すると、対すし、との文を表目の体化を多がする代表的に表面を表し、対すし、一般を表に呼ば、一般を表に呼ば、一般を表に呼ば、一般を表に呼ば、一般を表に呼ば、一般を表に呼ば、一般を表にいて、対すしてものに対すると、対すし、その文を書目の体化を多がする代表的に表面を表していて、対すしているが、対すし、との文を書目の体化を多がする代表的に表面を表し、表面に、表面に、表面に、表面に、表面に、表面に、表面に、表面に、表面に、表面に	下の症候・病態について、生じる原因とそれらを伴う代表的疾患を挙げ、患者情報をもきる。ョック、高血圧、低血圧、発熱、けいれん、意識障害・失神、チアノーゼ、脱水、全身高・やせ、黄疸、発疹、貧血、出血傾向、リンパ節腫脹、浮腫、心悸亢進・動悸、胸水吸困難、咳・痰、 血痰・喀血、めまい、頭痛、運動麻痺・不随意運動・筋力低下、腹心・嘔吐、嚥下困難・障害、食欲不振、 下痢・便秘、吐血・下血、腹部膨満(腹水をシパク 尿、血尿、尿量・排尿の異常、月経異常、関節痛・関節腫脹、腰背部痛、記憶阻覚異常(しびれを含む)・神経痛、視力障害、聴力障害				病院薬学		
2. 血液液症 血液が固硬性性素といば特別性性の発生の発生の発生の 2. 血液液症 血液が固硬性性素といば特別性性の発生の発生の 3. 血液化性が無点の皮素性を受ける。 3. 血液化性が無点の皮素性を受ける。 3. 血液化性が高速性を発生の皮素性に含む。 5. 皮表性的医生物性を可能といば特別性をあいる。 5. 皮表性的医生物性を可能といて必要性を表す。 5. 皮表性的医生物性を可能といて必要性を表す。 5. 皮表性の性素性が表すの皮素性を発生に含む。 5. 皮表性の性素性が表すの皮素性を発生に含む。 5. 皮表性の性素性の皮型について必要できる。 5. 皮素性の生物性の皮型について必要できる。 5. 皮素性の生物性の性の性の性の性の性のできる。 5. 皮素性の生物性の性の性の性の性の性の性の性の性のできる。 5. 皮素性の性素性の性の性の性の性の性の性の性の性のできる。 5. 皮肤性の性の性の性の性の性の性の性の性の性の性の性の性の性の性の性の性の性の性の	[②病態・臨床検査]						-
2) 血炎体系・自然地域性核溶液をは10階を経済を表の療法性目を対し、目的と異常形型を対明でき 4) 公成学性を保護の経済組を対し、日かと異常性を設めてきる。 4) 公成学性を保養の経済組をがあり、自かと異常性を認めてきる。 4) 公成学性を保養の経済組をがあり、自かと異常性を認めてきる。 4) 代表的などは、自然と関係を担保を必要してきる。 4) 代表的などは、自然と関係と、自然と異常性を認めてきる。 4) 代表的などは、自然と関係を担保を必要してきる。 4) 代表的などは、自然と関係を担保を必要してきる。 4) 代表的などのと同じ、自然と関係を担保を必要してきる。 4) 代表的などのと同じ、自然と関係を担保を必要してきる。 4) 代表的などのと同じ、自然と関係を担保を必要してきる。 4) 代表的などのと同じ、自然と関係を担保を必要してきる。 4) 代表的などのと同じ、自然と関係を関係を関係を関係を関係による。 4) 代表的などのと同じ、自然と関係を関係を関係を関係を関係を関係による。 4) 代表的などのと同じての関係とのと同じていて、機能、異効素型、異効数的に基づいて対解する。 4) 代表的などのと同じのと同じ、このに関係を関係を関する。 4) 代表的などのと同じ、と同じ、対解等、配質等、と同じのに関係を使じ、対域を研究 4) 代表的などのと同じての関係とのと同じていて、機能、対力の配合いと可能する。 5) 表別の知识に対してが必要していてが何できる。 5) 表別の知识に対していてが何できる。 5) 表別の知识に対していては、機能が、は対解等、配質等、と同性を関係を使じ、関係を研究 5) 表別の知识に対し、といては関係との関係を使用するに対していて、機能がは、関係を研究 1) 表別の知识を表別では、一定の表別を表別する代表的な経過を表別する代表的な経過を表別する代表的な経過を表別する代表的な経過を表別する代表的な経過を表別する代表的な経過を表別する代表的な経過を表別する代表的な影響を観測を発展してきる。 5) 目標を検索に作用する代表的な影響の表別を表し、選問を用してきる。 5) は関係を関係を表して表別を表し、表別を用した単位の影響を表別でできる。(技能) 5) 自体検索系に作用する代表的な影響を表別を表し、表別を用した単位の影響を表現を表して作用を必要的できる。 5) は関係を表に作用する代表的な影響を表現を表して表別を表し、表別を制して表別を表します。 5) 数別を表して表別を表して表別を表します。 5) 数別を表して表別を表して表別を表します。 5) 数別を表して表別を表して表別を表します。 5) 数別を表して表別を表して表別を表します。 5) 数別を表して表別を表して表別を表します。 5) 数別を表して表別を表して表別を表して表別を表します。 5) 数別を表して表別を表して表別を表します。 5) 数別を表して表別を表して表別を表します。 5) 数別を表して表別を表して表別を表します。 5) 数別を表して表別を表します。 5) 数別を表します。 5) 数別を表して表別を表します。 5) 数別を表して表別を表します。 5) 数別を表します。 5) 数別を表します。 5) 数別を表します。 5) 数別を表します。 5) 数別を表します。 5) 数別を表します。 5) 数別を表	尿検査および糞便検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる				病態薬物治療学皿		
3) 血液性化学療産の投資項目を別等し、目的と展示所見を設切できる。 1、 気に中の成立の大きの展示と、目的と展示所見を設切できる。 1、 気に中のに対しておけるの表面目を対し、目的と展示所見を設切できる。 1、 気には、対象があるのなると対し、目的と展示所見を説明できる。 1、 大きのに発生物産者の砂色項目を対し、日のと展示所見を説明できる。 1、 大きのに発生物産者の砂色項目を対し、日のと展示所見を説明できる。 1、 大きのに発生物産者の砂色項目を対し、日のと展示所見を説明できる。 1、 大きのに発生物産者の砂色項目を対し、日のと展示所見を説明できる。 1、 大きのに発生が発生の発展における原列を使用していて、イボルー・目的と展示所見を説明できる。 1、 大きので発生が発生の発生の対し、日のと展示所見を説明できる。 1、 大きのなるのとは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きの	2) 血液検査、血液凝固機能検査および脳脊髄液検査の検査項目を列挙し、目的				病態薬物治療学皿		
	血液生化学検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる				病態薬物治療学皿		
(4. 株代の公司を発出を発出を表して、日のと素が見を説明できる。 (4. 株代の公司と別院を発出を表して、日のと素が見を説明できる。 (4. 株代の公司と別院を発出を表し、日のと素が見を説明できる。 (4. 株代の公司と別院を発していて、対理、呼吸機能を含って、	免疫学的検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる				病態薬物治療学皿		
6) 代表的な現場報告報告、「自然と異常的音を認可できる。 (4) 概要的な現場報告報告、「自然と異常的音を認可できる。 (5) (集別ななりま知報告を認可できる。 (5) (集別ななりより、自分と異常的音を認可できる。 (5) (集別ななりより、自分と異常的音を認可できる。 (5) (集別ななりよりの各項目を対学し、目がと異常的音を説明できる。 (5) (集別ななりに、自分と異常の音を認可できる。 (4) (最近 大路) (4) (表別な 大路) ()動脈血ガス分析の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる				病態薬物治療学皿		
9 (未売的な株生物核含の検索項目を列撃し、目的と展本形見を招明できる。)代表的な生理機能検査(心機能、腎機能、肝機能、呼吸機能等)、 検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。				病態薬物治療学皿		
8) 代表的なフィジカルアセスメントの終金項目を測学し、目的と異常所更を認明できる。 8) 実験治療の位置づけ ()代表的な微生物検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる			病態薬物治療学1			
1)代表的なフィジカルアセスメントの検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる				臨床前実習1		
1) (未効の疾患における薬物治療、食事療法、その他の非薬物治療、分科手術など)の位置づけを 1) 無効の皮膚における薬物治療の役割について、病能、薬効薬理、薬物動態に高づいて討婚する。 2) に素的の疾患における薬物治療の役割について説明できる。 1) 素物の生作用と制作用、毒性との関連について説明できる。 2) 以下の障害を呈する代表的な関係を促生が、 2) 以下の障害を呈する代表的な関係を促生が、 3) 以下の障害を呈する代表的な関係を促生が、 3) 以下の障害を呈する代表的な関係を促生が、 3) 以下の障害を呈する代表的な関係を促生が、 3) 以下の障害を呈する代表的な関係を促生が、 3) 以下の障害を呈する代表的な関係を促生が、 3) 以下の障害を呈する代表的な関係を促生が、 3) 以下の障害を呈する代表的な関係を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機亦、主な 3) は存め薬患の薬・薬・薬物治療 1) な食物質性素の、 3) は存物体系の体患と素 3) 自体神経系の体患しま 4) 自体神経系の体患する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機亦、主な 4) 自体神経系の体患が、 4) 自体神経系の体に用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な 4) 自体神経系の体に用する代表的な薬物を修作、薬理作用、機序、主な副作用を設明できる。 4) 自体神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 5) は保神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験を測定できる。(技能) 5) は経験に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 5) は経験に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 5) は経神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 5) は経神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 5) は経神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 5) は経神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験を測定を測し、発生・生の制作用を 5) は経神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験を測定を測し、発生・生の制作用を 5) は経神経に作用する代表的な薬物の効果を動物実験を測定を測し、発生・生の性の性の 5) は経神経に作用する代表的な薬物の効果を動物実験を測定性の性のである。 5) は経神経に作用する状態があるが関係を関係を関係を関係を関係を関係を測定性の関係を必定して、 5) は経神経をに作用する代表的な薬物を整件、薬型体間、機能・主な副作用を関係できる。(技能) 5) は経神経に作用する代表的な薬物の効果を動物実験を測定性のは、動物できる。(技能) 5) は経神経をに作用する代表的な薬物の効果を測が実験を測定性のはまる、は、 5) は経神経をに作用する代表的な薬物の効果の変化、薬型作用、機が、主な副作用を関係できる。(技能) 5) は経神経をに作用する代表的な薬物の効果を測ります。 5) は、 5)	_						
2) 代表的技術目と同体における薬物治療の役割について、病患、薬効薬理、薬物物理に基づいて討論する。 (4) 展表品の変全性 (5) 実物の主作用と副作用、毒性との関連について説明できる。 (3) 以下の障害を呈する代表的の違いについて説明できる。 (3) 以下の障害を呈する代表的の違いについて説明できる。 (4) 表現を実践、肝価を、関連を、消化・解害、循環監解を、解析障害、皮膚障害、 (4) 代表的薬害、薬物治療 (4) 代表的薬害、薬物治療 (5) 以下の障害を呈する代表的の違いについて説明できる。 (4) (4) 表別な事業、消化・解害・ 領域監解を、消化・解害・ (4) 変別・ (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4))代表的な疾患における薬物治療、食事療法、その他の非薬物治療(外科手術など) 説明できる。			病態薬物治療学]	病態薬物治療学11		
4)医薬品の安全性 1) 薬物の主作用と副作用、善性との開進について説明できる。 2) 薬物の主作用と副作用、善性との開進について説明できる。 2) 薬物の当作用と副作用、善性との開進について説明できる。 3) 以下の障害を呈する代表的な副に用作表出こいて、推定される原因医薬品、身体所見、核査所見 あくび対の方法を制明できる。 は定される原因医薬品、身体所見、核査所見 はない方法を制明できる。 は確り スクの観点から討議する。 (認度) はないの障害を、薬物プレルギー(ショックを含む)、代制障害、新障害・精神障害、精神障害、皮膚障害、 (認度) は表現を開発した。 (認度) は表現を展別に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 (認度) 別作用を説明できる。 (認度) 別作用を説明できる。 (認定) 別作用を説明できる。 (認定) 3) 神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 (技能) 2 例な影神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 (技能) 2 例な影神経経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 (技能) 3 神経節に作用する代表的な薬物を挙がに、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 (技能) 2 例な精節に作用する代表的な薬物の効果を動物薬製造で測定できる。 (技能) 1 別理体経系に作用する代表的な薬物を整体 病理・治療 治療 治療 (技能) 2 例な機構系に作用する代表的な薬物を整体 病理・治療 (技能) 2 例は機能の表現を使用する代表的な薬物を強化用し、 (技能) 2 例は機能のよれまする代表的な薬物 (動脈) 2 例は 2 例)代表的な疾患における薬物治療の役割について、病態、薬効薬理、薬物動態に基づいて討議する (知識・技能)				臨床前実習1		
1) 薬物の主作用と割作用、毒性との関連について説明できる。	(4						
2)薬物の副作用と有害事象の違いについて防弱できる。 3)以下の障害を呈する代表的な副作用を急について防弱できる。 からな自然を呈する代表的な副作用を急について、推定される原因医薬品、身体所見、検査所見 たる所見 となりなる方法を助すできる。 からな自然を発する に)薬物の主作用と副作用、毒性との関連について説明できる			基礎薬理学1 富山のくすり学			臨床薬物動態学
3)以下の障害を呈する代表的な副作用疾患について、推定される原因医薬品、身体所見、檢查所見 および対処方法を説明できる。 および対処方法を説明できる。 中級器障害、薬物乙トルギー (ショックを含む)、代謝障害、循障害 中吸器障害、薬物乙トルギー (ショックを含む)、代謝障害、筋障害 1)神経系の疾患と薬 1)神経系の疾患と薬 1)が経済系に作用する薬】 2)副を服存診明できる。 2)副を服存診明できる。 2)副を服存診明できる。 2)副を服存診明できる。 3)神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 4)自律神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 2)副を服存診明できる。 3)神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 4)自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 3)神経節に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 5 自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 3)神経節に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 5 自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 5 自律神経系に作用する代表的な薬物 (局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を関作用を関助できる。 5 も健薬理学 (対象) は、 1 の 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2	薬物の副作用と有害事象の違いについて説明できる			基礎薬理学[臨床薬物動態学
4)代表的薬害、薬物乱用について、健康リスクの観点から討議する。(態度) (態度) (態度) (1) 神経系の疾患と薬 (1) 神経系の疾患と薬 (1) 神経系の疾患と薬 (1) 神経系の疾患と薬 (2) 副体用を説明できる。 (2) 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 (2) 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 (2) 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 (技能) (3) 神経節に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) (4) 自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) (5) 前題神経に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) (5) 前題神経に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) (5) 前題神経に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定さる。(技能) (5) 前題神経に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) (5) 前題神経に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) (5) 前題神経に作用する代表的な薬物の疾患の薬、病療、治療1・薬理作用、機序、主な副作用を動態的できる。 (技能) (5) 他性神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) (5) 他性神経系に作用する代表的な薬物の疾患の薬・治療・治療 (技能) (5) 他性神経系に作用する代表的な薬物の疾患の薬・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・	以下の障害を呈する代表的な副作用疾患について、推定される原因医薬品、身体所見、 および対処方法を説明できる。 血液障害・電解質異常、肝障害、腎障害、消化器障害、循環器障害、精神障害、皮膚障 呼吸器障害、薬物アレルギー(ショックを含む)、代謝障害、筋障害			基礎薬理学[
薬理・病態・薬物治療 (1) 神経系の疾患と薬 ①自律神経系の疾患と薬 (1) 神経系の疾患と薬 ①自律神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 主な副作用を説明できる。 基礎薬理学! 2) 副交際神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 主な副作用を説明できる。 基礎薬理学! 3) 神経節に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 基礎薬理学! 基礎薬理学! 4) 自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 基礎薬理学! 基礎薬理学! 1) 前環神経に作用する代表的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 技能、主な副作用を説明できる。 基礎薬理学! 1) 前間神経に作用する代表的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 基礎薬理学! 基礎薬理学! 1) 前間神経に作用する代表的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 基礎薬理学! 基礎薬理学! 1) 前間神経がに作用する代表的な薬物(局所体験、治療】 基礎・通知できる。 基礎・連算・方の表面には、注意を能力を表現を確認を表現を確認を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を)代表的薬害、薬物乱用について、健康リスクの観点から討議する。			病態薬物治療学] 衛生薬学皿(演習)			
- の支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、 こ。 1な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 (表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 筋の疾患の薬、病態、治療】 (的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を (おの薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を							
- の支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、 3 0 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	(1)神経系の疾患と薬						
し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主なる。 用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、 できる。 代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。 する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 基礎薬理学 する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能) 基礎薬理学 基礎薬理学 基礎薬理学 基礎薬理学 基礎薬理学 2素・筋の疾患の薬、病態、治療 3薬・筋の疾患の薬、病態、治療 5薬・筋の疾患の薬、病態、治療 5本・筋の疾患の薬、病態、治療 5本・筋の疾患の薬、病態、治療 5本・筋の疾患の薬、病態、治療 5本・ 1							
田し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、 できる。)交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、 副作用を説明できる。			基礎薬理学]			
代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。基礎薬理学する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能)基礎薬理学る薬・筋の疾患の薬、病態、治療】大変理作用、機序、主な副作用をる薬・筋の疾患の薬、病態、治療】基礎薬理学る薬・筋の疾患の薬、病態、治療】基礎薬理学も、ま、おのな薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を基礎薬理学は、おいまれた。 まずに、 まずに、 まずに、 まずに、 まずに、 まずに、 まずに、 まずに、)副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、 主な副作用を説明できる。			1 李雄東理学 1			
する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能)基礎薬理学目 る薬・筋の疾患の薬、病態、治療】 食薬・筋の疾患の薬、病態、治療】食薬・筋の疾患の薬、病態、治療】生物・生た・サービ・サービ・サービー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー)神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明			基礎薬理学[
る薬・筋の疾患の薬、病態、治療】 る代表的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を	自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。			基礎薬理学[医療系実習(薬理学)			
知覚神経に作用する代表的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を 説明できる。 電影社のエム・ルコ・カナギル・ガル、 並知 かに、 かんごん のよう	る薬・筋の疾患の薬、病態、治療】						
,	知覚神経に作用する代表的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用 説明できる。			基礎薬理学]			
)連動仲詮糸に作用する代表的な楽物を学け、楽埋作用、穢予、王な副作用を説明できる。	引、機序			基礎薬理学]			

)())) - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1				西		
十成23年度攻乱版・楽子教育モケル・コノカリチュフム(3BO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
3)知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能)			医療系実習(薬理学)			
4)以下の疾患について説明できる。 進行性筋ジストロフィー、Guillain-Barré(ギラン・バレー)症候群、重症筋無力症(重複)				病態薬物治療学[]		
【③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療】						
幾序、主な副作用)および臨床			基礎薬理学]	病態薬物治療学11		
2)麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用(MHO 三段階除痛ラダーを含む)を説明できる。			基礎薬理学Ⅱ	病態薬物治療学]]		
び臨床適用を説			基礎薬理学11	病態薬物治療学11		
4)統合失調症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学Ⅱ	疾病医療学		
5) うつ病、躁うつ病(双極性障害)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学Ⅱ	病態薬物治療学1.		
!性不安障害)、心身症、不眠症について、治 、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治			基礎薬理学!!	病態薬物治療学1.1		
7) てんかんについて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学Ⅱ	病態薬物治療学1.1		
8) 脳血管疾患(脳内出血、脳梗塞(脳血栓、脳塞栓、一過性脳虚血)、くも膜下出血)について、 治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療 (医薬品の)選択等)を説明できる。				疾病医療学		
9)Parkinson(パーキンソン)病について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学Ⅱ	病態薬物治療学[]		
10) 認知症(Alzheimer(アルツハイマー)型認知症、脳血管性認知症等)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学Ⅱ	病態薬物治療学1.1		
11) 片頭痛について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)について説明できる。			基礎薬理学Ⅱ	病態薬物治療学11		
12) 中枢神経系に作用する薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能)			医療系実習(薬理学)			
13) 中枢神経系疾患の社会生活への影響および薬物治療の重要性について討議する。(態度)				病態薬物治療学11		
14)以下の疾患について説明できる。 脳炎・髄膜炎(重複)、多発性硬化症(重複)、筋萎縮性側索硬化症、Narcolepsy (ナルコレプシー)、薬物依存症、アルコール依存症				病態薬物治療学]]		
[④化学構造と薬効]				_	-	
1)神経系の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・薬物動態)の関連を概説できる。			基礎薬理学1、基礎薬理学11			
(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬						
【 ○仇欢延条】 1)抗炎症薬(ステロイド性および非ステロイド性)および解熱性鎮痛薬の薬理(薬理作用、機序、			1	1 年		
主な副作用)および臨床適用を説明できる。			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	友院来勿治猿子 由 七祭 井 1 3 7 7 3 1 1		
			基礎楽理学]	病態薬物治療学皿		
				病態薬物治療学皿		
【②免疫・炎症・アレルギー疾患の薬、病態、治療】	_		_			
1)アレルギー治療薬(抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬等)の薬理(薬理作用、機序、主な副作用) および臨床適用を説明できる。			基礎薬理学 [免疫学	病態薬物治療学皿		
2)免疫抑制薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。			基礎薬理学] 免疫学	病態薬物治療学皿		
3)以下のアレルギー疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、接触性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性腫炎、花粉症、消化管アレルギー、気管支喘息(重複)			基礎薬理学] 免疫学	病態薬物治療学皿		

平成25年度改訂版・楽字教育セテル・コアカリキュラム(SBOS) ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4)以下の薬物アレルギーについて、原因薬物、病態(病態生理、症状等)および対処法を説明できる。 Stevens-Johnson(スティーブンス-ジョンソン)症候群、中毒性表皮壊死症(重複)、薬剤性過敏症症候群、薬疹				病態薬物治療学皿		
一			基礎薬理学] 免疫学	病態薬物治療学皿		
#				病態薬物治療学皿		
7)以下の臓器特異的自己免疫疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。パセドウ病(重複)、橋本病(重複)、悪性貧血(重複)、アジソン病、1型糖尿病(重複)、重症筋無力症、多発性硬化症、特発性血小板減少性紫斑病、自己免疫性溶血性貧血(重複)、シェーグレン症候群			基礎薬理学 [免疫学	病態薬物治療学11, Ⅲ 疾病医療学		
8)以下の全身性自己免疫疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。全身性エリテマトーデス、強皮症、多発筋炎/皮膚筋炎、関節リウマチ(重複)			基礎薬理学 [免疫学	病態薬物治療学11, Ⅲ 疾病医療学		
9)臓器移植(腎臓、肝臓、骨髄、臍帯血、輸血)について、拒絶反応および移植片対宿主病(GVHD) の病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			免疫学	疾病医療学		
【③骨・関節・カルシウム代謝疾患の薬、病態、治療】						
1)関節リウマチについて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学]	病態薬物治療学11, m 疾病医療学		
2)骨粗鬆症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学Ⅱ	病態薬物治療学[]		
3)変形性関節症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				病態薬物治療学11 疾病医療学		
4)カルシウム代謝の異常を伴う疾患(副甲状腺機能亢進(低下)症、骨軟化症(くる病を含む)、 悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学』	病態薬物治療学1.1		
【④化学構造と薬効】						
1) 免疫・炎症・アレルギー疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・薬物動態) の関連を概説できる。			基礎薬理学』			
(3) 循環器系・血液系・造血器系・泌尿器系・生殖器系の疾患と薬「心無温器系・血液素・生態・治療」						
抐愍、冶浆】	-					
1)以下の不整脈および関連疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 不整脈の例示:上室性期外収縮(PAC)、心室性期外収縮(PVC)、心房細動(Af)、発作性上室 頻拍(PSVI)、MPW症候群、心室頻拍(VI)、心室細動(Vf)、房室ブロック、01延長症候群			基礎薬理学]	病態薬物治療学皿 疾病医療学		
2) 急性および慢性心不全について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学 [病態薬物治療学皿 疾病医療学		
3) 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学 [病態薬物治療学皿 疾病医療学		
4)以下の高血圧症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態 生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 本態性高血圧症、二次性高血圧症(腎性高血圧症、腎血管性高血圧症を含む)			基礎薬理学』	病態薬物治療学皿 疾病医療学		
5)以下の疾患について概説できる。 閉塞性動脈硬化症(ASO)、心原性ショック、弁膜症、先天性心疾患				病態薬物治療学 正 疾病医療学		
6)循環器系に作用する薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能)			医療系実習(薬理学)	病態薬物治療学皿 疾病医療学		
【②血液・造血器系疾患の薬、病態、治療】						
1)止血薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。			基礎薬理学 [病態薬物治療学 [

() () () () () () () () () () () () () (松	本		
十成29年及収引版・米子教育モナル・コイン・イエング(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2)抗血栓薬、抗凝固薬および血栓溶解薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用 を説明できる。			基礎薬理学1 病態薬物治療学1			
3)以下の貧血について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血(悪性貧血等)、再生不良性貧血、自己免疫性溶血性貧血(AIHA)、腎性貧血、鉄芽球性貧血			基礎薬理学1 病態薬物治療学1			
4) 播種性血管内凝固症候群(DIC) について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			病態薬物治療学]			
5)以下の疾患について治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。血友病、血栓性血小板減少性紫斑病(1TP)、白血球減少症、血栓塞栓症、白血病(重複)、悪性リンパ腫(重複)(2)(7)【⑧悪性腫瘍の薬、病態、治療】参照)			病態薬物治療学1			
【③泌尿器系、生殖器系疾患の薬、病態、薬物治療】						
1)利尿薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。			基礎薬理学]	病態薬物治療学11		
2)急性および慢性腎不全について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				病態薬物治療学]]		
3) ネフローゼ症候群について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態 生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				病態薬物治療学]]		
4)過活動膀胱および低活動膀胱について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学1	病態薬物治療学]]		
5)以下の泌尿器系疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 慢性腎臓病(CKD)、糸球体腎炎(重複)、糖尿病性腎症(重複)、薬剤性腎症(重複)、腎盂 腎炎(重複)、膀胱炎(重複)、尿路感染症(重複)、尿路結石				病態薬物治療学1.		
6) 以下の生殖器系疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 前立腺肥大症、子宮内膜症、子宮筋腫				病態薬物治療学1.1		
7)妊娠・分娩・避妊に関連して用いられる薬物について、薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				病態薬物治療学11		
8)以下の生殖器系疾患について説明できる。 異常妊娠、異常分娩、不妊症				病態薬物治療学11		
薬効】	-			-		
1)循環系・泌尿器系・生殖器系疾患の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効 (薬理・薬物動態)の関連を概説できる。			基礎薬理学[
(4) 呼吸器系・消化器系の疾患と薬 [①呼吸器系疾患の薬、病態、治療]						
1)気管支喘息について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学]	疾病医療学		
2)慢性閉塞性肺疾患および喫煙に関連する疾患(ニコチン依存症を含む)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				病態薬物治療学皿 疾病医療学		
3)間質性肺炎について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				病態薬物治療学皿 疾病医療学		
4)鎮咳薬、去痰薬、呼吸興奮薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明 できる。			基礎薬理学[病態薬物治療学皿 疾病医療学		
[②消化器系疾患の薬、病態、治療]	-			-		
1)以下の上部消化器疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 胃食道逆流症(逆流性食道炎を含む)、消化性潰瘍、胃炎	<u></u>	生物物理化学	基礎薬理学II 医療系実習(生物物理化 学) トランスポーター論	病態薬物治療学1.1		

				本		
平成23年度改訂版・楽字教育セケル・コアカリキュラム(SBOS) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2) 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病等)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、 主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学]] 物理薬剤学	病態薬物治療学11		
3) 肝疾患(肝炎、肝硬変(ウイルス性を含む)、薬剤性肝障害)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学!!	病態薬物治療学!!		
4)膵炎について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学!!	病態薬物治療学1.1		
5) 胆道疾患(胆石症、胆道炎)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学 []	病態薬物治療学11		
6)機能性消化管障害(過敏性腸症候群を含む)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な 副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学!!	病態薬物治療学1.1		
7) 便秘・下痢について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学!!	病態薬物治療学11		
ほおよび関連薬物(催吐薬)の薬理(、等)・薬物治療(医薬品の選択等)				病態薬物治療学1.1		
9)痔について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				病態薬物治療学11		
[③化学構造と薬効]						
1)呼吸器系・消化器系の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・薬物動態) の関連を概説できる。			基礎薬理学 I 基礎薬理学 II トランスポーター論			
(5)代謝系・内分泌系の疾患と薬						
【①代謝系疾患の薬、病態、治療】						
1)糖尿病とその合併症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学!! トランスポーター論	病態薬物治療学11		
2)脂質異常症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態 生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学 []	病態薬物治療学11		
3) 高尿酸血症・痛風について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学! トランスポーター論	病態薬物治療学11		
【②内分泌系疾患の薬、病態、治療】						
1) 性ホルモン関連薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。			基礎薬理学[病態薬物治療学皿		
2)Basedow(バセドウ)病について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学]	病態薬物治療学皿		
3) 甲状腺炎(慢性(橋本病)、亜急性)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			基礎薬理学]	病態薬物治療学皿		
4)尿崩症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				病態薬物治療学皿		
5)以下の疾患について説明できる。 先端巨大症、高プロラクチン血症、下垂体機能低下症、ADH不適合分泌症候群(SIADH)、副 甲状腺機能亢進症・低下症、Cushing(クッシング)症候群、アルドステロン症、褐色細胞腫、 副腎不全(急性、慢性)、子宮内膜症(重複)、アジソン病(重複)			基礎薬理学[病態薬物治療学皿		
[③化学構造と薬効]	-			_		
1)代謝系・内分布系の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・薬物動態)の 関連を概説できる。			基礎薬理学] 基礎薬理学]]			
(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬						
段疾患の薬、病態、治療】						
1)緑内障について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			病態薬物治療学1			

) 0 0 / 一川 - 十二十月 「 一 三川 - 村 朱 珍様 。		本	本		
・コノルツイユノム	1年 2年	3年	4年	5年	6年
Eな副作用)、および病 5。		病態薬物治療学[
3)加齢性黄斑変性について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		病態薬物治療学[
4)以下の疾患について概説できる。 結膜炎(重複)、網膜症、ぶどう膜炎、網膜色素変性症		病態薬物治療学]			
1) めまい(動揺病、Meniere (メニエール) 病等) について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、 主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			病態薬物治療学11		
2)以下の疾患について概説できる。 アレルギー性鼻炎(重複)、花粉症(重複)、副鼻腔炎(重複)、中耳炎(重複)、口内炎・ 咽頭炎・扁桃腺炎(重複)、喉頭蓋炎			病態薬物治療学皿		
[③皮膚疾患の薬、病態、治療]					
1)アトピー性皮膚炎について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (E2(2)【②免疫・炎症・アレルギーの薬、病態、治療】参照)		病態薬物治療学[
2)皮膚真菌症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。(E2(1)【⑤真菌感染症の薬、病態、治療】参照)		病態薬物治療学[
3)褥瘡について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		病態薬物治療学]			
		病態薬物治療学[
[④化学構造と薬効]					
7 1)感覚器・皮膚の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・薬物動態)の関連を 概説できる。		基礎薬理学1 病態薬物治療学1 生物薬剤学	病態薬物治療学11		
(7) 病原徴生物(感染症)・悪性新生物(がん)と薬					
[①抗菌薬]					
トル、主な副作用 *系、アミノ配糖6 ア剤 (ST合剤を含	微生物学	病態薬物治療学[
2) 細菌感染症に関係する代表的な生物学的製剤(ワクチン等)を挙げ、その作用機序を説明 できる。		病態薬物治療学]			
【②抗菌薬の耐性】					
1)主要な抗菌薬の耐性獲得機構および耐性菌出現への対応を説明できる。	微生物学	病態薬物治療学]			
1)以下の呼吸器感染症について、病態(病態生理、症状等)、感染経路と予防方法および薬物 治療(医薬品の選択等)を説明できる。 上気道炎(かぜ症候群(大部分がウイルス感染症)を含む)、気管支炎、扁桃炎、細菌性肺炎、 肺結核、レジオネラ感染症、百日咳、マイコプラズマ肺炎		病態薬物治療学[
2)以下の消化器感染症について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の選択等) を説明できる。 急性虫垂炎、胆囊炎、胆管炎、病原性大腸菌感染症、食中毒、ヘリコバクター・ピロリ感染症、 赤痢、コレラ、腸チフス、パラチフス、偽膜性大腸炎		病態薬物治療学[
3)以下の感覚器感染症について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の選択等) を説明できる。 副鼻腔炎、中耳炎、結膜炎		病態薬物治療学[
4)以下の尿路感染症について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の選択等) を説明できる。 腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎		病能薬物治療学[

19	()) 一川 十二十月 二十月 计 计 计 计 法 法 计			中	
	牛皮は乱吹・米十秋月モノル・コノカウイエノム(35)	2年	3年		6年
)以下の性感染症について、病態(病態生理、症状等)、予防方法および薬物治療 選択等)を説明できる。 梅毒、淋病、クラミジア症等		病態薬物治療学[
)脳炎、髄膜炎について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の選択等) 説明できる。		病態薬物治療学[
)以下の皮膚細菌感染症について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療等)を説明できる。 伝染性膿痂疹、丹毒、癰、毛囊炎、ハンセン病		病態薬物治療学[
) 感染性心内膜炎、胸膜炎について、病態(病態生理、症状等)および薬物治 選択等) を説明できる。		病態薬物治療学[
(30-7-7) (19年7年を発出の課金件)を含まる。 (20年 2年)以下の薬剤耐性菌による院内感染について、感染経路と予防方法、病態(病態生理、等)および薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 MKSA、VRE、セラチア、緑膿菌等		病態薬物治療学[
(後少かんなるを産産をよびなどのものの。 集後 1 を終わる 1 を終わる 1 といくのうからなるを表す 1 といくのうからなるを表す 1 といくのうか (などのからなるを表す 1 を終わる 1 を終りを 2 をがりを 2	以下の全身性細菌感染症について、病態(病態生理、症状等)、感染経路と予防方法お薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 ジフテリア、劇症型A群β溶血性連鎖球菌感染症、新生児B群連鎖球菌感染症、破傷風、		病態薬物治療学[
1. ヘルスタイルの発生機 (建設・	イルス感染症およびプリオン病の薬、病態、				
発信でいて、必要が必要性 (家連書の 2008年) を設明できる。 (は後年) ・ 変称と称 (医素品の 2008年) を設明できる。 (なりできる。 (なりをなりをなりできる。 (なりできる。 (なりできる。 (なりできる。 (なりできる。 (なりできる。 (ヘルペスウイルス感染症(単純ヘルペス、水痘・帯状疱疹)について (薬理作用、機序、主な副作用)、予防方法および病態(病態生理、 (医薬品の選択等)を説明できる。		病態薬物治療学[
3 インフルエンザーコンドーコンドーコンドーコンドーコンドーコンドーコンドーコンドーコンドーコンド) サイトメガロウイルス感染症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用) および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		病態薬物治療学[
4. ウイルスは W. い、いとい、こので、) インフルエンザについて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 予防方法および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を		病態薬物治療学]		
Alia Court 法を基金を表現 (産業品の選択等)を	4)ウイルス性肝炎(HAV、HBV、HCV)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用) 感染経路と予防方法および病態(病態生理(急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝細胞がん)、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。(重複)		病態薬物治療学[
プリナン病を含む「こいて、必要複形と予防方法および痛能 業物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (産薬品の選択等)を説明できる。 (産薬品の選択等)を説明できる。 (産薬品の選択等)・薬物治療(医薬品の選択等)を (産薬品の選択等)・薬物治療(医薬品の選択等)を (エューモシスチスが数、肺アスヘルギルス症、クリブトコックス症 (本)、エューモシスチスが数、肺アスヘルギルス症、クリブトコックス症 (本)、大りコモナス症、アメーバ赤剤 (大)、生物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (エローモンスチスが数、肺アスヘルギルス症、クリブトコックス症 (本)、上コーモンスチスが数、肺アスヘルギルス症、クリブトコックス症 (本)、大りコモナス症、アメーバ赤剤 (大)、治療薬の薬理(薬理作用、機体、生な副作用)、および病態 (大)、治療薬の薬理(薬理作用、機体、生な副作用)、および病態 (大)、治療薬の薬理(薬理作用、機体、生な副作用)、および病態 (大)、治療薬の薬理(薬理作用、機体、生な副作用)、および病態 (大)、治療薬の薬理(薬理作用、機体、生な副作用)、および病態 (大)、治療薬の薬理(薬理作用、機体、生な副作用)、および病態 (大)、治療薬の薬理(薬理作用、機体)を説明できる。 (大)、薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (大)、薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (大)、薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (大)、薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (大)、薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (大)、薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (大)、薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (大)、薬物治療(医薬品の選択等)(が)、悪性腫瘍の変学(ガバ・悪性腫瘍の変学(ガバ・産患の現状および)、**・悪性腫瘍の変学(ガバ・悪性腫瘍の変学(ガバ・産患の現状および)、**・悪性腫瘍の変学(ガバ・悪性腫瘍の変学(ガバ・産患の現状および)、**・悪性腫瘍の変学(ガバ・悪性腫瘍の変学)(ガバ・産患の現状および)、**・悪性腫瘍の変学(ガバ・産患の現状および)、**・悪性腫瘍の変学(ガバ・産患の選状および)、**・悪性腫瘍の変学(ガバ・産患の理療があたが)、**・悪性腫瘍の変学(ガバ・産患の変形があため)、**・悪性腫瘍の変学(ガバ・産患の現状および)、**・悪性腫瘍の変学(ガバ・洗剤・洗剤・薬が洗剤・薬剤・薬が洗剤・洗剤・洗剤・薬剤・洗剤・洗剤・洗剤・洗剤・洗剤・洗剤・洗剤・洗剤・洗剤・洗剤・洗剤・洗剤・洗剤)後天性免疫不全症候群(AIDS)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用) 感染経路と予防方法および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を 説明できる。		病態薬物治療学[
(五) 機能、主な副作用) および臨床適用を説明できる。 (五) 機能、主な副作用) および臨床適用を説明できる。 (五) 有態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を (病態・強動・療力・薬物治療・性) (表現・大・治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (医薬品の選択等)を説明できる。 (本語・トリコモナス症、アメーバ赤剤 (と、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および (大・治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および (大・治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および (大・治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および (大・治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および (大・治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および (大・治療薬の薬性・薬剤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	以下のウイルス感染症(プリオン病を含む)について、感染経路と予防方法(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。伝染性紅斑(リンゴ病)、手足口病、伝染性単核球症、突発性発疹、咽頭結性下痢症、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、風邪症候群、Crentzfeldt-Jakobヤコブ)病		病態薬物治療学1		
用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。 「て、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を	病態、				
で、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を 病態薬物治療学 病態、治療 治療 た、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 病態薬物治療学 いて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 病態薬物治療学 いて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および ・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 病態薬物治療学 の項目を概説できる。 病態薬物治療学 の項目を概説できる。 病態薬物治療学 類、悪性腫瘍の強き(がん罹患の現状および・遺伝子をもむ)・、悪性腫瘍の疫学(がん罹患の現状および・遺伝子を含む))、悪性腫瘍の疫学(がん罹患の現状および・過に子をかを含む))、悪性腫瘍の変学(がん罹患の現状および・過に子をかを含む))、悪性腫瘍の変学(がん罹患の現状および・過に子をかを含む))、悪性腫瘍の変学(がん罹患の現状および・過に子をかを含む))、悪性腫瘍の変学(がん罹患の現状および・過に子をかを含む))、悪性腫瘍の変学(がん罹患の現状および・過に子をからなし))、悪性腫瘍の変学(がん罹患の現状および・過に子をからなし))、悪性腫瘍の変学(がん罹患の現状および・過じた)を説明をある。	抗真菌薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明でき		病態薬物治療学]		
病態、治療】 「て、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。) 以下の真菌感染症について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を 説明できる。 皮膚真菌症、カンジダ症、ニューモシスチス肺炎、肺アスペルギルス症、クリプトコック		病態薬物治療学]		
5年生歴染症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 5理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 7、トキソプラズマ症、トリコモナス症、アメーバ赤痢 7を生虫症染症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 5億虫症、アニサキス症 - ・	病態、				
5生虫感染症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 病性生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 蟯虫症、アニサキス症 競虫症、アニサキス症 (食性腫瘍と悪性腫瘍の違い)を説明できる。 所について、以下の項目を概説できる。 対数および病期分類、悪性腫瘍の検査(細胞診、組織診、画像診断、腫瘍マーカー り類および病期分類、悪性腫瘍の検査(細胞診、組織診、画像診断、腫瘍マーカー 発は、以下の項目を概説できる。 対数なよび病期分類、悪性腫瘍の検査(細胞診、組織診、画像診断、腫瘍マーカー 疾病医療学 の理の変異遺伝子、遮石子をめを含む))、悪性腫瘍の検学(がん罹患の現状および の理の変異遺伝子、かといるには、カレー・デュー語に対し、変が、配像診断、腫瘍マーカー	以下の原虫感染症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 マラリア、トキソプラズマ症、トリコモナス症、アメーバ赤痢		病態薬物治療学1		
:義(良性腫瘍と悪性腫瘍の違い)を説明できる。 鳥について、以下の項目を概説できる。 う類および病期分類、悪性腫瘍の検査(細胞診、組織診、画像診断、腫瘍マーカー のの変異遺伝子にある。)以下の寄生虫感染症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 回虫症、蟯虫症、アニサキス症		病態薬物治療学]		
腫瘍の定義(良性腫瘍と悪性腫瘍の違い)を説明できる。 悪性腫瘍について、以下の項目を概説できる。 組織型分類および病期分類、悪性腫瘍の検査(細胞診、組織診、画像診断、腫瘍マーカー 組織型分類および病期分類、悪性腫瘍の検査(細胞診、組織診、画像診断、腫瘍マーカー (腫瘍関分類および病期分類、悪性腫瘍の検査(細胞診、組織診、画像診断、腫瘍マーカー (腫瘍関質の変異遺伝子、遺伝子を物を含む)、悪性腫瘍の疫学(がん罹患の現状および					
悪性腫瘍について、以下の項目を概説できる。 組織型分類および病期分類、悪性腫瘍の検査(細胞診、組織診、画像診断、腫瘍マーカー (腫瘍関連の変異遺伝子、遺伝子産物を含む))、悪性腫瘍の疫学(がん罹患の現状および が、デェーの治療と、重性腫瘍のは、なった、質に変化を含む)が、一般に変に、して、して、して、して、して、して、して、して、して、して、これ、いっと、いっと、いっと、いっと、いっと、いっと、いっと、いっと、いっと、いっと)腫瘍の定義(良性腫瘍と悪性腫瘍の違い)を説明できる			薬物治療学11, 医療学	
かん然この現状)、悉性理場のリスクおよひず的姿区	悪性腫瘍について、以下の項目を概説できる。 組織型分類および病期分類、悪性腫瘍の検査(細胞診、組織診、画像診断、 (腫瘍関連の変異遺伝子、遺伝子産物を含む))、悪性腫瘍の疫学(がん罹がん死亡の現状)、悪性腫瘍のリスクおよび予防要因				

			無	本		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) -	1年	2年			5年	6年
3)悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけを概説できる。				病態薬物治療学11, 皿 疾病医療学		
【 ⑧悪性腫瘍の薬、病態、治療】 1)以下の抗悪性腫瘍薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用、相互作用、組織移行性)および 筋床適用を説明できる。				宋能 莲物 治梅 学 Ⅲ		
mickatuと歌うないます。 アルキル化薬、代謝拮抗薬、抗腫瘍抗生物質、微小管阻害薬、トポイソメラーゼ阻害薬、 抗腫瘍ホルモン関連薬、白金製剤、分子標的治療薬、その他の抗悪性腫瘍薬				5500天5071. 疾病医療学		
2)抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構を説明できる。				病態薬物治療学皿 疾病医療学		
3) 抗悪性腫瘍薬の主な副作用(下痢、悪心・嘔吐、白血球減少、皮膚障害(手足症候群を含む)、 血小板減少等)の軽減のための対処法を説明できる。				疾病医療学		
4)代表的ながん化学療法のレジメン(FOLFOX等)について、構成薬物およびその役割、副作用、対象疾患を概説できる。				疾病医療学		
7治療(医薬品(5、成人T細胞白				疾病医療学		
6)悪性リンパ腫および多発性骨髄腫について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				疾病医療学		
)・薬物治療 (医薬品の選択等) る				疾病医療学		
8)以下の消化器系の悪性腫瘍について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 胃癌、食道癌、肝癌、大腸癌、胆囊・胆管癌、膵癌				病態薬物治療学[] 疾病医療学		
9)肺癌について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				病態薬物治療学皿 疾病医療学		
10)以下の頭頸部および感覚器の悪性腫瘍について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療 (医薬品の選択等)を説明できる。 脳腫瘍、網膜芽細胞腫、喉頭、咽頭、鼻腔・副鼻腔、口腔の悪性腫瘍				疾病医療学		
11) 以下の生殖器の悪性腫瘍について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等) を説明できる。 前立腺癌、子宮癌、卵巣癌				疾病医療学		
12) 腎・尿路系の悪性腫瘍(腎癌、膀胱癌)について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療 (医薬品の選択等)を説明できる。				疾病医療学		
13) 乳癌について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				疾病医療学		
[⑤がん終末期医療と緩和ケア]					-	
1)がん終末期の病態(病態生理、症状等)と治療を説明できる。			病態薬物治療学]	疾病医療学 病院薬学		
2)がん性疼痛の病態(病態生理、症状等)と薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			病態薬物治療学]	疾病医療学 病院薬学		
[⑩化学構造と薬効]						
1)病原微生物・悪性新生物が関わる疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・ 薬物動態)の関連を概説できる。			病態薬物治療学]			
(8) パイオ・細胞医薬品とゲノム情報 【①細梅ラ体医薬品】						
1)組換え体医薬品の特色と有用性を説明できる。				病態薬物治療学11, II 疾病医療学		
2)代表的な組換え体医薬品を列挙できる。				病態薬物治療学11, m 疾病医療学		
3)組換え体医薬品の安全性について概説できる。				病態薬物治療学11, II 疾病医療学		

		· **	u 森		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年 2年		<u>t</u>	5年	9
[②遺伝子治療]					
1)遺伝子治療の原理、方法と手順、現状、および倫理的問題点を概説できる。(知識・態度)			<mark>疾病医療学</mark> 臨床倫理学		
[③細胞、組織を利用した移植医療]					
1)移植医療の原理、方法と手順、現状およびゲノム情報の取り扱いに関する倫理的問題点を概説 できる。(知識・態度)			疾病医療学 病院薬学 臨床倫理学		
2)摘出および培養組織を用いた移植医療について説明できる。			疾病医療学 病院薬学		
3)臍帯血、末梢血および骨髄に由来する血液幹細胞を用いた移植医療について説明できる。			疾病医療学 病院薬学		
4) 胚性幹細胞(ES細胞)、人工多能性幹細胞(iPS細胞)を用いた細胞移植医療について概説できる。		生命情報科学工	疾病医療学 病院薬学		
(9)要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション					
1)地域における疾病予防、健康維持増進、セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を概説できる。			保険薬局学	薬局実習	
2)要指導医薬品および一般用医薬品(リスクの程度に応じた区分(第一類、第二類、第三類)も 含む)について説明し、各分類に含まれる代表的な製剤を列挙できる。		富山のくすり学	保険薬局学	薬局実習	
3)代表的な症候について、関連する頻度の高い疾患、見逃してはいけない疾患を列挙できる。			保険薬局学	薬局実習	
4)要指導医薬品・一般用医薬品の選択、受診勧奨の要否を判断するために必要な患者情報を収集 できる。(技能)			保険薬局学	薬局実習	
5)以下の疾患・症候に対するセルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。 発熱、痛み、かゆみ、消化器症状、呼吸器症状、アレルギー、細菌・真菌感染症、生活習慣病 等			保険薬局学	薬局実習	
6) 主な養生法(運動・食事療法、サプリメント、保健機能食品を含む)とその健康の保持・促進 における意義を説明できる。			保険薬局学	薬局実習	
・一般用医薬品と医療用医薬品、サプリメント、保 月できる。			保険薬局学	薬局実習	
8)要指導医薬品・一般用医薬品等による治療効果と副作用を判定するための情報を収集し評価 できる。(技能)			保険薬局学	薬局実習	
(10) 医療の中の漢方薬					
[①漢方薬の基礎]	_		_	_	
1) 漢方の特徴について概説できる。	和漢医薬学入門 生薬学		東西医薬学		
2)以下の漢方の基本用語を説明できる。 陰陽、虚実、寒熱、表裏、気血水、証	和漢医薬学入門 生薬学		東西医薬学		
3)配合生薬の組み合わせによる漢方薬の系統的な分類が説明できる。	和漢医薬学入門 生薬学		東西医薬学		
4)漢方薬と西洋薬、民間薬、サプリメント、保健機能食品などとの相違について説明できる。	和漢医薬学入門 生薬学		東西医薬学		
【②漢方薬の応用】					
1) 漢方医学における診断法、体質や病態の捉え方、治療法について概説できる。	和漢医薬学入門 生薬学		東西医薬学		
2) 日本薬局方に収載される漢方薬の適応となる証、症状や疾患について例示して説明できる。	和漢医薬学入門生薬学		東西医薬学		
3)現代医療における漢方薬の役割について説明できる。	和漢医薬学入門生薬学		東西医薬学		
	-		-	-	

			経	科目		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年			5年	6年
[③漢方薬の注意点]						
1)漢方薬の副作用と使用上の注意点を例示して説明できる。		和漢医薬学入門 生薬学		東西医薬学		
(11) 薬物治療の最適化 【①総合演習】						
1)代表的な疾患の症例について、患者情報および医薬品情報などの情報に基づいて薬物治療の 最適化を討議する。(知識・態度)				病態薬物治療学11, Ⅲ 疾病医療学 病院薬学 臨床前実習1		
2)過剰量の医薬品による副作用への対応(解毒薬を含む)を討議する。(知識・態度)				病態薬物治療学11, m 疾病医療学 病院薬学 臨床前実習1		
3)長期療養に付随する合併症を列挙し、その薬物治療について討議する。(知識・態度)				病態薬物治療学11, m 疾病医療学 病院薬学		
E3 薬物治療に役立つ情報 (1) 医薬品情報 [①情報]						
フ 1)医薬品を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列挙できる。			医療薬剤学			臨床薬物動態学
2) 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割について概説できる。			医療薬剤学			臨床薬物動態学
3) 医薬品(後発医薬品等を含む)の開発過程で行われる試験(非臨床試験、臨床試験、安定性試験等)と得られる医薬品情報について概説できる。			医療薬剤学			臨床薬物動態学
4)医薬品の市販後に行われる調査・試験と得られる医薬品情報について概説できる。			医療薬剤学			臨床薬物動態学
5)医薬品情報に関係する代表的な法律・制度(「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」、GCP、GVP、GPSP、RMP など)とレギュラトリーサイエンスについて概説できる。			医療薬剤学			臨床薬物動態学
【②情報源】						
1) 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料の分類について概説できる。				臨床前実習11		臨床薬物動態学
2) 医薬品情報源として代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴について説明できる。				臨床前実習Ⅱ		臨床薬物動態学
3)厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業などの発行する資料を列挙し、概説できる。				臨床前実習11		臨床薬物動態学
4)医薬品添付文書(医療用、一般用)の法的位置づけについて説明できる。				臨床前実習11		臨床薬物動態学
5) 医薬品添付文書(医療用、一般用)の記載項目(警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用 上の注意など)を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。				臨床前実習Ⅱ		臨床薬物動態学
6)医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。				臨床前実習11		臨床薬物動態学
[③収集・評価・加工・提供・管理]						
1)目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な 情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。(技能)				臨床前実習11		臨床薬物動態学
2)MEDLINEなどの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。(知識・技能)			医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学

			無	幸		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年		5年	6年
3)医薬品情報の信頼性、科学的妥当性などを評価する際に必要な基本的項目を列挙できる。				臨床前実習11		臨床薬物動態学
4) 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。(技能)				臨床前実習11		臨床薬物動態学
5)医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点(知的所有権、守秘 義務など)について説明できる。				臨床前実習11		臨床薬物動態学
【④EBM (Evidence-based Medicine)】						
1)EBMの基本概念と実践のプロセスについて説明できる。			統計学		病院実習	臨床薬物動態学
2)代表的な臨床研究法(ランダム化比較試験、コホート研究、ケースコントロール研究など)の長所と短所を挙げ、それらのエビデンスレベルについて概説できる。			統計学		病院実習	臨床薬物動態学
3) 臨床研究論文の批判的吟味に必要な基本的項目を列挙し、内的妥当性(研究結果の正確度や 再現性)と外的妥当性(研究結果の一般化の可能性)について概説できる。 (E3(1) 【③収集・評価・加 エ・提供・管理】参照)			統計学		病院実習	臨床薬物動態学
4)メタアナリシスの概念を理解し、結果を説明できる。			統計学		病院実習	臨床薬物動態学
[⑤生物統計]						
1) 臨床研究における基本的な統計量(平均値、中央値、標準偏差、標準誤差、信頼区間など)の意味と違いを説明できる。			統計学			
2)帰無仮説の概念および検定と推定の違いを説明できる。			統計学			
3)代表的な分布(正規分布、 t 分布、二項分布、ポアソン分布、 χ^2 分布、 F 分布)について概説できる。			統計学			
(4			統計学			
一 5) 二群間の差の検定(t検定、χ²検定など)を実施できる。(技能)			統計学			
6) 主な回帰分析(直線回帰、ロジスティック回帰など)と相関係数の検定について概説できる。			統計学			
7) 基本的な生存時間解析法(カプラン・マイヤー曲線など)について概説できる。			統計学			
【⑥臨床研究デザインと解析】						
1) 臨床研究(治験を含む)の代表的な手法(介入研究、観察研究)を列挙し、それらの特徴を 概説できる。			統計学		病院実習	臨床薬物動態学
2) 臨床研究におけるバイアス・交絡について概説できる。			統計学		病院実習	臨床薬物動態学
3) 観察研究での主な疫学研究デザイン(症例報告、症例集積、コホート研究、ケースコントロール 研究、ネステッドケースコントロール研究、ケースコホート研究など)について概説できる。			統計学		病院実習	臨床薬物動態学
4) 副作用の因果関係を評価するための方法(副作用判定アルゴリズムなど)について概説できる。			統計学		病院実習	臨床薬物動態学
5)優越性試験と非劣性試験の違いについて説明できる。			統計学		病院実習	臨床薬物動態学
6) 介入研究の計画上の技法(症例数設定、ランダム化、盲検化など)について概説できる。			統計学		病院実習	臨床薬物動態学
7)統計解析時の注意点について概説できる。			統計学		病院実習	臨床薬物動態学
エンドポイントと代用の 違いを、例を挙げて説明			統計学		病院実習	臨床薬物動態学
9) 臨床研究の結果(有効性、安全性)の主なパラメータ(相対リスク、相対リスク減少、絶対 リスク、絶対リスク減少、治療必要数、オッズ比、発生率、発生割合)を説明し、計算できる。 (知識・技能)			統計学		病院実習	 臨床薬物動態学
1)病院や薬局において医薬品を採用・選択する際に検討すべき項目を列挙し、その意義を説明できる。				保険薬局学		臨床薬物動態学
2) 医薬品情報にもとづいて、代表的な同種同効薬の有効性や安全性について比較・評価できる。 (技能)				臨床前実習11		臨床薬物動態学
3) 医薬品情報にもとづいて、先発医薬品と後発医薬品の品質、安全性、経済性などについて、 比較・評価できる。(技能)				臨床前実習11		臨床薬物動態学
(2) 患者情報						
[①情報と情報源]						

,		無 経 1	中		
平成25年度改訂版・楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS) 1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。			臨床前実習11	病院実習	
2) 患者情報源の種類を列挙し、それぞれの違いを説明できる。			臨床前実習11	病院実習	
【②収集・評価・管理】					
1)問題志向型システム(POS)を説明できる。			臨床前実習1	薬局実習	
2) SOAP形式などの患者情報の記録方法について説明できる。			臨床前実習1	薬局実習	
3)医薬品の効果や副作用を評価するために必要な患者情報について概説できる。			臨床前実習1	薬局実習	
4) 患者情報の取扱いにおける守秘義務と管理の重要性を説明できる。 (A(2)【③患者の権利】参照)			臨床前実習1	薬局実習	
(3) 個別化医療					
【①遺伝的素因】					
1)薬物の主作用および副作用に影響する代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。		薬物動態学	病態薬物治療学11, II 疾病医療学		臨床薬物動態学
2)薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因(薬物代謝酵素・トランスポーターの遺伝子変異など) について、例を挙げて説明できる。		生物薬剤学 薬物動態学	病態薬物治療学11, m 疾病医療学		臨床薬物動態学
3)遺伝的素因を考慮した薬物治療について、例を挙げて説明できる。		薬物動態学	病態薬物治療学11, Ⅲ 疾病医療学		臨床薬物動態学
[②年齡的要因]					
1)低出生体重児、新生児、乳児、幼児、小児における薬物動態と、薬物治療で注意すべき点を 2 説明できる。		生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
2)高齢者における薬物動態と、薬物治療で注意すべき点を説明できる。		生物薬剤学 薬物動態学	病態薬物治療学11, Ⅲ 疾病医療学		臨床薬物動態学
[③職器機能低下]				-	
1) 腎疾患・腎機能低下時における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。		生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
2) 肝疾患・肝機能低下時における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。		生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
3) 心臓疾患を伴った患者における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。		薬物動態学			臨床薬物動態学
[④その他の要因]					
1)薬物の効果に影響する生理的要因(性差、閉経、日内変動など)を列挙できる。		薬物動態学			臨床薬物動態学
)妊娠・授乳期における薬物動態と、生殖・妊娠・授乳期の薬物治療で注意すべき点を		薬物動態学			臨床薬物動態学
3)栄養状態の異なる患者(肥満、低アルブミン血症、腹水など)における薬物動態と、薬物治療で 注意すべき点を説明できる。		薬物動態学			臨床薬物動態学
[⑤個別化医療の計画・立案]					
1)個別の患者情報(遺伝的素因、年齢的要因、臓器機能など)と医薬品情報をもとに、薬物治療を 計画・立案できる。(技能)		生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
2) コンパニオン診断にもとづく薬物治療について、例を挙げて説明できる。		薬物動態学			臨床薬物動態学
E4 薬の生体内運命					
(1) 薬物の体内動態					
【①生体膜透過】					

903/11-4二十97.三针 计未编辑:			無 雑			
十成50年後安司版・米子教育モナル・コアン・イエング(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)薬物の生体膜透過における単純拡散、促進拡散および能動輸送の特徴を説明できる。		生物物理化学	生物薬剤学 医療系実習(薬剤学) トランスポーター論 薬物動態学			臨床薬物動態学
2)薬物の生体膜透過に関わるトランスポーターの例を挙げ、その特徴と薬物動態における役割を 説明できる。			生物薬剤学 医療系実習(薬剤学) トランスポーター論 薬物動態学			臨床薬物動態学
[②吸収]						
1)経口投与された薬物の吸収について説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学 トランスポーター論			臨床薬物動態学
2) 非経口的に投与される薬物の吸収について説明できる。			生物薬剤学			臨床薬物動態学
3)薬物の吸収に影響する因子(薬物の物性、生理学的要因など)を列挙し、説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学 トランスポーター論			臨床薬物動態学
4)薬物の吸収過程における相互作用について例を挙げ、説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学 トランスポーター論			臨床薬物動態学
5)初回通過効果について説明できる。			生物薬剤学 富山のくすり学			臨床薬物動態学
[③分布]						
1)薬物が結合する代表的な血漿タンパク質を挙げ、タンパク結合の強い薬物を列挙できる。			生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
2)薬物の組織移行性(分布容積)と血漿タンパク結合ならびに組織結合との関係を、定量的に説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
3)薬物のタンパク結合および結合阻害の測定・解析方法を説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
4)血液ー組織関門の構造・機能と、薬物の脳や胎児等への移行について説明できる。			生物薬剤学 トランスポーター論			臨床薬物動態学
5)薬物のリンパおよび乳汁中への移行について説明できる。			生物薬剤学			臨床薬物動態学
6)薬物の分布過程における相互作用について例を挙げ、説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
[④代謝]						
1)代表的な薬物代謝酵素を列挙し、その代謝反応が起こる組織ならびに細胞内小器官、反応様式について説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
2)薬物代謝の第1相反応(酸化・還元・加水分解)、第11相反応(抱合)について、例を挙げて 説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
3)代表的な薬物代謝酵素(分子種)により代謝される薬物を列挙できる。			生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
4)プロドラッグと活性代謝物について、例を挙げて説明できる。			物理薬剤学 薬物動態学 トランスポーター論			臨床薬物動態学
5)薬物代謝酵素の阻害および誘導のメカニズムと、それらに関連して起こる相互作用について、 例を挙げ、説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学			臨床薬物動態学
[⑤排泄]						

) 10 0 / 一川 十二十月 一二打 十十字形材			松	本		
十成20年度攻引版・米子教育モナル・コノカリオュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)薬物の尿中排泄機構について説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学 医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学
2)腎クリアランスと、糸球体ろ過、分泌、再吸収の関係を定量的に説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学 医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学
3)代表的な腎排泄型薬物を列挙できる。			生物薬剤学 薬物動態学 医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学
4)薬物の胆汁中排泄と腸肝循環について説明できる。			生物薬剤学 医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学
5)薬物の排泄過程における相互作用について例を挙げ、説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学 <u>医療系実習(薬剤学)</u> トランスポーター論			臨床薬物動態学
(2) 薬物動態の解析 【①薬物速度論】						
1)線形コンパートメントモデルと、関連する薬物動態パラメータ(全身クリアランス、分布容積、 消失半減期、生物学的利用能など)の概念を説明できる。 >			生物薬剤学 薬物動態学 医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学
2)線形1ーコンパートメントモデルに基づいた解析ができる(急速静注・経口投与 [単回および 反復 投与] 、定速静注)。(知識、技能)			生物薬剤学 薬物動態学 医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学
3) 体内動態が非線形性を示す薬物の例を挙げ、非線形モデルに基づいた解析ができる。(知識、技能)			生物薬剤学 薬物動態学 医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学
4)モーメント解析の意味と、関連するパラメータの計算法について説明できる。			生物薬剤学 医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学
5)組織クリアランス(肝、腎)および固有クリアランスの意味と、それらの関係について、数式 を使って説明できる。			生物薬剤学 薬物動態学 医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学
6)薬物動態学-薬力学解析(PK-PD解析)について概説できる。			生物薬剤学 薬物動態学 医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学
【②TDM (Therapeutic Drug Monitoring)と投与設計】						
1)治療薬物モニタリング(TDM)の意義を説明し、TDMが有効な薬物を列挙できる。			生物薬剤学 薬物動態学 医療系実習(薬剤学)			臨床薬物動態学
2)TDMを行う際の採血ポイント、試料の取り扱い、測定法について説明できる。			薬物動態学			臨床薬物動態学
3)薬物動態パラメータを用いて患者ごとの薬物投与設計ができる。(知識、技能)			薬物動態学	臨床前実習1		臨床薬物動態学
4) ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用について概説できる。			薬物動態学			臨床薬物動態学
E5 製剤化のサイエンス						
(1)製剤の性質 (少田弘村巡)						

(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			(A)			
一一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1) 粉体の性質について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化 学 <u>)</u>			
[安定形)や非晶質、無水			物理薬剤学			
3) 固形材料の溶解現象(溶解度、溶解平衡など)や溶解した物質の拡散と溶解速度について説明できる。 (C2(2)【①酸・塩基平衡】1.及び【②各種の化学平衡】2.参照)			物理薬剤学			
4) 固形材料の溶解に影響を及ぼす因子 (pHや温度など) について説明できる。			物理薬剤学			
5) 固形材料の溶解度や溶解速度を高める代表的な製剤的手法を列挙し、説明できる。			物理薬剤学			
【②半固形·液状材料】						
1) 流動と変形(レオロジー)について説明できる。			物理薬剤学			
2)高分子の構造と高分子溶液の性質(粘度など)について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化学)			
[③分散系材料]						
1)界面の性質(界面張力、分配平衡、吸着など)や代表的な界面活性剤の種類と性質について 説明できる。 (C2(2)【②各種の化学平衡】4.参照)		物理系実習(物理化学 <u>II)</u>	薬品物理化学 物理薬剤学			
2)代表的な分 説明できる			薬品物理化学 物理薬剤学 医療系実習(生物物理化 学)			
1 5 5 3)分散した粒子の安定性と分離現象(沈降など)について説明できる。 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			薬品物理化学 物理薬剤学			
4)分散安定性を高める代表的な製剤的手法を列挙し、説明できる。			物理薬剤学			
【④薬物及び製剤材料の物性】						
1)製剤分野で汎用される高分子の構造を理解し、その物性について説明できる。			物理薬剤学			
2)薬物の安定性(反応速度、複合反応など)や安定性に影響を及ぼす因子(pH、温度など)について説明できる。 (C1 (3) 【①反応速度】1.~7.参照)			物理薬剤学			
3)薬物の安定性を高める代表的な製剤的手法を列挙し、説明できる。			物理薬剤学			
(2) 製剤設計						
[①代表的な製剤]	-		-			
1) 製剤化の概要と意義について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化 学) 富山のくすり学			
2)経口投与する製剤の種類とその特性について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化 学) 富山のくすり学			
3) 粘膜に適用する製剤(点眼剤、吸入剤など)の種類とその特性について説明できる。			物理薬剤学富山のくすり学			
4)注射により投与する製剤の種類とその特性について説明できる。			物理薬剤学富山のくすり学			

(9000) 71111111111111111111111111111111111			財産	科目		
・米十秋日 こっぴっ エッグ・サンサー (300)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
5)皮膚に適用する製剤の種類とその特性について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化 学) 富山のくすり学			
6)その他の製剤(生薬関連製剤、透析に用いる製剤など)の種類と特性について説明できる。			物理薬剤学富山のくすり学			
[②製剤化と製剤試験法]						
1)代表的な医薬品添加物の種類・用途・性質について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化 学)			
2)製剤化の単位操作、汎用される製剤機械および代表的な製剤の具体的な製造工程について 説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化 学) 富山の<すり学			
3) 汎用される容器、包装の種類や特徴について説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化 学)			
4)製剤に関連する試験法を列挙し、説明できる。			物理薬剤学 医療系実習(生物物理化 学 <u>)</u>			
【③生物学的同等性】						
1)製剤の特性(適用部位、製剤からの薬物の放出性など)を理解した上で、生物学的同等性について説明できる。			物理薬剤学			
(3) DDS (Drug Delivery System:薬物送達システム)						
[①DDS の必要性]						
1) DDSの概念と有用性について説明できる。			物理薬剤学			
2) 代表的なDDS技術を列挙し、説明できる。 (プロドラッグについては、E4(1)【④代謝】4.も参照)			物理薬剤学			
【②コントロールドリリース(放出制御)】						
コントロールドリリースの概要と意義について説明できる。			物理薬剤学			
2)投与部位ごとに、代表的なコントロールドリリース技術を列挙し、その特性について説明 できる。			物理薬剤学			
3)コントロールドリリース技術を適用した代表的な医薬品を列挙できる。			物理薬剤学			
【③ターゲティング(標的指向化)】	-		-		-	_
			物理薬剤学			
2)投与部位ごとに、代表的なターゲティング技術を列挙し、その特性について説明できる。			物理薬剤学			
3)ターゲティング技術を適用した代表的な医薬品を列挙できる。			物理薬剤学			
[④吸収改善]						
1)吸収改善の概要と意義について説明できる。			物理薬剤学			
2)投与部位ごとに、代表的な吸収改善技術を列挙し、その特性について説明できる。			物理薬剤学			
3) 吸収改善技術を適用した代表的な医薬品を列挙できる。			物理薬剤学			
F 薬学臨床 前):病院・薬局での実務実習履修前に修得すべき事項						
(1)薬学臨床の基礎						
【①早期臨床体験】 ※原則として 2年次修了までに学習する事項						
1) 患者・生活者の視点に立って、様々な薬剤師の業務を見聞し、その体験から薬剤師業務の 重要性について討議する。(知識・態度)	薬学概論			病院薬学		

			新	村田		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
2)地域の保健・福祉を見聞した具体的体験に基づきその重要性や課題を討議する。(知識・ 態度)	医療学入門					
3) 一次救命処置(心肺蘇生、外傷対応等)を説明し、シミュレータを用いて実施できる。 (知識・技能)	医療学入門					
【② 臨床における心構え】 [A (1)、(2)参照]						
1)前)医療の担い手が守るべき倫理規範や法令について討議する。(態度)	医療学入門			病院薬学 臨床前実習1		
2)前)患者・生活者中心の医療の視点から患者・生活者の個人情報や自己決定権に配慮すべき 個々の対応ができる。(態度)	医療学入門			病院薬学 臨床前実習1		
3)前)患者・生活者の健康の回復と維持、生活の質の向上に薬剤師が積極的に貢献することの 重要性を討議する。(態度)				病院薬学 臨床前実習1		
4) 医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守し、ふさわしい態度で行動する。(態度)	医療学入門				病院実習、薬局実習	
5) 患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮する。(態度)	医療学入門				病院実習、薬局実習	
6)薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。(態度)					病院実習、薬局実習	
7) 職務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。(態度)					病院実習、薬局実習	
[③臨床実習の基礎]						
1)前)病院・薬局における薬剤師業務全体の流れを概説できる。				病院薬学 保険薬局学		
2)前)病院・薬局で薬剤師が実践する薬学的管理の重要性について説明できる。				病院薬学 保険薬局学		
セクションの業務を列				病院薬学		
4)前)病院に所属する医療スタッフの職種名を列挙し、その業務内容を相互に関連づけて説明 できる。				病院薬学		
5)前)薬剤師の関わる社会保障制度(医療、福祉、介護)の概略を説明できる。 〔B(3)①参照〕				保険薬局学 臨床前実習1		
6) 病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れについて他部門と関連付けて説明できる。					病院実習	
7) 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。					病院実習	
8)入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。(態度)					病院実習	
9)急性期医療(救急医療・集中治療・外傷治療等)や周術期医療における適切な薬学的管理に ついて説明できる。					病院実習	
10) 周産期医療や小児医療における適切な薬学的管理について説明できる。					病院実習	
11) 終末期医療や緩和ケアにおける適切な薬学的管理について説明できる。					病院実習	
12) 外来化学療法における適切な薬学的管理について説明できる。					病院実習	
13) 保険評価要件を薬剤師業務と関連付けて概説することができる。					病院実習、薬局実習	
14)薬局における薬剤師業務の流れを相互に関連付けて説明できる。					病院実習、薬局実習	
15)来局者の調剤に対して、処方せんの受付から薬剤の交付に至るまで継続して関わることができる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
方せんに基づく調剤						
[B(2)、(3)参照]						
1)前)調剤業務に関わる事項(処方せん、調剤録、疑義照会等)の意義や取り扱いを法的根拠に基づいて説明できる。				保険薬局学 臨床前実習1		

	世 の サ の		病院実習、薬局実習 病院実習、薬局実習 薬局実習	中 6
2) 期待後期分支達的文書(処力セ人、調利貸等)の適切な配数と保存・管理ができる。 3) 法的原拠に表づき、一連の調射条務を適正に実施する。(技験・態度) 4) 保険業局として必要な条件や設備等を具体的に関連付けて説明できる。 1) 前/ 投資の保施に使用される医薬品について効能・効果、用流・用量、警告・常忌・副作用、相互作用を対象できる。 2) 前/ 如方せんの構式と必要記載者項、記載方法について説明できる。 3) 前/ 如方せんの報者の影響、その必要性と注意点について説明できる。 4) 前/ 加方せんの報者の影響、その必要性と注意点について説明できる。 5) 前/ 加方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 5) 前/ 加方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 5) 前/ 加方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 5) 前/ 加方せん発出者(医薬品名・分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。 5) 前/ 地方せん発出者は、医薬品名・分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。 8) 注射・技能・活動してもんの認識す項(医薬品名・分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認 7 シストは形が 接触		海院 (本) (a) (a) (a) (b) (来	
 3)法的権拠に基づき、一連の闘利業務を適正に実施する。(技能・聴度) 4)保険業局として必要な条件や設備等を具体的に関連付けて説明できる。 (②処方せんと疑慮開金) 1)前、代表的な疾患に使用される医薬品について効能・効果、用法・用量、著告・結忌、副作用、相互作用を列挙できる。 2)前)処方オーダリングシステムおよび電子カルテについて機能できる。 3)前)処方せんの様式と必要記載準項、記載方法について説明できる。 4)前)処方せんの様式と必要記載準項、記載方法について説明できる。 5)前)処方せんの様式と必要記載準項、記載方法について説明できる。 5)前)処方せんの経査の意義、その必要性と注意点について説明できる。 5)前)処方せんの経査の意義、その必要性と注意点について、その理由が説明できる。 5)前)処方せんの経費項(医薬品名、分量、技能・態度) 7)総方せんの記載準項(医薬品名、分量、投修・態度) 7)総方せんの記載準項(医薬品名、分量、投与運動が過程できる。 8)注射業配名を表しる理由の表しか確認。 投与ルート等)が適切であるか確認。できる。 (知識・技能) 8)注対業型の上への記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認。できる。 (知識、技能) 2 法対算金配名、分量、投售業配名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認。できる。 (知識、技能) 		海 (((((((((((((((((((来 来 歌 歌 歌 歌 歌 歌 歌 歌	
 4) 保険業馬として必要な条件や設備等を具体的に関連付けて説明できる。 1) 前)代表的な疾患に使用される医薬品について効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用を列挙できる。 2) 前)処方オーダリングシステムおよび電子カルテについて概能できる。 3) 前)処方せんの搭査の意義、その必要性と注意点について説明できる。 4) 前)処方せんの搭査の意義、その必要性と注意点について説明できる。 5) 前)処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 6) 前)処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 5) 前)処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 (4) 前)処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、・予値であるか確認できる。 (5) 前)処方せんを監査し、不適切な過去る。 (技能・態度) 7) 処方せんの配慮率項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。 (知識・技能) (5) 前別、投放され、知識・技能とは、分量、内は、用量等)が適切であるか確認を、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認を、対態、技能と 		病院 漢字 保險 漢号 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医		
(②処方せんと疑義開会] 1) 前) 代表的な条島に使用される医薬品について効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用を列挙できる。 2) 前) 処方せくの様式と必要記載事項、記載方法について説明できる。 4) 前) 処方せんの経査の意義、その必要性と注意点について説明できる。 5) 前) 処方せんの経査の意義、その必要性と注意点について説明できる。 6) 前) 処方せんの経費を含意義、その必要性と注意点について説明できる。 5) 前) 処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。 6) 前) 処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。(技能・態度) 5) 前) 処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。(技能・態度) 5) 前) 処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。(技能・態度) 6) 前) 処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。(技能・態度) 5) 前) 処方せんの配数事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。(知識・技能) 7) 必然を応じ記事事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。(知識・技能)		海院 海 海 海 海 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中		
1) 前) 代表的な疾患に使用される医薬品について効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、 相互作用を列挙できる。 2) 前) 処方オーダリングシステムおよび電子カルテについて概説できる。 4) 前) 処方せんの経査の懲義、その必要性と注意点について説明できる。 5) 前) 処方せんの監査の懲義、その必要性と注意点について説明できる。 5) 前) 処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 5) 前) 処方せん等に基づき疑義照会ができる。(技能・態度) 7) 処方せんの記載事項 (医薬品名、分量、用法・用量等) が適切であるか確認できる。 (知識・技能) 8) 注射薬処しの記載事項 (医薬品名、分量、均与速度、投与ルート等) が適切であるか確認 できる。(知識・技能)		海院藻 (本) (a) (a) (b)		
2) 前) 処方オーダリングシステムおよび電子カルテについて概説できる。 3) 前) 処方せんの様式と必要記載事項、記載方法について説明できる。 4) 前) 処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。 5) 前) 処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 6) 前) 処方せん等に基づき疑義照金ができる。 (技能・態度) 7) 処方せんの記載事項 (医薬品名、分量、用法・用量等) が適切であるか確認できる。 (知識・技能) 8) 注射薬処化との記載事項 (医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等) が適切であるか確認 できる。 (知識・技能) 7) 地方せんの記載事項 (医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等) が適切であるか確認 できる。 (知識・技能)		保険薬局学 協床前実習1 保険薬局学 臨床前実習1 協床前実習1 病院薬学 病院薬学		
3)前)処方せんの様式と必要記載事項、記載方法について説明できる。 4)前)処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。 5)前)処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 6)前)処方せん等に基づき疑義照会ができる。(技能・態度) 7) 処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。(知識・技能) 8) 注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。(知識・技能) 6) 前、独計・技能)		病院薬学 保険薬局学 病院薬学 保険薬局学 臨床前実習]		
 4)前)処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。 5)前)処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 6)前)処方せん等に基づき疑義照会ができる。(技能・態度) 7)処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。(知識・技能) 8)注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。(知識・技能) 7)並射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。(知識・技能) 		病院薬学 保険薬局学 臨床前実習1 病院薬学		
5)前)処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 6)前)処方せん等に基づき疑義照会ができる。(技能・態度) 7)処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。(知識・技能) 8)注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。(知識・技能)		病院薬学		
6)前)処方せん等に基づき疑義照会ができる。(技能・態度) 7)処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。 (知識・技能) 8)注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認 できる。(知識・技能)		保険薬局学 臨床前実習1		
処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認 (知識・技能) 注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が できる。(知識・技能)		<u>臨床前実習工</u> <u>臨床前実習</u> I		
)注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が できる。(知識・技能)			病院実習、薬局実習	
			病院実習、薬局実習	
9)処方せんの正しい記載方法を例示できる。(技能)			病院実習、薬局実習	
10) 薬歴、診療録、患者の状態から処方が妥当であるか判断できる。(知識・技能)			病院実習、薬局実習	
11)薬歴、診療録、患者の状態から判断して適切に疑義照会ができる。(技能・態度)			病院実習、薬局実習	
【③処方せんに基づく医薬品の調製】				
1)前)薬袋、薬札(ラベル)に記載すべき事項を適切に記入できる。(技能) 協い		臨床前実習]		
2)前)主な医薬品の成分(一般名)、商標名、剤形、規格等を列挙できる。		保険薬局学		
3)前)処方せんに従って、計数・計量調剤ができる。(技能) 臨り		臨床前実習]		
4)前)後発医薬品選択の手順を説明できる。 臨り (2) 臨り (2) 臨り (3) においまま (4) においままま (4) においまま (4) においままま (4) においまま (4) においままま (4) においままま (4) においまままままままままままままままままままままままままままままままままままま		保険薬局学 臨床前実習1		
5)前)代表的な注射剤・散剤・水剤等の配合変化のある組合せとその理由を説明できる。 <mark>臨</mark> 5		<u>臨床前実習工</u> 臨床前実習I		
できる。(知識・技能)		病院薬学 臨床前実習エ		
7)前)抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的手技を実施できる。 (技能)		臨床前実習工		

			林	松		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
8)前)処方せんに基づき調剤された薬剤の監査ができる。(知識・技能)				臨床前実習1		
9)主な医薬品の一般名・剤形・規格から該当する製品を選択できる。(技能)					病院実習、薬局実習	
10) 適切な手順で後発医薬品を選択できる。(知識・技能)					薬局実習	
11)処方せんに従って計数・計量調剤ができる。(技能)					病院実習、薬局実習	
12) 錠剤の粉砕、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。(知識・技能)					病院実習、薬局実習	
13)一回量(一包化)調剤の必要性を判断し、実施できる。(知識・技能)					病院実習、薬局実習	
14)注射処方せんに従って注射薬調剤ができる。(技能)					病院実習	
15) 注射剤・散剤・水剤等の配合変化に関して実施されている回避方法を列挙できる。					病院実習	
16)注射剤(高カロリー輸液等)の無菌的混合操作を実施できる。(技能)					病院実習	
17) 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の手技を実施できる。 (知識・技能)					病院実習	
18)特別な注意を要する医薬品(劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬・抗悪性腫瘍薬等)の調剤と適切な取扱いができる。(知識・技能)					病院実習、薬局実習	
19)調製された薬剤に対して、監査が実施できる。(知識・技能)					病院実習、薬局実習	
【④患者·来局者応対、服薬指導、患者教育】						
D 1)前)適切な態度で、患者・来局者と応対できる。(態度)				臨床前実習工		
2)前)妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの応対や服薬指導において、配慮すべき事項を 具体的に列挙できる。				病院薬学		
3)前)患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度)				臨床前実習工		
効能・効果、用法・用量、警 る。(技能・態度)				臨床前実習工		
5)前)代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。				病院薬学		
6)前)患者・来局者に使用上の説明が必要な製剤(眼軟膏、坐剤、吸入剤、自己注射剤等)の取扱い 方法を説明できる。(技能・態度)				臨床前実習工		
7)前)薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。				保険薬局学		
8)前)代表的な疾患の症例についての患者応対の内容を適切に記録できる。(技能)				臨床前実習工 保険薬局学 臨床前実習1		
9)患者・来局者に合わせて適切な応対ができる。(態度)					病院実習、薬局実習	
10) 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、 副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
11)医師の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
12) 患者・来局者の病状や背景に配慮し、医薬品を安全かつ有効に使用するための服薬指導や患者教育ができる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
13)妊婦・授乳婦、小児、高齢者等特別な配慮が必要な患者への服薬指導において、適切な応対ができる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
14)お薬手帳、健康手帳、患者向け説明書等を使用した服薬指導ができる。(態度)					病院実習、薬局実習	
15) 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。(知識・技能)					病院実習、薬局実習	

				本		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(S B O s)	1年	2年	3年		5年	6年
[⑤医薬品の供給と管理]						
1)前)医薬品管理の意義と必要性について説明できる。				保険薬局学		
2)前)医薬品管理の流れを概説できる。				保険薬局学		
3)前)劇薬、毒薬、麻薬、向精神薬および覚醒剤原料等の管理と取り扱いについて説明できる。				保険薬局学		
特定生物由来製品の管理と取り扱いに				保険薬局学		
代表的な放射性医薬品の種類と用途、保管管理方法を説明できる。				保険薬局学		
				病院薬学		
7) 前)薬局製剤・漢方製剤について概説できる。				保険薬局学		
8)前)医薬品の品質に影響を与える因子と保存条件を説明できる。				保険薬局学		
9) 医薬品の供給・保管・廃棄について適切に実施できる。(知識・技能)					病院実習、薬局実習	
10) 医薬品の適切な在庫管理を実施する。(知識・技能)					病院実習、薬局実習	
11)医薬品の適正な採用と採用中止の流れについて説明できる。					病院実習、薬局実習	
12) 劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬および覚醒剤原料の適切な管理と取り扱いができる。 (知識・技能)					病院実習、薬局実習	
13)特定生物由来製品の適切な管理と取り扱いを体験する。(知識・技能)					病院実習	
[⑥安全管理]						
1)前)処方から服薬(投薬)までの過程で誤りを生じやすい事例を列挙できる。				病院薬学 臨床前実習1		
2)前)特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)の特徴と注意点を列挙できる。				病院薬学 臨床前実習1		
3)前)代表的なインシデント(ヒヤリハット)、アクシデント事例を解析し、その原因、リスク を回避するための具体策と発生後の適切な対処法を討議する。(知識・態度)				病院薬学 <u>臨床前実習」</u> 臨床前実習工		
4)前)感染予防の基本的考え方とその方法が説明できる。				病院薬学		
5)前)衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施できる。(技能)				臨床前実習工		
6)前)代表的な消毒薬の用途、使用濃度および調製時の注意点を説明できる。				病院薬学		
7)前)医薬品のリスクマネジメントプランを概説できる。				病院薬学 臨床前実習 II		
8)特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)の 安全管理を体験する。(知識・技能・態度)					病院実習、薬局実習	
9)調剤ミスを防止するために工夫されている事項を具体的に説明できる。					病院実習、薬局実習	
10) 施設内のインシデント(ヒヤリハット)、アクシデントの事例をもとに、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
11) 施設内の安全管理指針を遵守する。(態度)					病院実習	
12) 施設内で衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施する。(技能)					病院実習	
13)臨床検体・感染性廃棄物を適切に取り扱うことができる。(技能・態度)					病院実習	
14)院内での感染対策(予防、蔓延防止など)について具体的な提案ができる。(知識・態度)					病院実習	
(3) 薬物療法の実践 (1) 患者情報の把握】						

(3) 03) 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			財産	科目		
- 米十牧耳 こっぴっ エンンコートング くららの	1年	2年	3年	4年	5年	6年
明できる。				保険薬局学		
2)前)患者および種々の情報源(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等) から、薬物療法に必要な情報を収集できる。(技能・態度) 〔E3(2)①参照〕				<u>臨床前実習</u>] 臨床前実習 II		
3)前)身体所見の観察・測定(フィジカルアセスメント)の目的と得られた所見の薬学的管理 への活用について説明できる。				臨床前実習1		
4)前)基本的な身体所見を観察・測定し、評価できる。(知識・技能)				臨床前実習1	薬局実習	
5)基本的な医療用語、略語を適切に使用できる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
6) 患者・来局者および種々の情報源(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等)から、薬物療法に必要な情報を収集できる。(技能・態度)					病院実習、薬局実習	
7)患者の身体所見を薬学的管理に活かすことができる。(技能・態度)					病院実習、薬局実習	
【②医薬品情報の収集と活用】〔E3(1)参照〕						
1)前)薬物療法に必要な医薬品情報を収集・整理・加工できる。(知識・技能)				<u>臨床前実習</u> I 臨床前実習 I		
2) 施設内において使用できる医薬品の情報源を把握し、利用することができる。(知識・技能)				病院薬学	病院実習、薬局実習	
3)薬物療法に対する問い合わせに対し、根拠に基づいた報告書を作成できる。(知識・技能)					病院実習、薬局実習	
4)医療スタッフおよび患者のニーズに合った医薬品情報提供を体験する。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
5)安全で有効な薬物療法に必要な医薬品情報の評価、加工を体験する。(知識・技能)					病院実習、薬局実習	
6)緊急安全性情報、安全性速報、不良品回収、製造中止などの緊急情報を施設内で適切に取扱うことができる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
【③処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)】						
1)前)代表的な疾患に対して、疾患の重症度等に応じて科学的根拠に基づいた処方設計ができる。				臨床前実習1		
2)前)病態(肝・腎障害など)や生理的特性(妊婦・授乳婦、小児、高齢者など)等を考慮し、 薬剤の選択や用法・用量設定を立案できる。				臨床前実習1		
3)前)患者のアドヒアランスの評価方法、アドヒアランスが良くない原因とその対処法を説明できる。				臨床前実習1		
4)前)皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射・点滴等の基本的な手技を説明できる。				病院薬学 臨床前実習 II		
5)前)代表的な輸液の種類と適応を説明できる。				病院薬学		
6)前)患者の栄養状態や体液量、電解質の過不足などが評価できる。				病院薬学		
7) 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。					病院実習、薬局実習	
8) 治療ガイドライン等を確認し、科学的根拠に基づいた処方を立案できる。					病院実習、薬局実習	
9)患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理・希望等) や薬剤の特徴(作用機序や製剤的性質等)に基づき、適切な処方を提案できる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
10) 処方設計の提案に際し、薬物投与プロトコールやクリニカルパスを活用できる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
11) 入院患者の持参薬について、継続・変更・中止の提案ができる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
12)アドヒアランス向上のために、処方変更、調剤や用法の工夫が提案できる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
13) 処方提案に際して、医薬品の経済性等を考慮して、適切な後発医薬品を選択できる。					薬局実習	

			終	四		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	9
14) 処方提案に際し、薬剤の選択理由、投与量、投与方法、投与期間等について、医師や看護師等に判りやすく説明できる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】						
1)前)代表的な疾患に用いられる医薬品の効果、副作用に関してモニタリングすべき症状と検査 所見等を具体的に説明できる。				病院薬学 臨床前実習1		
2)前)代表的な疾患における薬物療法の評価に必要な患者情報収集ができる。(知識・技能)				臨床前実習! 臨床前実習 I		
3)前)代表的な疾患の症例における薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の 立案を行い、SOAP形式等で記録できる。(知識・技能)				臨床前実習! 臨床前実習 I		
4)医薬品の効果と副作用をモニタリングするための検査項目とその実施を提案できる。 (知識・態度)					病院実習	
5) 薬物血中濃度モニタリングが必要な医薬品が処方されている患者について、血中濃度測定の 提案ができる。(知識・態度)				病院薬学	病院実習	
6)薬物血中濃度の推移から薬物療法の効果および副作用について予測できる。(知識・技能)				病院薬学	病院実習	
7)臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。					病院実習	
8)薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などから評価できる。					病院実習	
9)副作用の発現について、患者の症状や検査所見などから評価できる。					病院実習	
10) 薬物治療の効果、副作用の発現、薬物血中濃度等に基づき、医師に対し、薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更を提案できる。(知識・態度)					病院実習	
11) 報告に必要な要素 (5WIH) に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。 (技能)					病院実習、薬局実習	
12) 患者の薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で適切に記録する。(知識・技能)					病院実習、薬局実習	
13)医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。(知識・技能)					病院実習、薬局実習	
(4) チーム医療への参画 [A (4) 参照]						
[①医療機関におけるチーム医療]					_	
1)前)チーム医療における薬剤師の役割と重要性について説明できる。	医療学入門			病院薬学 保険薬局学		
2)前)多様な医療チームの目的と構成、構成員の役割を説明できる。	医療学入門			病院薬学 保険薬局学		
3) 前)病院と地域の医療連携の意義と具体的な方法(連携クリニカルパス、退院時共同指導、病院・薬局連携、関連施設との連携等)を説明できる。				病院薬学		
4)薬物療法上の問題点を解決するために、他の薬剤師および医師・看護師等の医療スタッフ と連携できる。(態度)					病院実習、薬局実習	
5)医師・看護師等の他職種と患者の状態(病状、検査値、アレルギー歴、心理、生活環境等)、 治療 開始後の変化(治療効果、副作用、心理状態、00L等)の情報を共有する。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
6)医療チームの一員として、医師・看護師等の医療スタッフと患者の治療目標と治療方針に ついて討議(カンファレンスや患者回診への参加等)する。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
7)医師・看護師等の医療スタッフと連携・協力して、患者の最善の治療・ケア提案を体験する。 (知識・態度)					病院実習、薬局実習	
8)医師・看護師等の医療スタッフと連携して退院後の治療・ケアの計画を検討できる。(知識・態度)					病院実習、薬局実習	
9)病院内の多様な医療チーム(ICT、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等)の活動に薬剤師の立場で参加できる。(知識・態度)					病院実習	
【②地域におけるチーム医療】						
1)前)地域の保健、医療、福祉に関わる職種とその連携体制(地域包括ケア)およびその意義について説明できる。				保険薬局学 臨床前実習1		

			無べ	幸		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
2)前)地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性を討議する。(知識・態度)				保険薬局学 臨床前実習1		
3)地域における医療機関と薬局薬剤師の連携を体験する。(知識・態度)					薬局実習	
4)地域医療を担う職種間で地域住民に関する情報共有を体験する。(技能・態度)					薬局実習	
域の保健						
【①在宅(訪問)医療・介護への参画】						
1)前)在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容を具体的に説明できる。				保険薬局学 臨床前実習1		
2)前)在宅医療・介護を受ける患者の特色と背景を説明できる。				保険薬局学 臨床前実習1		
3)前)在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について説明できる。				保険薬局学 臨床前実習1		
4)在宅医療・介護に関する薬剤師の管理業務(訪問薬剤管理指導業務、居宅療養管理指導業務) を体験する。(知識・態度)					薬局実習	
5) 地域における介護サービスや介護支援専門員等の活動と薬剤師との関わりを体験する。(知識・ 態度)					薬局実習	
6)在宅患者の病状(症状、疾患と重症度、栄養状態等)とその変化、生活環境等の情報収集と 報告を体験する。(知識・態度)					薬局実習	
【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】						
1)前)地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動(薬物乱用防止、自殺防止、感染予防、 アンチドーピング活動等)について説明できる。				薬事衛生法規		
2)前)公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策を説明できる。				保険薬局学 臨床前実習1		
3)学校薬剤師の業務を体験する。(知識・技能)					薬局実習	
4) 地域住民の衛生管理(消毒、食中毒の予防、日用品に含まれる化学物質の誤嚥誤飲の予防等)における薬剤師活動を体験する。(知識・技能)					薬局実習	
[E2(9)参照]						
1)前)現在の医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を討議 する。(態度)				臨床前実習!		
2) 前) 代表的な症候(頭痛・腹痛・発熱等)を示す来局者について、適切な情報収集と疾患 の推測、適切な対応の選択ができる。(知識・態度)				<u>臨床前実習</u>] 臨床前実習工		
3)前)代表的な症候に対する薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品の適切 な取り扱いと説明ができる。(技能・態度)				臨床前実習1 臨床前実習 II		
4)前)代表的な生活習慣の改善に対するアドバイスができる。(知識・態度)				病院薬学 臨床前実習1		
用医薬品、健康食品、サプリメント る。(技能・態度)					薬局実習	
づき、来局者の病状(疾患、重症					薬局実習	
7)来局者に対して、病状に合わせた適切な対応(医師への受診勧奨、救急対応、要指導医薬品・ 一般用医薬品および検査薬などの推奨、生活指導等)を選択できる。(知識・態度)					薬局実習	
8)選択した薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、 医療機器等の使用方法や注意点などを来局者に適切に判りやすく説明できる。(知識・態度)					薬局実習	
9)疾病の予防および健康管理についてのアドバイスを体験する。(知識・態度)					薬局実習	
【④災害時医療と薬剤師】						
1)前)災害時医療について概説できる。				薬事衛生法規		
2)災害時における地域の医薬品供給体制・医療救護体制について説明できる。					薬局実習	

(9)20)7 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11			無 雑	科目		
・米十枚耳にノが・ユノンントキノ右(ららつ	1年	2年	3年	4年	5年	6年
3)災害時における病院・薬局と薬剤師の役割について討議する。(態度)					病院実習、薬局実習	
6 薬学研究						
(1) 薬学における研究の位置づけ						
1)基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる。				卒業研究	卒業研究	卒業研究
2)研究には自立性と独創性が求められていることを知る。				卒業研究	卒業研究	卒業研究
3) 現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる。(知識・技能・態度)				卒業研究	卒業研究	卒業研究
4)新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。(態度)				卒業研究	卒業研究	卒業研究
(2)研究に必要な法規範と倫理						
1) 自らが実施する研究に係る法令、指針について概説できる。				臨床倫理学 <mark>卒業研究</mark>	卒業研究	卒業研究
2)研究の実施、患者情報の取扱い等において配慮すべき事項について説明できる。				臨床倫理学 <mark>卒業研究</mark>	卒業研究	卒業研究
3)正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。(態度)A-(2)-④-3再掲				臨床倫理学 <mark>卒業研究</mark>	卒業研究	卒業研究
(3) 研究の実践						
1)研究課題に関する国内外の研究成果を調査し、読解、評価できる。(知識・技能)				卒業研究	卒業研究	卒業研究
2)課題達成のために解決すべき問題点を抽出し、研究計画を立案する。(知識・技能)				卒業研究	卒業研究	卒業研究
3)研究計画に沿って、意欲的に研究を実施できる。(技能・態度)				卒業研究	卒業研究	卒業研究
4)研究の各プロセスを適切に記録し、結果を考察する。(知識・技能・態度)				卒業研究	卒業研究	卒業研究
5)研究成果の効果的なプレゼンテーションを行い、適切な質疑応答ができる。(知識・技能・態度)				卒業研究	卒業研究	卒業研究
6)研究成果を報告書や論文としてまとめることができる。(技能)				卒業研究	卒業研究	卒業研究

カリキュラム・マップは、ディプロマ・ポリシーあるいは、求める資質への到達経路を学生に理解させるよう 示すものです。 評価対象年度に実施したカリキュラムに対応したカリキュラム・マップを記載してください。 (基礎資料4) カリキュラム・マップ [五] 1 Ø

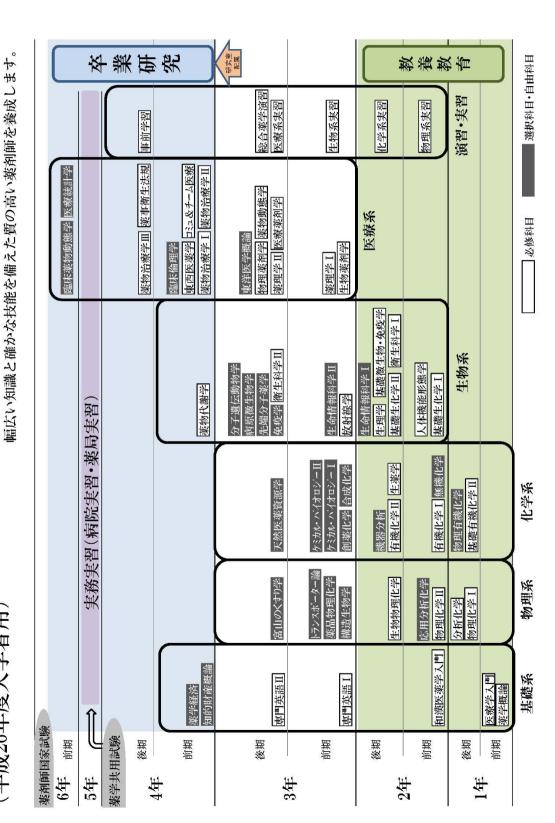
研究室配属 卒業研究 幅広い知識と確かな技能を備えた質の高い薬剤師を養成します。 教養教育 選択科目·自由科目 総合薬学演習 医療系実習 演習·実習 化学系実習 生物系実習 物理系実習 事前学習 薬物治療学皿 薬事衛生法規 <u>東西医薬学</u> ロミュ&チーム医療 薬物治療学 I | 薬物治療学 II 臨床薬物動態学 医療統計学 物理薬剤学] 薬物動態学 薬理学 🛭 医療薬剤学 医療系 東洋医学概論 薬理学 I] 生物薬剤学 臨床倫理学 生命情報科学 I <u>生理学</u> 基礎微生物·免疫学 基礎生化学 1] 衛生科学 1 分子遺伝動物学 病原微生物学 先端分子薬学 免疫学 <mark>簡生科学</mark> 生物系 生命情報科学Ⅱ 人体機能形態学 **基礎生化学 I** 薬物代謝学 放射線学 実務実習(病院実習·薬局実習) 機器分析 有機化学 II 生薬学 有機化学 1 無機化学 ケミカル・バイオロジーロ ケミカル・バイオロジー I 削薬化学 合成化学 物理有機化学 基礎有機化学II 化学系 天然医薬質源学 薬学科カリキュラムマップ (平成25年度入学者用) トランスポーター論 薬品物理化学 構造生物学 応用分析化学 <u>物理化学</u> 分析化学 物理化学I 物理系 富山のくすり学 生物物理化学 和漢医薬学入門 医療学入門薬学概論 基礎系 **専門**英語Ⅱ 専門英語 I 薬学経済 槳剤師国家試験 蔣学共用試験 前期 後期 後期 前期 前期 前期 後期 6年 5年 4年 3年 2年 1年

4 富山大学

126



4 富山大学



6年次			基礎薬科学				9	次核科田	遊択科目	実習(必修)							蔡							1 1 1	医游桃叶子					病院実習 臨床薬物動態学			発表会口頭口		=	自 ・大学生としての生活の中で、相手と自分 ・行 の立規を請事情を理解し、適切なコミュニ ケーションをとることができる。 ・異なる考えを有する人々、異なる/クッグ	_
5年次																	薬学共用試験													薬局実習	1		中間発表会ポスター		a	・実習やグルーフワーク等のなかで、自分の果たすべき役割を認識した上で行動することができる。 動することができる。 ・患者及び薬局や病院のスタップ等の	の人々の立場を理解し、社会に 責任ある行動をすることができる。
4年次	-	専門教育	知的財產概論	瀬坪経済		(1-6年次対象の自由単位)																	東西医薬学	1 200 to 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	粘 慰果物治療子 II 病態薬物治療学用	薬事衛生法規					2	臨床倫理学 臨床前実習工	卒業研究		- Charles		
3年次					電山のくすり学	海外薬学演習I、II (1-6		**************************************						1-%	ガーゴ	学工 免疫学	芦)病原微生物学	9学) 先端分子薬学	分子遺伝動物学		L学) 衛生薬学田		14	無	物理樂剤平麻療養	基礎薬理学工	病態薬物治療学 I	薬物動態学	実習(生物化・製剤学)	144	4	200	型 配 配 配			・自らが精極的に薬学関連分野の課題を見出り解決することができる。 そびできる。 ・医薬品に関する情報を自ら収集・把握し、適正な薬物治療に積極的に奔与できる。	する思いやりの精神、病気と導 けることができる。
			車門英語 1				化学 構造生物学	薬品物理化学	トランスポーター舗			m 創薬化学	合成化学	後化学) ケミカルバイオロジー I	1000	生命情報科学工	科学 1 実習(生化学)	実習(微生物学)		衛生薬学 I	実習(衛生化学)	実習(放射線基礎学)		(H	年物楽剤子 其務 英田沙丁	実習(薬剤学)	実習(薬理学)										
2年次	Š						L学 I 生物物理	応用分析化学	実習(分析化学)	実習(物理化学1)	実習(物理化学Ⅱ)	L学 I 有機化学皿	L学	b学 実習(有機化学)	実習(分子機能)	学1 生化学工	产 生命情報科学	人体機能形態学 微生物学					和漢医薬学入門 生薬学	米四(圧楽												・医薬品の安全性と薬効に関する豊富な学績を有し、かつ医薬品に関する情報を自ら収集・把権し、適正な薬物治療に積極的に寄与できる。	:対する豊富な知識を有し 的な姿勢を身に付けること
**		炎 育					物理化学 I 物理化学 I	分析化学 応用分		実習(4	実習(基礎有機化学 I 有機化学 I	物理有機化学 有機化学 I	無機化学		生化学	生理学	人体					和漢匠														
1年次 2年次		教養教育	薬学概論	医療学入門			**	4				1	477																					: 求められる能力		・人類の健康、福祉・衛生および健全な社会環境の保全に貢献できる知識を修得し、知的社会人、医療人としての教養、専門家としての知識と探究心を兼な備えることができる。	歴史と文化、外国の文 戦を修得し、世界に向け
WASHING IN	拱	K ∰		井般粉布	I H H				物理系薬学				11111111111111111111111111111111111111	上 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 1			子子が対	400		本	衛生薬学		和漢薬学			‡ + -				1000	臨床薬学			●	幅広い知識	・人類の健康、福祉、 環境の保全に貢献でき 社会人、医療人として 知識と探究心を兼ね備	-くすりの富山、日本の化・言語等に関する知

6年次		基礎薬科学			G		(ivo						4 m	楽剤師国家試験							医療統計学					臨床薬物動態学		(+ 8	発表金口頭		コミューケーション能力 ・大学生としての生活の中で、相手と自分 の立場と諸事情を理解し、適切なコミュニ ケーションをとることができる。 ・異なる考えを有する人々、異なるバッグ フランドを有する人々を深く理解し、誠実な
5年次		番			8	心修科目							7.5.7 mm or co. mm	業字共用試験							<u>#K</u>					薬局実習 病院実習 臨			गर्वा		<u>責任</u> ・来習やカルーブワーク等のなかで、自 ・大学生 分の果たすべき役割を認識した上で行 動することができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4年次	専門教育	de:		自由単位)																		# 	P				臨床前実習Ⅰ臨床前実習Ⅱ	1 1 1	中間発表会ポスターポスター	,	-
	車	T 知的財產概論 法部 海岩級法		[、II (1-6年次対象の									北	· 上	製物学	П:	Ħ		資源学 東西医薬学	58				計		布院薬学	保険薬局学院床倫理学		^{研究室} 配属	8	が野の課題を見出し解り が集・把権し、適正な資本・ 本、病気と薬に対する深
The part of th		専門英語 1 専門英語 I ※ 人名英格兰 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※ 2 ※	お口米子通り配口の<すり学	海外薬学演習 1、1	構造生物学	薬品物理化学	トランスポーター器		創薬化学	合成化学	ケミカルバ イオロジー エ	-1	生命情報科学日 免疫学生的 计多数计编制	(A)			実習(衛生化学) 衛生薬学皿	実習(放射線基礎学)	天然医薬資源学			を を を を を を を を を を を を を を	大昌(米門十)		実習(生物化·製剤学)						<u>創造力</u> ・自らが積極的に薬学関連分野の課題を見出し解決することができる。 とができる。 ・医薬品に関する情報を自ら収集・把握し、適正な薬物治療に積極的に等与できる。 ・患者に対する思いやりの精神、病気と薬に対する深い洞察 カネ臭に付けるアがかさる。
2年次		mr.			生物物理化学構	株 .			有機化学皿 倉		企業	+ 微肥)	生化学工 44金属超過1.44		表數學	御	THN .		仕瀬 小	実習(生薬学)	Ψ.	40 1	N UN								7
24					物理化学工	応用分析化学	実習(分析化学)	実習(物理化学工)	1 有機化学 1	有機化学工	無機化学	31	年代学 [+ #					和漢医薬学入門												<u>専門的学機</u> ・医薬品の安全性と薬効に関する豊富な学績 を有し、かつ医薬品に関する情報を自ら収集・ 把握し、適正な薬物治療に積極的に寄与でき る。 ・創薬・臨床研究に対する豊富な知識を有し、 ・細薬・臨床研究に対する豊富な知識を有し、
1年次 1年次	教養教育				物理化学I	分析化学			基礎有機化学工	物理有機化学																					
	米	來 來 不 不 先 第				***	上			作 辩2				生物系薬学			补		44								H		开究	学士(薬学)に求められる能力	幅広い知識 ・人類の健康、福祉、衛生および健全な社会 ・人類の健康、福祉、衛生および健全な社会 環境の保全に貢献できる知識を修得し、知的 社会人、医療人としての教養、専門家としての 和職と探究心を兼ね離れるこかできる。 ・、すの意出、日本の歴史と文化、外国の文 化・言語等に関する知識を終得し、世界に同け
Service 1	₹7		基盤教育							4 好好				2560	† =		目 衛生薬学		名	KH			医療薬学				四 昭 子 田 子 田 子			₩ ₩ ₩	国内い知識 ・人類の健正 環境の保全 社会人、医 哲職と探究・ ・〈すりの旨」 代・言語等に

6年次		基礎薬料学	必修科目 選択科目 実習(必修)		薬剤師国家試験	医療統計学		発表会口頭	<u>コミュニケーション能力</u> ・大学生としての生活の中で、相手と自分の立場と請事情を理解し、適切なコミュニケーションをとることができる。 ・異なる考えを有てある人々、異なるがッグ ラブンドを有する人々を深く理解し、該実なコミュニケーションをとるこだができる。
5年次					秦学共用試験		藻品类品	9 I 単 中間発表会 ポスター	<u>責任歴</u> ・実習やグループワーク等のなかで、自 分の果たすべき役割を認償した上で行 動するこかできる。 ・監者 及び素の物病院のスタップ等の 多ぐの人々の立場を理解し、社会に対 して責任ある行動をすることができる。
4年次	専門教育	知的財産概論 薬学経済 (1-6年次対象の自由単位)				東西医薬学 東西医薬学 新態薬物治療学 I		海球網球	
3年次		語 1 専門英語 エ 終合 楽学演習 第 1 第 1 回	為种 開化特 	創業化学 合成化学 ヤミかい、イオロジー I ケミかい、イオロジー I	H 📦	(特定) 衛生業华口 (機等) 海生業华田 (機等) 天然医薬資源华 東洋医华橋論	医療薬剤學基礎藻程学工 基礎藻程学工 新態薬物治療学[薬物動態学 業置住物に襲剤学]	を開発を表現しています。	<u>創造力</u> ・自らが積極的に薬学関連分野の課題を見出し解決することができる。 ・医薬品に関する情報を自ら収集・把握し、適正な薬物治療に積極的に済事できる。 ・患者に対する思いや2の精神、病気と薬に対する深い洞察力を身に対することができる。
		ш	生物物理化学 精造生物学 応用分析化学 薬品物理化学	有機化学皿 創業化学 無機化学 合成化学 機器分析 クースカルバイス 実習(有機化学) クーニカルバイス 実習(分子機能)	生化学工 生命情報科学 生命情報科学 実習(牧生学) 微生物学 実習(牧生物学) 人体機能形態学	生薬学 実習(生薬学)	1 李麗樂類番		9
1年次 2年次			C学I 物理化学工 分析化学 実習(分析化学) 実習(物理化学I) 実習(物理化学I)	基礎有機化学工 有機化学工 有機化学工 有機化学工 物理有機化学工	生化华 I 推维 华 I	和漢医薬学入門			<u>専門的学護</u> ・医薬品の安全性と薬効に関する豊富な学讃を有し、かつ医薬品に関する情報を自ら収集・把握し、適正な薬物治療に積極的に寄与できる。 「創薬・臨床研究に対する豊富な知識を有し、研究に対する積極的な姿勢を身に付けることが
1年次	教養教育	继华表指 医泰华入四	物理化学	基礎有機化学 [基礎和					 ★土(薬学)に求められる能力 <u>幅広い知識</u> 人類の健康 指社、衛生および健全な社会 環境の保全に貢献できる知識を修得し、知的 社会人、医療人としての教養、専門家としての 村会人、医療人としての教養、専門家としての 村会人、医療人としての教養、中間家としての ・「打りの富山、日本の歴史と文化、外国の文 化・直路等に関する知識を修得し、世界に向け
	₩ 🐕	基礎教育	物理系薬学	化学系薬学	事 生物系禁学 計	新 を を を を を を を を を を を を を	M 森森 本 本 4	是	学士(薬学)に求められる能力 順広い知識 ・人類の健康、福祉、衛生および健全な 環境の保全に貢献できる知識を修得し、 社会人、医療人としての終義、専門家とし 対職と探究のを発売値よるとかでき。 ・イガの富山、日本の歴史と大・外回 化・貢語等に関する和識を修得し、世界に

	K	に実施するとと り反復教育と 実施する。											【															3	4				力 子用 建油 本図	間関係を築き	くとつなける トラカ 言れ 大 か 言語 女	立場を理解し	コニケーションロチェル	00.17
	6年次	卒業研究を主として実施するとと もに、基礎薬科学の反復教育と アドバンスト教育を実施する。	基礎薬科学			科目(必修)							薬剤師国家就験								医療統計学					臨床薬物動態学			番	10000000000000000000000000000000000000			コミュニケーション能力化者との結構的な音	10日にいばないのののからの10日の10日の10日の10日の10日の10日の10日の10日の10日の10日	なから自己の及女、 とに努め、異なる者	化を有する人々の	誠実かつ柔軟なコミ タンろ能力を身に仕	にしい BE アフロ タン・レン
	5年次	薬局・病院における臨床実務実習を実施する。また、卒業研究を継続する。			2 必修料	選択科目							薬学共用試験													薬局実習 病院実習			A II	1			<u>社会貢献力</u> 医療 人と1,7の掲律 倫理等を	10 10 10 10 10 10 10 10	立場を埋解しなから自分の来にすべき役割を認識し、チーム医	療・地域保健医療に対して責任	ある行動をとる能力を身に付けている。	6.90
	4年次	医療系分野の講義科目と臨床 実務実習への準備として臨床 前実習を実施する。また,卒業 研究を開始する。	知的財産概論 薬学経済	(1-6年次対象の自由単位)														→ 世間所換亦 H	××33区米十 n ★杜漢医薬学実習		病態薬物治療学 11	病態薬物治療学田	薬事衛生法規			秦学 疾病医療学	孙	臨床倫理学 臨床前実習工	や温巻第中	卒業研究ポスターポスター			問題発見・解決力権を指する際に過酸力	たみつがあった。2の米ではおの存在を持って薬学関連分野の課題を指す、当然はおからを くお	来し、字衛情報の収集・分析 よび実験等の研究活動を通し	得られる結果を論理的に考察	、解決に向けて議論・発表でき 許力を身に付けている。	16人16人171717190
成30年度入学生用)	3年次	生物、薬剤、薬理・衛生、医療 系分野を主とした講義科目と基 残薬学実習、及び総合薬学演 習を実施する。	専門英語工 総合薬学演習 富山の<すり学	海外薬学演習1、1	补	艦!				1-/45	П- л.	科学 工 免疫学	5学) 病原微生物学				5化学) 衛生薬学目 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	计祭所被诊能场	大	(★;コース選択者に開講	物理薬剤学	医療薬剤学	基礎薬理学工	1. 新香華語和 新香華語和	米包製,資十	施院辮件	保険	臨床		副圖		3		金属作子に終わっていたの来記 等の安全性と有効性に関する深 をいば 調整に変われまから、正本は				
(平成30年度		本 摇	英語工 専門英語 1 統計学		生物物理化学 構造生物学 原用分析化学 薬品物理化学			有機化学皿 創薬化学	化学 合成化学		実習(有機化字) 75mmハイfロソーロ 実習(分子機能)	生化学工 生命情報科学工	生命情報科学 1 実習(生化学)	物学 実習(微生物学)	人体機能形態学	衛生薬学Ⅰ	実習(衛生化学)	本目(反対線等権子) 市等 医多曲器 ◆ 世通 医被纱 通過		和漢薬コース	生物薬剤学	基礎薬理学1	東晋(薬剤学)	美国(米姓子)							に求められる能力		が	· 张 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	記録	i S		7 T.I.
	2年次	物理、化学、生物系の基礎科学を主とした講義科目と物理、 学を主とした講義科目と物理、 化学系の基礎薬学実習を実施 する。	薬学英語 薬学英語 行動科学		数型	r化学)	天昌(物理化ナ1)実習(物理化学11)		有機化学 工無機化学	物理有機化学 機器分析	美美	生化学 1 生化		数 年 数 4	/体			生活 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本													▶▶ 学士(薬学)に求		<u>幅広い知識</u> 人 女科学・弁会科:	くくによっておによって 学・健康科学の諸分野を学励にも を禁れたられ 既れ	に捉え、多様は入じ 背景を持った地域や	し、行動する能力を身	°°	
カリキュラ	1年次	教養教育の講義等を主体とし. 専門への導入教育も並行して 実施する。	解析学 外国語 情報処理学		物理化平工	物理学物理学家	1	基礎有機化学工		基礎化學化學生學	**		生命科学	生物学実験																	理系基盤教育系、 医核, 健康组织	区域, 使尿体子	米、外国語米、ダービ・	科目は、専門教育に非確務者と	一本体の日の一連動する。	左記単位を含め	合計38単位を1年	1十四年1月
学薬学部		教養教育の記事門への導フ 実施する。	薬学概論 医療学入門					基礎有機化学 1																							4単位	4単位	自由科目	15単位	8.	6単位	1単位	
✓ 富山大学薬学部カリキュラムマップ	ŧ	₩	上 上 上 上 上 上 上			物理系薬学				七 子 八 子 八 子 八 子 八 子 八 子 一 一 一 一 一 一 一 一 一			1 年 7 年 1	中		本 。	衛生黙妤		名 名 漢 教				医療薬学				福乐 州 小				人文科学系	社会科学系		(大) 理系基盤教育系 (大) 医梅·健康科学系			保健体育系	Constitution of the last of the

(基礎資料5) 語学教育の要素

(H28まで 旧・新カリ)

科目名	開講年次		要	素	
17 17	用語十久	読み	書き	聞く	話す
英語 I	1	0	0	0	0
英語Ⅱ	1	0	0	0	0
英語皿	1	0	0	0	0
英語Ⅳ	1	0	0	0	0
英語V	2	0	0	0	0
英語VI	2	0	0	0	0
英語Ⅷ	2	0	0	0	0
基礎独語I	1	0	0	Δ	0
基礎独語Ⅱ	1	0	0	Δ	0
実用独語I	1	Δ	0	0	0
実用独語Ⅱ	1	Δ	0	0	0
基礎仏語 I	1	0	0	Δ	0
基礎仏語Ⅱ	1	0	0	Δ	0
実用仏語 I	1	Δ	0	0	0
実用仏語Ⅱ	1	Δ	0	0	0
基礎中国語 I	1	0	0	Δ	0
基礎中国語Ⅱ	1	0	0	Δ	0
実用中国語 I	1	Δ	0	0	0
実用中国語 Ⅱ	1	Δ	0	0	0
専門英語 I	3	0	0	Δ	Δ
専門英語Ⅱ	3	0	0	Δ	Δ

○: 当該科目の主要な要素として含まれる △: 主要な要素ではないが、当該科目の一部として含まれる 無印: 当該科目の要素として含まれない

(基礎資料5) 語学教育の要素

(H29 新カリ)

科目名	開講年次		要	素	
科日石 	用碘平次	読み	書き	聞く	話す
英語I	1	0	0	0	0
英語Ⅱ	1	0	0	0	0
英語Ⅲ	1	0	0	0	0
英語Ⅳ	1	0	0	0	0
基礎独語 I	1	0	0	Δ	0
基礎独語Ⅱ	1	0	0	Δ	0
実用独語I	1	Δ	0	0	0
実用独語Ⅱ	1	Δ	0	0	0
基礎仏語 I	1	0	0	Δ	0
基礎仏語Ⅱ	1	0	0	Δ	0
実用仏語I	1	Δ	0	0	0
実用仏語Ⅱ	1	Δ	0	0	0
基礎中国語 I	1	0	0	Δ	0
基礎中国語Ⅱ	1	0	0	Δ	0
実用中国語 I	1	Δ	0	0	0
実用中国語Ⅱ	1	Δ	0	0	0
薬学英語 I	2	0	0	0	Δ
薬学英語 Ⅱ	2	0	0	0	Δ
専門英語I	3	0	0	Δ	Δ
専門英語Ⅱ	3	0	0	Δ	Δ

○: 当該科目の主要な要素として含まれる △: 主要な要素ではないが、当該科目の一部として含まれる 無印: 当該科目の要素として含まれない

(平成30年度から 新カリ)

				- 反がら ** - 素	100 07
科目名	開講年次		書き	聞く	話す
英語リテラシー I - C	1	0	0	Δ	Δ
英語リテラシーⅡ-C	1	0	0	Δ	Δ
英語コミュニケーションI-C	1	Δ	Δ	0	0
英語コミュニケーションI-C	1	Δ	Δ	0	0
ドイツ語基礎 I	1	0	0	Δ	0
ドイツ語基礎Ⅱ	1	0	0	Δ	0
ドイツ語コミュニケーションI	1	Δ	0	0	0
ドイツ語コミュニケーションⅡ	1	Δ	0	0	0
フランス語基礎 I	1	0	0	Δ	0
フランス語基礎 Ⅱ	1	0	0	Δ	0
フランス語コミュニケーション I	1	Δ	0	0	0
フランス語コミュニケーションⅡ	1	Δ	0	0	0
中国語基礎 I	1	0	0	Δ	0
中国語基礎Ⅱ	1	0	0	Δ	0
中国語コミュニケーション I	1	Δ	0	0	0
中国語コミュニケーションⅡ	1	Δ	0	0	0
朝鮮語基礎 I	1	0	0	Δ	0
朝鮮語基礎Ⅱ	1	0	0	Δ	0
朝鮮語コミュニケーションI	1	Δ	0	0	0
朝鮮語コミュニケーションⅡ	1	Δ	0	0	0
ロシア語基礎 I	1	0	0	Δ	0
ロシア語基礎Ⅱ	1	0	0	Δ	0
ロシア語コミュニケーション I	1	Δ	0	0	0
ロシア語コミュニケーションⅡ	1	Δ	0	0	0
発展多言語演習ドイツ語	1	0	0	0	0
発展多言語演習中国語	1	0	0	0	0
発展多言語演習ラテン語 I	1	0	0	Δ	Δ
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1	0	0	Δ	Δ
薬学英語 I	2	0	0	0	Δ
薬学英語Ⅱ	2	0	0	0	Δ
専門英語 I	3	0	0	Δ	Δ
専門英語Ⅱ	3	0	0	Δ	Δ

○: 当該科目の主要な要素として含まれる△: 主要な要素ではないが、当該科目の一部として含まれる無印: 当該科目の要素として含まれない

注) 黄網掛け:薬物治療学研究室 橙網掛け:医療薬学研究室

				平成30年4月		
日	曜日	1限(8:45~10:15)	2限 (10:30~12:00)	3限 (13:00~14:30)	4限 (14:45~16:15)	5限 (16:30~18:00)
12	木	病院薬学【講義と演習】A-(1)-①-1), A-(1)-②-1)- 3), A-(4)-3), F-(1)-③-1)-4), F-(4)-①-1)-3) 病院内での薬剤師の薬学的管理の重要性及び各セ				
\vdash		<mark>クションの役割・医療スタッフの役割</mark>	保険薬局学【講義】A-(1)-(1)-1)-8), A-(1)-(4)-1)-			
16	月		4) 薬剤師概論1(薬学の歴史、薬剤師の活動分 野)			
		病院薬学【講義とSGD】F-(2)-(2)-3)-5) 処方箋監				
19	木	病院薬学【講義とSGD】F-(2)-(2)-(2)-3)-5) 処方箋監査と処方提案の例示1				
H			保険薬局学【講義】A-(4)-1)-4), A-(5)-(3)-1)2), A-(5)-(4)-1), F-(4)-(1)-1)2) 調剤の法的根拠及			
23	月		び基礎知識1(医療体制と薬剤師)			
26	* *	病院薬学【講義】F-(2)-②-3)-5), F-(3)-②-2), F-(3)-③-6) 処方箋監査と処方提案の例示2				
_						
L	曜	47B (0.45 40.45)	27F (40.00 40.00)	平成30年5月	47F (44.45 40.45)	FFF (40.00 40.00)
H	曜日	1限(8:45~10:15)	2限 (10:30~12:00) 保険薬局学[講義]A-(1)-②-1)-8), F-(1)-②-1)-	3限 (13:00~14:30)	4限 (14:45~16:15)	5限 (16:30~18:00)
2	水		3), F-(1)-③-1)2) 調剤の法的根拠及び基礎知 識2(薬剤師業務)			
H			保険薬局学【講義】A-(2)-(2)-1)6)7), F-(2)-(3)-4) 調剤の法的根拠及び基礎知識3(薬剤師の調剤			
7	月		権、調剤環境、後発医薬品)			
10	木	病院薬学【講義と演習】F-(2)-②-1)-5), F-(3)-③-4)-6) 代表的な疾患に使用される医薬品				
	Н		保険薬局学【講義】F-(3)-(1)-1) 調剤の法的根			
14	月		拠及び基礎知識4(添付文書、調剤と情報)			
	H	病院薬学【講義と演習】F-(1)-②-1)-3), F-(1)-③-1)-4), F-(2)-②-2)4), A-(3)-①-1)-5), A-(3)-②-				
17	木	1)-4), F-(2)-④-2)4), A-(3)-①-1)-5), A-(3)-②-1)2), A-(5)-③-4) 患者対応, 服薬指導				
21	月		保険薬局学【講義】F-(2)-(3)-2) 調剤技術1(調剤量の計算、錠剤・カプセル剤)			
_		病院薬学【講義】F-(1)-①-1), F-(2)-④-2)5), F-				
24	木	(3)-③-6), F-(3)-④-1)5)6), A-(3)-②-1)2) 患者対応, 服薬指導				
\vdash			保険薬局学【講義】調剤技術2(散薬・水剤および			
28	月		外用剤)			
21	*	病院薬学【講義】【大学独自内容を含む】B-(3)-(2)- 1)-4) 医療経済				
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\					
Ļ	曜	47F (0.45 40.45)	OTT (10.00 10.00)	平成30年6月	479 (14 45 10 15)	F77 (40.00 40.00)
Ë	曜日	1限(8:45~10:15)	2限(10:30~12:00) 保険薬局学【講義】F-(2)-(1)-1), F-(2)-(2)-1)-6)	3限 (13:00~14:30)	4限 (14:45~16:15)	5限 (16:30~18:00)
4	月		調剤技術3(処方せん鑑査、調剤薬鑑査、疑義照 会、薬剤の交付)			
		病院薬学【TBL・SGD】【大学独自内容】F-(1)-①- 1), F-(1)-②-1)-3), A-(1)-①, A-(1)-②1)-3) 見 学先病院薬剤師からの見学内容の説明				
Ľ	小	学先病院薬剤師からの見学内容の説明				
11	月		保険薬局学【講義】F-(2)-(4)-7)8) 調剤技術4 (薬歴管理、SOAP)			
		病院薬学【見学】【大学独自内容を含む】F-(4)-①-				
14	木	病院架子[見子][入子独自内谷を含む][F-(4)-()-1)-3) 病院薬剤師1日体験				
	_		保険薬局学【講義】 製剤1(経口、注射、外用各種)			
18	月					
21	木	病院薬学【プレゼンテーション】【大学独自内容を含む】F-(1)-(2)-1)-3), F-(1)-(3)-1) 病院薬剤師1日体験の成果発表				
\vdash		- I F BA V F PW AV JU ZA	保険薬局学【講義】B-(2)-(3)-1)-3), F-(2)-(5)-3)			
25	月		製剤2(毒劇薬、麻薬、向精神薬、覚せい剤など)			
\vdash		病院薬学【プレゼンテーション】【大学独自内容を 含む】F-(1)-(2)-1)-3)、F-(1)-(3)-1) 病院薬剤師1				
28	木	含む】F-(1)-(2)-1)-3), F-(1)-(3)-1) 病院薬剤師1 日体験の成果発表				
	par			平成30年7月		
日	曜日	1限(8:45~10:15)	2限 (10:30~12:00) 保険薬局学[講義]F-(2)-⑤-4)5) 製剤3(特殊	3限 (13:00~14:30)	4限 (14:45~16:15)	5限 (16:30~18:00)
2	月		製剤:血液製剤、生物学的製剤、放射性医薬品など)			
\vdash		病院薬学【講義】F-(2)-(3)-5)6), F-(2)-(6)-1)-				
5	木	病院薬学【講義】F-(2)-③-5)6), F-(2)-⑥-1)-4)6)7), A-(1)-③-2)4)6) 安全管理(リスクマネジメント) 1				
٥	月		保険薬局学【講義】B-(4)-(1)-4), E-(9)-1)-8), F-(2)-(5)-7) 薬局製剤とOTC, サプリメント			
		库陀莱学【 # 業【F (A) ② A) F (A) ◎ A) T →				
12	木	病院薬学【講義】F-(2)-③-6), F-(2)-⑥-4)-7) 安全管理(リスクマネジメント)2, 感染予防				

- 1					
16	 				
			T	_	
19 2	病院薬学【講義と演習】F-(1)-②-2), F-(1)-⑤-6), E2-(8)-③-1)-4), A-(2)-①-4), A-(2)-②1)3), A-(2)-③-2)3), A-(2)-④-1)2) 臨床研究・治験・適用				
	** (2)-(3)-2/31, A-(2)-(4)-1)2) 臨床研究・治験・適用 外使用・院内製剤の手続きと実際				
		保険薬局学【講義】E-(1)-(ブ-1), F-(2)-(5-1)2)8)9) 医薬品の管理方法			
23	7				
	病院薬学【講義と演習】F-(1)-(1)-1), E1-(2)-(1-1), E2-(11)-1)-3) 総合演習				
26	大 1/, E2-(11)-1/-3/ 総合演首				
		保険薬局学【講義】 調剤事故及び防止対策			
30	₹				
			T **** T 10 F		
	33 I	T	平成30年10月 	T	
日月	1限(8:45~10:15)	2限 (10:30~12:00)	3限 (13:00~14:30)	4限 (14:45~16:15)	5限 (16:30~18:00)
8	₹				
9 ;	K 臨床前実習 I 事前実習について オリエンテーション	臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-③-3) 処方せんに	基づく医薬品の調製		
10 7	版中前宝型 I 【宝型】 C_(2)_②_1)	処方せんに基づく医薬品の調製		臨床前実習 I 【講義】アドバンスト教育内容 医療保険制度・診療報酬	
11 7	施庄前宝翌 1 【宿翌】 アドバンスト教育内容	処方意図と服薬指導について	臨床前実習 I 【演習】 F-(2)-②-3), F-(2)-②-		
\vdash		I			
12 3	版 庄 前 宝 翌 1 【 字 翌 】	┃), F-(4)-(1)-3) 医療機関におけるチーム医療	臨床前実習 I 【演習】 F-(2)-(3)-2), F-(3)-(3)-	1), F-(3)-(3)-2) 処方設計と薬物療法の実践(処	
15	7	臨床前実習 I 【講義】 F-(3)-①-3) 患者情報	方設計と提案) 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-①-4) 患者情報		
16		の把握			
17 7			臨床前実習 I 実習試験 医薬品テスト計算テス	1	
18 2), F-(2)-(3)-8) 処方せんに基づく医薬品の調製			
19 🕏	È				
22	臨床前実習 I 【演習】 F-(2)-⑥-1), F-(2)-⑥-2))安全管理	臨床前実習 I 【実習】大学独自 院内・薬局:	】 製剤、漢方薬の調剤	
\vdash	臨床前室習 I 【室習】 F-(2)-(3)-1) F-(2)-(3)-:	3), F-(2)-3-8) 処方せんに基づく医薬品の調製			
23	版 中華 中型 1 字羽 計除 中間ニフト				
24 7	K				
25	□ 臨床前実習 I 【演習】 F-(2)-⑥-3 安全管理		臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-③-1), F-(2)-③-3), F-(2)-(3)-8) 処方せんに基つく医薬品の調製	
26	È				
29	■ 臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-(3)-1), F-(2)-(3)-3)), F-(2)-(3)-8) 処方せんに基づく医薬品の調製	臨床前実習 I 実習試験 鑑査テスト		
30 3	臨床前実習 I 【実習】 F-(3)-①-2) 患者情報の	把握), F-(2)-③-8), F-(3)-①-2) 処方せんに基づく医	
), F-(2)-③-8), F-(3)-①-2) 処方せんに基づく医	薬品の調製 臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト		
31 7	^K 薬品の調製				
			— . .		
	33 I		平成30年11月 		
日月		2限 (10:30~12:00)	平成30年11月 3限(13:00~14:30)	4限 (14:45~16:15)	5限 (16:30~18:00)
日 月 1 2	臨床前実習 実習試験 模擬テスト	2限 (10:30~12:00)	T	4限 (14:45~16:15)	5限 (16:30~18:00)
	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト	2限 (10:30~12:00)	T	4限 (14:45~16:15)	5限 (16:30~18:00)
1 2	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト	2限 (10:30~12:00)	T	4限 (14:45~16:15)	5限 (16:30~18:00)
1 7	協床前実習 I 実習試験 模擬テスト 金	臨床前実習 I 【演習】 F-(5)-(3)-2) 来局者の疾	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-④-1), F-(2)-④-3),	A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6	5限 (16:30~18:00) , A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-
1 2 2 3 5 J	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾 患の推測と対応の選択	3限 (13:00~14:30)	A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6	
1 2 2 3 5 J	協床前実習 I 実習試験 模擬テスト 金	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾 患の推測と対応の選択	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-④-1), F-(2)-④-3),	A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6	
1 2 3 5 5 5 6 3 5 6 3 5 6 3 5 6 3 5 6 3 5 6 3 5 6 5 6	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I	臨床前実習Ⅱ【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習 I 【実習】 F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1),	A-(2)-③-4), A-(3)-①-4), A-(3)-①-5), A-(3)-①-6)聞き取り E3-(1)-②-2), E3-(1)-②-3), E3-(1)-②-4), E3-(1)-	(2), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-6), E3-(1)-(3)-1), E3-(1)-(3)-3),
1 2 3 5 5 5 6 3 5 6 3 5 6 3 5 6 3 5 6 3 5 6 3 5 6 5 6	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト	臨床前実習Ⅱ【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習 I 【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の	A-(2)-③-4), A-(3)-①-4), A-(3)-①-5), A-(3)-①-6)聞き取り E3-(1)-②-2), E3-(1)-②-3), E3-(1)-②-4), E3-(1)-	(2), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-6), E3-(1)-(3)-1), E3-(1)-(3)-3),
1 2 3 5 5 5 6 3 5 6 3 5 6 3 5 6 3 5 6 3 5 6 3 5 6 5 6	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト	臨床前実習Ⅱ【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾 患の推測と対応の選択 . E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習 I 【実習】 F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1),	A-(2)-(3-4), A-(3)-(1-4), A-(3)-(1-5), A-(3)-(1-6) の聞き取り E3-(1)-(2-2), E3-(1)-(2-3), E3-(1)-(2-4), E3-(1)- (7-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報	(2), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-6), E3-(1)-(3)-1), E3-(1)-(3)-3),
1 2 3 5 5 5 5 6 3 7 2 8 2 7	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I	臨床前実習Ⅱ【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾 患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 価に必要な患者情報収集	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【演習】アドバンスト教育内容 TDM 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハ	A-(2)-(3-4), A-(3)-(1-4), A-(3)-(1-5), A-(3)-(1-6) の聞き取り E3-(1)-(2-2), E3-(1)-(2-3), E3-(1)-(2-4), E3-(1)- (7-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報	(2), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-6), E3-(1)-(3)-1), E3-(1)-(3)-3),
1 2 3 5 J 6 2 7 7 7 7 8 2 9 3 1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト	臨床前実習 II 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情でに必要な患者情報収集 製剤の調製 臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容 緩	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【演習】アドバンスト教育内容 TDM	A-(2)-(3-4), A-(3)-(1-4), A-(3)-(1-5), A-(3)-(1-6) の聞き取り E3-(1)-(2-2), E3-(1)-(2-3), E3-(1)-(2-4), E3-(1)-(7-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報	(2), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-6), E3-(1)-(3)-1), E3-(1)-(3)-3),
1 2 3 5 J 6 2 7 7 7 7 8 2 9 3 1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 (価に必要な患者情報収集) 「製剤の調製 (臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容 緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【演習】アドバンスト教育内容 TDM 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F	A-(2)-(3-4), A-(3)-(1-4), A-(3)-(1-5), A-(3)-(1-6) の聞き取り E3-(1)-(2)-2), E3-(1)-(2)-3), E3-(1)-(2)-4), E3-(1)-(7)-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 に基づく処方設計と提案	(2), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-6), E3-(1)-(3)-1), E3-(1)-(3)-3),
1 2 3 5 J 6 2 7 7 7 7 8 2 9 3 1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 (価に必要な患者情報収集) 「製剤の調製 (臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容 緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【演習】アドバンスト教育内容 TDM 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハ ザード回避の基本的手技	A-(2)-(3-4), A-(3)-(1-4), A-(3)-(1-5), A-(3)-(1-6) の聞き取り E3-(1)-(2)-2), E3-(1)-(2)-3), E3-(1)-(2)-4), E3-(1)-(7)-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 に基づく処方設計と提案	(2), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-6), E3-(1)-(3)-1), E3-(1)-(3)-3),
1 2 3 5 J 6 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I オリエンテーション +【演習】F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の聞き取り 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(1)-2), E3-(2)-(1)-1), 報収集 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評価に対します。 臨床前実習 I 【演習】F-(2)-(4)-1), F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-4) 患者・来局者への服薬指導 臨床前実習 I 【実習】F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-6) 依据に対します。	臨床前実習 II 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 (価に必要な患者情報収集 「製剤の調製 (臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容 緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導 更用上の説明が必要な製剤の服薬指導	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【演習】アドバンスト教育内容 TDM 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F	A-(2)-(3-4), A-(3)-(1-4), A-(3)-(1-5), A-(3)-(1-6) の聞き取り E3-(1)-(2)-2), E3-(1)-(2)-3), E3-(1)-(2)-4), E3-(1)-(7)-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 に基づく処方設計と提案	(2), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-6), E3-(1)-(3)-1), E3-(1)-(3)-3),
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I オリエンテーション +【演習】F-(2)- (4)-1), F-(2)-(4)-3), A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の聞き取り 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(1)-2), E3-(2)-(1)-1), 報収集 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 臨床前実習 I 【演習】F-(2)-(4)-1), F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-4) 患者・来局者への服薬指導 臨床前実習 I 【実習】F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-6) 依 には、	臨床前実習 II 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 (価に必要な患者情報収集 「製剤の調製 (臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容 緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導 更用上の説明が必要な製剤の服薬指導	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【演習】アドバンスト教育内容 TDM 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F	A-(2)-(3-4), A-(3)-(1-4), A-(3)-(1-5), A-(3)-(1-6) の聞き取り E3-(1)-(2)-2), E3-(1)-(2)-3), E3-(1)-(2)-4), E3-(1)-(7)-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 に基づく処方設計と提案	(2), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-6), E3-(1)-(3)-1), E3-(1)-(3)-3),
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I オリエンテーション +【演習】F-(2)- (4)-1), F-(2)-(4)-3), A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の聞き取り 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(1)-2), E3-(2)-(1)-1), 報収集 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評価に対します。 臨床前実習 I 【演習】F-(2)-(4)-1), F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-4) 患者・来局者への服薬指導 臨床前実習 I 【実習】F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-6) 位は、 には、 には、	臨床前実習 II 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 (価に必要な患者情報収集 「製剤の調製 (臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容 緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導 更用上の説明が必要な製剤の服薬指導	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【演習】アドバンスト教育内容 TDM 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F	A-(2)-(3-4), A-(3)-(1-4), A-(3)-(1-5), A-(3)-(1-6) の聞き取り E3-(1)-(2)-2), E3-(1)-(2)-3), E3-(1)-(2)-4), E3-(1)-(7)-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 に基づく処方設計と提案	(2), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-6), E3-(1)-(3)-1), E3-(1)-(3)-3),
1 2 5 5 6 2 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I オリエンテーション +【演習】F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の聞き取り 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 報収集 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 臨床前実習 I 【演習】F-(2)-(4)-1), F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-4) 患者・来局者への服薬指導 臨床前実習 I 【実習】F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-6) 依 臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-6) 依 臨床前実習 I 【演習】F-(2)-(6)-3) 事故事例の回	臨床前実習 II 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 に必要な患者情報収集 製剤の調製 臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容 緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導 東用上の説明が必要な製剤の服薬指導 避と対処法	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【演習】アドバンスト教育内容 TDM には、前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハザード回避の基本的手技に、	A-(2)-(3-4), A-(3)-(1-4), A-(3)-(1-5), A-(3)-(1-6) 引き取り E3-(1)-(2-2), E3-(1)-(2-3), E3-(1)-(2-4), E3-(1)-(7-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 E-(2)-(4)-4) 患者・来局者への服薬指導 変化	(2), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-6), E3-(1)-(3)-1), E3-(1)-(3)-3),
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I	臨床前実習 II 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 (本価に必要な患者情報収集 「製剤の調製 「製剤の調製 「臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容 緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導 東用上の説明が必要な製剤の服薬指導 「選と対処法 「こまるに関するとは、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、まり、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)-第二【演習】アドバンスト教育内容 TDM 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 衛生的な手洗し 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 像生的な手洗し 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医薬品の配合	A-(2)-(3-4), A-(3)-(1-4), A-(3)-(1-5), A-(3)-(1-6) 引き取り E3-(1)-(2-2), E3-(1)-(2-3), E3-(1)-(2-4), E3-(1)-(7-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 E-(2)-(4)-4) 患者・来局者への服薬指導 変化	(2), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-6), E3-(1)-(3)-1), E3-(1)-(3)-3),
1 2 5 5 6 2 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 (国に必要な患者情報収集 製剤の調製	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハ ザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 衛生的な手洗し 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-6) 基本的配合	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) の間き取り E3-(1)-(2)-(2), E3-(1)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-(4), E3-(1)-(7)-(7)-(7)-(7) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 に基づく処方設計と提案 で(2)-(4)-(4) 患者・来局者への服薬指導 変化 基づく疑義照会 操作), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), BIにもとづく医薬品の比較・評価
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I オリエンテーション +【演習】F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の聞き取り 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 報収集 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 (国に必要な患者情報収集 製剤の調製	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハ ザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 衛生的な手洗し 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-6) 基本的配合	A-(2)-(3-4), A-(3)-(1-4), A-(3)-(1-5), A-(3)-(1-6) 引き取り E3-(1)-(2-2), E3-(1)-(2-3), E3-(1)-(2-4), E3-(1)-(7-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 E-(2)-(4)-4) 患者・来局者への服薬指導 変化), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), BIにもとづく医薬品の比較・評価
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I オリエンテーション +【演習】F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の聞き取り 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 報収集 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	臨床前実習 II 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 価に必要な患者情報収集	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハ ザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 衛生的な手洗し 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-6) 基本的配合	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) の間き取り E3-(1)-(2)-(2), E3-(1)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-(4), E3-(1)-(7)-(7)-(7)-(7) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 に基づく処方設計と提案 で(2)-(4)-(4) 患者・来局者への服薬指導 変化 基づく疑義照会 操作), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), BIにもとづく医薬品の比較・評価
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I オリエンテーション +【演習】F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の聞き取り 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評	臨床前実習 II 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 価に必要な患者情報収集	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハ ザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 衛生的な手洗し 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-6) 基本的配合	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) の間き取り E3-(1)-(2)-(2), E3-(1)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-(4), E3-(1)-(7)-(7)-(7)-(7) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 に基づく処方設計と提案 で(2)-(4)-(4) 患者・来局者への服薬指導 変化 基づく疑義照会 操作), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), BIにもとづく医薬品の比較・評価
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I オリエンテーション + 【演習】 F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の聞き取り 臨床前実習 I 【実習】 F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 臨床前実習 I 【演習】 F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 臨床前実習 I 【演習】 F-(2)-(4)-1), F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-6) 位 臨床前実習 I 【実習】 F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-6) 位 臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-(6)-3) 事故事例の回	臨床前実習 II 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 個に必要な患者情報収集	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハ ザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 衛生的な手洗し 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-6) 基本的配合	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) の間き取り E3-(1)-(2)-(2), E3-(1)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-(4), E3-(1)-(7)-(7)-(7)-(7) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 に基づく処方設計と提案 で(2)-(4)-(4) 患者・来局者への服薬指導 変化 基づく疑義照会 操作), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), BIにもとづく医薬品の比較・評価
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 個に必要な患者情報収集 製剤の調製 臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導 使用上の説明が必要な製剤の服薬指導 遊と対処法 臨床前実習 II 【演習】F-(2)-(2)-6) 処方せん等に基づく疑義照会 問題点と適切な評価・管理の立案(SOAP) 領域の処方せんおける医療スタッフとの連携 演習	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハ ザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 衛生的な手洗し 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-6) 基本的配合	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) の間き取り E3-(1)-(2)-(2), E3-(1)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-(4), E3-(1)-(7)-(7)-(7)-(7)-(7) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 (こ基づく処方設計と提案 で化 をで をで ・経管栄養剤の選択と体液電解質の補正 + 【演習】), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), BIにもとづく医薬品の比較・評価
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I オリエンテーション + 【演習】 F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の聞き取り 臨床前実習 I 【実習】 F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 職床前実習 I 【演習】 F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 臨床前実習 I 【演習】 F-(2)-(4)-1), F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-6) 位 臨床前実習 I 【実習】 F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-6) 位 臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-(6)-3) 事故事例の回 記録 臨床前実習 I 【演習】 F-(2)-(6)-3) 事故事例の回 記録 に応前実習 I 【演習】 F-(2)-(6)-3) 事故事例の回 に に に 前実習 I 【演習】 F-(2)-(6)-3) 事故事例の回 に に に 前実習 I 【演習】 F-(3)-(4)-3) 薬物治療上の に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 個に必要な患者情報収集 製剤の調製 臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導 使用上の説明が必要な製剤の服薬指導 遊と対処法 臨床前実習 II 【演習】F-(2)-(2)-6) 処方せん等に基づく疑義照会 問題点と適切な評価・管理の立案(SOAP) 領域の処方せんおける医療スタッフとの連携 演習	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハ ザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 衛生的な手洗し 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-6) 基本的配合	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) の間き取り E3-(1)-(2)-(2), E3-(1)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-(4), E3-(1)-(7)-(7)-(7)-(7) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 に基づく処方設計と提案 で(2)-(4)-(4) 患者・来局者への服薬指導 変化 基づく疑義照会 操作), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), BIにもとづく医薬品の比較・評価
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 臨床前実習 I オリエンテーション + 【演習】 F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-9), A-(3)-(2)-2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の聞き取り 臨床前実習 I 【実習】 F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 職床前実習 I 【演習】 F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 臨床前実習 I 【演習】 F-(2)-(4)-1), F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-6) 位 臨床前実習 I 【実習】 F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-6) 位 臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-(6)-3) 事故事例の回 記録 臨床前実習 I 【演習】 F-(2)-(6)-3) 事故事例の回 記録 に応前実習 I 【演習】 F-(2)-(6)-3) 事故事例の回 に に に 前実習 I 【演習】 F-(2)-(6)-3) 事故事例の回 に に に 前実習 I 【演習】 F-(3)-(4)-3) 薬物治療上の に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 個に必要な患者情報収集 製剤の調製 臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導 使用上の説明が必要な製剤の服薬指導 遊と対処法 臨床前実習 II 【演習】F-(2)-(2)-6) 処方せん等に基づく疑義照会 問題点と適切な評価・管理の立案(SOAP) 領域の処方せんおける医療スタッフとの連携 演習	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハ ザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 衛生的な手洗し 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-6) 基本的配合	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) の間き取り E3-(1)-(2)-(2), E3-(1)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-(4), E3-(1)-(7)-(7)-(7)-(7)-(7) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 (こ基づく処方設計と提案 で化 をで をで ・経管栄養剤の選択と体液電解質の補正 + 【演習】), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), BIにもとづく医薬品の比較・評価
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 金 臨床前実習 I オリエンテーション + 【演習】F-(2)- (4)-1), F-(2)- (4)-3), A-(2)- (3)- (4), A-(3)- (1)-4), A-(3)- (1)-5), A-(3)- (1)-6, A-(3)- (1)-7), A-(3)- (1)-8), A-(3)- (1)-9), A-(3)- (2)-2), D1-(2)-3-3) 患者・来局者からの必要な情報の聞き取り 臨床前実習 I 【実習】F-(3)- (4)-2) 薬物療法の評 臨床前実習 I 【演習】アドバンスト教育内容 院内 臨床前実習 I 【演習】F-(2)- (4)-1), F-(5)- (3)-3), F-(2)- (4)-4) 患者・来局者への服薬指導 臨床前実習 I 【実習】F-(5)- (3)-3), F-(2)- (4)-6) 化 臨床前実習 I 【実習】F-(2)- (6)-3) 事故事例の回	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 個に必要な患者情報収集 製剤の調製 臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導 使用上の説明が必要な製剤の服薬指導 遊と対処法 臨床前実習 II 【演習】F-(2)-(2)-6) 処方せん等に基づく疑義照会 問題点と適切な評価・管理の立案(SOAP) 領域の処方せんおける医療スタッフとの連携 演習	3限 (13:00~14:30) 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2), E3-(1)- 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-③-7) ケミカルハ ザード回避の基本的手技 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-④-1), F-(5)-③-3), F 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 衛生的な手洗し 臨床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-5) 医床前実習Ⅱ【実習】F-(2)-⑥-6) 基本的配合	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) の間き取り E3-(1)-(2)-(2), E3-(1)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-(4), E3-(1)-(7)-(7)-(7)-(7)-(7) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 (こ基づく処方設計と提案 で化 をで をで ・経管栄養剤の選択と体液電解質の補正 + 【演習】), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), BIにもとづく医薬品の比較・評価
1	臨床前実習 実習試験 模擬テスト	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 個に必要な患者情報収集 製剤の調製 臨床前実習 II 【演習】アドバンスト教育内容緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導 使用上の説明が必要な製剤の服薬指導 遊と対処法 臨床前実習 II 【演習】F-(2)-(2)-6) 処方せん等に基づく疑義照会 問題点と適切な評価・管理の立案(SOAP) 領域の処方せんおける医療スタッフとの連携 演習	③限 (13:00~14:30) 臨床前実習 I 【実習】F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), 2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-(2)-1), E3-(1)-(2)-1), E3-(1)-(3)-4), E3-(1)-(3)-5), E3-(1)-(7)-2), E3-(1)-(7)-2), E3-(1)-(7)-2), E3-(1)-(7)-2), E3-(1)-(7)-2), E3-(1)-(7)-3)-4), E3-(1)-(7)-2), E3-(1)-(7)-3)-5), E3-(1)-(7)-2), E3-(1)-(7)-2), E3-(1)-(7)-2), E3-(1)-(7)-2), E3-(1)-(7)-2)-(7)-2), E3-(1)-(7)-2)-(7)-2)-(7)-2)-(7)-2)-(7)-2)-(7)-2)-(7)-2)-(7)-2)-(7)-2)-2)-2)-2)-2)-2)-2)-2)-2)-2)-2)-2)-2)	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) の間き取り E3-(1)-(2)-(2), E3-(1)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-(4), E3-(1)-(7)-(7)-(7)-(7)-(7) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 (こ基づく処方設計と提案 で化 をで をで ・経管栄養剤の選択と体液電解質の補正 + 【演習】), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), BIにもとづく医薬品の比較・評価
1	臨床前実習 実習試験 模擬テスト	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 (国に必要な患者情報収集	臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), 2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習 I 【実習】 F-(3)-(2)-1), E3-(1)-(2)-1), E3-(1)-(3)-4), E3-(1)-(3)-5), E3-(1)-(7)-2), E3-(1)-(5)-(1)-(7)-2), E3-(1)-(7)-2), E3-(1)-2), E	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) の間き取り E3-(1)-(2)-(2), E3-(1)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-(4), E3-(1)-(7)-(7)-(7)-(7)-(7) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 (こ基づく処方設計と提案 で化 をで をで ・経管栄養剤の選択と体液電解質の補正 + 【演習】), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), BIにもとづく医薬品の比較・評価
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 金	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-①-2) 患者および種々の情報源からの情 価に必要な患者情報収集 製剤の調製 臨床前実習 I 【演習】アドバンスト教育内容緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導 連上の説明が必要な製剤の服薬指導 避と対処法 臨床前実習 I 【演習】F-(2)-(2)-6) 処方せん等に基づく疑義照会 問題点と適切な評価・管理の立案(SOAP) 領域の処方せんおける医療スタッフとの連携)演習 ンでの総合演習	臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), 2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の (2)-(1)-(3)-(3)-(3)-(3)-(1)-(2)-(2)-(3)-(3)-(3)-(3)-(3)-(3)-(3)-(3)-(3)-(3	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) 問き取り E3-(1)-(2)-2), E3-(1)-(2)-3), E3-(1)-(2)-4), E3-(1)-(7)-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 (こ基づく処方設計と提案 を化 を作・経管栄養剤の選択と体液電解質の補正 + 【演習】 のSCE準備), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②- ②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), 限にもとづく医薬品の比較・評価 F-(3)-③-4) 注射等の基本的な手技説明
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト 協麻前実習 I 大リエンテーション + 【演習】 F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), A-(2)-(3)-4), A-(3)-(1)-4), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(1)-6), A-(3)-(1)-7), A-(3)-(1)-8), A-(3)-(1)-5), A-(3)-(2)-2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の聞き取り 臨床前実習 I 【実習】 F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 臨床前実習 I 【実習】 F-(3)-(4)-2) 薬物療法の評 臨床前実習 I 【演習】 F-(2)-(4)-1), F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-4) 患者・来局者への服薬指導 臨床前実習 I 【実習】 F-(5)-(3)-3), F-(2)-(4)-6) 依 臨床前実習 I 【実習】 F-(5)-(3)-3) 事故事例の回	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-(1)-2) 患者および種々の情報源からの情 (国に必要な患者情報収集	臨床前実習 I 【実習】F-(2)-④-1), F-(2)-④-3), 2), D1-(2)-③-3) 患者・来局者からの必要な情報の 臨床前実習 I 【実習】F-(3)-②-1), E3-(1)-②-1), E3-(1)-③-4), E3-(1)-③-5), E3-(1)-⑦-2, E3-(1)-⑦-2, E3-(1)-⑦-2, E3-(1)-⑦-2, E3-(1)-⑦-3, E3-(1)-⑦-2, E3-(1)-⑦-3, E3-(1)-⑦-2, E3-(1)-⑦-3, E3-(1)-⑦-2, E3-(1)-⑦-3, E3-(1)-0, E3-(1	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) の間き取り E3-(1)-(2)-(2), E3-(1)-(2)-(3), E3-(1)-(2)-(4), E3-(1)-(7)-(7)-(7)-(7)-(7) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 (こ基づく処方設計と提案 で化 をで をで ・経管栄養剤の選択と体液電解質の補正 + 【演習】), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②-②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), BIにもとづく医薬品の比較・評価
1	臨床前実習 I 実習試験 模擬テスト	臨床前実習 I 【演習】F-(5)-(3)-2) 来局者の疾患の推測と対応の選択 E3-(2)-①-2) 患者および種々の情報源からの情 価に必要な患者情報収集 製剤の調製 臨床前実習 I 【演習】アドバンスト教育内容緩和ケアにおいて注意を必要とする医薬品の服薬指導 連上の説明が必要な製剤の服薬指導 避と対処法 臨床前実習 I 【演習】F-(2)-(2)-6) 処方せん等に基づく疑義照会 問題点と適切な評価・管理の立案(SOAP) 領域の処方せんおける医療スタッフとの連携)演習 ンでの総合演習	臨床前実習 I 【実習】 F-(2)-(4)-1), F-(2)-(4)-3), 2), D1-(2)-(3)-3) 患者・来局者からの必要な情報の (2)-(1)-(3)-(3)-(3)-(3)-(1)-(2)-(2)-(3)-(3)-(3)-(3)-(3)-(3)-(3)-(3)-(3)-(3	A-(2)-(3)-(4), A-(3)-(1)-(4), A-(3)-(1)-(5), A-(3)-(1)-(6) 問き取り E3-(1)-(2)-2), E3-(1)-(2)-3), E3-(1)-(2)-4), E3-(1)-(7)-3) 医薬品情報の収集・整理・加工、医薬品情報に基づく処方設計と提案 (こ基づく処方設計と提案 を化 を作・経管栄養剤の選択と体液電解質の補正 + 【演習】 のSCE準備), A-(3)-①-7), A-(3)-①-8), A-(3)-①-9), A-(3)-②- ②-5), E3-(1)-②-6), E3-(1)-③-1), E3-(1)-③-3), 限にもとづく医薬品の比較・評価 F-(3)-③-4) 注射等の基本的な手技説明

(基礎資料7) 学生受入状況について(入学試験種類別)

	学科名	入試の種類		平成26年度 入試 (25年 度実施)	平成27年度 入試(26年 度実施)	平成28年度 入試(27年 度実施)	平成29年度 入試(28年 度実施)	平成30年度 入試 (29年 度実施)	平成31年度 入試(30年 度実施)	募集定員数 に対する入 学者数の比 率(6年間 の平均)
			受験者数	237	168	219	277	197	267	
			合格者数	47	46	57	47	47	47	
		一般入試	入学者数(A)	44	40	40	42	45	44	
			募集定員数(B)	40	40	40	40	40	40	
			A/B*100 (%)	110%	100%	100%	105%	113%	110%	
			受験者数	68	58	89	64	82	86	
			合格者数	15	16	15	15	15	15	
		推薦入試	入学者数(A)	15	16	15	15	15	15	
			募集定員数(B)	15	15	15	15	15	15	
薬学部	薬学科		A/B*100 (%)	100%	107%	100%	100%	100%	100%	105%
		私費外国人留学生入試	受験者数	0	0	2	1	0	0	100%
			合格者数	0	0	0	0	0	0	
			入学者数(A)	0	0	0	0	0	0	
			募集定員数(B)	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	
			A/B*100 (%)	-	-	-	-	-	_	
			受験者数	4	2	1	1	1	0	
			合格者数	3	0	0	0	0	0	
		帰国生徒入試	入学者数(A)	1	0	0	0	0	0	
			募集定員数(B)	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	
			A/B*100 (%)	-	-	-	-	-	-	
			受験者数	309	228	311	343	280	353	
			合格者数	65	62	72	62	62	62	
		学 科 計	入学者数(A)	60	56	55	57	60	59	
			募集定員数(B)	55	55	55	55	55	55	
			A/B*100 (%)	109%	102%	100%	104%	109%	107%	

- [注] 1 実施している全種類の入試が網羅されるように「入試の種類」の名称を記入し、適宜欄を設けて記入してください。 なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
 - 2 入試の種類ごとに「募集定員数(B)に対する入学者数(A)」の割合 [A/B*100(%)] を算出してください。
 - 3 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。
 - 4 各入学(募集)定員が若干名の場合は「若干名」と記入してください。
 - 5 6年制が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて記入してください。
 - 6 薬科学科との一括入試の場合は、欄外に「(備考)〇年次に・・・・を基に学科を決定する。なお、薬学科の定員は△△△名」と 注を記入してください。

(基礎資料8) 教員・職員の数

表1. 大学設置基準(別表第1)の対象となる薬学科(6年制)の専任教員

教授	准教授	専任講師 助教		合計	基準数 1)		
13名	11名	1名	13名	38名	22名		
上記における	臨床実務経験る	を有する者の内	数				
教授 准教授 専任講師 助教 合計 必要数 ²⁾							
4名	3名	0名	0名	7名	4名		

- 1)大学設置基準第13条別表第1のイ(表1)及び備考4に基づく数
- 2)上記基準数の6分の1(大学設置基準第13条別表第1のイ備考10)に相当する数

表2. 薬学科(6年制)の教育研究に携わっている表1. 以外の薬学部教員

助手 ¹⁾	兼担教員 2)
0名	16名

- 1) 学校教育法第92条⑨による教員として大学設置基準第10条2の教育業務及び研究に携わる者
- 2)4年制学科を併設する薬学部で、薬学科の専門教育を担当する4年制学科の専任教員

表3. 演習、実習、実験などの補助に当たる教員以外の者

TA	SA	その他 ¹⁾	合計
81名	O名	O名	81名

1)実習などの補助を担当する臨時、契約職員など。

表4. 薬学部専任の職員

事務職員	技能職員 1)	その他 ²⁾	合計
5(2)名	3名	O名	8(2)名

- 1)薬用植物園や実験動物の管理、電気施設など保守管理に携わる職員
- 2) 司書、保健・看護職員など

(基礎資料9) 専任教員(基礎資料8の表1)の年齢構成

	教授	准教授	専任講師	助教	合計	比率
70代	0名	O名	O名	O名	O名	0%
60代	2名	O名	O名	1名	3名	7. 9%
50代	7名	2名	O名	O名	9名	23. 7%
40代	4名	9名	1名	3名	17名	44. 7%
30代	O名	0名	0名	8名	8名	21. 1%
20代	0名	0名	0名	1名	1名	2. 6%
合計	13名	11名	1名	13名	38名	100. 0 %

専任教員の定年年齢:(_65_歳)

(参考資料) 専任教員(基礎資料8の表1)の男女構成

	教授	准教授	専任講師	助教	合計	比率
男性	12名	11名	1名	11名	35名	92. 1%
女性	1名	O名	O名	2名	3名	7. 9%

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 1)	職名 2)	任教員(基礎資料8の表1)が 	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 3)		授業時間 4)	年間で平均した 週当り授業時間 5)
						<u> </u>			12. 00	0.40
							医療系実習(薬剤学)	0	27. 00	0. 90
							物理薬剤学		7. 50	0. 25
							富山のくすり学		4. 50	0. 15
									1. 50	0. 05
							分子生物薬科学特論		1. 50	0. 05
							国際医薬学特論		1. 50	0. 05
薬学科(創薬	北 +亚	4m A> 17+	F 7	_	本学様工	2000 10 1	薬物治療学特論		1. 50	0. 05
科学科)	教授	細谷 健一 	57	男	薬学博士	2000. 10. 1	専門英語[9. 00	0. 30
							専門英語Ⅱ		4. 50	0. 15
							薬学英語Ⅱ		4. 50	0. 15
							総合薬学演習		3. 00	0. 10
							製薬企業と創薬		1. 50	0. 05
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計	•	85. 50	2. 85
							基礎薬理学【		9. 00	0. 30
							基礎薬理学 Ⅱ		3. 00	0. 10
							国際医薬学特論	<u> </u>	1.50	0.05
							病態薬物治療学Ⅲ 	_	4. 50	0. 15
							和漢医薬学入門	0	15. 00	0. 50
薬学科(創薬	#/∟1≕	h shi tann	40		1 4 / ** /	0010 0 1	専門英語[4. 50	0. 15
科学科)	教授	久米 利明	46	男	博(薬)	2018. 2. 1	専門英語Ⅱ		9. 00	0.30
							薬学英語[7. 50	0. 25
							総合薬学演習	©	11. 50 40. 50	0. 38 1. 35
							医療系実習(薬理学) 実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		112. 00	3. 73
							物理有機化学		22. 50	0. 75
							無機化学		7. 50	0. 25
							ケミカル・バイオロジー I		22. 50	0. 75
							分子化学特論		7. 50	0. 25
薬学科(創薬	1 /L 1 50	44.1 福 立	F.C.		→ ₩1 1	0000 10 1	国際医薬学特論		1. 50	0.05
科学科)	教授	井上 将彦	56	男	工学博士	2000. 12. 1	専門英語 Ⅱ		9. 00	0. 30
							総合薬学演習		2. 00	0.07
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		78. 50	2. 62
							生化学 Ⅱ		7. 50	0. 25
							生命情報科学【		10. 50	0. 35
							免疫学		9. 00	0. 30
							先端分子薬学	<u> </u>	1. 50	0. 05
							薬学概論	 	10.50	0. 35
薬学科(創薬	教授	宗。孝紀	48	男	博(薬)	2017 10 1	専門英語 I 専門英語 II		9. 00 9. 00	0. 30 0. 30
科学科)	双 坟	, 水 子札	40)))	一日 (米)	2017. 10. 1	等門央語 Ⅱ 薬学英語 Ⅱ	-	9.00	0. 30
							生物系実習(微生物化学)	©	36.00	1. 20
							全物系美音(版生物化子) 分子疾患制御学特論		1. 50	0. 05
							実務実習(病院実習)	©	3. 00	0. 03
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計	<u>. ~ </u>	109. 50	3. 65
							東西医薬学		3. 00	0. 10
							化学系実習(生薬学)	0	81. 00	2. 70
							専門英語 I		22. 50	0. 75
							薬学英語Ⅱ		3. 00	0. 10
	I	 黒崎 文也	64	男	薬学博士	2011. 12. 1	天然医薬資源学		22. 50	0. 75
薬学科(創薬 科学科)	教授	売門 入じ				•				-
薬学科(創薬 科学科)	教授	無利 人 巴					和漢医薬学入門	0	15. 00	0. 50
	教授	*****					和漢医薬学入門 実務実習(病院実習)	© ©	15. 00 3. 00	0. 50 0. 10
	教授	**************************************								

24 7.1 4	THE CO.		← 15A	ki ni	** / I 1/- D	現職就任				年間で平均した
学科 1)	職名 2)	氏 名	年齢	性別	学位称号	年月日	授業担当科目 3)		授業時間 4)	週当り授業時間 5)
薬学科(創薬 科学科)							医療学入門		1. 50	0. 05
				男			製薬企業と創薬		7. 50	0. 25
	教授	矢倉 隆之	56		薬学博士	2011. 8. 1	化学系実習(有機化学)	0	45. 00	1. 50
							専門英語 I		22. 50	0. 75
							有機化学 I		12. 00	0. 40
							薬学概論		6. 00	0. 20
							薬学経済		22. 50	0. 75
							専門英語Ⅱ		9. 00	0. 30
							基礎有機化学Ⅱ		16. 50	0. 55
							総合薬学演習		11. 50	0. 38
							創薬化学		22. 50	0. 75
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		182. 50	6. 08
薬学科(創薬科学科)		酒井 秀紀	55		博(薬)	2005. 2. 1	海外薬学演習 [0	1. 50	0. 05
							海外薬学演習 Ⅱ	0	1. 50	0.05
	教授			男			医療学入門		1. 50	0. 05
							薬学概論		4. 50	0. 15
							トランスポーター論		12. 00	0.40
							物理薬剤学		4. 50	0. 15
							生物物理化学		15. 00	0. 50
							医療系実習(生物物理化学・製剤学)	0	13. 50	0. 45
							富山のくすり学		18. 00	0. 60
							プロフェッショナル特論		3. 00	0. 10
							分子生理学特論		6. 00	0. 20
							国際医薬学特論		1.50	0. 05
							実務実習(病院実習)	0	3.00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		88. 50	2. 95
薬学科(創薬 科学科)	教授 (実務)	藤秀人	44	男	博(薬)	2011. 1. 16	保険薬局学		4. 50	0. 15
							薬事衛生法規		7. 50	0. 25
							臨床前実習 I	0	7. 50	0. 25
							実務実習(薬局実習)	0	403. 00	13. 43
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		425. 50	14. 18
薬学科(創薬 科学科)	教授	笹岡 利安	57	男	医学博士	2005. 5. 16	病態薬物治療学Ⅱ		15. 00	0. 50
							病態薬物治療学Ⅲ		6. 00	0. 20
							基礎薬理学Ⅱ		1. 50	0. 05
							専門英語Ⅰ		7. 50	0. 25
							専門英語Ⅱ		7. 50	0. 25
							薬学英語Ⅰ		3. 00	0. 10
							人体機能形態学		1. 50	0. 05
							薬学概論		4. 50	0. 15
							臨床薬理,EBMと医療		4. 50	0. 15
							高度医療人育成コース実習	0	3. 00	0. 10
							臨床前実習 I	0	4. 50	0. 15
							総合薬学演習		2. 00	0. 07
							実務実習(病院実習)	0	115. 00	3. 83
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		178. 50	5. 95
薬学科(創薬 科学科)	教授 (実務)	橋本 征也	58	男	薬学博士	2000. 4. 1	薬物動態学		30. 00	1.00
							国際医薬学特論		1. 50	0.05
							専門英語Ⅰ		15. 00	0. 50
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0.10
							授業担当時間の合計		52. 50	1. 75

学科 1)	職名 2)	氏 名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 3)		授業時間 4)	年間で平均した 週当り授業時間 5)
							病院薬学		22. 50	0. 75
							知的財産概論		1. 50	0. 05
							基礎薬理学Ⅱ		1. 50	0. 05
							病態薬物治療学【		12. 00	0. 40
							臨床前実習Ⅱ		34. 50	1. 15
							実務実習(病院実習)	<u> </u>	30.00	1. 00
							薬学英語 I		3. 00	0. 10
薬学科(創薬	教授	新田 淳美	50	女	博(医)	2009. 10. 1	専門英語 I		7. 50	0. 10
科学科)	(実務)	机四 存美	30	Ø.		2009. 10. 1			ł	
							専門英語Ⅱ		9.00	0. 30
							薬学概論		7. 50	0. 25
							人体機能形態学		1.50	0. 05
							学士力・人間力基礎(教養科目)		1. 50	0. 05
							国際医薬学特論		1. 50	0. 05
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		136. 50	4. 55
							薬学英語 I		4. 50	0. 15
							専門英語 I		22. 50	0. 75
							専門英語Ⅱ		7. 50	0. 25
							医療薬剤学		10. 50	0. 35
薬学科(附属 病院薬剤部)	教授 (実務)	足立 伊左雄	63	男	薬学博士	1997. 7. 1	臨床薬理, EBMと医療		3. 00	0. 10
	(~13)						薬理学		1. 50	0. 05
							実務実習(病院実習)	0	190. 50	6. 35
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		243. 00	8. 10
							物理薬剤学		6. 00	0. 20
							創剤学特論		3. 00	0. 10
							専門英語Ⅱ		1. 50	0. 05
薬学科(創薬	客員教授	大貫 義則	43	男	博(薬)	2015. 4. 1	薬学英語Ⅱ		4. 50	0. 15
科学科)	谷貝狄汉	八貝 我則	40	77	(大)	2013. 4. 1	実務実習(病院実習)	<u> </u>	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0.10
							授業担当時間の合計		21. 00	0. 70
							生物薬剤学		10. 50	0. 35
							専門英語 [9. 00	0.30
							専門英語Ⅱ		1. 50	0. 05
薬学科(創薬	准教授	久保 義行	43	男	博(薬)	2013. 7. 1	医療系実習(薬剤学)	0	27. 00	0. 90
科学科)							物理薬剤学		4. 50	0. 15
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		58. 50	1. 95
							基礎薬理学 I		10. 50	0. 35
							東西医薬学		1. 50	0. 05
							医療系実習(薬理学)	0	40. 50	1. 35
							基礎薬理学 Ⅱ		4. 50	0. 15
							薬理学Ⅱ(旧カリ)		10. 50	0. 35
							病態薬理学		4. 50	0. 15
							病態薬物治療学Ⅲ		4. 50	0. 15
薬学科(創薬							専門英語Ⅰ		7. 50	0. 25
条子科(剧条 科学科)	准教授	安東 嗣修	47	男	博(薬)	2008. 4. 1	専門英語Ⅱ		9. 00	0. 30
							薬学英語Ⅰ		4. 50	0. 15
							総合薬学演習		4. 00	0. 13
							臨床薬理学		1. 50	0. 13
							和漢医薬学入門		15. 00	0. 50
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		124. 00	4. 13

京さ 4/	₩ Æ O\	rt. b	产业	h사 ㅁ··	当ルチ ロ	現職就任			↑亞·樂·미士·日日·▲↑	年間で平均した
学科 1)	職名 2)	氏 名	年齢	性別	学位称号	年月日	授業担当科目 3)	1	授業時間 4)	週当り授業時間 5)
							先端分子薬学	1	3.00	0. 10
							遺伝情報制御学特論	1	3.00	0. 10
							国際医薬学特論		1. 50	0. 05
							医薬品製剤開発学実習	0	18.00	0. 60 0. 45
							生化学Ⅰ		13. 50	
							生命情報科学 II 生物系実習(生化学)	©	6. 00 40. 50	0. 20 1. 35
薬学科(創薬	准教授	 廣瀬 豊	56	男	博(医)	2009. 10. 1	生化学Ⅱ		13. 50	0. 45
科学科)	准叙技	[□ 横 豆 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	30	Ħ	(学 (区)	2009. 10. 1	生命情報科学[3. 00	0. 43
							総合薬学演習		7. 00	0. 23
							専門英語Ⅱ		9. 00	0. 30
							薬学英語Ⅱ		9. 00	0. 30
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								<u> </u>	133. 00	4. 43
							東西医薬学		3. 00	0. 10
							生薬学		22. 50	0. 75
							和漢医薬学入門	0	15. 00	0. 50
							専門英語Ⅱ		3. 00	0. 10
薬学科(創薬 科学科)	准教授	田浦 太志	46	男	博(薬)	2013. 7. 1	薬学英語Ⅱ		4. 50	0. 15
							総合薬学演習		6. 00	0. 20
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		60.00	2. 00
							化学系実習(有機化学)	0	90.00	3. 00
							有機化学 I		10. 50	0. 35
薬学科(創薬				_			機器分析		13. 50	0. 45
科学科)	准教授	南部 寿則	42	男	博(薬)	2012. 8. 1	薬学英語Ⅱ		4. 50	0. 15
							実務実習(病院実習)	0	3.00	0. 10
							実務実習(薬局実習) 授業担当時間の合計	0	3. 00 124. 50	0. 10 4. 15
							技术担当时间の告記 トランスポーター論		124. 50	0. 35
							生物物理化学		6. 00	0. 33
							1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	©	40. 50	1. 35
							分子生理学特論		4. 50	0. 15
							専門英語 I		10. 50	0. 35
薬学科(創薬				_	L-12 ()		専門英語Ⅱ		9.00	0. 30
科学科)	准教授	清水 貴浩	46	男	博(理)	2009. 4. 1	薬学英語 II		9. 00	0. 30
							薬学概論		4. 50	0. 15
							高度職業人育成コース実習	0	13. 50	0. 45
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		114. 00	3. 80
							保険薬局学		13. 50	0. 45
							臨床前実習 I	0	84. 00	2. 80
薬学科(創薬 科学科)	准教授 (実務)	辻 泰弘	44	男	博(薬)	2012. 8. 16	薬学英語 [-	7. 50	0. 25
117 7 17	(大力)						実務実習(病院実習)	0	3.00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3.00	0. 10
							授業担当時間の合計		111. 00 7. 50	3. 70 0. 25
							病態薬物治療学Ⅱ 病態薬物治療学Ⅲ	1	7. 50 3. 00	0. 25
									7. 50	0. 10
							東門英語 I		7. 50	0. 25
							専門英語Ⅱ		7. 50	0. 25
薬学科(創薬			_				薬学英語 [3. 00	0. 10
科学科)	准教授	恒枝 宏史	52	男	博(薬)	2007. 4. 1	総合薬学演習		4. 00	0. 13
							製薬企業と創薬		4. 50	0. 15
							臨床前実習 I	0	3. 00	0. 10
							実務実習(病院実習)	0	16. 00	0. 53
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		66. 50	2. 21

学科 1)	職名 2)	氏 名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 3)		授業時間 4)	年間で平均した 週当り授業時間 5)
						, ,, H	上 臨床薬物動態学		22. 50	0.75
							薬学英語 Ι		9. 00	0. 30
							専門英語 I		7. 50	0. 25
							専門英語Ⅱ		9. 00	0. 30
薬学科(創薬	准教授		47	=	+ (本)	2010 4 1	薬学概論		3.00	0. 30
科学科)	(実務)	田口 雅登	47	男	博(薬)	2010. 4. 1				
							臨床前実習 [0	3. 00	0. 10
							実務実習(病院実習)	0	243. 00	8. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		300.00	10. 00
							専門英語 I		15. 00	0. 50
							薬学英語 Ι		9. 00	0. 30
							病態薬物治療学 I		1. 50	0.05
薬学科(創薬	准教授	宮本 嘉明	46	男	博(医)	2010. 4. 1	臨床前実習Ⅱ	0	87. 00	2. 90
科学科)							上 実務実習(病院実習)	0	30. 00	1.00
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								•		
							授業担当時間の合計		145. 50	4. 85
							和漢医薬学入門		1. 50	0. 05
							東西医薬学		3. 00	0. 10
							医療薬剤学		7. 50	0. 25
							専門英語 I		15. 00	0. 50
							専門英語Ⅱ		9. 00	0. 30
薬学科(附属 病院薬剤部)	准教授 (実務)	加藤 敦	48	男	博(薬)	2007. 4. 1	薬学英語		4. 50	0. 15
水水米州市)	(天伤)						薬学概論		4. 50	0. 15
									9. 00	0. 30
							実務実習(病院実習)	0	189. 00	6. 30
							実務実習(薬局実習)	0	7. 50	0. 25
							授業担当時間の合計	9		
								1	250. 50	8. 35
							病態薬物治療学Ⅲ 		6. 00	0. 20
							薬学概論		2. 50	0. 08
							薬学英語Ⅰ		3. 00	0. 10
							専門英語Ⅰ		7. 50	0. 25
							専門英語Ⅱ		7. 50	0. 25
薬学科(創薬 科学科)	講師	和田 努	47	男	博(医)	2013. 5. 1	総合薬学演習		13. 00	0. 43
14 3-14)							臨床前実習 I	0	3. 00	0. 10
							ー 高度職業人育成コース実習	0	10.00	0. 33
							実務実習(病院実習)	0	115. 00	3. 83
							実務実習(薬局実習)	0	3.00	0. 10
							授業担当時間の合計		170. 50	5. 67
							専門英語Ⅰ		4. 50	0. 15
							専門英語Ⅱ		1. 50	0. 05
薬学科(創薬	助教	赤沼 伸乙	36	男	博(薬)	2007. 10. 1	医療系実習(薬剤学)	0	27. 00	0. 90
科学科)	かび	91/11 ITC) 23	। ज ∖≭ः/	2007. 10. 1	実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		39. 00	1. 30
							和漢医薬学入門	0	7. 50	0. 25
							医療系実習(薬理学)	0	27. 00	0. 90
							専門英語 I	T	7. 50	0. 25
-t- W-1 (5)							専門英語Ⅱ		7. 50	0. 25
薬学科(創薬 科学科)	助教	歌 大介	37	男	博(医)	2014. 4. 1			6. 00	
11 3 17/							薬学概論		-	0. 20
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		61. 50	2. 05
							物理系実習(分析化学)	0	40. 50	1. 35
							専門英語 I		9. 00	0.30
							専門英語 Ⅱ		9. 00	0. 30
							薬学英語 I		7. 50	0. 25
薬学科(創薬							—————————————————————————————————————		9. 00	0. 30
条字件(剧条) 科学科)	助教	千葉 順哉	45	男	博(理)	2010. 4. 1	ケミカル・バイオロジー II		18. 00	0. 60
							生物分析学特論		7. 50	0. 25
							実務実習(病院実習)	0	3.00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							授業担当時間の合計		106. 50	3. 55

学科 1)	職名 2)	氏	————— 名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 3)		授業時間 4)	年間で平均した 週当り授業時間 5)
								基礎有機化学Ⅱ		6. 00	0. 20
								化学系実習(分子機能)	0	45. 00	1. 50
								薬学英語 I		9. 00	0. 30
薬学科(創薬	D+ */-	+-	+# #	20	m m	体(茶科学)	2016 4 1	医薬品製剤開発学実習	0	13. 50	0. 45
科学科)	助教	大 石	雄基	29	男	博(薬科学)	2016. 4. 1	専門英語 I		22. 50	0. 75
								実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
								実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		102. 00	3. 40
								衛生薬学 I		6. 00	0. 20
								生物系実習(衛生化学)	0	40. 50	1. 35
								衛生薬学Ⅱ		3. 00	0. 10
								専門英語Ⅱ		9. 00	0.30
薬学科(創薬	助教	伊原	╅	32	男	 博(薬)	2017. 5. 1	薬学英語Ⅱ		9. 00	0. 30
科学科)	助叙	1 <i>7 1</i> 7	八州	32	カ	(中(来)	2017. 3. 1	先端分子薬学		1. 50	0. 05
								遺伝子応用分析学特論		1. 50	0. 05
								実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
								実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		76. 50	2. 55
								生命情報科学Ⅰ		4. 50	0. 15
								生化学 I		4. 50	0. 15
								生命情報科学Ⅱ		3. 00	0. 10
薬学科(創薬								専門英語Ⅰ		22. 50	0. 75
条子符(剧条 科学科)	助教	田中	亜紀	42	女	博(薬)	2007. 4. 1	先端分子薬学		3. 00	0. 10
								生物系実習(生化学)	0	32. 00	1. 07
								実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
								実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		75. 50	2. 52
								先端分子薬学 	_	1. 50	0. 05
								生物系実習(微生物化学)	0	40. 50	1. 35
薬学科(創薬 科学科)	助教	川口	甲介	38	男	博(農)	2011. 10. 1	分子疾患制御学特論		1.50	0. 05
14 1 14)								実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
								実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		49. 50	1. 65
								医療系実習(生物物理化学・製剤学) 専門英語 I	0	40. 50 9. 00	1. 35 0. 30
薬学科(創薬	P+ */-	恭 ++	+ 7 1	37	男	+ (本)	2009. 9. 1		©	3.00	0. 30
科学科)	助教	膝 开	拓人	37	为	博(薬)	2009. 9. 1	実務実習(病院実習)	+	3.00	0. 10
								実務実習(薬局実習) 授業担当時間の合計	0	55. 50	1.85
								保険薬局学		4. 50	0. 15
								陈庆荣冯子 臨床前実習 I	0	84. 00	2. 80
								薬学英語[1. 50	0. 05
薬学科(創薬	助教	岡﨑	史泰	34	男	 博(薬)	2011. 4. 1	専門英語Ⅱ		9. 00	0. 30
科学科)	-717	i-d cal			,,			実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
								実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計	<u>. </u>	105. 00	3. 50
								化学系実習(生薬学)	0	45. 00	1. 50
薬学科(創薬	mi lo		ئد عد		,	14 /44	000= =	実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
科学科)	助教	山村	良美	43	女	博(薬)	2007. 7. 1	実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		51.00	1.70
								臨床前実習Ⅱ	0	37. 50	1. 25
薬学科(創薬	D+ #/-	د ۵۶	サ ク	0.0	pp.	144 (本)	2011 4 1	実務実習(病院実習)	0	30.00	1.00
科学科)	助教	于野	恭介	36	男	博(薬)	2011. 4. 1	実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		70. 50	2. 35
								薬学概論		6. 00	0. 20
薬学科(附属	助教	- ++	泰彦	60	男	博(薬)	2018. 4. 1	実務実習(病院実習)	0	306. 00	10. 20
病院薬剤部)	別叙	<u></u> ↑1	米区	00	ガ	FF(米 <i>)</i>	2010. 4. l	実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		315. 00	10. 50
								薬学英語Ⅱ		4. 50	0. 15
								専門英語Ⅱ		1. 50	0. 05
薬学科(創薬	客員助教	林	祥弘	32	男	博(薬)	2015. 4. 1	創剤学特論		3. 00	0. 10
科学科)	台貝切钗	11个	7 + 7 4	ا عد	五	時(<i>宋)</i>	2010. 4. l	実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
_								中水中河(本日中河)	0	3. 00	0.10
								実務実習(薬局実習)	<u> </u>	3.00	0. 10

表2. 助手(基礎資料8の表2)の教育担当状況

学科	職名	氏名	年齢	性別	学位	就任年月日	授業担当科目	総授業時間	年間で平均した 週当り授業時間

[注] 担当時間数などの記入について表 1 の脚注に倣ってください。 兼担教員については、「授業担当時間の合計」の算出は不要です。

表3. 兼担教員(基礎資料8の表2)が担当する薬学科(6年制)の専門科目と担当時間

学科	職名	氏 名	年齢	性別	学位	現職就任年 月日	授業担当科目		総授業時間	年間で平均した 週当り授業時間
							分析化学		22. 50	0. 75
							物理系実習(分析化学)	0	27. 00	0. 90
							応用分析化学		22. 50	0. 75
							無機化学		7. 50	0. 25
							ケミカル・バイオロジーⅡ		4. 50	0. 15
創薬科学科	教授	友廣 岳則	56	男	理学博士	2017. 10. 1	薬学英語 I		1.50	0. 05
							専門英語 I		13. 50	0. 45
							専門英語Ⅱ		9. 00	0. 30
							総合薬学演習		8. 00	0. 27
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							衛生薬学 I		15. 0	0. 50
							衛生薬学Ⅲ		22. 50	0. 75
							先端分子薬学		4. 50	0. 15
							薬学英語Ⅱ		4. 50	0. 15
創薬科学科	教授	櫻井 宏明	51	男	博(薬)	2011. 8. 1	専門英語 I		22. 50	0. 75
							専門英語Ⅱ		9. 00	0.30
							生物系実習(放射線基礎学)	0	33. 75	1. 13
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							有機化学Ⅱ		22. 50	0. 75
							合成化学		12. 00	0. 40
							有機化学Ⅲ		12. 00	0. 40
							専門英語 I		4. 50	0. 15
創薬科学科	教授	松谷 裕二	49	男	博(薬)	2010. 4. 1	専門英語Ⅱ		9. 00	0. 30
							総合薬学演習		4. 00	0. 13
							化学系実習(有機化学)	0	37. 00	1. 23
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
							薬品物理化学		12. 00	0. 40
							物理化学Ⅱ		22. 50	0. 75
							専門英語 I		22. 50	0. 75
							専門英語Ⅱ		9. 00	0. 30
創薬科学科	教授	中野 実	46	男	博(工)		薬学英語 Ι		3. 00	0. 10
							総合薬学演習		10.00	0. 33
							物理系実習(物理化学Ⅱ)	0	7. 50	0. 25
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
							実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10

 취達하여 변경 변경	学科	職名	氏 名	年齢	性別	学位	現職就任 年 月 日	授業担当科目		総授業時間	年間で平均した 週当り授業時間
# 2004 - 1 2004 - 1 4 2 2 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0							T /1 H	構造生物学		9. 00	
# 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2										22, 50	
新度科学科 新校 AR											
新度科学科 新校 AR									0		
1	創薬科学科	教授	水口 峰之	46	男	博(理)	2009. 4. 1	————————————————————————————————————		19. 50	0. 65
(計算報報等) (本) (————————————— 専門英語 Ⅱ		3. 00	0. 10
								———————————————— 実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
対理								 実務実習(薬局実習)	0	3.00	0. 10
								医療学入門		6. 00	0. 20
								薬学概論		1. 50	0. 05
1	創薬科学科	教授	宮島 光志	59	男	修(文)	2014. 4. 1	臨床倫理学		12. 00	0. 40
現理								実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
1								実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
# 注:								化学系実習(有機化学)	0	58. 50	1. 95
								合成化学		12. 00	0. 40
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##								有機化学Ⅲ		12. 00	0. 40
	創薬科学科	准教授	杉本 健士	41	男	博(薬)	2012. 1. 1	専門英語[9. 00	0. 30
								薬学英語 Ⅱ		4. 50	0. 15
# A								実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
### ### ### ### ### ### #############								実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##								生化学Ⅰ		4. 50	0. 15
新葉科学科 推檢機 上海域 明子 4月 <								生命情報科学Ⅱ		7. 50	0. 25
### A								生物系実習(衛生化学)	0	40. 50	1. 35
新葉科学科 推牧授 中田 推牧授 中田 和志 中国 和志 和志 和志 和志 和志 和志 和志 和								衛生薬学Ⅱ		19. 50	0. 65
新葉科学科 連数接 地田 連介 本数接 地面 和	創薬科学科	准教授	田渕 明子	47	女	博(薬)	2007. 4. 1	専門英語 I		22. 50	0. 75
日本	A13X11311	123732				14(20)	20071 11 1	薬学英語 Ⅱ		9. 00	0. 30
大きな								先端分子薬学			0. 10
創業科学科 准数授 中田 雅志 56 男性(薬) 上標(薬) 上級大学(薬) 大学大学(薬) (金) 3.00 0.10 0.10 創業科学科 推放授 中田 雅志 56 男性(薬) 上標(薬) 上標(薬) 2009.4.1 本格大学(微生物化学) (金) 40.50 1.35 大大学物学 1.50 0.05 2.50 0.75 有限放生物学 1.50 0.05 大大学大業学 1.50 0.05 元端分子薬学 1.50 0.05 0.05 大大学大業学 1.50 0.05 元端分子薬学 0.05 3.00 0.10 大大学大業学(美術)大業学 0.05 3.00 0.05 2.05 2.05 2.05 2.05 2.05 2.05 2.05 2.05 2.05 2.05 2.05 2.05 2.05 2.05 2.05 2.05 0.05 2.05 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>総合薬学演習</td><td></td><td></td><td>0. 13</td></td<>								総合薬学演習			0. 13
日本								実務実習(病院実習)	0		0. 10
自要性									_		
大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き									0		
創業科学科 准教授 中田 雅志 56 男 博(菜) 2009.4.1 専門英語 I 9.00 0.00 農業科学科 准教授 中田 東京 56 男 博(菜) 2016.4.1 毎門英語 I 3.00 0.10 農業科学科 准教授 池田 東京 36 男 事件(菜) 2016.4.1 報告 第次要官(病院実習) ⑤ 3.00 0.10 東務実習(新院実習) ⑥ 3.00 0.10 東学美語 I 0.05 3.00 0.10 東務実習(病院実習) ⑥ 3.00 0.10 東学美語 I 0.00 0.00 東務実習(病院実習) ⑥ 3.00 0.10 東等実際 (病院実習) ⑥ 3.00 0.10 東路東学 (病院実習) ⑥ 3.00 0.10 東務実習 (病院実習) ⑥ 3.00 0.10 東路共学科学科 助教 高山 亜紀 本名 本名 <td></td>											
A											
A	Additional World	.,, .,, .,			_	1-15 (-11-5					
創薬科学科 推教授 池田 恵介 436 男 博(薬) 2016. 4.1 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	創楽科字科	准教授	守田 雅志	56	男	博(楽)	2009. 4. 1			.	
創薬科学科 准教授 油田 恵介 名6 男 博(薬) 2016.4.1 実務実習(病院実習) ③ 3.00 3.00 0.10 創薬科学科 推教授 池田 恵介 36 男 博(薬) 2016.4.1 物理系実習(物理化学 I) ② 27.00 0.90 実務実習(病院実習) ② 3.00 0.10 実務実習(病院実習) ② 3.00 0.10 東務実習(素局実習) ② 3.00 0.10 東務実習(物理化学 I) ③ 40.50 1.35 専門英語 I 3.00 0.10 東務実習(病院実習) ③ 3.00 0.10 東務実習(病院実習) ③ 3.00 0.10 東務実習(病院実習) ③ 3.00 0.10 東務実習(病院実習) ③ 3.00 0.10 東務実習(病院実習) ④ 3.00 0.10 東務実習(療院実習) ④ 3.00 0.10 東務実習(療院実習) ④ 3.00 0.10 東務実習(療院実習) ④ 3.00 0.30 北田 東京 東務実習(療院実習) ● 42.00 1.40 東務実習(病院実習) ④ 42.00 1.40 東務実習(病院実習) ● 42.00 1.40 東務実習(病院実習) ● 42.00 1.40 東務実習(病院実習) ● 42.00 1.40									+	ļ	
本名 本名 本名 本名 本名 本名 本名 本名											
本教授 地田 恵介 36											
本物授 上本教授 工本教授 工本教授									(O	1	
割薬科学科 准教授 池田 恵介 36									-	ļ	
東務実習 (病院実習)	創 遊私学科	准数坪	池田 声介	36	里	埔 (本)	2016 / 1				
A	向り木介すすずす	作扒顶	心山 志力	30	77	(本)	2010. 4. I		_		
#田 孝之										1	
A											
高山 亜紀 A3 B 博(薬) 2010.3.1 専門英語 II 3.00 0.10 10 10 10 10 10 10									<u></u>		
創薬科学科 本教授 帯田 孝之 43 男 博(薬) 2010. 3. 1 物理化学 I 3. 00 0. 10 実務実習 (病院実習) ⑤ 3. 00 0. 10 実務実習 (薬局実習) ⑥ 3. 00 0. 10 実務実習 (薬局実習) ⑥ 3. 00 0. 10 東門英語 I 9. 00 0. 30 薬学英語 II 4. 50 0. 15 1. 40 実務実習 (病院実習) ⑥ 42. 00 1. 40 実務実習 (病院実習) ⑥ 3. 00 0. 10										<u> </u>	
創薬科学科 助教 髙山 亜紀 29 女 博(薬科学) 2016. 4. 1 実務実習(病院実習) ⑤ 3.00 0.10 実務実習(薬局実習) ⑥ 3.00 0.10 専門英語 I 9.00 0.30 薬学英語 II 4.50 0.15 化学系実習(有機化学) ⑥ 42.00 1.40 実務実習(病院実習) ⑥ 3.00 0.10	創薬科学科	准教授	帯田 孝之	43	男	博(薬)	2010. 3. 1		-	ļ	
東務実習(薬局実習)									(a)		
南											
割薬科学科 助教 高山 亜紀 29 女 博(薬科 学) 2016. 4. 1 薬学英語 II 4. 50 0. 15 化学系実習(有機化学) © 42. 00 1. 40 実務実習(病院実習) © 3. 00 0. 10											0. 30
創薬科学科 助教 髙山 亜紀 29 女 博(薬科 学) 2016. 4. 1 化学系実習(有機化学) ◎ 42. 00 1. 40 実務実習(病院実習) ◎ 3. 00 0. 10											0. 15
実務実習(病院実習) ◎ 3.00 0.10	創薬科学科	助教	髙山 亜紀	29	女	博(薬科	2016. 4. 1		0		1. 40
						-f -)			_		0. 10
								実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10

学科	職名	氏	名	年齢	性別	学位	現職就任年月日	授業担当科目		総授業時間	年間で平均した 週当り授業時間
								化学系実習(生薬学)	0	45. 00	1. 50
創薬科学科	助教	李	貞範	47	男	博(薬)	2007. 4. 1	実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
								実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								化学系実習(有機化学)	0	90.00	3. 00
創薬科学科	助教	藤原	朋也	43	男	博(理)	2007. 4. 1	機器分析		4. 50	0. 15
る。木イイナイイ	19143	旅机	ט ממ	40	73	1寺(土)	2007. 4. 1	実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
								実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								物理系実習(物理化学Ⅱ)	0	36.00	1. 20
						1 -12 / 14- 7-1		薬学英語 I		3. 00	0. 10
創薬科学科	助教	中尾	裕之	29	男	博(薬科 学)	2017. 4. 1	総合薬学演習		6. 00	0. 20
							実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10	
								実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10
								物理系実習(物理化学 I)	0	40. 50	1. 35
創薬科学科	助教	横山	武司	39	里	 車(±車)	2011 6 1	専門英語Ⅱ		3. 00	0. 10
石り木パイナパイ	191.4X	1英山	Tr (1-1		男	博(理)	2011. 6. 1	実務実習(病院実習)	0	3. 00	0. 10
								実務実習(薬局実習)	0	3. 00	0. 10

(以下に同じ様式で記入欄を追加し、ハンドブックの例示に従ってご記入ください)

[[]注] 担当時間数などの記入について表 1 の脚注に倣ってください。 兼担教員については、「授業担当時間の合計」の算出は不要です。

(基礎資料11) 卒業研究の配属状況および研究室の広さ

4年生の在籍学生数 60名

5年生の在籍学生数 56名

6年生の在籍学生数 55名

	T + - 1		4 年生	5年生	6 年生	A =1	卒業研究を実施す
	配属講座など	指導教員数	配属学生数	配属学生数	配属学生数	合計	る研究室の面積 ^(m²)
1	病態制御薬理学	3	3	3	4	10	290
2	医薬品安全性学	2	2	3	3	8	293
3	医療薬学	3	3	3	3	9	290
4	薬物治療学	3	2	3	2	7	290
5	薬剤学	3	3	3	2	8	254
6	応用薬理学	3	2	2	2	6	258
7	生体認識化学	2	2	2	2	6	253
8	がん細胞生物学	2	3	3	3	9	251
9	薬化学	2	3	1	2	6	252
10	薬品製造学	3	2	2	1	5	252
11	分子神経生物学	2	2	2	2	6	252
12	遺伝情報制御学	2	2	2	2	6	250
13	分子細胞機能学	3	2	2	3	7	250
14	薬用生物資源学	3	3	4	2	9	252
15	分子合成化学	3	2	2	2	6	252
16	生体界面化学	3	3	3	3	9	252
17	構造生物学	3	2	2	2	6	252
18	薬物生理学	3	3	2	3	8	253
19	製剤設計学	2	2	2	2	6	227
20	生物学(協力講座)	1	0	0	2	2	145
21	生薬資源科学(協力講座)	3	0	1	2	3	286
22	天然物化学(協力講座)	3	0	0	0	0	287
23	複合薬物薬理学(協力講座)	3	1	1	0	2	287
24	病態生化学(協力講座)	2	1	0	0	1	287
25	消化管生理学(協力講座)	3	0	0	0	0	279
26	栄養代謝学(協力講座)	2	2	1	1	4	186
27	漢方診断学(協力講座)	3	2	2	2	6	287
28	神経機能学(協力講座)	2	0	1	1	2	167
29	天然薬物開発(協力講座)	1	2	2	0	4	186
30	臨床薬剤学(附属病院薬剤部)	2	3	2	2	7	111
31	ゲノム機能解析(協力講座)	1	3	0	0	3	109
	合 計		60	56	55	171	

[[]注] 1 卒業研究を実施している学年にあわせ、欄を増減して作成してください。

² 指導教員数には担当する教員(助手を含む)の数を記入してください。

(基礎資料12-1) 薬学科の教育に使用する施設の状況

	施設 ¹⁾	座席数	室数	収容人員合計	備考
	大講義室	372	1	372	固定机(一部可動机)
	講義室	120	9	720	固定机(一部可動机)
	講義室	120	1	120	可動机
	講義室	09	3	180	可動机
	講義室	40	1	40	可動机
講義室・	情報処理実習室(大)	131	1	131	CBTにも使用
演習室 ²⁾	情報処理実習室(中)	09	1	09	(看護学科研究棟、3階)
	情報処理実習室(小)	20	1	20	CBTにも使用
	日医エオーディトリアム	300	1	300	300席×1室
	夷ミ沖	24~30	3	84	24席×1室 30席×2室 (医·薬学部研究棟)
	セミナー室	18~30	4	84	18席×3室 30席×1室(薬学部研究棟Ⅱ)
	セミナー室	81	1	81	81席×1室(薬学部研究棟Ⅱ)
	化学系実習室	124	1	124	基礎化学系実習で使用
Ð	生物系実習室	128	1	128	基礎生物系実習で使用
米	物理系実習室	128	1	128	基礎物理系実習で使用
	臨床実習室	120	4	156	臨床前実習、OSCEで使用(調剤系実験室、TDM実験室、模擬無菌室、模擬病室、共通室) (薬学部研究棟Ⅱ、3階)
	セミナールーム	12	24	288	12席×24室 (医薬イノベーションセンター)
自習室等	セミナー室	12	3	36	12席×3室 (医・薬学部研究棟エレベーターホール横)
薬用植物園	 ※以下の概要を任意の様式で記載してください。 1)設置場所(薬学部キャンパス内か別キャンパスか) 2)施設の構成と規模・・・13,334m²の面積を有し、こど)として教育研究ならびに施設の維持管理に利用される、またしている植物種の数・・・2,003種の植物が植す)をの他の特記事項 	式で記載してください。 ャンパス内か別キャンパスか)・・・富 ・・13,334m ² の面積を有し、この内560m ² びに施設の維持管理に利用されている。 の数・・・2,003種の植物が植栽されてし	パスか)・・ 写し、この内5 利用されていい 物が植栽され	・富山大学杉谷キャンパス内 :60m²は研究・管理棟(教員・ る。また、園内は標本園、苗 いている。	ャンパス内(薬学部キャンパス内)に設置 棟(教員・学生実験研究室、ゼミナール室、暗室、恒温室、標本室、管理事務室な 票本園、苗圃区および実験圃場区に区画されている。

¹⁾総合大学では薬学部の教育で使用している講義室、演習室、実習室などを対象にしてください。2)講義室・演習室には収容人数による適当な区分を設け、同じ区分での座席数の範囲を示してください。また、固定席か可変席か、その他特記すべき施設などを、例示を参考にして備考に記入してください。

(基礎資料12-2) 卒業研究などに使用する施設

表1. 講座・研究室の施設

施設名 ¹⁾	面積 2)	収容人員 3)	室数 4)	備考
教員室(教授室など)	28.88m ²	1人	34	個室は教授のみ、准教授以下は研究室等にデスクがある。
研究室(大)	108.62m ²	25人	21	
研究室(中)	62.00m ²	20人	49	
研究室(小)	29.83m ²	15人	36	
実験室	60. 00 m²	丫	5	各階に1室(共有)
セミナー室	$27.50m^2$	20人	9	

 $\widehat{-}$

講座・研究室が占有する施設(隣接する2~3講座で共用する施設を含む)を記載してください。 実験室・研究室に広さが異なるものがある場合は、「大・小」、「大・中・小」のように大まかに区分してください。 同じ区分の部屋で面積に若干の違いがある場合、面積には平均値を記入してください。 1室当たりの収容人数を記入してください。同じ区分の部屋で若干の違いがある場合は平均値を記入してください。 薬学科の卒業研究を担当する講座・研究室が占有する部屋の合計数を記入してください。(ひとつの講座・研究室当たりの数ではありません。)

% € €

学部で共用する実験施設 表 2.

施設の区分 ¹⁾	室数	施設の内容
動物実験施設	54	動物飼育室(14室)、前室(13室)、動物実験室(12室)、飼料庫(2室)、ケージ保管庫(3室)、MRI室(1室)、X線室(1室)、in vivoイメージング室(1室)、組織解剖室(1室)、汚物処理室(3室)、洗浄室(1室)、更衣室(2室)
遺伝子実験施設	13	遺伝子発現解析室(1室)、遺伝子構造解析室(1室)、感染動物実験室(1室)、その他の実験室(10室)
アイソトープ実験施設	18	共同実験室(7室)、学生実験室(3室)、測定室(2)、動物実験室(3)、RI保管室(1)、廃棄物保管室(1)、セミナー室(1)
分子・構造解析施設	21	生化学系実験室(5室)、形態系実験室(5室)、構造・物性解析系実験室(8室)、細胞生物学系実験室(3室)

(基礎資料13) 学生閲覧室等の規模

				ı
備考	学 部 生:6,440 大学院生: 737 非正規生: 84	学部学生:1, 567 大学院生: 338		
その他の 自習室の整備状況 ²⁾	PC 31台 プロジェクタ 1台 スクリーン 1台 スピーカー 1台	無線LAN 電子黒板 2台 プロジェクタ 1台		
その他の 自習室の座席数	51	98		L8
その他の 自習室の名称	マルチメディア研修 室 グループ閲覧室	グループ学習室		
収容定員に対する 座席数の割合(%) A/B*100	12. 44%	28.50%		15. 78%
学生収容 定員数(B) ¹⁾	7, 261	1, 905		9, 166
学生閲覧室 座席数(A)	903	543		1, 446
図書室(館)の名称	中央図書館	医薬学図書館	芸術文化図書室	1 달

1) 「学生収容定員数(B)」欄には、当該施設を利用している全ての学部・大学院学生等を合計した学生収容定員数を記入してください。

^{2)「}その他の自習室の整備状況」欄には情報処理端末をいくつ設置しているか等を記載してください。3)「備考」欄には「学生収容定員(B)」の内訳を、学部・大学院等ごとに記入してください。

(基礎資料14) 図書、資料の所蔵数および受け入れ状況

# E	0	図書の冊数	定期刊行物の種類	物の種類	視聴覚資料の	また かんこう エン・カー・イン・コー・イン・コー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー		過去3年間の図書受け入れ状況	入れ状況	
凶書館の名称	図書の全冊数	開架図書の 冊数(内) ¹⁾	内国書	外国書	<u>所</u> 政数 (点数) ²⁾	ナルの裡組 (種類) ³⁾	平成27年度	平成28年度	平成29年度	扁
中央図書館	1, 076, 955	429, 215	14, 040	5, 207	10, 993	8, 207	8, 226	8, 085	7, 915	
医薬学図書館	221, 473	147, 102	2, 285	2, 220	4, 264	4, 583	3, 038	2, 581	2, 670	
芸術文化図書室										
挰	1, 298, 428	576, 317	16, 325	7, 427	15, 257	12, 790	11, 264	10, 666	10, 585	

[注] 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。

- 1) 開架図書の冊数 (内) は、図書の全冊数のうち何冊かを記入してください。
- 2) 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、 CD-ROM等を含め、所蔵数については、タイトル数を記載してください。
- 3) 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。

教育および研究活動の業績一覧					
大学名 富山大学	講座名 薬剤学	職名 教授	氏名 細谷 健一		
I 教育活動		1			
教育実践		年 月 日	į į	既要	
1 教育内容・方法の	の工夫	2013年~現在		平価アンケートの調査結果に クを毎年受けており、講義方 Eに役立ている。	
	(授業評価等を含む)		態・薬物相互作用を ログラムをExcel-V	D数値解法にて薬物の体内動 Eシミュレートするためのプ isual Basicに構築し、学部 -トを実体験出来るようにエ	
2 作成した教科書	、教材、参考書	2014年3月	・廣川書店「わかりやすい生物薬剤学」第5版に て、吸収について執筆		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		2016年9月	の参照基準と4年制	公開シンポジウム・薬学分野 薬学け養育に求められる人材 制薬学教育への期待と将来像	
4 その他教育活動.	上特記すべき事項	2017年8月	・薬学部FDに参加		
(FDを含む)		2017年8月	・平成29年度文部科学省薬学教育指導者のため のワークショップに参加		
		2018年8月	・薬学部FDに参加		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名	称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	
barrier permeability aqueous humor and blo mdr1a knockout rats blood-retinal barrie	tein on blood-retinal comparison of blood- pod-brain barrier using r permeability: comparison or and blood-brain barrier rats	共著	2014年6月	Invest. Ophthalmol. Vis. Sci., 55, 4650-4658	
Involvement of the Hantiporter in nicotin	+/organic cation ne transport in rat liver	共著	2015年1月	Drug Metab. Dispos., 43, 89-92	
		共著	2016年7月	J. Neurochem., 139, 408- 418	
	sport of 1-methyl-4- P+) involves carrier- the blood-retinal barrier	共著	2017年9月	J. Pharm. Sci., 106, 2583-2591	
	acid transporter 1 at the parrier in blood-to-retina tin	共著	2018年6月	Mol. Pharm., 15, 2327- 2337	
2. 学会発表(評価対	象年度のみ)		発表年・月	学会名	
(演題名)網膜へのガ 性アミノ酸輸送担体LA	バペンチン移行における内側』 「1の役割	血液網膜関門中	2018年5月	日本薬剤学会第33年会	
(演題名)L-Type amin	no acid transporter 1 at th parriers mediates the blood		2018年10月	2018 International Meeting on 22nd MDO and 33rd JSSX	
Ⅲ 学会および社会に	おける主な活動				

2014年4月-2017年3月	Biological Pharmaceutical and Bulletin編集長/日本薬学会学術誌編集委員
2017年4月~	日本薬学会学術誌編集委員長
2013年4月~	日本薬剤学会 代議員
2013年4月~	日本薬物動態学会 代議員

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧				
	教育のより	ひ研究活動の果剤 I	i一見	
大学名 富山大学	講座名 応用薬理学	職名 教授	氏名	久米 利明
I 教育活動		1	T	
	上の主な業績	年 月 日	概要	
1 教育内容・方法の工夫		H30年4月~現	基礎薬理学Ⅰ、基礎薬理学Ⅱ、他3件 30年4月~現	
(授業評価等を含む)		在	独目の講義資料を作用によって、学習理	製・配布し、教科書との併 9解の促進を図った。
2 作成した教科書、教材、参考書			なし	
3 教育方法・教育9	民践に関する発表、講演等		なし	
4 その他教育活動上特記すべき事項		H30年6月~現在	京都大学 薬学部 非常勤講師	
(FDを含む)			薬理学2、薬理学3	担当
Ⅱ 研究活動			L	
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
(著書)Nicotinic Ace Signaling: Roles in N		共著	平成30年4月	Springer社、Nicotinic Acetylcholine Receptor signaling in Neuroprotection
		共著	平成29年7月	J Alzheimers Dis. Vol.59 no.1, 313-328.
(論文)Integrin α 5 μ dopaminergic neurons dopaminergic neurite neurons.	is involved in	共著	平成29年2月	Sci Rep. vol.7, 42111.
	pamine is involved in the duced dopaminergic cell	共著	平成26年6月	Toxicol Sci. Vol. 139, no. 2, 466-78.
neurite outgrowth thr	induces dopaminergic ough AMP-activated ian target of rapamycin	共著	平成26年2月	Neuropharmacology. Vol.77, 39-48.
2. 学会発表(評価対象	(全度のみ)		発表年・月	学会名
(演題名)ゼブラフィッ ルの作出	y シュへの低酸素負荷による新	f規脳虚血モデ	平成30年6月	第133回日本薬理学会近畿 部会
	含まれるNrf2 - ARE経路活性(A細胞死に対する作用の検討	と物質の単離・	平成30年6月	日本ケミカルバイオロジー 学会 第13回年会
acid metabolites on B	(演題名) Inhibitory effect of the gut microbial acid metabolites on BV-2 microglial cell activat		平成30年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology
identified from a che induced dopaminergic		dopamine-	平成30年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology
	an Nrf2-ARE activator isol on ear swelling in a mouse I.		平成30年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology
	armacological validity of model using zebrafish.	brain	平成30年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology

(演題名)光ストレスと生体内抗酷	俊化機構賦活による生体防御	平成30年8月	第36回日本美容皮膚科学会 総会・学術集会		
(演題名) Prophylactic repetiti attenuates oxaliplatin-induced the inhibition of spinal astroc	mechanical allodynia through	平成30年9月	The Third International Symposium on Toyama- Asia-Africa pharmaceutical Network		
(演題名) Repetitive administra the development of the rash att herpetic neuralgia through the neurons in herpetic murine mode	平成30年9月	The Third International Symposium on Toyama- Asia-Africa pharmaceutical Network			
(演題名)低酸素による脳梗塞ー車 用いた薬効評価	事灌流モデルゼブラフィッシュを 	平成30年9月	第69回日本薬理学会北部会		
(演題名)ゼブラフィッシュ稚魚の 欠損症モデルの作出とその病態解析		平成30年11月	第4回ゼブラフィッシュ・ メダカ創薬研究会		
(演題名)ミクログリアにおけるN の抗炎症作用	rf2-ARE経路活性化物質TPNA10168	平成30年11月	第134回日本薬理学会近畿 部会		
(演題名)Oxaliplatin誘発末梢神 るaucubinの効果	経障害性機械的allodyniaに対す	平成30年12月	痛み研究会2018		
(演題名)帯状疱疹関連痛に対する 序の解明	Smethylcobalaminの効果と作用機	平成30年12月	痛み研究会2018		
Ⅲ 学会および社会における主な流					
平成16年4月~現在	日本薬理学会 学術評議員				
平成21年5月~平成29年3月	日本薬理学会 次世代の会				
平成21年9月~平成28年3月	日本薬学会 医療薬科学部会 若	手世話人			
平成22年4月~平成29年3月	日本薬学会 薬理系薬学部会 若	手世話人			
平成22年10月	「次世代を担う創薬・医療薬理シ	ンポジウム2010」主			
平成24年3月	第85回日本薬理学会年会 事務局	長			
平成27年4月~現在	薬剤師試験委員(第101-104回)				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧				
大学名 富山大学 講座名 葬	 葵化学	職名 教授	氏名 井上 将彦	
┃ ┃Ⅰ 教育活動				
 教育実践上の主な業	 績	年 月 日	A A	 既 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		2001 - 4~	講義は常に双方向の 問を繰り返して進め	対話を心がけ、学生への質 ている。
2 作成した教科書、教材、参考	書	2001 - 4~		分子機能)においては、校 に無料で学生全員に配布し
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			なし	
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)				総合研究所合同FDに毎年出 ける創意工夫等の知見を深
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
(論文) Observation of Circularly Polarized Luminescence of the Excimer from two Perylene Cores in the Form of [4]Rotaxane		共著	2018	Chem. Eur. J. 24, 14613- 14616.
(論文) Spontaneous Helix Formation of "meta"- Ethynylphenol Oligomers by Sequential Intramolecular Hydrogen-Bonding Inside the Cavities		共著	2018	J. Org. Chem. 83, 8724- 8730.
(論文) Nonplanar Macrocycle Consisting of Four Pyridine and Phenol Units Connected with Acetylene Bonds Displaying Preferential Binding to Maltoside over Monosaccharides		共著	2018	J. Org. Chem. 83, 5766- 5770.
(論文) Metathesis-Based Staplin Pyridine-Acetylene-Phenol Oligon Alkenyl Side Chains after Intern Templation by Native Saccharides	ners Having nolecular	共著	2018	Eur. J. Org. Chem. 3131- 3138.
(論文) A Bis(phenylethynyl)pyrene-Based [3]Rotaxane as an Extremely Photostable Fluorescence Probe Suitable for Hard-Edged Irradiation Experiments		共著	2018	ChemPhotoChem, 2, 353-356.
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名
(演題名)アセチレン一遷移金属錯体の研究から始ま学とケミカルバイオロジー		った超分子化	2018 - 11	日本薬学会北陸支部第13 0回例会
(演題名) ピリジンーアニリン交互 然糖の固液抽出	型オリゴマーによ	る選択的な天	2018 - 11	日本薬学会北陸支部第13 0回例会
Ⅲ 学会および社会における主な活	動		•	
平成30年11月~平成30年11月	第14回国際有機化	:学京都会議(IKC	0C-14)組織委員	
平成23年9月~	とやま医薬工連携	ネットワーク運	営委員会 委員	
平成29年8月~平成30年7月	(独)日本学術振	興会特別研究員	等審査会 専門委員	
平成24年8月~平成25年7月	(独)日本学術振	 與会特別研究員	等審査会 専門委員	

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「 \square 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。

※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育お	よび研究活動の業	績一覧		
大学名 富山大学 講座名 分子細胞機能学	職名 教授	氏名 宗 孝紀		
I 教育活動	•			
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫	平成29年10月1日	講義はパワーポイン	トを用いて行い、スライドの	
(授業評価等を含む)	~	内容は学生に印刷物として配布している。		
2 作成した教科書、教材、参考書	平成30年2月5日	薬系免疫学 改訂第		
		6章 多様性獲得機構		
 3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		15章3 免疫寛容 p252-260 なし		
0 秋月月/A 秋月天成に関する元衣、時次寸		74 C		
4 その他教育活動上特記すべき事項	平成30年8月4日	平成30年度富山大学	薬学部・大学院医学薬学教育部	
(FDを含む)		薬学系部会FDに参加した。		
1	単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌 (巻・	
(論文) Homeostatic proliferation of naive	共著の別	年月(西暦でも可)	号数)等の名称	
CD4+ T cells in mesenteric lymph nodes generates gut-tropic Th17 cells.	共著	平成25年6月	J Immunol 190:5788-5798.	
(論文) The adaptor TRAF5 limits the differentiation of inflammatory CD4(+) T cells by antagonizing signaling via the receptor for	共著	平成26年5月	Nat Immunol 15:449-456.	
IL-6.				
(論文) Relationship between the magnitude of IgE production in mice and conformational stability of the house dust mite allergen, Der p 2.	共著	平成28年10月	Biochim Biophys Acta 1860:2279-2284.	
(論文) GITR signal in ILC2s controls allergic lung inflammation.	共著	平成30年5月	J Allergy Clin Immunol, 141: 1939-1943.	
(論文) TRAF2 and TRAF5 associated with the signal transducing receptor gp130 limit IL-6-driven transphosphorylation of JAK1 through the inhibition of proximal JAK-JAK interaction.	共著	平成30年6月	Int Immunol, 30: 291-299.	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名	
(演題名) メタノール資化性酵母を用いたリソソー」 LMBD1 の発現と機能解析	ム膜タンパク質	平成30年11月	日本薬学会北陸支部 第130回 例会	
(演題名)ペルオキシソーム機能と細胞内コレステリ性	コール代謝の関連	平成30年11月	日本薬学会北陸支部 第131回 例会	
(演題名) ピレン修飾脂肪酸を用いた新規ペルオキ:酸化活性及び脂肪酸合成活性の測定法	 ンソーム脂肪酸 <i>β</i>	平成30年11月	日本薬学会北陸支部 第132回 例会	
(演題名)T 細胞のシグナル伝達を制御するTNF 受容 互作用解析	容体とTRAF の相	平成30年11月	日本薬学会北陸支部 第133回 例会	
(演題名) GITR co-signaling controls group 2 in cells through IL-9 induction in allergic lung i		平成30年12月	第47回日本免疫学会学術集会	
(演題名) Functional regulation of plasmacytoic cells by TNF receptor associated factor 5	dendritic	平成30年12月	第47回日本免疫学会学術集会	
(演題名)TNF receptor associated factor 5 cont M-mediated lung inflammation	rols oncostatin	平成30年12月	第47回日本免疫学会学術集会	

(演題名) TRAF5 maintains the e nonhematopoietic cells and exac		平成30年12月	第47回日本免疫学会学術集会	
Ⅲ 学会および社会における主な活動				
平成23年~	日本免疫学会会員			
平成29年~	日本薬学会会員			
平成30年~	日本薬学会北陸支部幹事			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「皿 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

	教育および研究活動の業績一覧					
大学名 富山大学 講座名	薬用生物資源学	職名 教授	氏名 黒崎文也			
I 教育活動		1				
教育実践上	の主な業績	年 月 日	概			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評	価等を含む)	2018年10月		画の結果を受けての改善 業内容・方法へのフィー		
		2018年10月	講義の区切りごとし の解説を行い、小・	こ重要事項再確認のため テストを実施		
2 作成した教科書、教材、参	考書	2018年4月 2018年10月	源学」及び「生薬学	[門英語II」「天然医薬資 学実習」の教材として、 要事項要約資料・解説用 作成		
3 教育方法・教育実践に関す	る発表、講演等		なし			
4 その他教育活動上特記すべ	2018年8月	薬学部主催のFD研	修会に参加			
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称		
(論文)A novel class of plant type III polyketide synthase involved in orsellinic acid biosynthesis from <i>Rhododendron dauricumha</i> .		共著	2016年9月	Front. Plant Sci. 7, 1452.		
(論文) Elucidation of terpenoid metabolism in <i>Scoparia</i> dulcis by RNA-seq analysis.		共著	2017年3月	Scientific Rep. 7, 43311		
(論文) Combinatorial biosynthesis of (+)-daurichromenic acid and its halogenated analogue.		共著	2017年5月	<i>Organic Lett</i> . 19, 3183 -3186.		
(論文) Identification and characterization of daurichromenic acid synthase active in anti-HIV biosynthesis.		共著	2017年8月	<i>Plant Physiol</i> . 174, 2213-2230.		
(論文) A novel aromatic farnes the biosynthetic pathway of da		共著	2018年10月	<i>Plant Physiol</i> . 178, 535-551.		
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名		
(演題名)薬用植物ヒキオコシ由来	ジテルペン生合成酵素の解明		2018年9月	日本生薬学会第65回年会		
(演題名) 生理活性植物メロテルペ	ノイド生合成酵素の大量発現系の	確立	確立 2018年9月 日本生薬学会第6			
(演題名)Identification of enzynthe medical plant Isodon japon		synthesis in	ynthesis in 2018年9月 3rd TAA-Pharm Symposium			
(演題名)オオケビラゴケが生産す	合成研究 2018年11月 日本薬学会北陸支部例 会					
Ⅲ 学会および社会における主な	活動					
2016年4月~	Associate Editor of Fronti	iers in Plant	Science			
2017年4月~	一般社団法人 日本生薬学会詞	平議員				
2018年4月、10月	富山大学公開講座 講師					
2018年6月、9月	漢方薬・生薬認定薬剤師研修	会 試験実施責	近任者、同 薬用植物	園実習 講師		
2018年8月	教員免許状更新講習 講師					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。

- 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
- 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧				
大学名 富山大学 講座名	 分子合成化学	職名 教授	氏名 矢倉降之	
I 教育活動		12.12		
- パーパロップ 教育実践上の主な業	 績	年 月 日	1 4	既 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価	5等を含む)		義までの内容の復習 導入を容易にしてい ち、2回程度を演習	トテストをおこない、前回講 でおこない、講義内容への いる。また、15回講義のう 時間にあて、問題の解説をお 理解を促している。
2 作成した教科書、教材、参考	書		なし	
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等		なし	
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)		平成25年度~	に、平成27年度から	のには毎回出席するととも はグループ討論の進行役を 動の向上に積極的かつ先導
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文) A 2-iodobenzamide catalyst for oxidation of alcohols at room temperature		共著	平成26年4月	Asian J Org Chem. 3(4): 421-4.
(著書) Stereoselective total synthesis of myriocin using Rh(II)-catalyzed C-H amination followed by alkylation		共著	平成27年11月	Asian J Org Chem. 4(11): 1246-9.
(論文) Recyclable magnetic nanoparticle- supported iodoarene catalysts for oxidation of 4-alkoxyphenols to quinones		共著	平成28年4月	Asian J Org Chem. 5(4): 486-9.
(論文) Total synthesis of myriocin and mycestericin D employing Rh(II)-catalyzed C-H amination followed by stereoselective alkylation		共著	平成29年2月	Tetrahedron. 73(7): 868-78.
(論文) [4-lodo-3-(isopropylcarbamoyl)phenoxy]-acetic acid as a highly reactive and easily separable catalyst for the oxidative cleavage of tetrahydrofuran-2-methanols to γ -lactones		共著	平成30年10月	Synlett. 29(17): 2316-20.
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名
(演題名)オキサチアジナンN, 0−ケ 化:スフィンゴフンギンFの合成研		的アルキル	平成30年9月	第48回複素環化学討論会
(演題名)アミノアルコール類合成 ケタールの立体選択的還元反応の開		アジナンN, 0-	平成30年11月	第44回反応と合成の進歩シンポジウム
Ⅲ 学会および社会における主な活	·····································			
平成27年10月	平成27年度有機合 表	↑成化学北陸セミ	ナー(有機合成化学	協会関西支部主催)世話人代
平成29年4月~平成31年3月	公益財団法人日本	薬学会北陸支部	幹事	
平成29年4月~2020年3月	公益財団法人日本	薬学会 代議員		
平成29年4月~平成30年3月	平成29年度公益財	 団法人日本薬学	会学会賞第1次選考委	秦 員
平成29年11月	第43回反応と合成 長	ての進歩シンポジ	ウム(日本薬学会化	学系薬学部会主催)実行委員

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

	教育およ	び研究活動の業績	績一覧	
大学名 富山大学	講座名 薬物生理学	職名 教授	氏名 酒井 秀紀	
I 教育活動			•	
教育実践	上の主な業績	年 月 日	相	既 要
1 教育内容・方法の	O工夫 (授業評価等を含む)	平成25年度~ 平成30年度	を示すことができる を組み合わせて講義 ・担当の科目に対す	業に、より深い興味と理解よう、板書、PPT、プリントを行っている。 る学生の授業評価の内容を 業の方策等に活かしてい
2 作成した教科書、	教材、参考書	平成26年3月	康一郎監修、東京:	学 第8版. 小澤瀞司, 福田 医学書院;2014. 第56章 第57章 胃;p816-28.
		平成26年1月	監訳. 東京: 丸善出	生理学 原著24版. 岡田泰伸版; 2014. 25章 消化器のの全体像, 26章 消化と吸基礎; p522-68.
		平成28年	potassium (H+/K+)	Takeguchi N. Proton- ATPases: Properties and nd diseases. Met Ions Life D-83.
		平成28年8月	田公美, 辻勉, 秋葉 2016 Aug. 1消化器	病態生理」改訂第4版. 市 聡編集. 東京:南江堂; 疾患 A. 消化器系; p. 49- 消化管の悪性腫瘍; p. 435-
		平成29年8月	第2版. 佐久間康夫盟	解 よくわかる生理学の基礎 監訳. 東京:メディカル・サ ナショナル;2017. 第10章 238-79.
		平成29年11月	監修. 東京: 丸善出	生理学 原著25版. 岡田泰伸 版;2017. 25章 消化器のは 全体像, 26章 消化と吸収、 ;p542-89
3 教育方法・教育実	践に関する発表、講演等	平成28年8月	来に貢献するために ノーベル化学賞受賞 都の未来を語る会;	礎となり、富山の明るい未 教育機関がすべきこと」. 者田中耕一先生とともに薬 2016年8月19日;富山.
4 その他教育活動上	特記すべき事項 (FDを含む)	平成25年度~ 平成30年度)に毎回出席し,教育に関す 得するとともに,様々な諸 ている.
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称	7	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文) Gating modulat polycystin transient r channel PKD2L1 (TRPP3) Fujii T, Nilius B, Sak	receptor potential . Higuchi T, Shimizu T,	共著	平成26年10月	Pflugers Arch. 2014 Oct;466(10):1933-40.
4-(2-butyl-6,7-dichlor on-5-yl)oxybutyric aci of volume-regulated ar Takahashi Y, Takeshima Takeguchi N, Sakai H.	a H, Saitoh C, Shimizu T,	共著	平成27年10月	Eur J Pharmacol. 2015 Oct 15;765:34-41.
		共著	平成28年6月	Biochim Biophys Acta. 2016 Jun;1858(6):1228- 35.

(論文) The asparagine 533 resion outer pore loop region of the mochannel is essential for its voinactivation. Shimizu T, Higuch Ohno C, Fujii T, Nilius B, Saka	ouse PKD2L1 tage-dependent i T, Toba T,	平成29年8月	FEBS Open Bio. 2017 Aug; 7(9): 1392-1401.		
(論文) Crosstalk between Na ⁺ ,K ⁺ volume-regulated anion channel microdomains of human cancer ce Shimizu T, Yamamoto S, Funayama Tabuchi Y, Ikari A, Takeshima H	平成30年11月	Biochim Biophys Acta Mol Basis Dis. 2018 Nov;1864(11):3792-3804.			
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名	
(演題名)強心配糖体による肝ガンターのトラフィッキング制御	/細胞のグルコー/	ストランスポー	平成30年5月	日本膜学会第40年会	
(演題名)Inhibition of prostag by dihydropyrazole derivatives		d Cl ⁻ secretion	平成31年3月	第9回アジア・オセアニア 生理学会連合大会・ FAOPS2019	
(演題名)がん細胞特異的なNa, K- チャネルの機能連関	ATPaseと細胞容積	感受性アニオン	平成31年3月	第92回日本薬理学会年会	
(演題名)癌細胞特異的な低濃度強	は心配糖体の作用		平成31年3月	日本薬学会第139年会	
Ⅲ 学会および社会における主な流	5動				
平成26年6月1日~現在	公益財団法人田村	科学技術振興財	団 評議員		
平成27年6月1日~現在	NPO法人とやま医	薬・健康情報ライ	イブラリーネットワーク 理事長		
平成27年11月13-14日	第62回中部日本生	理学会を主催			
平成30年3月29日~現在	日本生理学会 理				
平成30年4月1日~現在	フォーラム富山	創薬」 理事			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧								
		T	1					
大学名 富山大学	講座名 医療薬学	職名 教授	氏名	藤秀人				
I 教育活動		1						
教育実践.	上の主な業績	年 月 日		既 要				
1 教育内容・方法の	工夫 (授業評価等を含む)	平成27年7月~		保険薬局を開設したのち、薬 S学教員とともに、薬局実務 こいる。				
2 作成した教科書、	教材、参考書		事前学習に用いる9 用している。	ミ習書を作成し、実習時に使				
3 教育方法・教育実	践に関する発表、講演等		なし					
4 その他教育活動上	特記すべき事項 (FDを含む)		薬学部で開催するF ついて議論している	Dに毎回参加し、諸問題等に 5。				
Ⅱ 研究活動		•						
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称				
Administering xCT inhi circadian clock improv		共著	平成29年12月	Cancer Res. 77: 6603- 6613.				
Daily oral administrat methotrexate has great in collagen-induced ar	er antirheumatic effects	共著	平成29年9月 J. Pharm. Pharmacol. 69:1145-1154					
Influence of dosing ti peripheral neuropathy	mes on cisplatin-induced in rats.	共著	平成28年9月 BMC Cancer 16:756					
Circadian Clock in a M Regulates Intracellula Tumor Progression	ouse Colon Tumor r Iron Levels to Promote	共著	平成28年5月	J. Biol. Chem. 291: 7017-28				
変形性関節症、関節リウ 昭夫編	マチ. 「時間治療学」藤村	単著	平成26年3月	日本医事新報社 pp82-90				
2. 学会発表(評価対象	年度のみ)		発表年・月	学会名				
Chemotherapy with cons oxaliplatin- induced p	ideration to biological r eripheral neuropathy	hythm reduce	平成30年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)				
Ⅲ 学会および社会における主な活動								
平成20年12月~	日本臨床薬理学会	日本臨床薬理学会 評議員						
平成25年4月~	富山県薬剤師会	富山県薬剤師会 理事						
平成25年8月~	日本時間生物学会	日本時間生物学会 評議員						
平成26年~	日本TDM学会評議	日本TDM学会評議員						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 富山大学 講座名	病態制御薬理学	職名	教授	氏名	笹岡 利安			
I 教育活動		•						
教育実践上の主な業	績	年	月日	1	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価	5等を含む)			特記事項なし				
2 作成した教科書、教材、参考	書		7/4/17 8/5/20	日本薬学会編 医療薬 糖尿病療養指導ガイ	学III. 薬理・病態・薬物治療(3) イドブック2018			
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等			特記事項なし				
4 その他教育活動上特記すべき	 ·事項	20	16/8/6	平成28年度薬学部・大学	学院医学薬学教育部薬学系部会 F D			
	(FDを含む)	201	7/7/29	平成29年度薬学部・大学	学院医学薬学教育部薬学系部会 F D			
		20	18/8/4	平成30年度薬学部・大学	学院医学薬学教育部薬学系部会 F D			
Ⅱ 研究活動								
1. 著書・論文等の名称			≦著・ 著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称			
(論文) Hypothalamic orexin previnsulin resistance via daily bid regulation of autonomic nervous	:	共著	2015年2月	Diabetes 64:459-70				
(論文) Sleep Control, GPCRs, an Metabolism	nd Glucose		共著	2016年9月	Trends Endocrinol Metab 27:633-642			
(論文) Timed Inhibition of Ores Suvorexant Improved Sleep and G Metabolism in Type 2 Diabetic db	ucose		共著	2016年11月	Endocrinology 157:4146- 4157			
(論文) PDGFRβ Regulates Adipos Expansion and Glucose Metabolism Remodeling in Diet-Induced Obes	n via Vascular		共著	2017年4月	Diabetes 66:1008-1021			
(論文) Chronopathophysiologica of orexin in sleep disturbances related disorders			共著	2018年6月	Pharmacol Ther 186:25-44			
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				発表年・月	学会名			
(演題名)NASH病態における脂肪肥	大化と慢性炎症の	の役割		2018年3月	日本薬学会 第138年会			
(演題名)オレキシンによる睡眠・	覚醒と糖代謝調質		2018年5月 第61回日本糖尿病学会年 学術集会					
Ⅲ 学会および社会における主な活	 動							
平成 9年12月~現在 日本糖尿病学会 評議員、糖尿病専門医、糖尿病指導医								
平成16年 4月~現在	平成16年 4月~現在 日本内分泌学会 評議員、内分泌代謝専門医、内分泌代謝指導医							
平成11年12月~現在								
		 平議員						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

	教育および研究活動の業績一覧								
大学名 富山大学 講座名 医薬品安全性学 職名 教芸					氏名	橋本征也			
I 教育活動									
教育実践_	上の主な業	績	年	月日		₩ N	既 要		
1 教育内容・方法の	工夫								
	(授業評	画等を含む)	平成2	5年4月~			した「薬物動態学」におい _{倹問題を用いた演習を導入し}		
			平成2	9年4月~			した「専門英語I」におい た文献検索の実習を導入し		
2 作成した教科書、	教材、参	考書			該当な	ן הי			
 3 教育方法・教育実	2践に関す	 る発表 講演等			以二"				
	(LLX) C (X) 7	0九致、 研及可			該当な	なし			
4 その他教育活動上	:特記すべ	き事項							
		(FDを含む)			該当な	よし			
Ⅱ 研究活動	II 研究活動								
1. 著書・論文等の名称	7			≦著・ 著の別		または発表の (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称		
H+/lipophilic cation a	(論文) Functional characteristics of a renal H+/lipophilic cation antiport system in porcine LLC-PK1 cells and rats.			共著	平成3	平成30年2月 Drug Metab. Pharmacok Vol.33 No. 2			
(論文) The true distr bioavailability of miz with chronic kidney di	oribine i		:	共著	平成2	平成29年10月 Clin. Exp. Nephrol. V 21 No. 5			
(論文) Presence of ar system in Madin-Darby				共著	平成2	Eur. J. Drug Metab. 平成28年12月 Pharmacokin. Vol. 41			
(論文) Importance of lipophilicity and polar surface area of compounds on the transport activity of intestinal H+/tertiary amine antiporter.			:	共著			Jap. J. Pharm. Health Care Sci. Vol. 44. No. 4		
(論文) Variability of bioavailability and intestinal absorption mechanisms of metoprolol.				共著	平成2	平成26年9月 Drug Metab. Pharma Vol. 29 No. 2			
2. 学会発表(評価対象	年度のみ)			勇	きま年・月	学会名		
(演題名)	(演題名) 該当なし								
□ 学会および社会における主な活動									
平成9年11月~ 日本薬物動態学会評議員									
平成25年4月~ 富山県立中央病院治験審査委員会委員									

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 富山大学	講座名	薬物治療学	職名 教授	氏名 新田 洱	享美			
I 教育活動								
教育実践	上の主な第	美績	年 月 日		概要			
1 病院薬学(4年次	· 必修科目 薬剤師1E 臨床前実	体験	平成30年4月~	に学ぶ前に、病院薬	が薬剤師の視点での医療を本学的 薬剤師1日体験をし、事前学習や ベーション向上をはかった。			
2 作成した教科書、 「臨床薬学テキストシリ 『神経・筋/精神/麻酔	ーズ」第		平成31年3月 (発刊予定)	薬物乱用、薬物依	存の解説を行った。			
3 教育方法・教育実	践に関する	る発表、講演等		なし				
4 その他教育活動上 平成28年度FD講師	特記すべる	き事項 (FDを含む)	平成28年9月	改訂コアカリでの 変更点について解	実務実習についての 説を行った			
Ⅱ 研究活動								
1. 著書・論文等の名称	i		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)				
(著書) Shati/Nat8I and N-acetylaspartate (NAA) have important roles in regulating nicotinic acetylcholine receptors in neuronal and psychiatric diseases in animal models and humans			共著	平成30年3月	IN "Nicotinic Acetylcholine Receptor Signaling in Neuroprotection" Ed by Akaike A, Springer Nature;			
(論文) Behavioral imp knockout mice via dysf developmen			共著	平成29年11月	Sci Rep, 7; 16872.			
(論文) nvolvement of the accumbal osteopontin-interacting transmembrane protein 168 in methamphetamine-induced place preference and hyperlocomotion in mice			共著	平成29年10月	Sci Rep, 7; 13084.			
(論文) Pseudoginsenos methamphetamine-induce regulating dopaminergi in the nucleus accumbe	ed behavio c and GAE	ors by	共著	平成28年12月	Psychopharmacology (Berl). 233: 831-840			
(論文) The piccolo intronic single nucleotide polymorphism rs13438494 regulates dopamine and serotonin uptake and shows associations with dependence-like behavior in genomic association study			共著	平成27年3月	Curr Mol Med. 15(3):265- 274.			
2. 学会発表(評価対象	年度のみ)			発表年・月	学会名			
(演題名) SHATI/NAT8L2 る社会性能力の低下	欠損マウス	における脳ミエリ	ン形成遅延によ	平成30年6月	第133回日本薬理学会近畿 部会			
(演題名) Attenuation of the formation of CPP by methamphetamine in Shati/Nat8 overexpressed mice in the prefrontal cortex.				平成30年6月	CINP31st World Congress (CINP Vienne: 国際神経精 神薬理学会)			
(演題名)Sexual diffe by deletion of Shati/N		cognitive impai	rment induced	平成30年6月	CINP31st World Congress (CINP Vienne: 国際神経精 神薬理学会)			
(演題名)Behavioral i development in the pre mice				平成30年6月	CINP31st World Congress (CINP Vienne: 国際神経精 神薬理学会)			

(演題名) Attenuation pharmacological effects of methamphetamine by Piccolo knockdown in the nucleus accombens in mice	平成30年6月	CINP31st World Congress (CINP Vienne: 国際神経精 神薬理学会)
(演題名) Inhibitory effects of accumbal transmembrane protein 168 (TMEM168) on methamphetamine-induced place	平成30年7月	WCP2018(国際薬理学会)
(演題名) Cognitive dysfunction induced by the deletion of NAA synthase Shati/NatSI in mice	平成30年7月	WCP2018(国際薬理学会)
(演題名) Inhibitory effects of Shati/Nat81 overexpression in the medial prefrontal cortex on the methamphetamine induced- CPP in mice	平成30年7月	WCP2018(国際薬理学会)
(演題名)Inhibitory effect of knockdown Piccolo on methamphetamine-induced behavioral changes via dopamine/GABA release in the nucleus accumbens of mice	平成30年7月	WCP2018(国際薬理学会)
(演題名) Behavioral impairment associated with dysfunction of myelination by Shati/Nat8L deficit in mice	平成30年7月	WCP2018(国際薬理学会)
(演題名)Vulnerability of social defeats in the overexpressed striatal SHATI/NATSL in mice	平成30年7月	WCP2018(国際薬理学会)
(演題名) Behavioral and neurochemical analyses in the Piccolo knockdown mice as a new animal model for schizophrenia	平成30年7月	WCP2018(国際薬理学会)
(演題名)AAVベクターによるTMEMの過剰発現は薬物依存関連行動と不安作用を変化させる; Effects of overexpression of TMEM-induced by AAV on the behavioral changes of the drug dependence and anxiety	平成30年7月	第24回日本遺伝子細胞治 療学会学術集会 (The 24th Annual Meeting of Japan Societh of Gene and Cell Therapy)
(演題名) Requirement of postmortem brain research in the psycopharmacological study of a novel molecule, Piccolo	平成30年9月	第40回日本生物学的精神医学会・第61回日本神経化学会大会合同年会 2018KOBE
(演題名) Attenuation of methamphetamine-induced CPP by Shati/Nat8 overexpression in medial prefrontal cortex of mice	平成30年9月	The Third International Symposium on Toyama- Asia-Africa Pharmaceutical Network
(演題名) Piccolo knockdown in the prefrontal cortex induced schizophrenia-like phenotypes by impairment of neuronal network	平成30年9月	The Third International Symposium on Toyama- Asia-Africa Pharmaceutical Network
(演題名)プレシナプス性細胞基質タンパク質Piccoloに着目した新 規総合失調症モデル動物の開発	平成30年9月	第69回日本薬理学会北部会
(演題名)マウスへのメタンフェタミン連続投与で側坐核で発現量が増加するShati/Nat81、PiccoloおよびTMEM168の薬物依存への影響および精神疾患との関連	平成30年11月	第28回日本臨床精神神経薬 理学会·第48回日本神経精 神薬理学会 合同年会
(演題名) 前頭前皮質Piccolo発現抑制マウスにおける統合失調症モデル動物開発に向けての行動薬理学及び神経化学的解析	平成30年11月	日本薬学北陸支部 第130 回例会
(演題名) 前頭前皮質 Piccolo 発現抑制による統合失調症モデルマウスにおける光遺伝学・マイクロダイアリシス法を用いた神経回路解明	平成30年12月	第 29 回 マイクロダイア リシス研究会
(演題名)薬物依存関連遺伝子Shati/Nat81、Piccolo および TMEM168の生理機能および薬物依存治療薬標的としての有用性	平成31年3月	第92回薬理学会総会
(演題名) Increased DNA methylation of SHATI/NAT8L promotor sites in the blood from unmedicated patients with depression	平成31年3月	第92回薬理学会総会

(演題名) Piccolo knockdown in cognitive dysfunction in the ne	the perirhinal cortex induces w schizophrenia mice マウス鳴						
間皮質におけるプレシナプスタン/ 知機能障害を引き起こす		平成31年3月	第92回薬理学会総会				
(演題名)The title of the abst "Methamphetamine-induced CPP in Shati/Nat8l in the medial prefro	hibition by overexpression of	平成31年3月	第92回薬理学会総会				
(演題名)マウス線条体のShati/Na 示す	at8 はうつ様症状発症に脆弱性を	平成31年3月	日本薬学会第139年会				
Ⅲ 学会および社会における主な活	 5動						
平成23年4月~平成26年3月	大学設置・学校大学法人審議会専	門委員・文部科学省					
平成23年4月~平成25年3月	薬学教育員会委員 ・公益社団法	人日本薬学会					
平成23年7月~平成28年6月	地域特別編集委員・日本病院薬剤	師会					
平成23年11月~平成24年11月	科学研究費委員会専門委員・独立	 行政法人日本学術振	興会				
平成24年5月~平成25年3月	未病予防システム研究会委員・	財団法人富山県新世	紀産業機構				
平成24年7月~平成28年6月	財務委員会委員・薬学共用試験セ	ンター					
平成24年7月~平成27年6月	認定薬剤師制度認定薬剤師試験問	題小委員会委員・一	般社団法人日本医療薬学会				
平成24年12月~平成25年11月	科学研究費委員会専門委員(基礎	研究等)・独立行政	法人日本学術振興会				
平成25年7月	薬物乱用防止のための講演会・富山県立福岡高校						
平成25年7月	薬物乱用防止のための講演会・富山県立富山東高校						
平成25年8月	薬物乱用防止のための講演会・北陸三県学校保健研究協議会						
平成26年6月~平成29年10月	奨励賞等選考委員・日本神経化学会						
平成26年7月	薬物乱用防止のための講演会・富山県立富山東高校						
平成26年10月	平成26年度 北陸4大学連携まちなかセミナー主催						
平成26年10月~平成30年9月	日本神経精神薬理学会理事(平成	28年10月~30年9月	国際学術委員会委員長)				
平成26年12月~平成27年11月	科学研究費委員会専門委員・独立	行政法人日本学術振	興会				
平成27年4月~平成30年3月	試験委員・厚生労働省医薬・生活	衛生局・薬剤師国家	試験				
平成27年12月~平成28年11月	科学研究費委員会専門委員 · 独	立行政法人日本学術	振興会				
平成27年4月~平成31年3月	北陸調整機構支部長・一般社団法	人薬学教育協議会					
平成27年4月~平成31年3月	一般社団法人薬学教育協議会薬学	教育調査・研究・評	価・委員会・委員				
平成27年5月~平成28年3月	財務委員会委員・公益財団法人日	本薬理学会					
平成27年10月~	Secretary of Central Officeお。 Neuropsychopharmacology	はびExecutive Commi	ttee · Asian Collage of				
平成28年7月	薬物乱用防止教室講師・富山県立	高岡商業高校					
平成28年8月	富山県薬物乱用防止指導員砺波地	区協議会講師					
平成28年8月	薬物乱用防止教室講師・富山県教	育委員会					
平成29年1月~平成31年3月	理事・日本神経化学会						
平成29年3月	一般市民講座主催および講師 ・富山大学男女参画企画室						
平成28年8月	薬物乱用防止教室講師・富山県厚生部(新川地区)						
平成29年6月	南砺市民大学講師・南砺厚生センター						
平成29年7月							
平成29年7月	薬物乱用防止教室講師・富山県立	高岡商業高校					

平成29年8月~平成31年7月	特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査員 ・独立行政法人日 本学術振興会					
平成30年6月~	常置委員会委員 (編集委員会委員·Journal Pharmacological Science Editor) 日本薬理学会					
平成30年6月~	Council • College of International Neuropsychopharmacology					
平成30年7月	薬物乱用防止教室講師・富山県立高岡商業高校					
平成30年7月	薬物乱用防止教室講師・富山県立高岡南高校					
平成30年7月	薬物乱用防止教室講師・富山県立高岡高校					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

		 教育およ	業績						
	講座名		教授/			足立 伊佐雄			
I 教育活動		的周内的未知的	7人]又/	**************************************			- DETME		
	 育実践上の主な業	5 幺書	年	月日		<u> </u>	既 要		
和 1 教育内容・プ CheckList方式によ	方法の工夫	、小 县				概 要 病院実務実習の達成度をCheckListで評価			
学生による授業評価	学生による授業評価の実施					 医療薬剤学の授業を薬学部の標準的アンケート 表にて学生が評価している			
2 作成した教科	抖書、教材、参え	苦				特になし			
3 教育方法・教	教育実践に関する	5発表、講演等				特になし			
4 その他教育?	舌動上特記すべる	き事項 (FDを含む)				特になし			
Ⅱ 研究活動						•			
1. 著書・論文等の				≦著・ 著の別		発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称		
anhydro-D-glucito regulator in diab	(論文) Protective effects of dietary1,5- anhydro-D-glucitol as a blood glucose regulator in diabetes and metabolic syndrome.			共著		平成25年12月	J. Agric. Food. Chem., 61 (3) 611-617.		
(論文) Synthesis N-(2-fluorophenyl acetamide as a po fucosidases.	$)-2\beta$ -deoxyfuc	onojirimycin	:	共著		平成25年11月 Bioorg. Med. Chem. 21 (21) 6565-6573.			
(論文)Dual acti potential regulat levels.			:	共著		平成28年12月 Tetrahedron Asymm. 2 (22-23) 1177-1185.			
(論文) Strategy rhamnosidase inhi biological evalua isothioureas.	bitors: Synthe	sis and	:	共著		平成29年1月 Bioorg. Med. Chem. 2. (1) 107-115.			
interactions of i active site and e	(論文) In silico analyses of essential interactions of iminosugars with the Hex A active site and evaluation of their pharmacological chaperone effects for Tay-			共著		平成29年11月 Org. Biomol. Chem. (44) 9297-9304.			
2. 学会発表(評価	西対象年度のみ)					発表年・月	学会名		
	(演題名) 小児投与量,吸光度測定法を基本とした薬剤(ター通過性試験(第 2 報)				ル	平成30年6月	医療薬学フォーラム2018/ 第26回クリニカルファーマ シーシンポジウム		
(演題名)Hex A高親和性リガンドの創製とTay-Sachs病I ファーマコロジカルシャペロン効果の検証				_ <u>_</u> _ 対する		平成30年8月	第37回日本糖質学会年会		
Ⅲ 学会および社会	 会における主なス	 5動							
平成27年11月1日~平	成29年11月30日	科研費委員会専門	『委員						
平成19年5月16日~	平成19年5月16日~継続 医薬品安全管理責任者								

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 富山大学	講座名	製剤設計学	客員教授	大貫義則				
I 教育活動			•					
教育実践	上の主な業績	積	年 月 日	村	既要			
1 教育内容・方法の		等を含む)	平成27年10月~現 在	コンテンツの利用な語、専門英語も担当	行っている。講義では動画 どど行っている。他に薬学英 もしている。講義ではグルー ゼンテーションを取り入れ			
				ている。				
2 作成した教科書、	教材、参考	書	平成27年3月		.改訂7版,ネオメディカル 52章III,p253-262)			
3 教育方法・教育実	践に関する	発表、講演等		なし				
4 その他教育活動上	特記すべき	事項 (FDを含む)	平成27年8月8日 平成28年8月6日 平成29年7月29日 平成30年8月4日	FDに参加 FDに参加				
Ⅱ 研究活動								
1. 著書・論文等の名称	i		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称			
医療・医学・薬学におけ	るSOMの応用	1	共著	平成27年7月 海文堂、p168-176				
固体医薬品の物性評価(質			共著	平成30年8月	じほう、p199-213			
Membrane microdomain s and their contribution efficiency into HeLa c	to the ce		共著	平成28年2月 Mol Pharm., vol.13, p369-378.				
A comparative study of of various disintegran self-organizing maps			共著	J. Drug Deliv. Sci. 平成30年2月 Technol., vol.43,p141- 148.				
Nondestructive monitor state of titanium diox concentrated suspension resonance imaging	ide nanopa	rticles in	共著	平成30年10月 Langmuir, vol.34, p12093-12099.				
2. 学会発表(評価対象	年度のみ)			発表年・月 学会名				
時間圧力換算則(TSSP) 性評価	を応用した	エマルション製剤	別の長期保存安定	平成30年5月 日本薬剤学会 第33年会				
MRIの製剤物性評価への応用								
Ⅲ 学会および社会にお	ける主な活	 動						
平成26年4月~平成27年3	平成26年4月~平成27年3月 日本薬剤学会 会誌「薬剤学-生命とくすり-」編集委員							
平成27年4月~現在	月~現在 日本薬剤学会 製剤処方・プロセスの最適化検討フォーカスグループ 委員							
平成29年3月~現在		製剤機械技術学会	· 注 注 注 注 注					
平成30年4月~現在		日本薬学会 学術	· 記編集委員					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

		 教育およ	び研究	2活動	の業績	一覧			
大学名 富山大学	講座名	薬剤学	職名	准教	 授	氏名	久保義行		
 Ⅰ 教育活動									
—————————————————————————————————————	上の主な美	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	年	月	H			概	要
1 教育内容・方法の e-Learningツールの活用			平成27	'年度~	~現在			ポート	評価にMoodle 3を活用
授業評価アンケート調査	Ē		平成25	年度~	~現在		対象とした		価アンケート結果に基
実習におけるPC端末の活	拥		平成25	年度~	~現在	Excel· いて、	-Visual Bas 学部生が薬	icに構 物の体	を毎年検討している。 築したプログラムを用 内動態シミュレーショ エ夫している。
2 作成した教科書、 講義用PPT資料の作成	教材、参	考書	平成29	年度~	~現在		速度論の計算 毎年行って		使用するPPTファイルの
実習用資料の作成			平成25	年度~	∼現在				使用する実習書やレ を毎年行っている。
3 教育方法・教育実 該当なし		る発表、講演等							
4 その他教育活動上 第21回 認定実務実習指 クショップ			平成3	0年4月	1	タスク	フォース要	員とし	て参加した。
高度先導的薬剤師養成フログラム(台湾・台北)		「学生自主学修プ	平成3	0年1月	1				大学付属病院、萬芳病 師教育について学ん
平成29年度 指導薬剤師 リキュラムプランニング クショップ			平成2	9年9月	1	タスク	フォース要	員とし	て参加した。
第4回薬学教育者のた ショップ	めのアド	バンストワーク	平成2	6年11	月	学習成果基盤型教育 (OBE)に基づいた 6 年制 学教育の学習成果と課題について学んだ。			
薬学部FD			平成25	年度~	~現在 薬学部で開催されるFDに毎年出席し、教育 究の向上に資する議論に参加している。				
Ⅱ 研究活動									
1. 著書・論文等の名称	7			単著・ 著の			または発表の (西暦でも可)		発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文) Investigation cyanocobalamin (Vitami the inner blood-retina fluorescence-labeled o	in B ₁₂) tr al barrie	ansport across using		共著		平成30	0年8月		ecular Pharmaceutics, 15, No. 8, 3583- ,
(論文) Recent advance transport across the b				共著		平成30	0年5月	Meta	ert Opinion on Drug ab & Toxicology, vol. No. 5, 513-531
(論文) Retina-to-bloc 4-phenylpyridinium inv process at the blood-r	volves car	rier-mediated		共著		平成2	9年9月		maceutical Research, 106, No. 9, 2583-
(論文) Impact of cat transporter 1 on blood transport of L-ornith	d-retinal ine	barrier		共著		平成2	7年9月	opht Scie	estigative chalmology & visual ence, vol. 56, N o. 5925-5932
(論文) Involvement of transport in the retin at the inner blood-ret	nal uptake	e of clonidine		共著		平成2	6年10月		ecular Pharmaceutics, 11, No. 10, 3747- B
2. 学会発表(評価対象	年度のみ					発	表年・月		学会名

(演題名)外側血液網膜関門におけ	トるputrescine輸送機構の解明	平成30年11月	日本薬学会北陸支部第130 回例会			
(演題名)Study of receptor-mo B ₁₂) transport at the blood-re cyanocobalamin	ediated cyanocobalamin (vitamin tinal barrier with Cy5-labeled		2018 International meeting on22nd MDO and 33rd JSSX			
(演題名)内側血液網膜関門にお 輸送機構の解明	けるcyanocobalamin (vitamin B ₁₂)	平成30年7月	第13回トランスポーター研 究会年会			
(演題名) 内側血液網膜関門におい 性小胞内蓄積の影響	けるカチオン性薬物輸送に及ぼす酸	平成30年6月	日本薬剤学会第33年会			
Ⅲ 学会および社会における主な活	動					
平成29年7月~現在	トランスポーター研究会 世話人					
平成29年7月	第12回トランスポーター研究会年会	会 年会長				
平成29年4月~現在	Editorial advisory board member	of Drug Metabolism	m & Pharmacokinetics			
平成29年1月~現在 Editorial advisory board member of Journal of Pharmaceutical Sciences						
平成26年4月~現在	26年4月~現在 日本薬物動態学会 代議員					
平成26年4月~現在	日本薬剤学会 代議員					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 富山大学 講座名 応用薬理学	職名 准教授	氏名	安東 嗣修			
I 教育活動	•					
教育実践上の主な業績	年 月 日	相	既 要			
1 教育内容・方法の工夫						
(授業評価等を含む) ○薬理学及び薬物治療学への興味向上に向けた講真	義 平成17年4月~現 在	校(非常勤講師)で び「薬物治療学」に 療所での薬剤師・山 常勤薬剤師業務)を 競技・ 医療現場だけ とい でに活用できるとい	, 国本の , 国山市医師会看護専門学及 , 国山市医師会看護専門学及 , 国山で、実務経病院学夏山の , 国際でのの , 田本の , 大いで を実践例 、は、 、は、 、は、 、は、 、は、 、は、 、は、 、は			
○薬理学実習〔薬物の作製から薬効評価〕 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平成19年4月~現 在	において, 「薬学部 価できる唯一の学問 に, 合成化学系の先 学生が実習で合成し 剤学に協力依頼)で ま習システムを 行っている。この実 学生の薬への興味を	当している「薬理学実習」は、薬物の合成から持たをは、薬物の合成が論を生体である」という持論を示したで変理学実習(中でので変したもので変更の合成したものでいる。連携に対したが表し、非常に対したが表し、非常に対したが表したが表したが表したが表したが表したが、表している。			
○授業評価	平成16年4月~現 在	による集計結果と,	毎の最終回に行い,学務課 学生自身の手書きによるコ の改善を行っている。			
2 作成した教科書、教材、参考書 〇独自プリント	平成17年4月~現 在	機序に加え薬物の作	講義に関して、生理現象の 用点の全体像の分かる資料 物治療が学べる資料作りを 活かしている。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし				
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む) 〇薬学部・大学院医学薬学教育部薬学系部会FDへの		NA 2 WILLIAM D & 4 2 120 14	教育カリキュラム,研究倫			
参加	平成26年8月9日 平成28年8月6日 平成29年7月29日 平成30年8月4日	ループ15名程度の教 めを全体会議で発表	などをテーマを決め、1グ 員で構成し、議論し、まと し、報告書にまとめる。こ や学生への対応に加え、 に活かしている。			
〇薬剤師教育に関するセミナーの参加	平成27年10月11 ~12日(大阪)	バンストワークショ	告手薬学教育者のためのアド ップ(第5回薬学教育者のた ークショップ)」に参加			
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称			
(著書)Lipid Mediators and Itch	共著	2014年2月	CRC Press: "Itch: Mechanisms and Treatment"			

(論文) Antipruritic mechanisms of topical E6005, a phosphodiesterase 4 inhibitor: inhibition of responses to proteinase- activated receptor 2 stimulation mediated by increase in intracellular cyclic AMP	6005, a phosphodiesterase 4 inhibitor: shibition of responses to proteinase- stivated receptor 2 stimulation mediated by screase in intracellular cyclic AMP			
(論文) Involvement of mast cells and proteinase-activated receptor 2 in oxaliplatin-induced mechanical allodynia in mice	2016年3月	Pharmacological Research 第105巻		
(論文) Prophylactic topical paeoniflorin prevents mechanical allodynia caused by paclitaxel in mice through adenosine A1 receptors	共著	2017年2月	Phytomedicine 第25巻	
(論文) Involvement of leukotriene B4 released from keratinocytes in itch-associated response induced by interleukin-31 in mice	共著	2017年9月	Acta Dermato- Venereologica 第97巻	
(論文) 他48件				
(総説)6件				
(その他) 2件				
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名	
抗がん薬誘発末梢神経障害と芍薬甘草湯		2018年5月	第65回日本実験動物学会総 会	
皮膚の痒み発症メカニズムについて		2018年6月	ルパフィン学術集会	
The inhibitory mechanisms of methylcobalamin on allodynia in mice infected with herpes simplex		2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology	
A pruritogen 5-HT-induced itching on synaptic t spinal superficial dorsal horn neurons -In vivo recording analyse-	2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology		
アトピー性皮膚炎における皮膚脂質異常代謝物スフィ リルコリンの皮膚炎発症への関与	ィンゴシルホスホ	2018年7月	第69回日本薬理学会北部会	
線維筋痛症モデルラットの脊髄侵害情報伝達機構の変		2018年8月	日本筋学会 第4回学術集会	
不快な異常感覚制御に向けた和漢薬及び活性成分の指 解明並びに臨床利用への展開		2018年9月	第35回和漢医薬学会学術大会	
アトピー性皮膚炎マウスモデルにおける自発的痒み原イト刺激ホルモン		2018年9月	第28回国際痒みシンポジウム	
ラット脊髄における5-HT応答求心性線維の入力を受け ニューロンの形態学的特徴		2018年9月	第28回国際痒みシンポジウム	
α-Melanocyte stimulating hormone is involved i atopic dermatitis	·	2018年9月	27th EADV Congress	
Effective treatment of lichen amyloidosis and rusing a carbon dioxide surgical laser with comp	uterized scanner	2018年9月	27th EADV Congress	
Repetitive administration of methylcobalamin fr development of the rash attenuates the transiti herpetic neuralgia through the recovery of redu neurons in herpetic murine model	on to post	2018年9月	The third international symposium on Toyama- Asia-Africa Pharmaceutical Network	
Prophylactic repetitive administration of aucub oxaliplatin-induced mechanical allodynia throug of spinal astrocyte activation	2018年9月	The third international symposium on Toyama- Asia-Africa Pharmaceutical Network		
セカカゴケグモ(2)毒性試験	2018年10月	第73回日本衛生動物学会西 日本支部大会		
Characteristics of primary afferent nerve fiber the epidermis in dry skin with itch	2018年11月	The 48th Annual Meeting of the Society for Neuroscience		
Electrophysiological and behavioral analysis of of atopic dermatitis	2018年11月	The 48th Annual Meeting of the Society for Neuroscience		
線維筋痛症モデルラットの脊髄におけるシナプス情報		2018年11月	第6回若手による骨格筋細 胞研究会	
帯状疱疹痛期からのmethylcobalamin の連続投与によ 状疱疹後神経痛は予防できる	いり, 難治性の帯	2018年11月	日本薬学会北陸支部 第130 回例会	

黄連解毒湯のアトピー性皮膚炎に対	対する掻痒抑制効果の検討	2018年11月	第48回日本皮膚免疫アレル ギー学会総会学術大会		
帯状疱疹関連痛に対するmethylcob	alaminの効果と作用機序の解明	2018年12月	生理学研究所 痛み研究会 2018		
Oxaliplatin誘発末梢神経障害性機 果	械的allodyniaに対するaucubinの効	2018年12月	生理学研究所 痛み研究会 2018		
Ⅲ 学会および社会における主な流	- 5動				
平成17年4月~現在	日本薬理学会学術評議員				
平成20年4月~現在	日本薬学会地区通信委員				
平成21年4月~平成30年3月	日本薬学会薬理若手世話人会委員				
平成24年9月~平成26年9月	日本薬理学会代議員				
平成25年10月	東日本大震災被災高校への実験器具	の送付(宮城県教育	委員会を介して)		
平成27年3月	東日本大震災被災高校への実験器具	の送付(宮城県教育	委員会を介して)		
平成28年10月~平成30年9月	日本薬理学会代議員				
平成29年2月~現在	日本緩和医療薬学会社員(評議員)				
平成30年10月~現在	日本薬理学会代議員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 富山大学 講座名	遺伝情報制御学	職名	准教	授	氏名	廣瀬	豊	
I 教育活動		•						
教育実践上の主な業	績	年	月	日		概	要	
1 教育内容・方法の工夫		平成:現在	25年4	!月~	イドを用いて講義を	を行い、	F成したPowerPointスラ その内容プリントを学 料になるように配慮して	
(授業評	西等を含む)	平成:現在	25年4	月~			全生の興味をひくように 見や応用例も示してい	
		平成:現在	25年4	月~	講義に対する学生7 義内容や説明方法の		-トの結果を参考に、講 音毎年行っている。	
2 作成した教科書、教材、参え	号書				該当なし			
3 教育方法・教育実践に関する	る発表、講演等				該当なし			
4 その他教育活動上特記すべる	き事項 (FDを含む)	平成:現在	25年5	5月~	「生化学 I」の一コマを高校生が見学できる講 としており、高校生も関心が持てるような導入 工夫している。			
		平成2 現在	25年8	3月~	薬学部主催のFDに毎回出席し、教育に関する様々な諸問題の解決策を議論・模索している。			
Ⅱ 研究活動								
1. 著書・論文等の名称			単著・ 著の		発行または発表の 年月 (西暦でも可)		発行所、発表雑誌 巻・号数)等の名称	
(著書)Cap-specific terminal M of RNA by an RNA polymerase Ⅱ- methyltransferase			共著		2018年11月	Scien	ce (in press)	
(著書)Mediator Cyclin-depende upregulate transcription of inf genes in cooperation with NF- κ on stimulation of Toll-like rec	lammatory Β and C/EBP <i>β</i>		共著		2017年3月	Genes	Cells, 22(3):265-276	
(論文) Human SCP4 is a chromat CTD phosphatase and exhibits th translocation during erythroid differentiation			共著		2016年2月	J Bio	chem. 160(2):111-120	
(論文) Mediator complex cooperatively regulates transcription of retinoic acid target genes with Polycomb Repressive Complex 2 during neuronal differentiation			共著		2015年5月	J Bio	chem. 158 (5):373-384	
(論文) Vertebrate Ssu72 regulates and coordinates 3'-end formation of RNAs transcribed by RNA Polymerase II			共著		2014年8月	PLoS	One, 9, (8), e106040	
2. 学会発表(評価対象年度のみ)					発表年・月		学会名	
(演題名) 転写と共役した選択的7	ポリ(A)付加調節(の分子	機構		2018年7月	第20回	回日本RNA学会	
(演題名)リン酸化CTD結合因子PC	:IF1による遺伝子	発現	調節		2018年11月	第41回	回日本分子生物学会	
	 舌動				<u> </u>	1		
	Editor:Journal	of H	luman	Tran	nscriptome			

Frontiers i	n	Genetics	論文審査
-------------	---	----------	------

2018年11月

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

大学名 富山大学	学名 富山大学 講座名 薬用生物資源学 職			准教授	氏名	田浦 太志		
I 教育活動								
教育実践.	上の主な業	績	年	月日	Į į	既要		
1 教育内容・方法の	工夫		平成2	5年10月~	· 講義科目「生薬学」	: 毎回の講義で重要ポイン		
	(授業評価	5等を含む)			トの確認テストを行	ずっている 。		
2 作成した教科書、	教材、参考	· 書			なし			
3 教育方法・教育実	践に関する	発表、講演等			なし			
4 その他教育活動上	特記すべき	事項		8年9月3 0月20日		で、高大連携講座講師として		
		(FDを含む)		1月15日		レープ学習を指導した。		
			平成2	5年8月~	毎年8月開催の本学薬学部FDに参加した。			
Ⅱ 研究活動					_			
1. 著書・論文等の名称				望著・ 著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称		
(論文) An aromatic fa functions in biosynthe meroterpenoid daurichr	sis of the omenic ac	e anti-HIV id.	:	共著	平成30年10月	Plant Physiol. 178, 535- 551		
(論文) Daurichromenic Phytotoxic meroterpeno death in cell culture Rhododendron dauricum.	ids that	induce cell	:	共著	平成30年1月	Plant Signal. Behav.13, e1422463		
(論文) Identification daurichromenic acid sy HIV biosynthesis.			;	共著	平成29年8月	Plant Physiol. 174, 2213- 2230		
(論文) Combinatorial daurichromenic acid an analogue.				共著	平成29年5月	Org. Lett.19, 3183-3186		
(論文) A novel class of plant Type III polyketide synthase involved in orsellinic acid biosynthesis from <i>Rhododendron dauricum</i>				共著	平成28年9月	Front. Plant Sci.7, 1452		
2. 学会発表(評価対象	年度のみ)				発表年・月	学会名		
 (演題名) ダウリクロメン酸生合成経路で機能する新規 ルネシル転移酵素				香族ファ	平成30年10月	第22回天然薬物の開発と応 用シンポジウム		
(演題名) エゾムラサキ メン酸の生合成経路	E産する抗HIV 天然	然物ダ ワ	フリクロ	平成30年8月	第36回日本植物細胞分子生 物学会			
Ⅲ 学会および社会にお	ける主な活	動						
平成29年5月~					nceのReview Editorる	をつとめている。		

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧 								
大学名 富山大学 講座名	分子合成化学	職名 准教授	氏名 南部 寿則					
I 教育活動								
教育実践上の主な業	績	年 月 日		既要				
1 教育内容・方法の工夫 (授業評値	5等を含む)	平成25年度~	「有機化学 I 」では、毎講義前に復習問題演習を行い、学生の理解を深めるように努めた。「機器分析」では、定期的にレポート課題を実施し、学生の理解度を確認して講義に活かした。					
2 作成した教科書、教材、参考	書		該当なし					
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等 ・		該当なし					
4 その他教育活動上特記すべき	·事項 (FDを含む)	平成25年度~	薬学部主催のFDには たテーマに関する見	毎年出席し、FDで取りあげ 臓を深めた。				
Ⅱ 研究活動								
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称				
(論文) Ring-Opening Cyclization Cyclohexane-1,3-dione-2-spirocyc with Amines: Rapid Access to 2-3 Hydroxyindole	clopropanes Substituted 4-	共著	平成26年8月	Org. Lett. 16(15)				
(論文) An Efficient Synthesis of 1,3-dione-2-spirocyclopropanes Cycloalkanediones Using (1-Aryl- dimethylsulfonium Bromides: App One-pot Synthesis of Tetrahydro	from 1,3- -2-bromoethyl)- lication to a	共著	平成27年7月	Tetrahedron Lett. 56(29)				
(論文) Acid-Catalyzed Ring-Open of Spirocyclopropanes for the Co a 2-Arylbenzofuran Skeleton: To of Cuspidan B	onstruction of	共著	平成28年1月	Synthesis 5(7)				
(論文) An Efficient Route to Hig Substituted Indoles via Tetrahyo one Intermediates Produced by R Cyclization of Spirocyclopropand	droindol-4(5 <i>H</i>)- ing-Opening	共著	平成29年11月	Chem. Eur. J. 66(23)				
(論文) Iodide-Catalyzed Ring-Ope Cyclization of Cyclohexane-1,3-c spirocyclopropanes		共著	平成30年8月	Adv. Synth. Catal. 360 (15)				
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名				
(演題名) An efficient method for substituted indoles from spirocy discovery (Invited lecture)			平成30年9月	The third International Symposium on Toyama- Asia-Africa Pharmaceutical Network (3rd TAA-Pharm Symposium)				
(演題名) スピロシクロプロパンの の高効率的合成法の開発	環ひずみを活用し	た複素環化合物	平成30年12月	第16回有機合成化学協会関 西支部賞受賞講演会				
Ⅲ 学会および社会における主な活	動							
平成27年10月	平成27年度有機合	成化学北陸セミ	 ナー事務局					
平成29年11月	第43回反応と合成	ウム事務局						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。

- 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
- 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※「皿 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

	教育および研究活動の業績一覧							
大学名	富山大学	講座名	薬物生理学	職名	准教授	氏名	清水 貴浩	
I 教育	活動	•						
	教育実践.	上の主な業	績	年	月日	1	概 要	
1 教	有内容・方法の		西等を含む)				リントを作成し、配布してい 題など小テストを行い、学生 vる。	
2 作	成した教科書、	教材、参≉	芳書				なし	
3 教	有方法・教育実	践に関する	5発表、講演等 6				なし	
4 7	の他教育活動上	特記すべき	事項			毎年、薬学部のFDに	こ参加している。	
			(FDを含む)	平月	成30年度	富山短期大学・非常	常勤講師	
Ⅱ 研究	2活動							
1. 著書	・論文等の名称	:			単著・ 著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	
polycyst	(論文) Gating modulation by heat of the polycystin transient receptor potential channel PKD2L1 (TRPP3)				共著	平成26年10月	Pflugers Arch. 466:1933- 40	
(論文) Volume-sensitive outwardly rectifying Cl ⁻ channels contribute to butyrate-triggered apoptosis of murine colonic epithelial MCE301 cells				共著		平成27年3月	J Physiol Sci. 65:151-7	
activity	Positive regul y of gastric H [†] β-subunit		the enzymatic by sialylation	共著		平成28年6月	Biochim Biophys Acta. 1858:1228-35	
outer po		of the m		共著		平成29年8月	FEBS Open Bio.7:1392- 1401	
volume-i	Crosstalk betw regulated anion nains of human	channel	in membrane	共著		平成30年11月	Biochim Biophys Acta Mol Basis Dis. 1864:3792- 3804	
2. 学会	発表(評価対象	.年度のみ)		•		発表年・月	学会名	
(演題名)An asparagine residue in the outer po regulates the voltage-dependent inactivation of channels						平成30年12月	The 49th NIPS International Symposium (Ion channels: looking back, seeing ahead)	
(演題名) The regulation of TRPV1 channel gating intracellular ATP						平成31年3月	9th FAOPS congress (Philosophy of Life: Function and Mechanisms)	
Ⅲ 学会	および社会にお	ける主な流	 舌動					
:	平成18年3月 ~ 現	 !在	日本生理学会評議	美員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧							
大学名 富山大学 講座名 医療薬学	職名 准教授	氏名 辻 泰弘					
I 教育活動	•						
教育実践上の主な業績	年 月 日	A.	既要				
1 教育内容・方法の工夫種々の討論手法を用いた演習の活性化	平成29年度よ り現在	イデア発想法 (ブレを活用していたが、偏る傾向がみられてらはアイデア発想法を導入したところ、課題に集中した。	5つの演習課題において、ア マンストーミングとKJ法) グループによって発言者が いた。そこで、平成29年か による討論の後、総合討論 リラックスした雰囲気の中 活発な討論が可能となっ の理解度、満足度が予定よ 達した。				
2 作成した教科書、教材、参考書							
富山大学薬学部実務実習・事前実習テキスト	平成24年9月よ り毎年改変	度の反省点および改)、実習開始半年前から前年 ヹ善点を加筆修正のうえ、教 : び内容を確立し、毎年改訂				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		特記事項なし					
4 その他教育活動上特記すべき事項							
Faculty Development (FD) への参加	平成25年度よ り現在	毎年8月第1週に開催される薬学部FDに毎年度参加している。 (平成27年は海外留学中のため該当せず)					
Ⅱ 研究活動	_						
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称				
(著書)薬学生・薬剤師レジデントのための感染症 学・抗菌薬治療テキスト第2版	共著	平成30年8月	じほう、p348-359				
(論文) Population pharmacokinetics of teicoplanin in hospitalized elderly patients using cystatin C as an indicator of renal function	共著	平成30年4月	J Infect Chemother 24(4), 284-291				
(論文) Daptomycin-induced eosinophilic pneumonia and a review of the published literature	共著	平成30年1月	Intern Med 57(2), 253- 258				
(論文) Pharmacokinetics of linezolid during continuous hemodiafiltration	共著	平成29年10月	J Infect Chemother 23(10), 709-712				
(論文) Population pharmacokinetics and pharmacodynamics of linezolid-induced thrombocytopenia in hospitalized patients	共著	平成29年8月	Br J Clin Pharmacol 83(8), 1758-1772				
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名				
(演題名) Population pharmacokinetics of unbou in hospital patients with Gram-positive infect		平成30年5月	PAGE 2018 meeting				
(演題名) Using biomarkers to predict the targ warfarin and linezolid		平成30年5月	PAGE 2018 meeting				
(演題名) 富山県下26施設における抗菌薬使用量と 関する地域共同サーベイランス		平成30年11月	第28回日本医療薬学会年会				
(演題名) ダプトマイシンの母集団平均パラメータ 度の評価	を用いた予測精	平成30年11月	第28回日本医療薬学会年会				
(演題名) リネゾリドの治療薬物モニタリング実施 設計およびノモグラムの開発	を支援する投与	平成30年11月	第66回日本化学療法学会西 日本支部総会				
(演題名)リネゾリド投与におけるTDM実施の推進を解析	E目的としたPKPD	平成30年7月	日本医療薬学会第2回フレッシャーズ・カンファレンス				

(演題名)新規抗MRSA薬TDM支援ソ	フトの開発および有用性の検討	平成30年5月	第66回日本化学療法学会総 会		
Ⅲ 学会および社会における主な活動					
平成25年4月~現在	日本医療薬学会代議員				
平成27年4月~現在	日本化学療法学会評議員				
平成28年10月~現在	クリニカルファーマコメトリクス・セラピューティクス研究会代表				
平成30年10月~現在	薬物治療モニタリング研究会幹事	1			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 富山大学	講座名	病態制御薬理学	職名	准教	授	氏名	恒枝 宏史	
I 教育活動								
教育実践	上の主な業	績	年	月	日	ŧ	既要	
1 教育内容・方法の	工夫					特記事項なし		
	(授業評価	5等を含む)						
2 作成した教科書、	教材、参考	書				特記事項なし		
3 教育方法・教育実	践に関する	·発表、講演等				特記事項なし		
4 その他教育活動上	特記すべき	·事項	20	16/8/	' 6	平成28年度薬学部・大学	上 院医学薬学教育部薬学系部会 F D	
		(FDを含む)	20	17/7/:	29	平成29年度薬学部・大学	院医学薬学教育部薬学系部会 F D	
			20	18/8/	′ 4	平成30年度薬学部・大学	院医学薬学教育部薬学系部会 F D	
Ⅱ 研究活動								
1. 著書・論文等の名称			単著・ 共著の別		}ij	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	
(論文) Hypothalamic orexin prevents hepatic insulin resistance via daily bidirectional regulation of autonomic nervous system in mice			共著			2015年2月	Diabetes 64:459-70	
(論文) Sleep Control, Metabolism	GPCRs, ar	nd Glucose	共著			2016年9月	Trends Endocrinol Metab 27:633-642	
(論文) Timed Inhibiti Suvorexant Improved SI Metabolism in Type 2 D	eep and GI	ucose	共著			2016年11月	Endocrinology 157:4146- 4157	
(論文) PDGFRβ Regula Expansion and Glucose Remodeling in Diet-Inc	Metabolism	ı via Vascular	共著			2017年4月	Diabetes 66:1008-1021	
(論文) Chronopathophy of orexin in sleep dis related disorders			共著			2018年6月	Pharmacol Ther 186:25-44	
2. 学会発表(評価対象	年度のみ)		•			発表年・月	学会名	
(演題名) 2型糖尿病マ D2受容体非依存的な耐糖			チンの	ドパミ	ン	2018年5月	第61回日本糖尿病学会年次 学術集会	
(演題名) Hypothalamic orexin system prevents the of non-alcoholic fatty liver disease in diet-incomice						2018年10月	54nd EASD Annual Meeting 2018 (Berlin, Germany)	
Ⅲ 学会および社会にお	ける主な活	 i動						
平成13年4月~現在		日本薬理学会 評	P議員					
	※加入学会:日本薬学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本神経科学学会							

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧							
大学名 富山大学 講座名	医薬品安全性学	職名	准教授	氏名 田口	雅登		
I 教育活動				•			
教育実践上の主な業	績	年	月日		栶	要	
	西等を含む) -	平成20	6年4月~	一部にアクテ 入れている。 に分け、同種 医薬品情報の う。薬剤師と	ィブラ 受講者 同効薬 収集・ しての	R科目「臨床薬物動態学」の ーニングによる演習を取り を各2〜5名程度のグループ の比較評価を通じて文献・ 加工、および発表等を行 基本的技能の習得を図ると の醸成を目指す。	
2 作成した教科書、教材、参考	i i						
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等			なし			
4 その他教育活動上特記すべき	宇事項 (FDを含む)	平成28	5年~30年 8年9月 9年8月	認定実務実習 ショップ(改 第3回若手薬等	薬学部,或いは全学主催のFDに毎年出席している 認定実務実習指導薬剤師養成のためのワーク ショップ(改定コアカリ版)を受講した。 第3回若手薬学教育者のためのアドバンスト・		
- TICKY 51				ワークショッ	プに参	加した。	
Ⅱ 研究活動		124		発行または発	4 ±Φ		
1. 著書・論文等の名称 			著の別	年月(西暦で		(巻・号数)等の名称	
(論文) The possible clinical impact of risperidone on P-glycoprotein-mediated transport of tacrolimus: A case report and in vitro study.			共著	2018年1		Biopharm. Drug Dispos., 39(1): 30-37.	
(論文) In vitro P-glycoprotein transport of tadalafil: A compa sildenafil.		5	共著	2017年8		Biol. Pharm. Bull., 40(8): 1314- 1319.	
(論文) A model analysis for do relationship of warfarin in Japa An introduction of the SIZE para	anese children:	ā	共著	2016年3	月	Drug Metab. Pharmacokinet., 31(3):234-241.	
(論文) Contribution of CYP3A is dealkylation of PDE5 inhibitors between sildenafil N-demethylat tadalafil demethylenation.	: a comparison	;	共著	2015年1		Biol. Pharm. Bull., 38(1): 58-65.	
(論文) Plasma concentrations o children with pulmonary arteria		;	共著	2014年5		Ther. Drug Monit., 36(5), 576-583.	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				発表年・	月	学会名	
(演題名)小児ワルファリン療法に デルと共変量に関する研究	おける抗凝固作用	月の発達	達変動モ	2018年11	月	第28回日本医療薬学会年会	
(演題名) 早産・低出生体重児に対するカフェイン技 価			安全性評	2018年11	月	第29回日本医療薬学会年会	
(演題名)蛋白漏出性胃腸症患者におけるタダラフィ結合率とキャリア蛋白に関する研究			1清蛋白	2019年3	月	日本薬学会第139年会	
Ⅲ 学会および社会における主な活	Ⅲ 学会および社会における主な活動						
平成27年9月21日~23日	平成27年9月21日~23日 認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップin北陸 タスクフォー					プin北陸 タスクフォース	
平成27年10月~現在	富山県医師会治	a 餘審査委員会 (IRB) 副委員長					
平成30年4月28日~30日	認定実務実習指	導薬 剤	削師養成 <i>σ</i>	ためのワーク	ショッ	プin北陸 タスクフォース	

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

	教育および研究活動の業績一覧								
大学	名 富山大学	講座名 薬	物治療学	職名	准教授	氏名	宮本	嘉明	
I	教育活動	L				1			
	教育実践	桟上の主な業績		年	月日			概	要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		2013-	-2018年度	北米神 文資料 い、専	神経科学 中につい 専門用語	学会が発行し いて、音読お	ている脳科学分野の英 よび翻訳を行ってもら いては説明を行い理解		
			2013-	-2018年度	精神疾	患の治		するために用いられる し、体験してもらっ	
				2013-	-2018年度	実 実なワ的のリ系 務務 のいかい ままままがい まままがい まんしん はんしん しょう しょう まんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	習、特 我や態度 が(SGD 利 利 は に は に は に は に は に は に に に に に に に に に に に に に	時に病院実習 gを習得して 、PBL)学習 所やコミュニ gや実習を繰	において必要な基本的 もらうためにグループ を行った。また、基本 ケーション能力の修得 り返し行った。コアカ はなく、大学独自の
				2013-	-2017年度	学習の したス 復習と	要点を ミライト : 知識の	をまとめた資料を利用して で で で で で で で で で で で で で で で で で の た の た	料を配布し、それに則 講義を行った。また、 に講義開始時に前回の ストを行った。
				2017,	2018年度	学習の したス 復習と	要点を スライト 知識の	をまとめた資 で を利用して の 定着のため	料を配布し、それに則 講義を行った。また、 に講義開始時に前回の ストを行った。
				20184	丰度	文資料 英語で	₱経科与 丼につい ぎのプし こ。まか	ヽて、グルー _ン ゼンおよび	ている脳科学分野の英 プでまとめてもらい、 質疑応答を行っても や内容については説明
2	作成した教科書	、教材、参考書	<u>}</u>	2013-	-2017年度	毎年度	·一 · · E、事前		スト 義、演習、実習のため してテキストを作成し
3	教育方法・教育	実践に関する発	表、講演等			なし			
4	その他教育活動.		 ∮項 (FDを含む)	2013-	-2018年度			学部・大学院 した。	医学薬学教育部薬学系
				2013-	-2018年度			実務実習北陸: 〒委員として:	地区調整機構 ワーク 活動した。
				2013/	/9/14-16	ワーク	ショッ	ップ(薬学教	薬剤師養成のための 育者ワークショップ) くとして参加した。
				2014/	/9/13-15	ワーク	ショ ッ	ップ(薬学教	薬剤師養成のための 育者ワークショップ) くとして参加した。
				2015/	/9/21-23	ワーク	ショッ		薬剤師養成のための 育者ワークショップ) タ加した。
				J		1			

	第3回北陸地区実務実習指導薬剤師アドバンスト ワークショップ レベルアップ研修会にタスク フォースとして参加した。				
	2016/9/3-4	改訂プログラムによる薬学教育者ワークショッ プのタスクフォーススキルアップ研修会にタス クフォースとして参加した。			
	リキュラムプランニ	第1回指導薬剤師を対象とする OBE に基づくカリキュラムプランニングに関するアドバンストワークショップにタスクフォースとして参加し			
	第19回認定実務実習 ワークショップ(第	習指導薬剤師養成のための 薬学教育者ワークショップ) ォースとして参加した。			
	2018/2/10-12				
	2018/4/28-30	ワークショップ(薬	習指導薬剤師養成のための 薬学教育者ワークショップ) ォースとして参加した。		
<u> </u>		<u> </u>			
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称		
(論文) Overexpression of Shati/Nat81, an N-acetyltransferase, in the nucleus accumbens attenuates the response to methamphetamine via activation of group II mGluRs in mice.	共著	2014年8月	The international journal of neuropsychopharmacology. 17(8):1283-1294.		
(論文) Knockdown of dopamine D2 receptors in the nucleus accumbens core suppresses methamphetamine- induced behaviors and signal transduction in mice.	共著	2015年2月	The international journal of neuropsychopharmacology. 18(4). pyu038.		
(論文) Involvement of the accumbal osteopontin-interacting transmembrane protein 168 in methamphetamine-induced place preference and hyperlocomotion in mice.	共著	2017年10月	Scientific Reports. 7(1):13084.		
(論文) Striatal N-Acetylaspartate Synthetase Shati/Nat8l Regulates Depression-Like Behaviors via mGluR3-Mediated Serotonergic Suppression in Mice.	共著	同 年12月	The international journal of neuropsychopharmacology. 20(12):1027-1035.		
(論文) Behavioral impairment in SHATI/NAT8L knockout mice via dysfunction of myelination development.	共著	同 年同月	Scientific Reports. 7(1):16872.		
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名		
Behavioral impairment via delay myelination dev the prefrontal cortex of SHATI/NAT8L knockout m	2018年6月	31st The International College of Neuropsychopharmacology (CINP) World Congress (Vienna, Austria).			
Attenuation pharmacological effects of methamph Piccolo knockdown in the nucleus accumbens in m	2018年6月	31st The International College of Neuropsychopharmacology (CINP) World Congress (Vienna, Austria).			
Sexual differences of cognitive impairment indu deletion of Shati/Nat8I.	2018年6月	31st The International College of Neuropsychopharmacology (CINP) World Congress (Vienna, Austria).			
Behavioral and neurochemical analyses in the Pi knockdown mice as a new animal model for schizo		2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) (Kyoto).		

Vulnerability of social defeats SHATI/NAT8L in mice.		2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)(Kyoto).				
Behavioral impairment associate myelination by Shati/Nat8L defi		2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) (Kyoto).				
Inhibitory effect of knockdown induced behavioral changes via nucleus accumbens of mice.	dopamine/GABA release in the	2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) (Kyoto).				
Cognitive dysfunction induced by Shati/Nat81 in mice.	y the deletion of NAA synthase	2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)(Kyoto).				
Inhibitory effects of accumbal (TMEM168) on methamphetamine-in	duced place.	2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) (Kyoto).				
Piccolo knockdown in the prefro schizophrenia-like phenotypes by network.	y impairment of neuronal	2018年9月	3rd TAA-Pharm Symposium (Toyama).				
プレシナプス性細胞基質タンパク質 調症モデル動物の開発.	[Piccolo に着目した新規統合失	2018年9月	第69回日本薬理学会北部会(富山)				
新規薬物依存関連タンパク質 TMEM	168 の生理機能解析.	2018年9月	第69回日本薬理学会北部会(富山)				
前頭前皮質Piccolo発現抑制マウス 発に向けての行動薬理学及び神経化		2018年11月	第130回日本薬学会北陸支部 例会(富山)				
Piccolo knockdown in the perirh dysfunction in the new schizoph		2019年3月	第92回日本薬理学会年会 (大阪)				
Ⅲ 学会および社会における主な活	Ⅲ 学会および社会における主な活動						
2013~2018年度	毎年度1~2回、NPO 医薬品適正使	用推進機構「くすり	枚室」にてボランティア活動				
2015/2/15	富山大学医学部OSCE(臨床実技試	は験)に模擬患者としてボランティア活動					
2016-2018年度	日本薬理学会にて学術評議員						
2016-2018年度	日本神経精神薬理学会にて評議員	l					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育およ	教育および研究活動の業績一覧					
大学名 富山大学 講座名 附属病院薬剤部	職名 准教授	氏名 加藤 敦				
	I	•				
教育実践上の主な業績	年 月 日	Į t	既要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	7 71 11	担当務とは、	大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大			
		材を育成する工夫を				
2 作成した教科書、教材、参考書		該当なし				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし				
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)		・ 日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイニンス」中高生を対象とした和漢薬の体験実習の実施担当(平成27年度~平成30年度) ・ 富山市教育委員会主催「富山市民大学:生活医学薬学を学ぶ」講義担当 ・ 放送大学「和漢薬の成り立ちと服用時の注意」 点」講師担当(平成30年度)				
Ⅱ 研究活動	<u> </u>	1				
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称			
(論文) Docking and SAR studies of calystegines: binding orientation and influence on pharmacological chaperone effects for Gaucher's disease.	共著	平成26年4月	Bioorg. Med. Chem. 22 (8) 2435-2441.			
(論文) Design and synthesis of labystegines, hybrid iminosugars from LAB and calystegine, as inhibitors of intestinal α -glucosidases: binding conformation and interaction for ntSI.	共著	平成27年4月	J. Org. Chem. 80(9) 4501-4515.			
(論文) Docking study and biological evaluation of pyrrolidine-based iminosugars as pharmacological chaperones for Gaucher disease.	共著	平成28年1月	Org. Biomol. Chem. 14(3) 1039-1048.			
(論文) Multivalency to inhibit and discriminate hexosaminidases.	共著	平成29年5月	Chem. Eur. J. 23 (38) 9022-9025.			
(論文) In silico analyses of essential interactions of iminosugars with the Hex A active site and evaluation of their pharmacological chaperone effects for Tay- Sachs disease.	共著	平成29年11月	Org. Biomol. Chem. 15 (44) 9297-9304.			
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名			
(演題名) 小児投与量,吸光度測定法を基本とした薬 ター通過性試験(第 2 報)	平成30年6月	医療薬学フォーラム2018/ 第26回クリニカルファーマ シーシンポジウム				
(演題名)Hex A高親和性リガンドの創製とTay-Sach ファーマコロジカルシャペロン効果の検証	is病に対する	平成30年8月	第37回日本糖質学会年会			
Ⅲ 学会および社会における主な活動						

平成18年4月~	和漢医薬学会 代議員
平成29年1月~	文部科学省 私立大学研究ブランディング事業(社会展開型)外部評価委員
平成29年8月~	Traditional & Kampo Medicine (Associate Editor)

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

	教育および研究活動の業績一覧									
富山大学	講座名	病態制御薬理学	職名	講師	氏名	和	田努			
I 教育活動					•					
教育実践	上の主な訓	業績	年	月日		概	要			
1 教育内容・方法の	工夫									
薬物治療学II, 病態薬物 (講義)	勿治療ⅡⅠ	(新コアカリ)	毎年	前期		最新のガ	イドライ	、疾患により毎 ンを示し、新薬 努めている。		
病棟実習			毎年	10-12月	査の実際、治	療計画の の変更に	構築、治 いたる医	いて、問診、検 療効果の判定に 療現場の実際を 。		
2 作成した教科書、 なし	教材、参	考書								
3 教育方法・教育実	践に関す	る発表、講演等								
4 その他教育活動上	特記すべ	き事項								
日本糖尿病学会若手研究奨励賞受賞(指導大学院生)その他、学会等での指導大学院生の受賞など			2017	年度	研究がある。 では、 このでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	これらに加え、富山大学学長賞「道に挑む女性 研究者賞、分子糖尿病学シンポジウム若手研究 奨励賞、日本薬理学会北部会優秀発表賞、 International aldosteron forum in Japanなど				
Ⅱ 研究活動			1							
1. 著書・論文等の名称				単著・ 装著の別	発行または発 年月(西暦で			f、発表雑誌 骨数)等の名称		
Chronopathophysiologic orexin in sleep distur related disorders.	•			共著	2018. 1.		armacol 25-44	Ther. Vol.186		
Eplerenone prevented of inflammasome activation intolerance.				共著	2017. 12		Endocrin 9-91	nol. Vol. 235 p		
PDGFR β regulates adip glucose metabolism via diet-induced obesity.				共著	2017. 4.		abetes. 08-21	Vol. 66 p		
Teneligliptin improves in a mouse model of po				共著	2015. 10		Endocrir -36	nol. Vol. 227 p		
Hypothalamic orexin pr resistance via daily b of autonomic nervous s	idirecti	onal regulation		共著	2015. 5.	D i 70		Vol. 64 p 459-		
2. 学会発表(評価対象	年度のみ)			発表年・	月	:	学会名		
A novel mechanism of adipose-tissue angiogenesis via PDGF-B signaling in fat tissue expansion during obesity			2018. 9.	International Symposium of Korea University 2018.9. College of Medicine BK2 ⁻ Plus Graduate Program (国際招待講演)						
The Sdf1-cxcr4 Signals Regulate Adipose Tissue Expa Modulating Angiogenesis In Diet-induced Obesity In					2018. 6.		国糖尿病			
Modulating Angiogenesi	s in Die	L-Muuceu obesity	ITI IV	1166.						

Ⅲ 学会および社会における主な活動					
2007年~	内科外来診療(富山大学附属病院第一内科、代謝内分泌専門外来、毎週月曜午前)				
2003年9月~、および2016年12月~	日本内科学会 認定内科医、日本内科学会 総合内科専門医				
2016年度~	日本内分泌学会評議員、および北陸支部会評議員				
	その他所属学会: 日本薬学会、日本内科学会、日本糖尿病学会、日本産婦人科学会				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 富山大学 講座名	薬剤学	職名 助教	氏名	赤沼 伸乙		
		•	•			
教育実践上の主な業績	 績	年 月 日	相	既 要		
1 教育内容・方法の工夫		平成25年-現在	態・薬物相互作用を ログラムをExcel-Vi	数値解法にて薬物の体内動 シミュレートするためのプ sual Basicに構築し、学部 ・トを実体験出来るようにエ		
(授業評価	等を含む)		Learn(平成25年-26年-30年)を用い、_	·ムである、BlackBoard i年)及びMoodle 3(平成27 上記シミュレート結果の確 ・評価が円滑に実施可能な		
2 作成した教科書、教材、参考	書	平成26年4月5日	Scientistのために	ニュアル Pharmaceutical (南江堂) 勿分布実験項4.2.3を執筆		
		平成25年-現在	医療系実習(薬剤学 時に用いるPowerPoi)における実習書及び講義 ntによる講義資料		
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等		該当なし			
4 その他教育活動上特記すべき	 事項					
	(OSCE)	平成25-26年	OSCEにて評価者としての、業務に携わった。			
	(FD)	平成28年-現在 平成28年-現在	OSCEにて総務としての、業務に携わった。 薬学部で開催されるFDに参加し、薬学部学生の 教育の質や研究能力向上に向けた討論に参加した。			
Ⅱ 研究活動						
1.著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称		
(論文) Role of L-type amino aci 1 at the inner blood-retinal bar blood-to-retina transport of gab	rier in the	共著	平成30年6月	Mol. Pharm., 15(8), 2327-37		
(論文) Expression and function protein in mouse and human retin epithelial cells as hemichannels junction proteins.	al pigment	共著	平成30年3月			
(論文) Involvement of carrier-m transport at the blood-cerebrosp barrier in spermine clearance fr	inal fluid om rat brain.	共著	平成29年9月	Biol. Pharm. Bull., 40 (9), 1599-603		
(論文) Transporter-mediated L-glutamate elimination from cerebrospinal fluid: possible involvement of excitatory amino acid transporters expressed in ependymal cells and choroid plexus epithelial cells.		共著	平成27年4月 Fluids Barriers CNS, 12:11			
(論文) Transporter-mediated pro elimination across the rat blood and its attenuation by the activ methyl-D-aspartate receptors.	共著	平成26年10月	Drug Metab. Pharmacokinet., 29 (5), 387-93			
2. 学会発表(評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名		
(演題名)網膜へのガバペンチン移 アミノ酸輸送担体LAT1の役割	行における内側血	血液網膜関門中性	平成30年5月	日本薬剤学会第33年会		

(演題名)血液網膜関門におけるg ンスポーター1の関与	abapentin輸送へのL型アミノ酸トラ	平成30年8月	第5回 富山・バーゼル医 薬品研究開発シンポジウム		
(演題名)Functional heterogene transport in hepatocytes of rat	平成30年10月	2018 International Meeting on 22nd MDO and 33rd JSSX			
Ⅲ 学会および社会における主な流	Ⅲ 学会および社会における主な活動				
平成16年~現在	日本薬学会会員				
平成19年~現在	日本薬剤学会会員				
平成21年~現在	日本薬物動態学会会員				
平成18年~現在	Society for Neuroscience会員				
平成23年~現在	International Brain Barriers Society会員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧									
大学名 富山大学	講座名	応用薬理学	職名	助教	氏名	歌 大介			
I 教育活動									
教育実践	上の主な業	績	年	月日	村	既要			
1 教育内容・方法の)工夫		2014호	F4月~	医療系実習(薬理学	<u>+</u>)			
	(授業評価	i等を含む)	2014年	₹4月~	薬学概論・和漢医薬 担当	学入門・専門英語の一部を			
			2015 •	17年10月	大学院薬理学特論の)一部を担当			
			2017호	F10月	大学院遺伝子工学・	薬理学特論の一部を担当			
			2017호	F4月~		² 校看護学科微生物学			
			2017호	F12月~	富山県立大学生物学				
2 作成した教科書、	教材、参考	書	2014호	₹4月~	書、専門英語講義資				
			2015 •	17年10月	論講義資料	大学院遺伝子工学薬理学特			
			2017年	₹4月~	富山医療福祉専門学 料	校看護学科微生物学講義資			
			2017호	F12月~	富山県立大学生物学	□Ⅱ講義資料			
3 教育方法・教育実	践に関する	発表、講演等			なし				
4 その他教育活動上	:特記すべき	事項	2015/	11/14	全学FDに参加				
		(FDを含む)	2016/	8/6	薬学部FDに参加				
			2017/	7/29	薬学部FDに参加				
			2018/	8/4	薬学部FDに参加				
Ⅱ 研究活動									
1. 著書・論文等の名称	7			≦著・ 著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称			
Effects of high concer dorsal root evoked exc transmission in substa of the rat spinal dors	citatory sy antia gelat	naptic inosa neurons		共著	2018年12月	International Neurourology Journal vol.22 No.4			
Involvement of thrombo 31-induced itch-associ			,	共著	2018年9月	Pharmacological reports vol.70 No.2			
Effects of naftopidil neurons of the adult r	rat spinal	dorsal horn.		共著	2018 in press	The Journal of Functional Diagnosis of the Spinal Cord in press			
Peripheral and spinal nociceptive transmissi fibromyalgia.	mechanisms ion in a ra	s of at model of		共著	2017年11月	PAIN RESEARCH vol. 32 No. 4			
Effects of naftopidil transmission in substa of the rat spinal dors	antia gelat	inosa neurons		共著	2017年9月	Journal of the neurological sciences vol.380			
2. 学会発表(評価対象	年度のみ)				発表年・月	学会名			
慢性疲労症候群に伴う痛みの脊髄機構					2018年12月 第23回日本基礎理学療法会				
線維筋痛症モデルラット 生理学的解析	·脊髄後角細	胞における侵害情	青報伝達	達の電気	2018年12月	痛み研究会2018「痛みを中心とする有害状況適応の神経戦略バイオロジー」平成30年度生理研研究会			

Firing pattern and morphologica gelatinosa neurons receiving TRI rat spinal dorsal horn.		2018年12月	The 49th Natl Inst Physiol Sci (NIPS) International Symposium "Ion channels: looking back, seeing ahead"				
線維筋痛症モデルラットの脊髄にお	らけるシナプス情報伝達機構	2018年11月	第6回若手による骨格筋細 胞研究会				
Electrophysiological and behavior of atopic dermatitis	oral analysis of a mouse model	2018年11月	The 48th Annual Meeting of the Society for Neuroscience (Neuroscience2018)				
Morphological characteristics of horn neurons receiving 5-HT-responded cord		2018年9月	28th International Symposium of Itch				
In vivoパッチクランプ法を用いた 解析	脊髄後角への痒みシナプス伝達の	2018年9月	第38回鎮痛薬・オピオイド ペプチドシンポジウム				
A pruritogen 5-HT-induced itchi spinal superficial dorsal horn recording analyse-		2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)				
In vivo patch clamp analysis of transmission of spinal dorsal h fibromyalgia		2018年6月	第40回日本疼痛学会				
Ⅲ 学会および社会における主な活	E 動						
2006年1月~	日本生理学会会員						
2006年3月~	日本神経科学会会員						
2006年3月~	日本疼痛学会会員						
2007年5月~	Society for Neuroscience 会員						
2014年11月~	日本薬理学会会員						
2016年2月~	The International Association	The International Association for the Study of Pain会員					
2014年8月~	スーパーサイエンスハイスクール	(SSH)実習分野担当					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

大学名 富山大学 講座名 生体認識化学 職名 助教				氏名	 千葉 順哉	<u> </u>		
	一——	神座石	土 体 認 献 化 子	城石 切裂	八石	一条 順成	(
I 教育活動 ————————————————————————————————————								
	教育実践		業績	年月日		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	既 要	
1 教育内容	字・方法の		平価等を含む)		なし			
		(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, m 4 5 1 0 /					
2 作成し#	≿教科書、	教材、参	考書				バイオロジーⅡ 教材	
				平成26年4月1日				
				平成27年4月1日				
				平成28年4月1日				
				平成29年4月1日			ベイオロジー!! 教材	
				平成30年4月1日			ヾイオロジーⅡ 教材	
	+ */ * =	10 1 27 - 88 -	- 7 20 士 - 井冶佐	平成30年4月1日	(講義)	薬学英語Ⅰ	教材	
3 教育方法 	么 "	:歧[□ 9	-る発表、講演等		なし			
4 その他孝	 女育活動上	特記すべ	き事項	平成25年~29年	薬学部も	しくは全学	单 FD に参加	
			(FDを含む)					
Ⅱ 研究活動					1 20 7 - ± 1			
1. 著書・論ス	て等の名称	ī		単著・ 共著の別	年月	たは発表の (西暦でも _{可)}	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	
(著書)elect for Organic S		cycloped	ia of Reagents	共著	平成27年9月		Wiley	
(著書)Curre Chemistry	nt Protod	col in Nu	ucleic Acid	共著	平成27年6月		Wiley	
	es: an ef	fficient	thioamides with catalyst-free d conditions	共著	平成25年11月		Chemical Communications vol.49 pp 10242	
(論文) An isotope-coded fluorogenic cross- linker for high-performance target identification based on photoaffinity labeling			共著	平成26年12月		Angewandet Chemie International Edition vol.53 pp 13502		
(論文) Evaluation of dipole moment and electrophilicity on the nature of click-type coupling reaction between thioamide and sulfonyl azide				共著	平成28年3月 Tetrahedron Letters vol.57 pp 1313		vol. 57	
2. 学会発表	(評価対象	年度のみ	k)		発表年・月 学会名		学会名	
(演題名)代謝プロセスを利用した脂質メディエーターの光プローブ化					平成30年	平成30年7月 第40回日本光医物学会		
(演題名)酵素作用点にアルキニル C-ヌクレオチドを導入した DNA の酵素的リン酸化および酵素的連結				平成30年	平成30年9月 第12回バイオ関 ンポジウム			
(演題名) Gluconoamidinylsulfone as a new promising anitidiabetic agent: a comprehensive study based on the click-type reaction of thioamide and sulfonyl azide				平成30年	₹9月	The 3rd International Symposium on Toyama- Asia-Africa Phamaceutical Network		
(演題名)抗HIV-1 活性を有する APOBEC の相互作用部位からなる架橋 ヘリカルペプチドの開発-抗 HIV ペプチドの創薬を目指して-					^{平成30年9月} 北陸セミナー			
(演題名) アミ の効率化	(演題名) アシルスルホンアミド型光反応基による標的タンパク質解析 の効率化					F11月	平成30年度 日本薬学会 北陸支部 第130回例会	
Ⅲ 学会および	Ⅲ 学会および社会における主な活動							

平成24年4月~平成29年2月	e-Journal of Chemistry 論文審査員
平成9年11月~	日本化学会会員
平成17年4月~	日本ケミカルバイオロジー学会会員
平成22年4月~	日本薬学会会員

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

大学名 富山大学 講座名 薬化学	職名 助教	氏名 大石 雄基				
I 教育活動		J				
教育実践上の主な業績	年 月 日	1	概要			
1 教育内容・方法の工夫	平成28年~現在	化学系実習(分子機能):学生主体で実習が進められるように内容を設定した。				
(授業評価等を含む)	平成30年	基礎有機化学II:小テストを利用し、学生の理解 度を把握しながら授業を進めた。				
2 作成した教科書、教材、参考書		化学系実習(分子機 度改定した。	機能)で用いる実習書を毎年			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし				
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	平成28年8月 平成29年8月 平成30年8月	FDに出席し、情報心いる。	双集と教育方法改善に努めて			
Ⅱ 研究活動		·				
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称			
(論文) Native Mannose-Dominant Extraction Pyridine-Phenol Alternating Oligomers Having an Extremely Efficient Repeating Motif of Hydrogen-Bonding Acceptors and Donors		平成27年9月	Chrm. Eur. J. 21(48) 16504—16511			
(論文) D3h - Symmetrical Shape - Persistent Macrocycles Consisting of Pyridine-Acetylene Phenol Conjugates as an Efficient Host Architecture for Saccharide Recognition	- 共著	平成28年10月	Chrm. Eur. J. 22(52) 18944—18952			
(論文) Nonplanar Macrocycle Consisting of Four Pyridine and Phenol Units Connected wit Acetylene Bonds Displaying Preferential Binding to Maltoside over Monosaccharides	h 共著	平成30年4月	J. Org. Chem. 83(10) 5766-5770			
(論文) Spontaneous Helix Formation of "meta"—Ethynylphenol Oligomers by Sequenti Intramolecular Hydrogen Bonding inside the Cavities	al 共著	同 年6月	J. Org. Chem. 83(15) 8724—8730			
(論文) Observation of Circularly Polarized Luminescence of the Excimer from Two Perylen Cores in the Form of [4]Rotaxane	e 共著	同 年8月	Chrm. Eur. J. 24(55) 14613—14616			
2. 学会発表(評価対象年度のみ)	•	発表年・月	学会名			
(演題名)糖のキラル分離:ビナフチル基を導入 ジンーアセチレンーフェノール大環状分子の開発	したキラルなピリ	平成30年9月	平成30年度有機合成化学北 陸セミナー			
(演題名) Development of pyridine-acetylene- as a new architecture of helical receptors a saccharides		平成30年9月	Bordeaux symposium on Foldamer 6th ed.			
(演題名)Supramolecular structures and mole of chain- and macrocycle-type ethynylphenol		平成30年10月	4th International Symposium on Center of Excellence for Innovative Material Sciences Based on Supramolecules			
Ⅲ 学会および社会における主な活動						

平成29年11月	第43回反応と合成の進歩シンポジウム 実行委員				
平成30年3月	日本薬学会第138年会 プログラム編集委員				
平成30年5月	日本ケミカルバイオロジー学会 機関紙第16号での記事執筆				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 富山大学 講座名	分子神経生物学	職名 助教	氏名	伊原 大輔		
I 教育活動						
教育実践上の主な業	績	年 月 日	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評値	五等を含む)	平成29年10月 ~現在	教科書をもとに、講義内容の要点を整理し、パワーポイントスライドを用いて説明を行う。また、そのプリントを配布することで理解を深める。講義後半では、講義内容に関連した実際の薬剤師国家試験問題を紹介することにより、受講生の理解を高めている。講義終了後には授業アンケートを実施し、教育方法の見直しや改善を行っている。			
2 作成した教科書、教材、参考	書		なし			
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等		なし			
4 その他教育活動上特記すべき	·事項 (FDを含む)	平成29年8月		薬学部・大学院医学薬学教 修会に出席し、様々な議論		
		平成29年12月 ~現在	OSCE評価者			
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称		
(論文) Involvement of SRF coac BDNF-mediated activation of the activity-responsive element in	synaptic the <i>Arc</i> gene.	共著	平成30年9月	J Neurochem. in press.		
(論文) Synaptic localisation o coactivators, MKL1 and MKL2, an dendritic spine morphology.		共著	平成30年1月	Sci Rep. 15;8(1):727.		
(論文) Deltamethrin increases outgrowth in cortical neurons t endogenous BDNF/TrkB pathways.		共著	平成29年10月	<i>Cell Struct Funct.</i> 42(2):141-8.		
(論文) Rho signaling inhibitor inhibits axonal elongation and complexity of rat cortical neur	dendritic	共著	平成29年10月	Biochem Biophys Res Commun. 492(3):474-9.		
(論文) Excitatory GABA induces transcription via CRTC1 and pho CREB-related pathways in immatu cells.	sphorylated	共著	平成26年10月	<i>J Neurochem.</i> 131(2):134−46.		
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名		
(演題名)自閉症スペクトラム障害 したSRFコアクチベーターMRTFBはSI ロン形態を負に制御する			平成30年11月	日本薬学会北陸支部第130 回例会		
(演題名) Mutation of SRF coact patients with autism spectrum d SRE-mediated gene transcription cortical neurons	isorders negativ	ely regulates	平成30年9月	第3回 富山・アジア・アフ リカ創薬研究シンポジウム (3 rd TAA-Pharm Symposium)		
(演題名)SRFコアクチベーターMK びニューロン形態に与える影響〜自 能障害との関係〜			平成30年9月 Toyama Academic GAL			
(演題名)Functional analysis o coactivator MKL2 which was foun spectrum disorders (自閉症スペク クチベーターMKL2遺伝子変異の機能	d in patients wi トラム障害で発見	th autism	平成30年9月	第40回日本生物学的精神医学会 第61回日本神経化学会大会 合同年会		
Ⅲ 学会および社会における主な流	·動					
平成30年4月~現在 日本神経化学会会員						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

大学名 富山大学	講座名 遺		職名 助教	氏名 田中 亜紀		
I 教育活動						
—————————————————————————————————————	上の主な業	 績	年 月 日	相	既 要	
1 教育内容・方法の工夫					近の知見まで含めた内容によびスライドを作成し使用	
	(授業評価	i等を含む)		学生アンケートの結果を参考に毎年改良してい る。		
2 作成した教科書、	教材、参考	書		該当なし		
3 教育方法・教育実	ミ践に関する	発表、講演等		該当なし		
4 その他教育活動上	-特記すべき	事項				
		(FDを含む)		· · ·	富山FD研修会に出席	
- THO Y S			平成27年11月	全学FD2015研修会に	出席	
Ⅱ 研究活動 ━			単著・	~~++	જ ᄯᇎ જ = hh =+	
1. 著書・論文等の名称	T		単者・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	
(論文) Mediator cyclin-dependent kinases upregulate transcription of inflammatory genes in cooperation with NF- κ B and C/EBP β on stimulation of Toll-like receptor 9.			共著	2017年3月	Genes Cells, 22, 265- 276, 2017.	
(論文) Association of of the TFIIE α subunit the TFIIE β subunit of functions in transcrip	t of TFIIĒ r TFIIB dis	with either	共著	2015年3月	Genes Cells, 20, 203- 216, 2015.	
(論文) Human mediator MED17 subunit plays essential roles in gene regulation by associating with the transcription and DNA repair machineries.			共著	2015年3月	Genes Cells, 20, 191- 202, 2015.	
(論文) Transcription cofactor PC4 plays essential roles in collaboration with the small subunit of general transcription factor TFIIE.			共著	2014年12月	Genes Cells, 19, 879- 890, 2014.	
(論文) Mediator MED18 subunit plays a negative role in transcription via the CDK/cyclin module.			共著	2014年6月	Genes Cells, 19, 582- 593, 2014.	
2. 学会発表(評価対象年度のみ)				発表年・月	学会名	
該当なし						
Ⅲ 学会および社会における主な活動						
2001年7月~現在	2001年7月~現在 日本分子生物学会会員					
2006年3月~現在		———————— 日本薬学会会員				
2009年7月~現在	2009年7月~現在 日本生化学会会員					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧							
大学名 富山大学	講座名 分子細胞機能学	氏名 川口 甲介					
I 教育活動							
教育実践	上の主な業績	年 月 日	概要				
1 教育内容・方法の	工夫		該当なし				
	(授業評価等を含む)						
2 作成した教科書、	教材、参考書		該当なし				
3 教育方法・教育実	践に関する発表、講演等		該当なし				
4 その他教育活動上	:特記すべき事項	平成27年10月14日	富山大学理学部FDI	こ参加			
	(FDを含む)	平成28年8月6日	富山大学薬学部FDI	こ参加			
		平成29年12月1日	富山大学医学部FDI	こ参加			
		平成30年8月4日	富山大学薬学部FDI	こ参加			
Ⅱ 研究活動							
1. 著書・論文等の名称	7	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称			
Probing within Proteir	e in mammal and analysis dation system by	共著	2017年 9月	Springer Nature; p. 197- 223			
(論文) Characterizati cassette protein subfa into proteoliposomes.	on of human ATP-binding amily D reconstituted	共著	2018年 2月	Biochem. Biophys. Res. Commun. vol. 496: 1122-7			
ABCD4 from the endopla	of the ABC transporter asmic reticulum to e escort protein LMBD1.	共著	2016年 7月	Sci. Rep. 2016; 6: 30183.			
(論文) ABC transporte differences in behavio ABCD4 in subcellular l and human disease.	er subfamily D: distinct or between ABCD1-3 and localization, function	共著	2016年 9月	BioMed Res. Int. 2016; 2016: 6786245.			
(論文) Yeast nitroger phyllosphere during pl regulation of autophag	ant lifespan under	共著	2015年 4月	Sci. Rep. 2015; 5: 9719.			
2. 学会発表(評価対象	年度のみ)		発表年・月	学会名			
(演題名)ペルオキシソーム膜ABCトランスポーターABCD1がもつアシル CoAチオエステラーゼ活性は基質輸送に必須である			平成30年 7月	第13回トランスポーター研 究会			
(演題名)ABCD1がもつアシルCoAチオエステラーゼ活性の極長鎖脂肪酸 CoA輸送における役割			平成30年 8月	第3回ペルオキシソーム病 研究会			
(演題名)ABCD4を介したリソソームからのビタミンB12輸送の解析			平成30年 8月	第3回ペルオキシソーム病 研究会			
(演題名)Transport mechanism of vitamin B12 from lysosome to cytosol mediated by ABC transporter ABCD4			平成30年 9月	第3回 富山・アジア・アフ リカ創薬研究シンポジウム			
(演題名)ペルオキシソ CoAチオエステラーゼ活り	′ーム膜ABCトランスポーター 生の解析	ABCD1がもつアシル	平成30年 9月	第91回日本生化学会大会			
(演題名)メタノール資 LMBD1の発現と機能解析	化性酵母を用いたリソソー <i>』</i>	ュ膜タンパク質	平成30年 11月	日本薬学会北陸支部第130 回例会			

(演題名)リソソーム膜ABCトラン B12輸送機構の解析	平成30年 11月	第41回日本分子生物学会年 会		
(演題名)リソソーム膜ABCトラン 輸送	スポーターABCD4の局在化機構と基質	平成30年 12月	第1回トランスポーター研 究会北部会	
(演題名)ABCタンパク質によるリ 輸送機構の解析	ソソームから細胞質へのビタミンB12	平成31年 3月	日本薬学会第139年会	
Ⅲ 学会および社会における主な流	香動			
平成28年7月~	トランスポーター研究会幹事			
平成30年12月 第1回トランスポーター研究会北部会組織委員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧							
ļ — — — — — — — — — — — — — — — — — — —				1 期の未刊	<u> </u>		
大学名 富山大学	講座名	薬物生理学	職名	助教	氏名 藤井 拓人		
I 教育活動							
教育実践_	上の主な業	績	年	月日	概要		
1 教育内容・方法の	工夫		通年		卒業研究および修士論文の指導		
	(授業評価	5等を含む)	前期		専門英語I、医療系実習(生物物理化学)		
			後期		専門英語Ⅱ、薬学英語Ⅱ、総合薬学演習		
2 作成した教科書、	教材、参考	書	通年		卒業研究および修士論文の指導における資料作成		
			通年		専門英語および薬学英語において用いる資料作成		
			前期		医療系実習の実習書		
3 教育方法・教育実	銭に関する)発表、講演等	2018年1	1月18日	事業ダイバーシティ	度科学技術人材育成費補助 研究環境実現イニシアティ 者に対して研究留学につい	
4 その他教育活動上	持記すべき	事項	随時		薬学部および大学院	に関するFDには毎回参加	
		(FDを含む)	随時		医学部から派遣され	ている博士課程学生の指導	
			随時		海外からの留学生の	指導	
Ⅱ 研究活動					T		
1. 著書・論文等の名称				著・ の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	
(著書)Proton-Potassion Properties and Roles in			共著		2016年	Met Ions Life Sci. 2016;16:459-83.	
(論文)Crosstalk betwo and a volume-regulated membrane microdomains o	anion cha	annel in	共著		2018. 09. 14	Biochim Biophys Acta Mol Basis Dis. 2018 Nov;1864(11):3792-3804.	
(論文) Positive regula activity of gastric H(sialylation of its β -s	+) , K (+) –A		共著		2015. 08. 11	Biochim Biophys Acta. 2016 Jun;1858(6):1228- 35.	
(論文) Functional coup exchanger CIC-5 to gas			共著		2014. 1. 15	Biol Open. 2014 Jan 15;3(1):12-21.	
(論文) Modulation of H(+),K(+)-ATPase activity by the molecular chaperone ERp57 highly expressed in gastric parietal cells.			共著		2013. 12. 11	FEBS Lett. 2013 Dec 11;587(24):3898-905.	
2. 学会発表(評価対象:	年度のみ)				発表年・月	学会名	
(演題名)強心配糖体に 局在制御	よる癌細胞	®のグルコーストラ	ランスポ	ーター	2019年3月	日本薬学会第139年会	
(演題名)Non-morphogenic function of Sonic Hed negative regulator of gastric H+,K+-ATPase			gehog a	s a	2019年3月	第96回日本生理学会大会 (FAOPS2019)	
						他7件	
Ⅲ 学会および社会における主な活動							
平成30年4月~平成32年3	 月	日本薬学会 ファ	ルマシ	アトピッ	クス小委員		
平成17年7月~		日本生理学会会員、日本生理学会評議員(平成26年4月~)					
平成19年2月~		日本薬学会会員					
平成30年7月~		日本薬理学会会員					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。

- 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧												
大学名 富山大学	講座名	医療薬学	ಾ	名 助	教			氏名			岡﨑	史泰
I 教育活動												
教	首実践上	の主な業績		4	年 月	E	3			概		要
1 教育内容・力	方法の工夫	₹										
	(授業評	平価等を含む)										
	臨床前実	習	'				11月28					運営も含む
	保険薬局			成30年	4月1E	3		計3=	コマ分、	試験問	題作反	えも含む しょうしょう
	博士課程	星高度職業人育成コー	ス実習 平	成30年	1月							
	専門英語	§II		成29年			-					
	事前実習	-				日-	11月29	日 薬学	:部OSCE <i>0</i>	り資料作	■成・	運営も含む
		呈高度職業人育成コー		成29年								
	専門英語			成28年			-					
	事前実習	-				日-	11月30)日 薬学	·部OSCE0	り資料作	■成・	運営も含む
		呈高度職業人育成コー		成28年								
	専門英語			成27年	, .				4=6-	- 14 :		
	事前実習	-				日-	11月25	日 薬学	:部OSCE <i>0</i>	D資料作	■成・	運営も含む
		星高度職業人育成コー 		成27年				_				
	専門英語	_		成26年					_		_	
	事前実習	-				日-	11月26	6日 薬学	·部OSCE0	り資料作	■成・	運営も含む
		呈高度職業人育成コー		成26年								
	専門英語	_		成25年								
	事前実習	9 1	平	成25年	10月2	日-	11月28	3日 薬学	:部OSCE <i>0</i>	り資料作	■成・	運営も含む
2 作成した教和3 教育方法・教		才、参考書 - -関する発表、講演等		当なし								
4 その他教育活	5動上特記											
		(FDを含む)										
	学部パン	レフレットWG	平	成30年								
	薬学部ホ	マームページWG	平	成30年								
	臨床研修	\$	平	成30年				4月 f 2ヶ f		(平成	30年1	2月時点で計3年
	薬学部国	国家試験対策担当	平	成29年				2.7	1/			
		/フレットWG	· 平	成29年								
	•	マームページWG		成29年								
	病院・薬	英局実務実習北陸地区 -クショップ実行委員	調整機	成29年								
	臨床研修		_	成27年	:			1年				
	臨床研修			成26年 成26年				1年				
	臨床研修			成25年				6 ታ ቻ	₹			
Ⅱ 研究活動												
1. 著書・論文等 <i>0</i>	D名称				単著 共著(行または を (西暦で			行所、発表雑誌 ・号数)等の名
inhibitors with th	he unprec	ed potent topoisome sedented B-b]indol-6(13H)-one			共和				30年11月		Bioo Medi	rganic & cinal Chemistr 月Accepted)
2. 学会発表(評価	西対象年度	を (のみ)	•						発表年・	月		学会名
(演題名)がん幹絹 物療法の開発	田胞マーカ	」―CD44およびCD44v多	発現量を効果	果的に派	載少さ	せる	る新規薬	^薬 平成	30年9月		Toyaı 2018	ma Academic GA
	<u></u> 会における	 主な活動										
	0年12日	日本医療薬学会	 学会会員									

平成18年2月-平成30年12月	日本薬学会 学会会員					
平成19年4月-平成30年12月	日本時間生物学会 学会会員					
平成24年8月-平成30年12月	日本生化学会 学会会員					
平成25年5月-平成30年12月	日本臨床薬理学会 学会会員					
平成30年	学校法人 和楽学園 美容専門学校 富山ビューティーカレッジ 衛生管理 非常勤講師					
平成29年	学校法人 和楽学園 美容専門学校 富山ビューティーカレッジ 衛生管理 非常勤講師					
平成29年1月	フィジカルアセスメント実習研修 認定薬剤師研修制度					
平成28年	学校法人 和楽学園 美容専門学校 富山ビューティーカレッジ 衛生管理 非常勤講師					
平成27年	学校法人 和楽学園 美容専門学校 富山ビューティーカレッジ 衛生管理 非常勤講師					
平成21年1月	フィジカルアセスメント実習研修 認定薬剤師研修制度					
平成26年	学校法人 和楽学園 美容専門学校 富山ビューティーカレッジ 衛生管理 非常勤講師					
平成26年9月	日本TDM学会 第41回セミナー 当研究室主催					
平成26年6月	医療薬学フォーラム2014/第22回クリニカルファーマシーシンポジウム シンポジスト					
平成26年1月	フィジカルアセスメント実習研修 認定薬剤師研修制度					
平成25年11月	第7回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム 優秀発表賞 (ロ頭)					
平成25年11月	第50回 日本医療薬学会 医療薬学公開シンポジウム 当研究室主催					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

大学名 富山大学 講座名 植物機能科学 脂 教育活動	哉名 助教						
I 教育活動	職名 助教	氏名 山村 良美					
	I 教育活動						
教育実践上の主な業績	年 月 日	相					
(授業評価等を含む)		るテストを認にない。 達度で行うことにない。 を行うことにる。 担なが、理にいる。 にポウットでは、 はいでといいでである。 はいではいいでは、 はいでといいでいる。 はいではいいでは、 はいではいいでは、 はいいではいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいできる。 はいできる。 とっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと	ては、最終日に実習に関すことによって学生の学生の学習を記念。また、実習は、十分なっまた、実習を行えるより、問題なく実習を行えるよって、関連する時事問題に触って、関連する講義を進めることもに、先端の情報				
2 作成した教科書、教材、参考書	2014年~現在		実習書を作成。実習書は毎 、学生が理解しやすいよう 。				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし					
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	2014年~		ショップにも積極的に参加 諸問題に対する見識を深め				
Ⅱ 研究活動							
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称				
(論文) Characterization of <i>ent-</i> kaurene synthase and kaurene oxidase involved in gibberellin biosynthesis from <i>Scoparia dulcis</i>	共著	2018年3月	J. Nat. Med.72(2)				
(論文) Elucidation of terpenoid metabolism in <i>Scoparia dulcis</i> by RNA-seq analysis.	共著	2017年4月	Sci. Rep. 7:43311				
(論文) Transcriptional activation of a geranylgeranyl diphosphate synthase gene, <i>GGPPS2</i> , isolated from <i>Scoparia dulcis</i> by the treatment with methyl jasmonate and yeast extract.	共著	2014年10月	J. Nat. Med. 68(4)				
(論文) Induction, cloning and functional expression of a sesquiterpene biosynthetic enzyme, a-guaiene synthase of <i>Aquilaria mirocarpa</i> cell cultures.	共著	2014年9月	Nat. Prod. Commun. 9(9)				
(論文) Enhanced accumulation of atropine in <i>Atropa belladonna</i> transformed by Rac GTPase gene isolated from <i>Scoparia dulcis</i> .	共著	2013年12月	Transgenic Res. 22(6)				
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名				
(演題名)薬用植物スコパリア由来のテルペン合成酵素 in vivoにおける機能解析	素遺伝子群の	2019年3月	第60回日本植物生理学会年 会				
(演題名)薬用植物ヒキオコシ由来ジテルペン生合成暦	酵素の解明	2018年9月	日本生薬学会第65回年会				
(演題名) Identification of diterpene enzymes in <i>japonicus</i>	Isodon	2018年9月	3rd TAA-Pharm Symposium				
Ⅲ 学会および社会における主な活動							
2014年3月 第55回日本植物生理	理学会年会 組	織委員					

[[]注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。

- 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
- 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
- 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 富山大学	講座名 薬物治療学	職名 助教	氏名 宇野 恭介			
I 教育活動						
教育実践」	Lの主な業績	年 月 日	概 要			
1 教育内容・方法のご	工夫 専門英語 I ・Ⅱ	2011年〜2018年 前期・後期	アメリカ神経科学会が発行している資料をもとに、脳科学についての講義や英語の速読・解説を行った。英語の速読については学生にも一緒に行ってもらうことで理解を深めてもらい専門的な語句についてはその場で説明も行った。			
	実務実習(事前学習)	2013年~2018年後期	重要な疾患について病態や治療薬などを学生にまとめてもらい発表してもらうことを行ったり、KJ法などを導入したりすることによりグループワークを行うように心がけた。初回イマビューや服薬指導などの実技では講義時間最初と最後に数人の学生に全員の前で行っました。大学独自のはい、どのような点が改善されたかなど学生と一緒に評価することを行ったりした。大学独自の輸液や栄養剤の講義では、計算問題などを作成し、学生に行ってもらい、早く計算する方法などを紹介した。			
2 作成した教科書、 美	数材、参考書 『務実習・事前学習テキス	2013年~2018年	実務実習・事前学習で用いるテキストを毎年作成した。毎回の診療報酬改定にも対応したものを作成し、実習用のシナリオや処方箋も作成した。			
3 教育方法・教育実	践に関する発表、講演等					
			なし			
4 その他教育活動上!	持記すべき事項	2013年5月11日	第98回薬剤師国家試験問題検討委員会(病態・ 薬物治療)部会			
		2013年8月24-25日	第1回 北陸地区実務実習指導薬剤師(薬学教育者)アドバンストワークショップ(AWS)レベルアップ研修会 タスクホース			
		2013年9月15-16 日	第16回認定実務実習指導薬剤師養成のための ワークショップ(薬学教育者ワークショップ) in北陸 受講			
		2014年5月10日	第99回薬剤師国家試験問題検討委員会(病態· 薬物治療)部会			
		2015年9月22-23日	第18回認定実務実習指導薬剤師養成のための ワークショップ(薬学教育者ワークショップ) in北陸 事務局			
		2016年9月4日	第1回タスクホース スキルアップ研修会in北陸 受講者として参加			
		2016年11月15日	平成28年度理学部・大学院医学薬学教育部薬学 系部会 F D			
		2017年1月8-9日	第19回認定実務実習指導薬剤師養成のための ワークショップ(薬学教育者ワークショップ) in北陸 タスクフォース			
		2017年7月29日	平成29年度理学部・大学院医学薬学教育部薬学			
		2018年8月4日	系部会 F D 平成30年度理学部・大学院医学薬学教育部薬学			
		2018年2月24日	系部会 F D 北信がんプロ(超少子高齢化地域での先進的医 療人養成) 講師			
		2018年12月8日	北信がんプロ(超少子高齢化地域での先進的医 療人養成) 講師			

Ⅲ 研究活動			
	道著 •	発行または発表の	発行所、発表雑誌
(論文) Decreased DNA Methylation in the Shati/Nat8l Promoter in Both Patients with Schizophrenia and a Methamphetamine-Induced Murine Model of Schizophrenia-Like Phenotype.	年月(西暦でも可) 2016年1月	(巻・号数) 等の名称 PLoS One. 11(6):e0157959. doi: 10.1371/journal.pone.015 7959.	
(論文) Methamphetamine induces Shati/Nat8L expression in the mouse nucleus accumbens via CREB- and dopamine D1 receptor-dependent mechanism.	2017年3月	Plos One. e0174196. doi: 10.1371/journal.pone.0174196. eCollection 2017.	
(論文) Involvement of the accumbal osteopontin-interacting transmembrane protein 168 in methamphetamine-induced place preference and hyperlocomotion in mice.	共著	2017年10月	Scientific Reports. 7(1):13084.
Suppression in Mice.	共著	同 年12月	The international journal of neuropsychopharmacology. 20(12):1027-1035.
(論文) Behavioral impairment in SHATI/NAT8L knockout mice via dysfunction of myelination development.	共著	同年同月	Scientific Reports. 7(1):16872.
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名
Behavioral impairment via delay myelination developmer prefrontal cortex of SHATI/NAT8L knockout mice.		2018年6月	31st The International College of Neuropsychopharmacology (CINP) World Congress (Vienna, Austria).
Attenuation pharmacological effects of methamphetamine Piccolo knockdown in the nucleus accumbens in mice.	2018年6月	31st The International College of Neuropsychopharmacology (CINP) World Congress (Vienna, Austria).	
Sexual differences of cognitive impairment induced by of Shati/Nat8I.		2018年6月	31st The International College of Neuropsychopharmacology (CINP) World Congress (Vienna, Austria).
Behavioral and neurochemical analyses in the Piccolo Pamice as a new animal model for schizophrenia.		2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)(Kyoto).
Vulnerability of social defeats in the overexpressed s SHATI/NAT8L in mice.		2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)(Kyoto).
Behavioral impairment associated with dysfunction of myelination by Shati/Nat8L deficit in mice.		2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)(Kyoto).
Inhibitory effect of knockdown Piccolo on methamphetar induced behavioral changes via dopamine/GABA release nucleus accumbens of mice.	in the	2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)(Kyoto).
Cognitive dysfunction induced by the deletion of NAA s Shati/Nat81 in mice.	-	2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)(Kyoto).
Inhibitory effects of accumbal transmembrane protein (TMEM168) on methamphetamine-induced place.	2018年7月	18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)(Kyoto).	
Piccolo knockdown in the prefrontal cortex induced schizophrenia-like phenotypes by impairment of neurona network.		2018年9月	3rd TAA-Pharm Symposium (Toyama).
Piccolo knockdown in the perirhinal cortex induces cog dysfunction in the new schizophrenia mice.	gnitive	2019年3月	第92回日本薬理学会年会 (大阪)
Vulnerability for onset of depression induced by stria Shati/Nat81 in mice	atal	2019年3月	第92回日本薬理学会年会 (大阪)

Increased DNA methylation of SH. blood from unmedicated patients	ATI/NAT8L promotor sites in the with depression	2019年3月	第92回日本薬理学会年会 (大阪)	
マウス線条体のShati/Nat81はうつ	様症状発症に脆弱性を示す	2019年3月	第139回日本薬学会年会 (千葉)	
Ⅲ 学会および社会における主な活動				
2006年 4月から現在 日本薬理学会 会員 (2014年4月~学術評議員)				
2016年 12月から現在 Global Drugs and Therapeutics (GDT) 編集委員				
2018年4月23日	金沢大学薬学北陸同窓会第1回幹事	· 会		

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

	教育およ	び研究	活動の	業績	責一覧	
大学名 富山大学 講座名	附属病院薬剤部	職名	助教		氏名 三村	泰彦
I 教育活動		•				
教育実践上の主な業	績	年	月日	3	村	既要
1 教育内容・方法の工夫		平成3	0年5月	7日	平成30年度実務実習	i o
(授業評価 	5年を含む)	平成3	~ 1年2月2	7日		5業務の習得及び病棟での実 うき薬剤師業務の実際を経験
2 作成した教科書、教材、参考	書				該当なし	
3 教育方法・教育実践に関する	免表、講演等				該当なし	
4 その他教育活動上特記すべき	宇事項 (FDを含む)				該当なし	
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			≦著・ 著の別		発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文)輸液フィルターにおける小児投与量 1 点での吸光度測定法の有用性.			共著		平成26年5月	薬学雑誌134:671-677
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)					 発表年・月	学会名
該当なし						
m⊐.e ∪						
Ⅲ 学会および社会における主な活	Ⅲ 学会および社会における主な活動					
1981年4月~現在	日本薬学会会員					
1984年4月~現在	日本病院薬剤師会会員					
1996年1月~現在	日本医療薬学会会	員				
2000年2月~現在 日本環境感染学会会員						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

		教育およ	び研究活動の業績	責一 覧			
大学名 富山大学 詩	講座名	製剤設計学	客員助教	林 祥弘			
 I 教育活動			<u> </u>				
—————————————————————————————————————			年 月 日	相	既 要		
1 教育内容・方法のこ	 L夫		2018/10/22	大学院講義(創剤学	'特論)		
	(授業評価	晒等を含む)	2018/11/19	大学院講義(創剤学	特論)		
				その他 7件			
2 作成した教科書、教	枚材、参考	書		なし			
3 教育方法・教育実践	浅に関する			なし			
4 その他教育活動上特	寺記すべき	李項	2016/8/6	FDに参加			
	(FDを含む)			FDに参加			
			2018/8/4	FDに参加			
Ⅱ 研究活動							
1. 著書・論文等の名称			単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称		
Latent structure analys pharmaceutical process wet granulation			共著	2016/1	Drug Dev Ind Pharm. 42(1):116-22.		
Relationships between response surfaces for tablet characteristics of placebo and API- containing tablets manufactured by direct compression method			共著	2017/1	Int J Pharm. 532(1):82- 89		
Modeling of quantitative relationships between physicochemical properties of active pharmaceutical ingredients and tensile strength of tablets using a boosted tree			共著	2018/2	Drug Dev Ind Pharm. 44(7): 1090-1098		
Determining the influen simulation parameters a stress distribution in the finite element meth experiments	ınd residı tablets l	ual shear by combining	共著	2018/5	Chem Pharm Bull. 66(5) 541-547		
Strength simulation of scored tablets based on the finite element method using an extreme vertices design			共著	2018/7	Chem. Pharm. Bull. 66(7) 727-731		
2. 学会発表(評価対象年	年度のみ)			発表年・月	学会名		
QSPRモデルによる錠剤密原	更のin si	lico予測		2018/5	薬剤学会		
Modeling of quantitative relationships between physicochemical properties of APIs and tablet pusing a random forest			roperties	2018/6	Compaction Simulation Forum San Francisco 2018		
Ⅲ 学会および社会におり	ナる主な活	動					
2010年5月~現在		日本薬剤学会会員	l				
2011年3月~現在		日本薬学会会員					
2011年10月~現在		粉体工学会会員					
		日本薬学会 ファ	7ー・ーーへ 日本薬学会 ファルマシア トピックス小委員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。

- 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

大学名 富山大学 講座名 生体認識化学 職名 教授 氏名 友廣岳則 I 教育活動 年月日 概要 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) 平成25~30年度 医薬品の品質検査、安全管理のための適析について、日本薬局方に基づく医薬品がら講義している 日本薬局方記載の医薬品分析等を実施し物理系実習(分析化学)(分担) 物理系実習(分析化学)(分担) 中成25~30年度 他、応用分析化学(単独)を含め5科目 中成25年度 中成26年度 中成26年度 中成27年度 中成27年度	分析例		
教育実践上の主な業績年月日概要1 教育内容・方法の工夫	分析例		
1 教育内容・方法の工夫	分析例		
(授業評価等を含む) 分析化学(単独) 平成25~30年度 平成25~30年度 ・ では、	分析例		
分析化学(単独) で成25~30年度 で成25~30年度 で成25~30年度 を薬品の品質検査、安全管理のための過 でででは、 日本薬局方に基づく医薬品を示しながら講義している 日本薬局方記載の医薬品分析等を実施して のレポートを通して科学的な視点等につて 個別に指導している で成25年度 で成26年度 で成26年度 で成27年度	分析例		
分析化学(単独) 平成25~30年度 析について、日本薬局方に基づく医薬品を示しながら講義している 日本薬局方記載の医薬品分析等を実施し のレポートを通して科学的な視点等につて 他、応用分析化学(単独)を含め5科目 で成25年度 中成26年度 他、応用分析化学(単独)を含め5科目 平成27年度	分析例		
物理系実習(分析化学)(分担) 平成25~30年度 のレポートを通して科学的な視点等につ 他、応用分析化学(単独)を含め5科目 平成25年度 他、応用分析化学(単独)を含め6科目 平成26年度 他、応用分析化学(単独)を含め5科目 平成27年度			
他、応用分析化学(単独)を含め6科目 平成26年度 他、応用分析化学(単独)を含め5科目 平成27年度			
他、応用分析化学(単独)を含め5科目 平成27年度			
他、応用分析化学(単独)を含め6科目 平成28年度			
他、応用分析化学(単独)を含め5科目 平成29年度			
他、応用分析化学(単独)を含め7科目 平成30年度			
2 作成した教科書、教材、参考書 パートナー分析化学 II 改訂第 3 版, p173-178 平成29年3月30日 (共著) ISBN: 978-4-524-40344-8.			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
なし。			
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)			
薬学部FD 平成25~30年度			
特別講義 平成27年11月 Hasanuddin University, Indonesia			
平成27年11月 Sekolah Tinggi Ilmu Farmasi, Indones	Sekolah Tinggi Ilmu Farmasi, Indonesia		
Ⅱ 研究活動			
1. 著書・論文等の名称 単著・ 発行または発表の 共著の別 年月(西暦でも可) 発行所、発表系			
(著書) Tag-Creation Approaches for Highly Efficient Profiling of Interacting Proteins and Domains. "Photoaffinity Labeling for Structural Probing within Protein", Chapter 2, p13-43 Springer Internat Publishing 平成29年10月	ional		
(論文) [3-(Trifluoromethyl)-3H-diazirin-3- yl]coumarin as a carbene-generating photocross-linker with masked fluorogenic beacon 共著 平成25年11月	49, No. 9		
(論文) An isotope-coded fluorogenic cross- linker for high-performance target identification based on photoaffinity labeling 共著 平成26年12月 Angew. Chem. Int. Ed 3, No. 49	., Vol. 5		
(論文) Structure-assisted ligand-binding analysis using fluorogenic photoaffinity H著 平成27年4月 Bioorg. Med. Chem. L. l. 25, No. 8	ett., Vo		
(論文) Kinetic controlled affinity labeling of target enzyme with thioester chemistry 共著 平成28年8月 Bioorg. Med. Chem., No. 15	Vol. 24,		
2. 学会発表 (評価対象年度のみ) 発表年・月 学会名			

(演題名)Photoaffinity labelli of bioactive molecules	ng-based target identification	平成26年10月	The 2nd International Current Breakthrough (ICB)-Pharma Symposium 2015		
(演題名) PAL-based fluorogenic analysis of ligand binding stat		平成29年9月	26th French-Japanese Symposium on Medicinal&Fine Chemistry		
Ⅲ 学会および社会における主な活動					
平成28年4月~現在	日本光医学・光生物学会評議員				
平成29年4月~現在	薬学会学術誌編集委員会編集委員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

	教育および研究活動の業績一覧							
大学名 富山大学 講座名 た	ぶん細胞生物学	職名 教授	氏名 櫻井宏明					
Ⅰ								
	績	年 月 日	概要					
1 教育内容・方法の工夫 (授業評値	2017年4月~	衛生薬学Ⅲ 地球温暖化対策など、生活環境等に関する報道 を活用し、衛生薬学の重要性を考えさせる講義 を行った。						
2 作成した教科書、教材、参考		なし						
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等		なし					
4 その他教育活動上特記すべき	事項 (FDを含む)	2016年4月~ 2018年3月	教務委員長					
Ⅱ 研究活動			•					
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称					
(論文) Ligand-activated epidern factor receptor (EGFR) signaling endocytic trafficking of unligan monomers by non-canonical phospl	共著	2018年2月	J. Biol. Chem. 293: 2288-2301					
(論文) Feedback control of Erbl mediated phosphorylation of a co threonine in the juxtamembrane o	共著	2016年8月	Sci. Rep. 6: 31502					
(論文) Crucial roles of RSK in by catalysing serine phosphoryla		共著	2015年7月	Nat. Commun. 6: 7679				
(論文) Role of tyrosine kinase phosphorylation of EGFR with ac mutation in cisplatin-treated l cells.	tivating	共著	2015年3月	Biochem. Biophys. Res. Commun. 458: 856-861				
(論文) p38-Mediated phosphoryla endocytic adaptor protein.	ation of Eps15	共著	2014年1月	FEBS Lett. 588: 131-137				
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名				
(演題名)小胞関連タンパク質Rab 胞遊走機構	E化を介した細	2018年7月	第27回日本がん転移学会学 術集会					
(演題名)上皮間葉転換に伴うEph	在化機構	2018年11月	第41回日本分子生物学会年 会					
Ⅲ 学会および社会における主な活動								
平成27年1月~	日本癌学会評議員							
平成25年5月~	日本がん分子標的学会評議員							
平成27年9月~平成29年8月	日本生化学会代議員							
平成25年2月~平成26年1月	日本薬学会代議員	1						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 富山大学 講座名 薬品製造学	職名 教授	氏名	松谷裕二			
I 教育活動		•				
教育実践上の主な業績	年 月 日	村	既要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	H25~30年度 H25~30年度	III」、「合成化学、 応式、反応機構等を 書きで正確に描写す る。 化学系実習(有機化 る疑問点や問題点を	有機化学II」、「有機化学」等)では、化学構造式、反映を書にて示し、これらを手ることを習慣づけさせていた。 、対象にでは、実習内容に関する。 、対象のののでは、実習内容に関する。 、対象ののでは、大力のでは、対象のの手法を			
		取り入れている。	(7) / D] D , @OUDON] M E			
2 作成した教科書、教材、参考書	H28年3月26日 H25~30年度	学系薬学II、「生体理解」. 日本薬学会219-224.	ダード薬学シリーズII、化 分子・医薬品の化学による 編、東京化学同人、pp. 電習(有機化学)「実験の手			
	H25~30年度	(講義資料) 「合成 年度改編)	沈化学」説明用配布資料(毎			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	H26年10月2日	一般講演(化学担当の高校教諭を対象)「創薬に生かされている化学」. 高教研大会化学部会(富山中部高校)				
4 その他教育活動上特記すべき事項	H25~30年度 (8月初旬)	富山大学薬学部・大学院医学薬学教育部薬学系 部会FDに参加(毎年1回)				
(FDを含む)	H27年7月31日 H30年7月29日	スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 医薬品化学講義を担当 (2回) CBT実行委員会、委員長としてCBT実施運営の責任者を務めた				
	H29年度					
	H26, 27年度	薬学部教務委員長として、コアカリ改訂に対応 するため新カリキュラムを策定した				
Ⅱ 研究活動		_				
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称			
(総説)Brook型転位を鍵段階とした連続的分子変換システムの開発	共著 共著	2018年12月	有機合成化学協会誌、12月 号			
(著書) Acetic Acid, 2-[(1,1-Dimethylethyl)- dimethylsilyl]-2-oxo-, Phenylmethyl Ester	共著	2018年1月	e-ENCYCLOPEDIA OF REAGENTS FOR ORGANIC SYNTHESIS (Wiley, Web- edition)			
(論文) Highly Efficient Access to Both Geometric Isomers of Silyl Enol Ethers: Sequential 1,2-Brook/Wittig Reactions.	共著	2016年7月	Angew. Chem. Int. Ed., 55, 10079-10082.			
(論文) Synthesis of Denosomin-Vitamin D3 Hybrids and Evaluation of their Anti- Alzheimer's Disease Activities.	共著	2015年11月	Org. Lett., 17, 5910- 5913.			
(論文) Three-Component Domino Process for Pyrrolizine Skeleton via [3+2]-Cycloaddition- Enamine Cyclization Triggered by Gold Catalyst.	共著	2015年2月	Org. Lett., 17, 1320- 1323.			
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名			
神経疾患治療薬開発を指向したフラン融合四環系化台 成		2018年9月	第48回複素環化学討論会			
Accerelated 4p Ring-opening of Azide-substitute Benzocyclobutene by Staudinger Reaction.	d	2018年9月	The 3rd TAA-Pharm Symposium			

Biphenol/B(OH)3 Catalyzed Nazard Reaction Conditions.	ov Cyclization under Mild	2018年9月	The 3rd TAA-Pharm Symposium		
天然物CJ-12, 950骨格の一般構築法	の開発と各種立体異性体合成	2018年9月	有機合成化学北陸セミナー		
四員環の反応性制御に基づく生体直	直交型反応の開発	2018年9月	有機合成化学北陸セミナー		
温和な条件下でのナザロフ環化反応 ホウ酸触媒系の開拓	を実現する2, 2'-ビフェノール-	2018年9月	有機合成化学北陸セミナー		
Synthetic Studies toward Potent Derivatives Based on o-Quinodim		2018年9月	The 22nd International Conference on Organic Synthesis		
Accelerated Electrocyclic Ring (by Staudinger Reaction.	Opening of Benzocyclobutenes	2018年9月	The 22nd International Conference on Organic Synthesis		
Development of Boronic Acid-cata	alyzed Nazarov Cyclization.	2018年9月	The 22nd International Conference on Organic Synthesis		
ホウ酸エステル誘導体を触媒とする	。 ナザロフ環化反応の開発	2018年11月	第44回反応と合成の進歩シンポジウム		
イミノホスホラン形成による室温下 応とその応用	「でのベンゾシクロブテン開裂反	2018年11月	日本薬学会北陸支部例会		
金触媒を用いたインアミドの二重環 ノリン骨格構築法の開発	骨化反応による新規ピロロイソキ	2019年3月	日本薬学会第139年会		
FTase阻害活性を有するandrastin類	QCD環アナログの研究	2019年3月	日本薬学会第139年会		
植物性ステロイドguggulsteroneの	誘導体合成とNF-kB阻害活性評価	2019年3月	日本薬学会第139年会		
Ⅲ 学会および社会における主な活	s 動				
平成30年4月~	富山医薬品化学研究会(TOMECS)	会長			
平成28年度~平成30年度	成30年度 1st-3rd International Symposium on TAA Pharmaceutical Network 組織委員				
平成29年度	第43回反応と合成の進歩シンポジウム 実行副委員長				
平成25年度~平成27年度	教員免許状更新講習 講師				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 富山大学	大学名 富山大学 講座名 生体界面化学 職名 教授 氏名 中野 実					
<u> </u>			1			
教育実践上の主な業績			年 月 日	楔	我 要	
1 教育内容・方法の		五等を含む)	平成24年度~		るため、毎回講義の最初に 、演習の時間を設けて理解 た。	
2 作成した教科書、	教材、参	考書	平成18年2月	スタンダード薬学シ SBO 22 : 東京化学同	リーズ2,物理系薬学III. 引人,pp.122-126	
3 教育方法・教育実	践に関す	る発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上	特記すべき	き事項	平成24年度~	薬学部FDに参加し、 り組んでいる。	教育活動の改善、向上に取	
		(FDを含む)	平成28年度	薬学教養試験 (CBT)		
			平成29年度~	大学院教務委員長と 行役を務めた。	して、薬学部FDの運営、進	
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	
(著書)生体膜			共著	平成25年9月	揺らぎ・ダイナミクスと生 体機能, 化学同人	
(論文) Biophysical Pa Phospholipid Exchange (of the Sec14	共著	平成30年12月	Biophys. J. in press	
(論文) Effect of Hydr Hydrophobic Length on M Transmembrane Peptides.	Flip-Flop		共著	平成30年5月	J. Phys. Chem. B 122, 4318-4324	
(論文) Formation of A Phospholipase D-Mediate Transphosphatidylation.	ed	Vesicles via	共著	平成30年2月	Biochim. Biophys. Acta - Biomembranes 1860, 245- 249	
(論文) Kinetic Analys Cyclodextrin-Mediated of Pyrene-Labeled Phosp	Intervesi	cular Transfer	共著	平成28年12月	Langmuir 32, 13697-13705	
2. 学会発表(評価対象	年度のみ)			発表年・月	学会名	
(演題名)Determinatio phospholipid transfer b				平成30年9月	59th International Conference on the Bioscience of Lipids	
(演題名) 中性子小角散 輸送機構の解明	乱による	リン脂質輸送タン	パク質の脂質	平成30年9月	第69回コロイドおよび界面 化学討論会	
Ⅲ 学会および社会にお	ける主な	舌動				
平成21年4月~現在		日本膜学会編集委	委員			
平成23年4月~現在		日本膜学会評議員				
平成26年4月~平成28年	F3月	日本薬学会北陸支部幹事				
平成29年11月		膜シンポジウム2	017運営委員長			
平成30年4月~現在		日本薬学会学術誌編集委員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧					
大学名 富山大学 講座名	構造生物学	職名 教授	氏名 水口峰之		
I 教育活動		•	•		
教育実践上の主な業	績	年 月 日	į	既要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評値	5等を含む)			なし	
2 作成した教科書、教材、参考	書			なし	
3 教育方法・教育実践に関する	免表、講演等			なし	
4 その他教育活動上特記すべき	宇事項 (FDを含む)			なし	
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	
(論文) Crystal structures of human transthyretin complexed with glabridin.		共著	平成26年2月	J Med Chem. 2014 Feb 13;57(3):1090-1096.	
(論文) Mutations in the PQBP1 gene prevent its interaction with the spliceosomal protein U5-15kD.		共著	平成26年4月	Nat Commun. 2014 Apr 30;5:3822.	
(論文) Inhibitory activities of propolis and its promising component, caffeic acid phenethyl ester, against amyloidogenesis of human transthyretin.		共著	平成26年11月	J Med Chem. 2014 Nov 13;57(21):8928-8935.	
(論文) Allosteric modulation o affinity between PQBP1 and the protein U5-15kD.		共著	平成28年7月	FEBS Lett. 2016 Jul;590(14):2221-2231.	
(論文) Stability and crystal s His88 mutant human transthyreti		共著	平成29年7月	FEBS Lett. 2017 Jul;591(13):1862-1871.	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名	
(演題名)トランスサイレチンの7 然化合物の探索.	マミロイド線維形成	成を阻害する天 -	平成30年8月	第6回日本アミロイドーシ ス研究会学術集会	
(演題名)Characterization of d amyloidogenesis inhibitor.	iacerein as a tr	ansthyretin	平成30年9月	The 3rd Toyama-Asia- Africa-Pharm Symposium	
Ⅲ 学会および社会における主な活	 f動				
平成26年12月~平成27年11月	科学研究費委員会	. 専門委員			
平成29年5月~平成29年7月	卓越研究員候補者選考委員会書面審査員				
平成29年8月~平成30年7月	年7月 特別研究員等審査会専門委員				
平成29年8月~平成30年7月	成29年8月~平成30年7月 国際事業委員会書面審査員・書面評価員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧				
大学名 富山大学 講座名	応用倫理学	職名 教授	氏名 宮島 光志	
I 教育活動		•		
教育実践上の主な業	績	年 月 日	柑	既要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評値	5等を含む)	平成26年4月)ドラマ教材を用いたケース 講義を展開(現在に至る)
		平成26年6月		ェッショナリズム)でドラマ タディを実施(現在に至る)
		平成27年6月		導入教育)でSTAP細胞事件を :講義を展開(現在に至る)
2 作成した教科書、教材、参考	書	平成28年10月	事前学習(臨床前実 (担当:患者の基本	習)のテキスト改定に協力 的権利)
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等	平成29年3月		れたカリキュラム」」の執 016年度報告書、8-9頁)
4 その他教育活動上特記すべき	·事項 (FDを含む)	平成26年8月		大学院薬学系部会FDに参加
		平成27年8月 平成28年8月		大学院薬学系部会FDに参加 大学院薬学系部会FDに参加
		平成20年0月 平成29年7月		大学院薬学系部会FDに参加
		平成30年8月	一成23千度架子部・八子院架子宗部会	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(著書) 理系のための科学技術者倫	ì理	共著	平成27年6月	丸善出版
(著書) 教養としての生命倫理		共著	平成28年3月	丸善出版
(著書) 三木清研究資料集成・全 6	巻(編集・解説)	共著	平成30年10月	クレス出版
(論文) 地域医療制度と幸福度指標 学的考察	―北陸からの哲	単著	平成29年3月	北海道生命倫理研究(北海 道生命倫理研究会編)5
(論文)近代日本哲学与 "知识的制 木严翼的事迹(邦題「近代日本哲学 化〉—桑木厳翼の事績を辿る」)		単著	平成30年7月	円卓(Round Table;人民 出版社、北京)2016秋冬
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名
(演題名) 高齢者の社会参加と地域 倫理学的考察	社会の幸福度―フ	フレイル予防の	平成30年10月	日本医学哲学・倫理学会
(演題名)三木清とアラン―幸福論		平成30年10月	北陸宗教文化学会	
Ⅲ 学会および社会における主な活				
平成18年7月~現在に至る 北陸宗教文化学会理事				
平成24年10月~平成28年9月 日本カント協会編集委員				
平成26年9月~現在に至る	東北哲学会地区委員			
平成26年9月~現在に至る レギュラトリーサイエンス学会理事				
平成26年11月	西田幾多郎哲学講	 排座講師		
平成27年10月 西田幾多郎哲学講座講師				

平成28年6月	平成28年度三木清研究会公開講演会講師					
平成28年10月	近代日本哲学に関する国際シンポジウムの開催(中華日本哲学会と共催、厦門市)					
平成30年12月	第97回富山県耳鼻咽喉科臨床研究会専門医共通講習講師					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧						
富山大学	講座名	薬品製造学	准教授	氏名 杉本 健士		
I 教育活動	l			1		
教育等	教育実践上の主な業績			相	既 要	
1 教育内容・方 毎回の講義後に確認 図った。		定着度の向上を	平成30年度		問題を実施し、添削し返却)定着度・理解度が高まった	
2 作成した教科	書、教材、参え	芳書		なし		
3 教育方法・教	育実践に関する	5発表、講演等		なし		
4 その他教育活	動上特記すべる	き事項 (FDを含む)		なし		
Ⅱ 研究活動			•			
1. 著書・論文等の	名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	
(著書)Acetic aci dimethylsilyl]-2-o			共著	2018年9月	e-EROS, Wiley社	
(総説)Recent App Cascade Reactions Natural Product			共著	2017年10月	Tetrahedron Letters, 2017, vol.58, 4420-4426.	
(論文) Three-Component Domino Process for Pyrrolizine Skeleton via [3+2]-Cycloaddition- Enamine Cyclization Triggered by Gold Catalyst.		Cycloaddition-	共著	2015年2月	Organic Letters, 2015, vol.17, 1320-1323.	
(論文) Synthesis a]isoquinolines by Cyclization of Alk	Gold-catalyz	ed Domino	共著	2016年2月	Synthesis, 2016, vol. 48, 1855-1864.	
(論文) Synthetic Pyrroloindolizidin Catalyzed Hydroami Ring Closing Metat	e Skeleton Ba nation-Enamin	e Cyclization-	共著	2018年12月 Heterocycles, acceptor publication		
2. 学会発表(評価	対象年度のみ)			発表年・月	学会名	
(演題名)温和な条件下でのナザロフ環化反応を実現 フェノールーホウ酸触媒系の開拓			現する2, 2' -ビ	2018年11月 第44回反応と合成の進 ンポジウム		
(演題名)Biphenol/B(OH)3 catalytic system for Naza cyclization under mild reaction conditions		Nazarov	International Congress 2018年11月 Chemistry Langkawi			
Ⅲ 学会および社会	における主な流	舌動				
平成26年4月~現在	Ē	文部科学省科学技	技術・学術政策研	研究所 科学技術同行	示研究センター 専門調査員	
平成27年4月~平月	艾29年3月	日本薬学会ファル	レマシアトピック	7ス小委員		
平成28年4月~現在	Ē		系薬学部会「次世 レポジウム実行委		ンポジウム」世話人	
平成29年4月~平月	戈31年3月	有機合成化学協会誌編集協力委員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

	教育および研究活動の業績一覧					
大学名 富山大学	講座名 分子神経生物学	職名 准教授	氏名 田渕 明子			
I 教育活動	•	•	•			
教育	育実践上の主な業績	年 月 日	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		平成25年度	■基礎生化学Iにおいては、スライドと配布資料を用いた授業を行い、最終コマで練習問題を解き、解説を加えている。 ■衛生科学Iにおいても、スライドと配布資料を用いた授業を行い、時に感染症や食品にまつわる時事の話題提供も行っている。			
		平成26年度	他2件 ■生命情報科学IIにおいては、スライドと配布資料を用いた授業形式であるが、神経科学の最先端の話題提供も行っている。 ■先端分子薬学においても、スライドと配布資料を用い、脳科学の話題提供を行っている。 他2件			
		平成27年度	■基礎生化学は、平成25年度と同様。 ■衛生科学Iは、平成25年度と同様。 他2件			
		平成28年度	■生命情報科学IIにおいては、平成26年度の内容に加え、発生分化や幹細胞の話題も提供することで、再生医療のに関する学修意欲の向上を図っている。 ■先端分子薬学は、平成26年度と同様。 他2件			
		平成29年度	■生化学Iは、平成25年度の基礎生化学Iと同様。 ■衛生薬学IIは、平成25年度の衛生科学Iの内容に加え、各コマの最後に練習問題を解き、解説を加えている。			
		平成30年度	■生命情報科学IIは、平成26年度と同様。 ■先端分子薬学は、平成26年度と同様。			
2 作成した教科	斗書、教材、参考書 	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	■生物系実習(衛生化学)の実習書作成。 ■生物系実習(衛生化学)の実習書作成。 ■生物系実習(衛生化学)の実習書作成。 ■生物系実習(衛生化学)の実習書作成。 ■生物系実習(衛生化学)の実習書作成。 ■生物系実習(衛生化学)の実習書作成。			
3 教育方法・教	対育実践に関する発表、講演等		特になし			
4 その他教育活	E動上特記すべき事項 (FDを含む)	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	■富山大学薬学部FDに参加。 ■富山大学薬学部FDに参加。 ■富山大学薬学部FDに参加。 ■富山大学薬学部FDに参加。 ■富山大学薬学部FDに参加。 ■富山大学薬学部FDに参加。			

	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	
(論文) Involvement of SRF coactivator MKL2 in BDNF-mediated activation of the synaptic activity-responsive element in the Arc gene.			Journal of Neurochemistry	
	共著	平成30年1月	Scientific Reports 8(1) 727	
and dendritic	共著	平成29年10月	Biochemical and Biophysical Research Communications 492(3) 474-479	
(論文) Neuromodulatory Effect of Gαs- or Gαq-Coupled G-Protein-Coupled Receptor on NMDA Receptor Selectively Activates the NMDA Receptor/Ca2+/Calcineurin/cAMP Response Element-Binding Protein-Regulated Transcriptional Coactivator 1 Pathway to Effectively Induce Brain-Derived Neurotrophic Factor Expression in Neurons			Journal of Neuroscience 35(14) 5606-5624	
(論文) Class I Histone Deacetylase-mediated Repression of the Proximal Promoter of the Activity-regulated Cytoskeleton-associated Protein Gene Regulates Its Response to Brain- derived Neurotrophic Factor.			Journal of Biological Chemistry 290(11) 6825-6836	
		発表年・月	学会名	
-MKL/MRTFの制御と	その役割	平成30年9月	第40回日本生物学的精神医学会·第61回日本神経化学会大会 合同年会	
Synaptic localization of SRF coactivators MKL1 (MRTF-A) and MKL2 (MRTF-B) and their function in dendritic morphology were elucidated by generation and evaluation of new antibodies against MKL1 and MKL2.			International MADS Box Conference 2018	
Ⅲ 学会および社会における主な活動				
4学研究費委員会	専門委員			
日本神経化学会 国際対応委員				
日本神経化学会 評議員				
日本生化字会北陸支部 幹事 				
	synaptic ne Arc gene. SRF n dendritic CCG-and dendritic ns. f G a s- or G a q-or on NMDA ne NMDA ne NMDA ne NMDA ne NMDA ne Seponse Element-riptional vely Induce r Expression in ase-mediated ter of the associated nse to Brain- -MKL/MRTFの制御と ctivators MKL1 (Min dendritic mor luation of new arms) 科学研究費委員会 日本神経化学会 国本神経化学会 国本神経化学会 国本神経化学会 国	共著の別 ivator MKL2 in synaptic 共著 ne Arc gene. SRF n dendritic 共著 CCG- and dendritic 共著 f G a s- or G a q- or on NMDA ne NMDA ne NMDA re iptional vely Induce r Expression in ase-mediated ter of the associated nse to Brain- HKL/MRTFの制御とその役割 ctivators MKL1 (MRTF-A) and in dendritic morphology were luation of new antibodies 動 科学研究費委員会 専門委員 日本神経化学会 国際対応委員	共著の別 年月(西暦でも可) ivator MKL2 in synaptic ne Arc gene. SRF n dendritic 共著 平成30年1月 CCG-and dendritic 共著 平成29年10月 F Gαs- or Gαq-or on NMDA ne NMDA ne NMDA ne NMDA ne NMDA ne Sponse Element-riptional vely Induce rexpression in タール 大学 中成27年4月 Associated nse to Brain- 共著 平成27年3月 PMKL/MRTFの制御とその役割 平成30年9月 Ctivators MKL1(MRTF-A) and in dendritic morphology were luation of new antibodies 中門委員 日本神経化学会 国際対応委員 日本神経化学会 国際対応委員 日本神経化学会 評議員	

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧					
大学名 富山大学 講座名	分子細胞機能学	職名 准教授	氏名 守田雅志		
I 教育活動					
教育実践上の主な業	績	年 月 日	柑	既 要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評値	5等を含む)	平成25年4月~		、学生の講義内容の理解向 義内容をまとめた資料を配	
2 作成した教科書、教材、参考	書	平成25年4月~	「生物系実習」微生 作成	物化学実習のための実習書	
3 教育方法・教育実践に関する	· 発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき	·事項	平成25年4月~		大学薬学部FD研修会に出席 策を検討し、見識を高め	
	(FDを含む)	平成29年 1 月	「第19回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップのための(薬学教育者ワークショップ) in 北陸」におけるタスクフォースを担当。		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	
(著書) Photoaffinity Labeling for Structural Probing within Protein. 1st ed.		共著	平成29年9月	Springer Nature; Chapter 10, Function of peroxisome in mammal and analysis of the fatty acid oxidation system by photoaffinity labeling; p. 197-223	
(論文) Characterization of huma cassette protein subfamily D red into proteoliposomes.		共著	平成30年2月	Biochem Biophys Res Commun. 19;496(4):1122- 1127.	
(論文) Effect of Lorenzo's Oil Gene Expression and the Serum Fa in abcd1-Deficient Mice.		共著	平成29年5月	JIMD Rep. 38:67-74.	
(論文) ${f A}$ novel method for deterperoxisomal fatty acid ${f eta}$ -oxida		共著	平成28年9月	J Inherit Metab Dis. 39(5):725-731.	
(論文) Brain microsomal fatty a is increased in abcd1-deficient active myelination phase.	共著	平成27年12月	Metab Brain Dis. 30(6):1359-1367.		
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名	
(演題名)副腎白質ジストロフィー ルオキシソーム脂肪酸β酸化測定法			2018年3月26日	第138回日本薬学会	
(演題名) ペルオキシソーム機能と 細胞内コレステロール代謝の関連性			2018年11月18日	日本薬学会北陸支部130回 例会	
Ⅲ 学会および社会における主な活	 動				
平成26年1月~平成28年12月 日本生化学会 北陸支部幹事					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。

- 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※「皿 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 富山大学 講座名	生体界面化学	職名 准教授	氏名 池田 恵介			
I 教育活動						
教育実践上の主な勢	美績	年 月 日	相	既 要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評	価等を含む)	平成28年度~		講義に関する演習問題をお 復習し、理解を促してい		
2 作成した教科書、教材、参	考書		なし			
3 教育方法・教育実践に関する	る発表、講演等		なし			
4 その他教育活動上特記すべ	き事項 (FDを含む)	平成28年度~	薬学研究科で開催さの研鑽に励んだ。	れるFDにほぼ出席し、知識		
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称		
(論文) Nanodisc-to-Nanofiber 7 Noncovalent Peptide-Phospholip		共著	2017年6月	ACS Omega 2, 2935-2944		
(論文) Energetics of the Mixir Phospholipids in Bilayers Deter Vesicle Solubilization		共著	2016年11月	Langmuir 32, 13270-13275		
(論文) Formation of size-contr denaturation-resistant lipid na amphiphilic self-polymerizing p	anodiscs by an	共著	2016年10月	Colloids and Surfaces B: Biointerfaces 146, 423- 430		
(論文) High membrane curvature binding, conformational changes fibrillation of amyloid- β on surfaces	s, and	共著	2015年10月	Langmuir 31, 11549-11557		
(論文) Self-Reproduction of Na through Synergistic Self-Assemb		共著	2014年12月	Langmuir 31, 17-21		
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)	1		発表年・月	学会名		
(演題名) A thermodynamic mode oligomerization on negatively (2018年9月 56回日本生物物理学会全			
(演題名) A thermodynamic mode oligomerization on negatively o high curvatures.	rotein ayers with 2018年12月 the		Asian Biophysics Association Symposium and Annual Meeting of the Australian Society for Biophysics			
Ⅲ 学会および社会における主な	Ⅲ 学会および社会における主な活動					
平成25年4月~現在	日本薬学会会員					
平成25年4月~現在	日本生物物理学会会員					
平成25年4月~現在	日本核磁気共鳴学会会員					
平成25年4月~現在	日本膜学会会員					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。

- 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
- 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※「皿 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧					
大学名 富山大学 講座名	構造生物学	職名 准教授	氏名 帯田 孝之	2	
I 教育活動			•		
教育実践上の主な	業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評	価等を含む)	平成25年4 月~平成29 年3月		構造生物学」では、講義内容の)に、小テストを行っている。	
2 作成した教科書、教材、参	考書	平成28年2月	Essentialタンパ ら、南江堂、分担	ク質科学、(監訳)津本浩平 目翻訳(第6章)	
3 教育方法・教育実践に関す	る発表、講演等		該当なし		
4 その他教育活動上特記すべ		平成25年~ 現在	本学部で開催され	uるFDには、基本的に毎年参加	
	(FDを含む)	平成25年~ 現在		uるOSCEには、毎年参加してい	
		平成27年1 2月	本学部で実施された。	ıたCBTにおいて、管理者を務め	
I 研究活動					
1.著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可		
(論文) Crystal Structure of H Transcription Factor TFIIE at Resolution	uman General Atomic	共著	平成28年10月	J Mol Biol. Oct 23:428(21):4258-4266	
(論文) Allosteric modulation affinity between PQBP1 and the protein U5-15kD		共著	平成28年7月	FEBS Lett. Jul;590(14):2221-2231.	
(論文) Structural Fine-Tuning Interacting Motif 2 (MIM2) and Regulation of ESCRT-III by Vps	Allosteric	共著	平成28年6月	J Mol Biol. Jun 5;428(11):2392-2404.	
(論文) Transient α -helices i RPEL motifs of the serum respondantivator MKL1	nse factor	共著	平成26年6月	Sci Rep. Jun 9;4:5224.	
(論文) Mutations in the PQBP1 its interaction with the splic U5-15 kD		共著	平成26年4月	Nat Commun. Apr 30;5:3822.	
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名	
(演題名)T細胞のシグナル伝達る 作用解析	本とTRAFの相互	平成30年11月	日本薬学会北陸支部第130回例会		
(演題名)Crystal structure an	ity of SASPase	平成30年9月	The Third International Symposium on Toyama- Asia-Africa Pharmaceutical Network		
Ⅲ 学会および社会における主な	Ⅲ 学会および社会における主な活動				
	該当なし				

[注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。

- 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
- 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
- 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 富山大学 講座名	了。 第品製造学	職名	助教	氏名 高山	亜紀	
I 教育活動						
教育実践上の主	な業績	年	月日		相	要 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		平成28 現在	8年4月~	専門英語I, IIにおいては、薬学の研究者にまて必要とされる、英語の論文読解に関して指定を行った。薬学英語では、アクティブラーニグを取り入れた授業を行った。有機化学系実では、実験操作に関するデモンストレーションやスライド等を用いた説明、ディスカッションを行うことで、学生の実験科学に対する知識実践力の向上に努めた。スライドによる説明は、図を多用することで、学生の理解向上に認めた。		
2 作成した教科書、教材、	参考書			学生実習の教	材作成	を行った。
3 教育方法・教育実践に関	する発表、講演等			特になし		
4 その他教育活動上特記す	べき事項 (FDを含む)	平成28 現在	5年4月~	薬学部主催の)FD研修	会はすべて出席
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			著・ ぎの別	発行または 年月(西暦で		発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
(論文) Reversibility of the reaction of cytotoxic C5-cur structure-activity relations adducts thereof	cuminoid and	į	共著	平成27年10月]	Org. Biomol. Chem. 2016, 14, 10683-10687.
(論文) An Enantiocontrolled Tricyclic Polar Segment of		÷	共著	平成27年2月		Tetrahedron Lett. 2016 , <i>57</i> , 517-519.
(論文) A Curcumin Analog, (Effectively Inhibits Angiogo Actin Disorganization.		 	も 著			Anti-Cancer Agents in Medicinal Chemistry, 2016 , <i>16</i> , 633-647.
(論文) Structure-Activity F the Antitumor C5-Curcuminoid		ļ	共著	平成26年8月		<i>Molecules</i> 2015 , <i>20</i> , 15374-15391.
(論文) Identification of Ar Compounds Using Xenopus Embr		ţ	共著	平成27年3月		Cancer Sci. 2016 , <i>107</i> , 803-811.
2. 学会発表(評価対象年度の)み)			発表年・	月	学会名
(演題名)Development of new bioorthogonal ligation t by 4-membered ring opening		tion tı	riggered	2019年・9月		The Third International Symposium on Toyama- Asia-Africa Pharmaceutical Network
(演題名)Accelerated 4π Ring-opening of Azide-substituted Benzocyclobutene by Staudinger Reaction		ituted	2019年・9月		The Third International Symposium on Toyama- Asia-Africa Pharmaceutical Network	
(演題名) 四員環の反応性制御に基づく生体直交型反応の開発				2019年・9月		平成30年度有機合成化学北 陸セミナー
(演題名) Accelerated Electrocyclic Ring Opening of Benzocyclobutene by Staudinger Reaction				2019年・9月		XXII International Conference on Organic Synthesis (XXII ICOS)
(演題名)Synthetic Studies Andrastin Derivatives Based	on o-Quinodimethane	Chemis	stry	2019年・9月		XXII International Conference on Organic Synthesis (XXII ICOS)
(演題名) イミノホスホラン形 テン開裂反応とその応用	成による室温下での~	ヾンゾ シ	<u>,</u> クロブ	2019年・11月	1	日本薬学会北陸支部第130 例会

Ⅲ 学会および社会における主な活動			
平成26年	第43回反応と合成の進歩シンポジウム実行委員		
平成28年	日本薬学会第138年会プログラム編成委員		
平成26年~現在	学術論文査読 (Heterocycles, Biol. Pharm. Bull., Chem. Pharm. Bull.)		
	所属学会:日本薬学会(2012年~現在)		
	所属学会:有機合成化学協会(2016年~現在)		

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

大学名 富山大学 講座名	薬用生物資源学	職名 助教	氏名 李 貞範		
I 教育活動	Ⅰ 数育活動				
教育実践上の主	は業績	年 月 日		既要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)			生薬学実習:日本薬局方に準じた代表的な生薬 の各種定性試験の原理等を解説するとともに, 実際に天然物を単離し,その天然物のスペクト ル解析法を具体的に解説し,理解に努めた。		
		平成26年5・6月	和漢医薬学入門:重要な漢方処方を構成する生薬を鑑別させることで、それらの形態や味覚を体験させ、さらに生薬に関する説明を適宜加えながら、学生の興味を引くように努めた。		
2 作成した教科書、教材、	参考書	平成25年~	生薬学実習書の作成・改訂:3年次の実習で使用する,生薬学・天然物化学に関する実習指導書を作成し、改訂を加えている。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			なし		
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)		平成25年~	学内で開催されたFD研修会に毎年1回は参加		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	
(論文) Analysis of compounds that interfere with herpes simplex virus-host receptor interactions using surface plasmon resonance.		共著	2013年11月	Anal Chem. 85:10455-62.	
(論文) Characterization and biological effects of two polysaccharides isolated from Acanthopanax sciadophylloides.		共著	2015年2月	Carbohydr. Polym. 116:159-66.	
(論文) Characterization of a novel mutation in NS1 protein of influenza A virus induced by a chemical substance for the attenuation of pathogenicity.		共著	2015年10月	PLoS One 10:e0121205	
(論文) Elucidation of terpe Scoparia dulcis by RNA-seq a	共著	2017年3月	Sci Rep. 7:43311		
(論文) Characterization of ent-kaurene synthase and kaurene oxidase involved in gibberellin biosynthesis from Scoparia dulcis		共著	2018年3月	J Nat Med. 72:456-63	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名	
(演題名)薬用植物ヒキオコシ由来ジテルペン生合成酵素の解明			2018年9月	日本生薬学会第65回年会 (広島)	
(演題名)ブドウ種子由来プロアアントシアニジンのA型インフルエンザウイルス不活化作用			2018年9月	日本生薬学会第65回年会 (広島)	
(演題名)薬用植物スコパリア由来のテルペン合成酵素遺伝子群の in vivoにおける機能解析			2019年3月	第60回日本植物生理学会 (名古屋)	
(演題名) 納豆菌のインフルエンザ治療効果 ― 腸管免疫系への関 与及び活性成分の検索			2019年3月	日本薬学会第139回年会 (千葉)	
(演題名)微細藻類 Coccomyxa sp. KJ によるマウスノロウイルスの排泄抑制			2019年3月	日本薬学会第139回年会 (千葉)	
(演題名)殺ノロウイルス活性を有するブドウ種子由来プロアント シアニジンの作用特性			2019年3月	日本薬学会第139回年会 (千葉)	
Ⅲ 学会および社会における主な活動					
平成8年4月~現在	3年4月~現在 日本農芸化学会				
² 成9年4月~現在 日本糖質学会					

平成10年4月~現在	日本生薬学会
平成12年4月~現在	日本薬学会

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

十 岁 夕 宗 山十 岁 誰 麻夕				
大学名 富山大学 講座名	分子合成化学	職名助教	氏名 藤原 朋也	
I 教育活動	,		I	
教育実践上の主な業	積 ————————————————————————————————————	年 月 日	柑	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		平成26年1月~ 現在	・基本的な内容の講義はノートを取らせることで理解を促すために板書形式で実施している。 一方、発展的な内容の講義は多くの情報を知って貰うためにスライド形式で実施している。 ・実習では実験以外にディスカッションの時間を設けて、内容の理解の手助けとなるよう務めている。 *他1件	
2 作成した教科書、教材、参考			なし	
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等		なし	
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)		平成27年4月~ 現在	・学内で定期的に開催されるFDに参加[他学部 (人間発達科学部)のFDへの参加を含む]。 ・新入生医療学研修に参加し、指導(平成27, 30年)。	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文) Divergent total synthesis of penaresidin B and its straight side chain analogue		共著	平成30年8月	Tetrahedron, 74(35), 4578-4591. Elsevier社
(著書) Practical and environmentally friendly transformation of tetrahydrofuran-2-methanols to γ-lactones via oxidative cleavage		共著	平成29年3月	「New Horizons of Process Chemistry: Scalable Reactions and Technologies」内に掲載 (pp179-190). Springer社
(論文) Efficient oxidative cleavage of tetrahydrofuran-2-methanols to γ-lactones by a 2-iodobenzamide catalyst in combination with oxone®		共著	平成28年3月	Adv. Synth. Catal., 358(6), 869-873. John Wiley & Sons社
(論文) Synthesis of 10b-fluorinated analogues of protubonine A and its 11a-epimer via fluorocyclisation of tryptophan-containing dipeptides		共著	平成26年12月(発行 年:平成27年)	RSC Adv., 5(7), 5464- 5473. 英国王立化学会
(論文) Synthesis and elaboration of all-cis-1,2,4,5-tetrafluoro-3- phenylcyclohexane: a polar cyclohexane motif		共著	平成26年5月	Chem. Eur. J., 20(21), 6259-6263. John Wiley & Sons社
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名
(演題名)Pedicularis-lactone合成を目指した2-ジュ 5-シリルオキシ-8-ノネン酸エステルのロジウム(Ⅱ) 応の開発研究			平成30年9月	平成30年度有機合成化学北 陸セミナー
(演題名)アミノアルコール類合成のためのオキサチケタールの立体選択的還元反応の開発とその応用		チアジナンN, O-	平成30年11月	第44回反応と合成の進歩シ ンポジウム
Ⅲ 学会および社会における主な活動				
平成26年~平成30年8月	0年8月 スーパーサイエンスハイスクール(SSH) 薬学実習指導 (富山中部高校)			
平成27年10月	平成27年度有機合成化学北陸セミナー 実行委員			
平成29年11月	第43回反応と合成の進歩シンポジウム 運営			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。

- 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧				
大学名 富山大学 講座名 生体界	面化学 職名 助教	氏名	中尾 裕之	
I 教育活動	J	1		
教育実践上の主な業績	年 月	日	概要	
1 教育内容・方法の工夫	平成29年~		物理系実習(物理化学Ⅱ)を担当しており、実 習前に講義を行い、より理解が深まるよう試み ている。	
(授業評価等を含	でむ) 平成30年~	総合薬学演習を担	総合薬学演習を担当	
	平成30年~	「薬学英語 I 」 <i>0</i> .	「薬学英語I」の一部を担当	
2 作成した教科書、教材、参考書		<i>t</i>		
		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発表、	講演等			
		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事項	平成29年7月	29日 富山大学薬学部FI	Dに参加	
(FDを	含む) 平成30年8月	4日 富山大学薬学部FI	つに参加	
Ⅱ 研究活動	1			
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の5	発行または発表 <i>0</i> 年月(西暦でも可		
(論文) Control of phospholipid flip-f transmembrane peptides.	lop by 共著	2013年6月	Chemical Physics, 419, 78-83	
(論文) pH-dependent promotion of phos flip-flop by the KcsA potassium channe	一 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八	2015年1月	Biochimica et biophysica acta, 1848, 145-150	
(論文) Membrane-Spanning Sequences in Endoplasmic Reticulum Proteins Promote Phospholipid Flip-Flop.		2016年6月	Biophysical journal, 110, 2689-2697	
(論文) Formation of asymmetric vesicl phospholipase D-mediated transphosphatidylation.	es via 共著	2018年2月	Biochimica et biophysica acta, 1860, 245-249	
(論文) Effects of Hydrophilic Residue Hydrophobic Length on Flip-Flop Promot Transmembrane Peptides.		2018年4月	The journal of physical chemistry. B, 122, 4318-4324	
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名	
(演題名) 膜貫通ヘリックス中の親水性アミノ酸残基対の位置に したリン脂質フリップフロップ促進能の評価		本存平成30年5月	日本膜学会第40年会	
(演題名)親水性アミノ酸残基の位置・膜深さが膜貫通ペプチクランブラーゼ活性に与える影響		のス 平成31年3月	日本薬学会第139年会	
Ⅲ 学会および社会における主な活動				
平成24年~ 日本生	日本生物物理学会会員			
平成25年~ 日本膜	□ 日本膜学会会員			
平成26年~ 日本薬学会会員				
平成28年~ アメリカ生物物理学会会				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

教育および研究活動の業績一覧				
大学名 富山大学 講座名	構造生物学	職名 助教	氏名 横山 武司	
I 教育活動			I	
教育実践上の主な業	績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法の工夫		平成25年度~		テストを盛り込むことで、学
(技業計1	5等を含む) 	現在	生の理解度の向工を1 る。	足し、達成度を把握してい
2 作成した教科書、教材、参考	書			
		平成25年10月	博士課程高度職業人育成コース実習の実習書を作成した。	
		平成27年5月	物理系実習の実習書を改訂し、一部(コンピュー タ実習)を作成した。	
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等		なし	
4 その他教育活動上特記すべき	事項			
	(FDを含む)	平成27年11月12日	平成27年度生命融合教	
		平成28年8月6日	平成28年度薬学部・プ 部会 F D に参加	大学院医学薬学教育部薬学系
		平成30年8月4日	平成30年度薬学部・元 部会 F D に参加・発表	大学院医学薬学教育部薬学系 表
		平成25年度~ 平成30年度	OSCEの評価者または総務を担当	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文) Crystal structures of human transthyretin complexed with glabridin		共著	2014年2月	Journal of Medicinal Chemistry vol.57 No.3
(論文) Inhibitory Activities of Propolis and its Promising Component, Caffeic Acid Phenethyl Ester, against Amyloidogenesis of Human Transthyretin		共著	2014年11月	Journal of Medicinal Chemistry vol.57 No.21
(論文) Protonation State and Hydration of Bisphosphonate Bound to Farnesyl Pyrophosphate Synthase		共著	2015年9月	Journal of Medicinal Chemistry vol.58 No.18
(論文) Structural Insight into the Interactions between Death-Associated Protein Kinase 1 and Natural Flavonoids		共著	2015年9月	Journal of Medicinal Chemistry vol.58 No.18
(論文) Stability and crystal structures of His88 mutant human transthyretins		共著	2017年7月	FEBS Letter vol.591 No.13
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会名
(演題名)DAPK1阻害剤としての天然アントラキノンの同定と構造活性 相関研究			平成30年6月	日本蛋白質科学会
(演題名) 創薬標的タンパク質の中性子結晶構造解析			平成30年7月	中性子産業利用推進協議会
	Ⅲ 学会および社会における主な活動			
Ⅲ 学会および社会における主な活	動			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 - 5 「皿 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 - ※「Ⅲ 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。